



取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

Vitz



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に**必ず**お読みいただきたいこと

2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

5 室内装備・機能

室内装備の使い方など

6 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

7 万ーの場合には

故障したときや、緊急時などの対処

8 車両情報

車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など

さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	12
検索のしかた	13
イラスト目次	14

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に	26
安全なドライブのために	28
シートベルト	30
SRS エアバッグ	36
お子さまの安全のために	44
子供専用シート	45
チャイルドシートの 取り付け	54
排気ガスに対する注意	61
1-2. 盗難防止装置	
エンジンイモビライザー システム	62

2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯	64
計器類	70
モノクロタイプ マルチインフォメーション ディスプレイ	75
カラータイプ マルチインフォメーション ディスプレイ	80

3 各部の操作

3-1. キー	
キー	104
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
ドア（フロントドア、 リヤドア）	109
バックドア	116
スマートエントリー& スタートシステム	120
3-3. シートの調整	
フロントシート	126
リヤシート	127
ヘッドレスト	130
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	133
インナーミラー	135
ドアミラー	136
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウインドウ	139

4 運転

4-1. 運転にあたって	
運転にあたって	144
荷物を積むときの注意	156

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション） スイッチ（スマート エントリー&スタート システム非装着車）	158
---	-----

エンジン（イグニッション） スイッチ（スマート エントリー&スタート システム装着車）	161
--	-----

オートマチック トランスミッション （スポーツシーケンシャル シフトマチックモード 非装着車）	170
---	-----

オートマチック トランスミッション （スポーツシーケンシャル シフトマチックモード 装着車）	174
--	-----

マニュアル トランスミッション	180
--------------------	-----

方向指示レバー	181
---------	-----

パーキングブレーキ	182
-----------	-----

4-3. ランプのつけ方・

ワイパーの使い方

ランプスイッチ	183
---------	-----

フォグランプスイッチ	188
------------	-----

ワイパー&ウォッシャー （フロント）	190
-----------------------	-----

ワイパー&ウォッシャー （リヤ）	193
---------------------	-----

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方	195
---------	-----

4-5. Toyota Safety Sense C

Toyota Safety Sense C	200
--------------------------	-----

PCS（プリクラッシュ セーフティシステム）	205
---------------------------	-----

LDA（レーンディパーチャー アラート/ 車線逸脱警報）	220
------------------------------------	-----

オートマチック ハイビーム	228
------------------	-----

先車発進告知機能	233
----------	-----

4-6. 運転支援装置について

Toyota Stop & Start System （SMART STOP）	238
---	-----

4WD オートモード スイッチ	246
--------------------	-----

LED イルミネーションビーム	247
--------------------	-----

運転を補助する装置	248
-----------	-----

4-7. 運転のアドバイス

寒冷時の運転	255
--------	-----

5 室内装備・機能

5-1. エアコン・デフォグターの 使い方

マニュアルエアコン	260
-----------	-----

オートエアコン	265
---------	-----

シートヒーター （快適温熱シート）	272
----------------------	-----

5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	274
-------	-----

・インテリアランプ	275
-----------	-----

・パーソナルランプ	275
-----------	-----

・パニティランプ	276
----------	-----

5-3. 収納装備

収納装備一覧.....	278
・助手席シート アンダートレイ.....	279
・ドアポケット.....	279
・ボトルホルダー.....	279
・アッパーボックス/ グローブボックス.....	280
・小物入れ.....	282
・カップホルダー.....	283
・コインポケット.....	284
・カードホルダー.....	285
・買い物アシスト.....	285
ラゲージルーム内装備.....	287

5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備.....	290
・サンバイザー.....	290
・バニティミラー.....	290
・アームレスト.....	291
・アシストグリップ.....	292
・アクセサリースOCKET.....	293
・ステアリングスイッチ.....	294

6 お手入れのしかた

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	296
内装の手入れ.....	300

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット.....	303
ガレージジャッキ.....	305
ウォッシャー液の補充.....	306
タイヤについて.....	307
タイヤ空気圧について.....	311
エアコンフィルターの 交換.....	313
キーの電池交換.....	316
ヒューズの点検・交換.....	320
電球（バルブ）の交換.....	323

7 万ーの場合には

7-1. まず初めに

故障したときは	346
非常点滅灯 (ハザードランプ)	347
発炎筒	348
車両を緊急停止するには	350

7-2. 緊急時の対処法

けん引について	352
フューエルポンプシャット オフシステム	360
警告灯がついたときは	361
警告メッセージが 表示されたときは (カラータイプマルチ インフォメーション ディスプレイ装着車)	367
パンクしたときは (タイヤパンク 応急修理キット装着車)	378
パンクしたときは (応急用タイヤ装着車)	393
エンジンが かからないときは	404
電子キーが正常に 働かないときは (スマートエントリー& スタートシステム 装着車)	406
バッテリーが あがったときは	408
オーバーヒートしたときは	413
スタックしたときは	417

8 車両情報

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)	420
--------------------------------------	-----

8-2. カスタマイズ機能

カスタマイズ機能一覧	431
------------------	-----

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	436
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	440
アルファベット順さくいん	442
五十音順さくいん	443

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なる種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。RF 送信機の取り付けについては、P. 10 も参照してください。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

運転についてのご注意

他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。

飲酒運転は絶対しないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。

運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。

故障診断コネクターなどへの電装品取り付けについて

故障診断コネクターなどに、点検整備用の故障診断装置以外の電装品を取り付けしないでください。

電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがったりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。



車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数
- ・ アクセルの操作状況
- ・ ブレーキの操作状況
- ・ 車速
- ・ シフトポジション（マニュアルトランスミッション車を除く）

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRSエアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDRは車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDRは次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDRは衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。EDRで記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両またはEDRへ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDRデータの情報開示

次の場合を除き、トヨタはEDRで記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFI コンピュータ
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー
- Toyota Safety Sense C ★

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

本書の見方



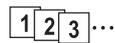
警告

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



注意

お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

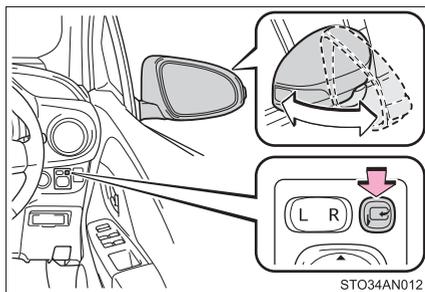


1 2 3 ...

操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

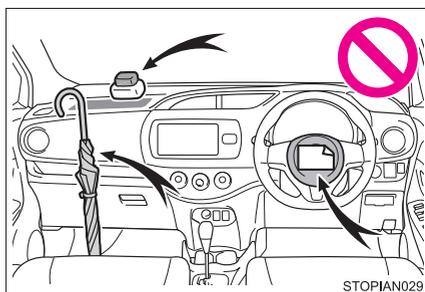
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



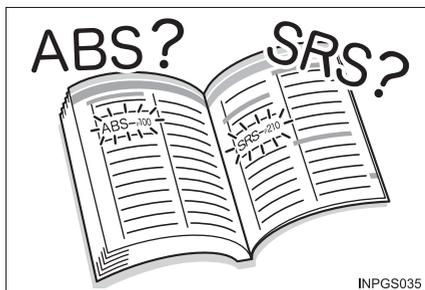
知識

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

■ 名称から探す

- ・ 五十音順さくいん443
- ・ アルファベット順
さくいん442



■ 取り付け位置から探す

- ・ イラスト目次 14



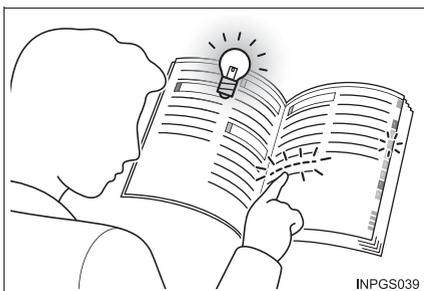
■ 症状や音から探す

- ・ こんなときは
(症状別さくいん)436
- ・ 車から音が鳴ったときは
(音さくいん)440



■ タイトルから探す

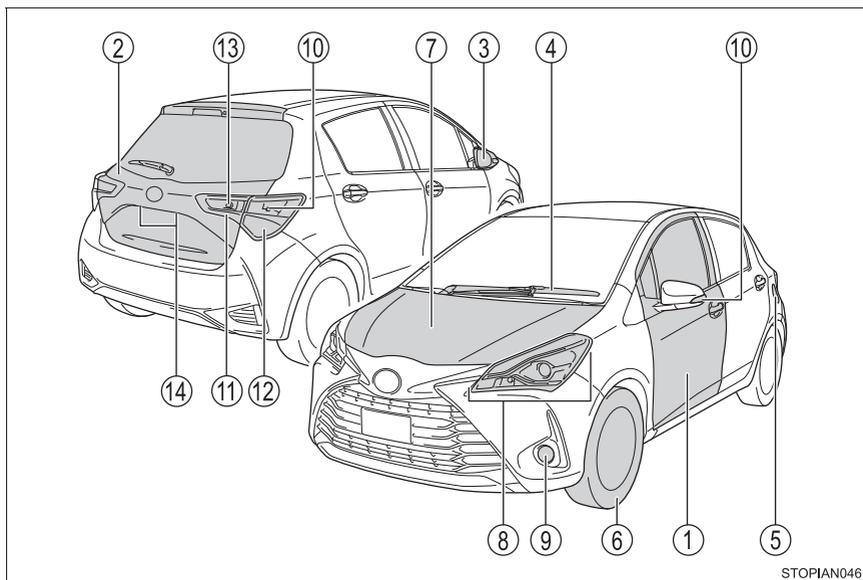
- ・ 目次2



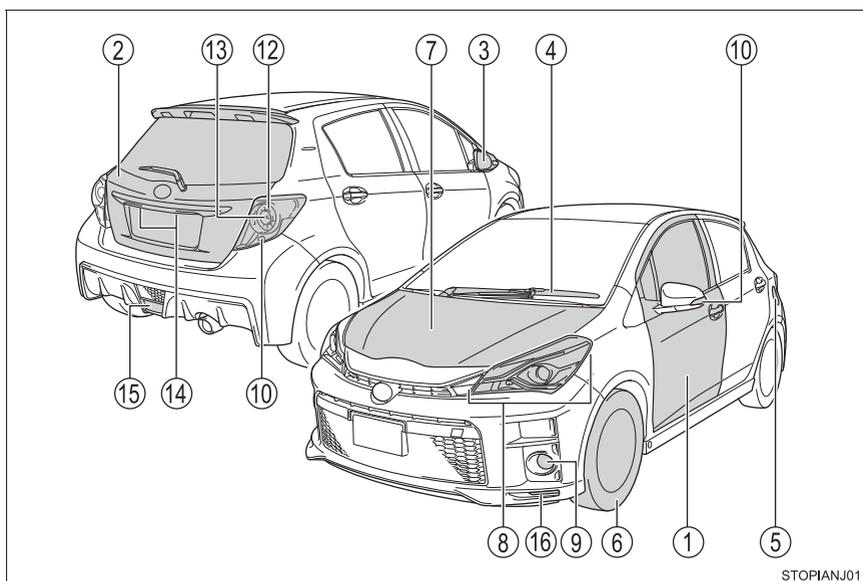
イラスト目次

■ 外観

▶ GR SPORT、GR を除く



▶ GR SPORT、GR



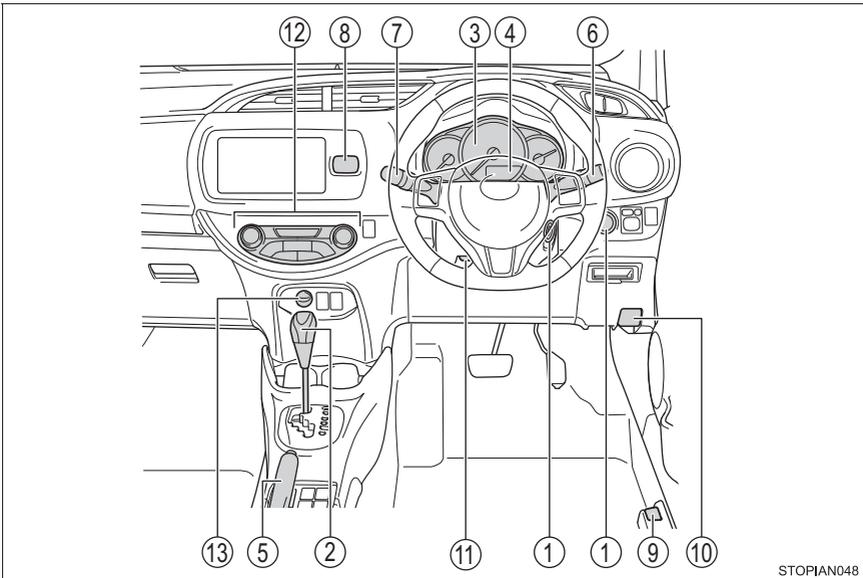
①	ドア	P. 109
	施錠／解錠	P. 109, 112
	ドアガラスの開閉	P. 139
	メカニカルキーでの施錠／解錠★	P. 406
	警告灯★・警告メッセージ★	P. 363, 370
②	バックドア	P. 116
	施錠／解錠	P. 116
	警告灯★・警告メッセージ★	P. 363, 370
③	ドアミラー	P. 136
	鏡面の角度調整	P. 136
	ミラーの格納	P. 137
	曇りを取る（ミラーヒーター）★	P. 261, 267
④	ワイパー	P. 190, 193
	冬季の注意	P. 255
	凍結防止（フロントワイパーデアイサー）★	P. 262, 267
⑤	給油口	P. 195
	給油方法	P. 195
	燃料の種類・燃料タンク容量	P. 420
⑥	タイヤ	P. 307
	サイズ・空気圧	P. 428
	冬用タイヤ・タイヤチェーン	P. 255
	点検・ローテーション	P. 307
	パンク時の対処	P. 378, 393
⑦	ボンネット	P. 303
	開け方	P. 303
	エンジンオイル	P. 421
	オーバーヒート時の対処	P. 413

走行に関わる外装のランプバルブ

(交換要領：P. 323, ワット数：P. 429)

- ⑧ ヘッドランプ・車幅灯・方向指示灯.....P. 181, 183
- ⑨ フロントフォグランプ★P. 188
- ⑩ 方向指示灯P. 181
- ⑪ 尾灯★P. 183
- ⑫ 尾灯P. 183
 - 制動灯
 - ヒルスタートアシストコントロール.....P. 248
- ⑬ 後退灯
 - シフトポジションを R にするP. 170
- ⑭ 番号灯.....P. 183
- ⑮ リヤフォグランプ★.....P. 188
- ⑯ LED イルミネーションビーム★.....P. 247

■ インストルメントパネル



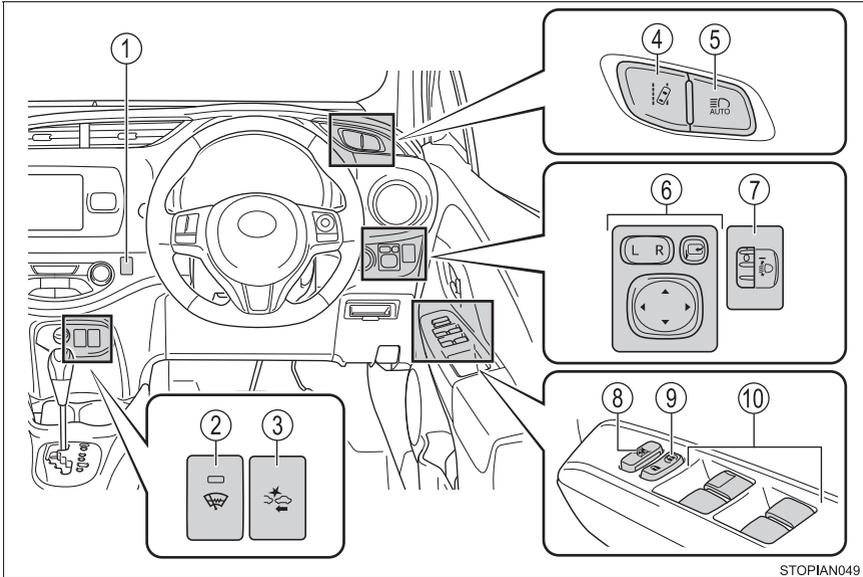
STOPIAN048

- ① エンジンスイッチ P. 158, 161
 エンジンの始動・モード切りかえ P. 158, 161
 エンジンの緊急停止 P. 350
 エンジンが始動できないときの対処 P. 404
 警告メッセージ★ P. 373
- ② シフトレバー P. 170, 174, 180
 シフトポジションの切りかえ P. 170, 174, 180
 けん引時の注意 P. 352
 シフトレバーが動かないときの対処★ P. 172, 178
- ③ メーター P. 70
 見方・明るさの調整 P. 70
 警告灯／表示灯 P. 64
 警告灯点灯時の対処 P. 361

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ④ マルチインフォメーションディスプレイ P. 75, 80
 表示内容 P. 75, 80
 警告メッセージ表示時の対処★ P. 367
- ⑤ パーキングブレーキ P. 182
 かける・解除する P. 182
 冬季の注意 P. 255
 警告ブザー・警告メッセージ★ P. 364, 370
- ⑥ 方向指示レバー P. 181
 ランプスイッチ P. 183
 ヘッドランプ・車幅灯・尾灯 P. 183
 フロントフォグランプ★・リヤフォグランプ★ P. 188
- ⑦ ワイパー&ウォッシャースイッチ P. 190, 193
 使い方 P. 190, 193
 ウォッシャー液の補充 P. 306
- ⑧ 非常点滅灯スイッチ P. 347
- ⑨ 給油口オープナー P. 195
- ⑩ ボンネット解除レバー P. 303
- ⑪ ハンドル位置調整レバー P. 133
- ⑫ エアコン P. 260, 265
 操作方法 P. 260, 265
 リヤウィンドウの曇り取り
 (リヤウインドウデフォグガー) P. 261, 267
 フロントワイパーデアイサー★ P. 262, 267
- ⑬ アクセサリーソケット P. 293

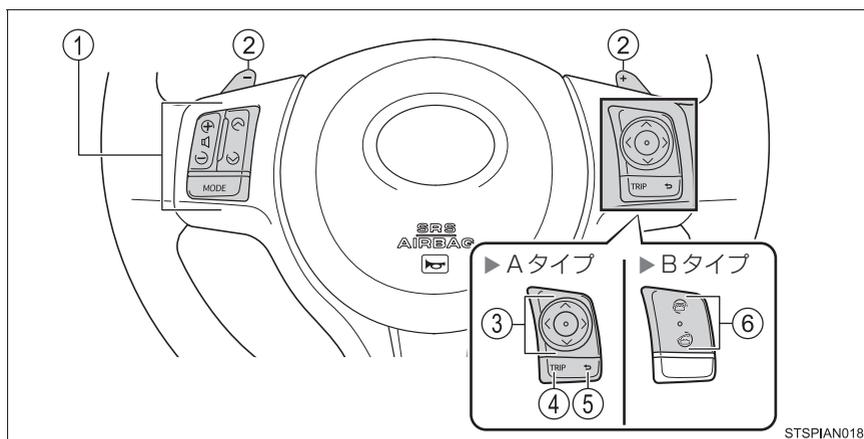
■ スイッチ類



- ① 「ナノイー」スイッチ★P. 267
- ② フロントワイパーデアイサースイッチ★P. 262, 267
- ③ PCS (プリクラッシュセーフティシステム) スイッチ★P. 205
- ④ LDA (レーンディパーチャーアラート) スイッチ★P. 220
- ⑤ オートマチックハイビームスイッチ★P. 228
- ⑥ ドアミラースイッチ★P. 136
- ⑦ 手動光軸調整ダイヤル★P. 184
- ⑧ ウインドロックスイッチP. 139
- ⑨ ドアロックスイッチP. 112
- ⑩ パワーウインドウスイッチP. 139

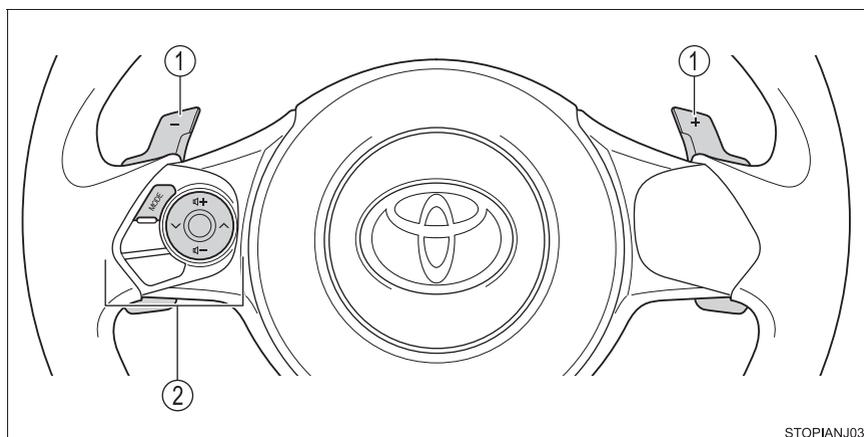
★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ GR を除く

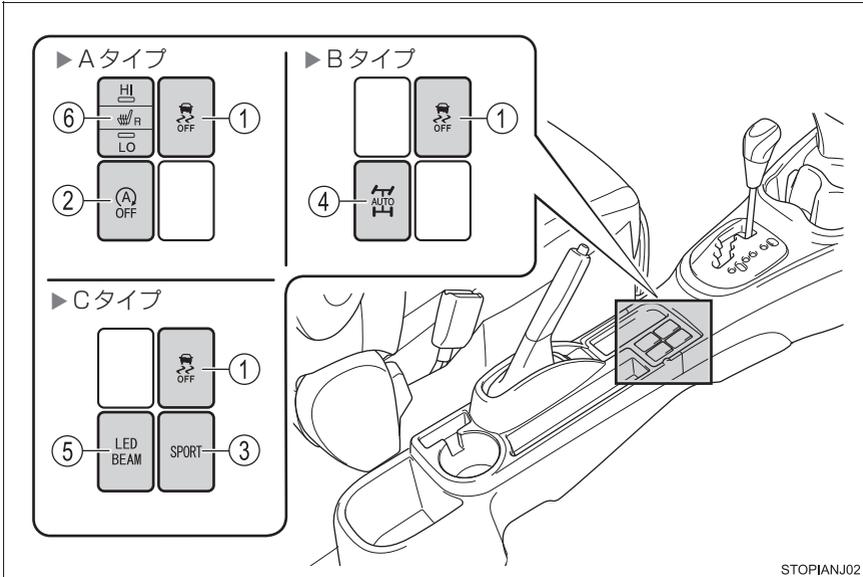


- ① オーディオ操作スイッチ★P. 294
- ② パドルシフトスイッチ★P. 175
- ③ メーター操作スイッチ★P. 81
- ④ TRIPスイッチ★P. 80
- ⑤ もどるスイッチ★P. 81
- ⑥ 電話スイッチ★P. 294

▶ GR



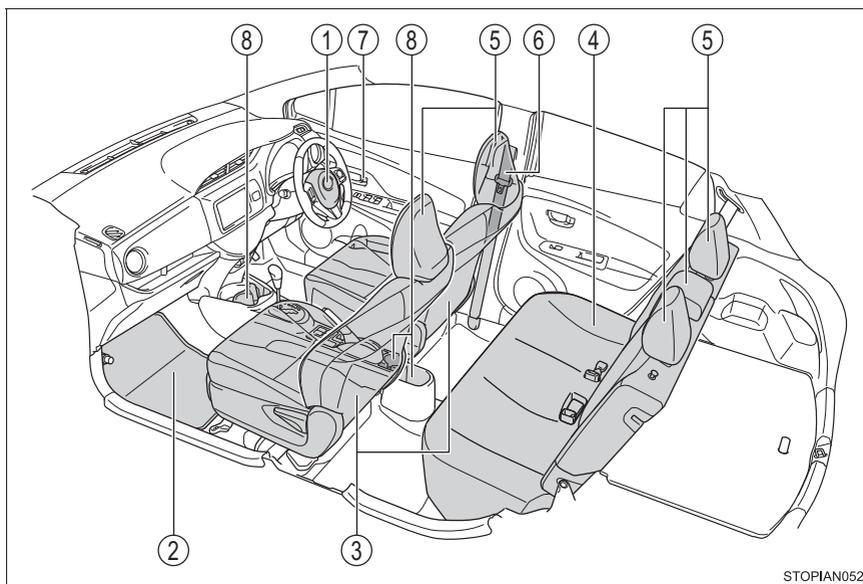
- ① パドルシフトスイッチ★P. 175
- ② オーディオ操作スイッチ★P. 294



- ① VSC OFF スイッチP. 249
- ② Stop & Start キャンセルスイッチ★P. 239
- ③ SPORT スイッチ★P. 175
- ④ 4WD オートモードスイッチ★P. 246
- ⑤ LED イルミネーションビームスイッチ★P. 247
- ⑥ シートヒータースイッチ★P. 272

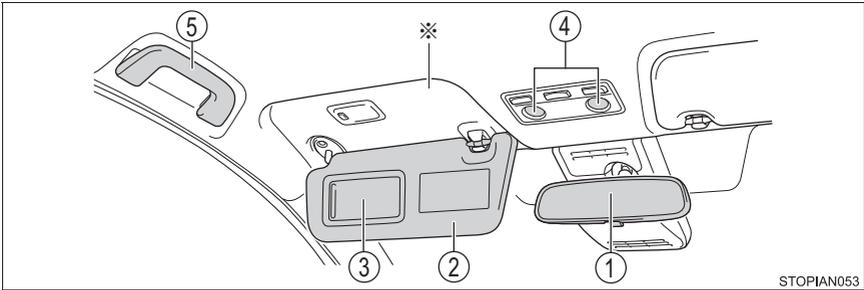
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 室内



STOPIAN052

- | | | | |
|---|----------|-------|--------|
| ① | SRSエアバッグ | | P. 36 |
| ② | フロアマット | | P. 26 |
| ③ | フロントシート | | P. 126 |
| ④ | リヤシート | | P. 127 |
| ⑤ | ヘッドレスト | | P. 130 |
| ⑥ | シートベルト | | P. 30 |
| ⑦ | ロックレバー | | P. 112 |
| ⑧ | カップホルダー | | P. 283 |



STOPIAN053

- ① インナーミラー.....P. 135
- ② サンバイザー※.....P. 290
- ③ バニティミラー★.....P. 290
- ④ インテリアランプ／パーソナルランプ.....P. 275
- ⑤ アシストグリップ★.....P. 292

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。重大な傷害におよぶが、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。(→P. 59)



安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に.....	26
安全なドライブのために	28
シートベルト.....	30
SRS エアバッグ.....	36
お子さまの安全のために	44
子供専用シート.....	45
チャイルドシートの 取り付け.....	54
排気ガスに対する注意	61
1-2. 盗難防止装置	
エンジンイモビライザー システム.....	62

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

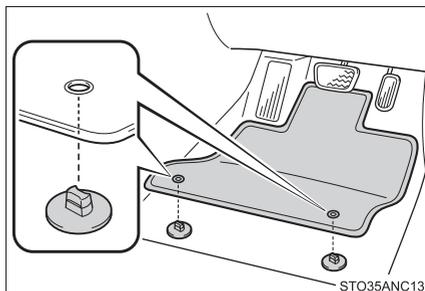
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

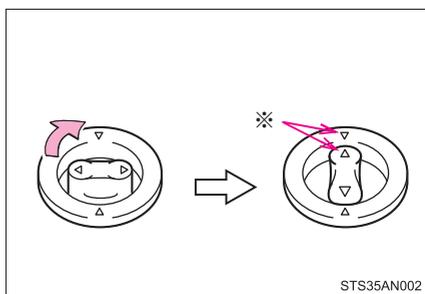
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にとしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

警告

次のことを必ずお守りください。

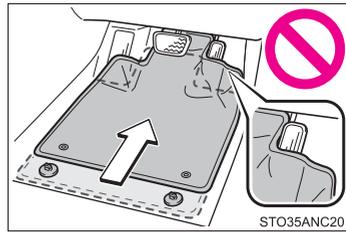
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびシフトレバーP（オートマチック車）またはN（マニュアル車）の状態、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する



安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→ P. 126）
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→ P. 126）
- ③ 分割式ヘッドレスト装着車：ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→ P. 130）
- ④ シートベルトを正しく着用する（→ P. 30）



シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→ P. 30）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→ P. 45）

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。（→ P. 135, 136）

 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシート（シートアンダートレイ付きの助手席を除く）の下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用する

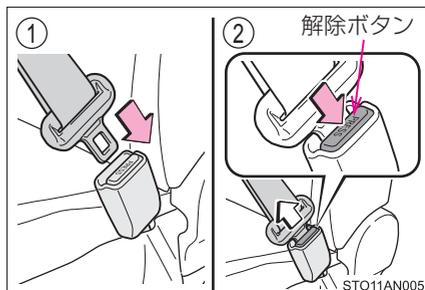
- 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



STO13ANC11

着け方・はずし方

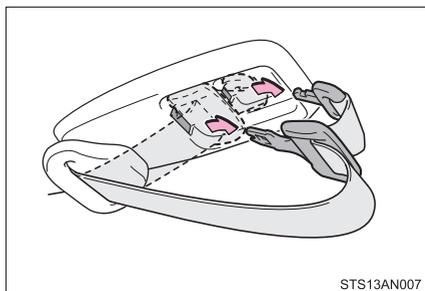
- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



STO11AN005

着け方（リヤ中央席）

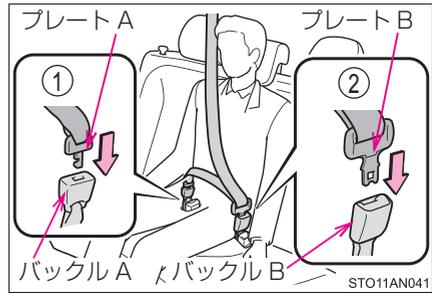
- ① 天井のホルダーからプレートを取り出す



STS13AN007

- 2 ベルトを固定するには、プレート A、プレート B の順に “カチッ” と音がするまでプレートをバックルに挿し込む

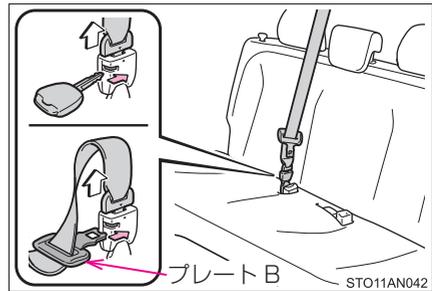
- ① プレート A、バックル A
- ② プレート B、バックル B



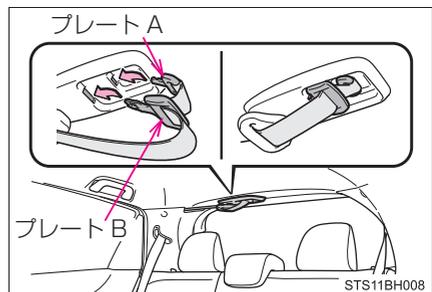
格納のしかた (リヤ中央席)

- 1 キー、またはプレート B をバックルの切り欠きに挿し込み、ベルトを分離する

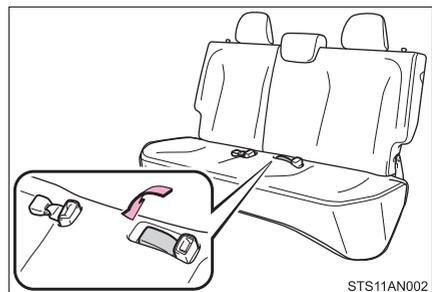
シートベルトを格納するときは、ベルトを持ちながらゆっくり巻きもどします。



- 2 プレート A、プレート B の順に天井のホルダーに奥まで挿し込む



- 3 リヤシートベルトのバックルを格納する

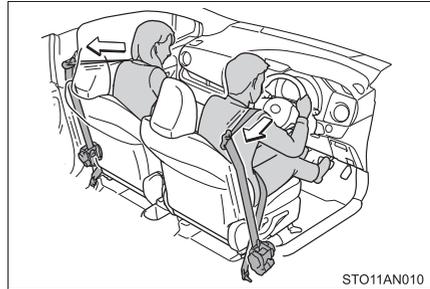


シートベルトプリテンショナー（フロント席）

▶ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車

前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

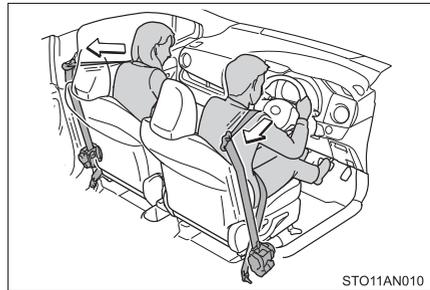
前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



▶ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車

前方・側方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方・側方からの衝撃が弱いときや、うしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



知識

■ シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。（→ P. 45）
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。（→ P. 30）

■ シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

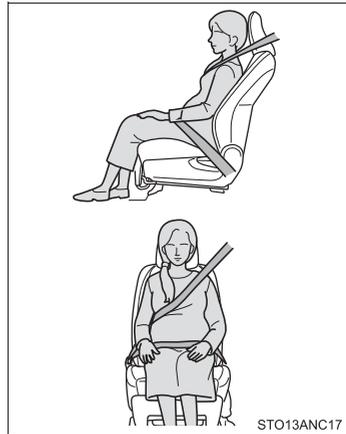
- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 30)

妊娠中の方も、通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるとしてお腹のふくらみの下に着用してください。また、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかると着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■疾患のある方の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

 **警告****■ プリテンショナー付きシートベルトについて**

シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告**■ リヤ中央席シートベルトについて**

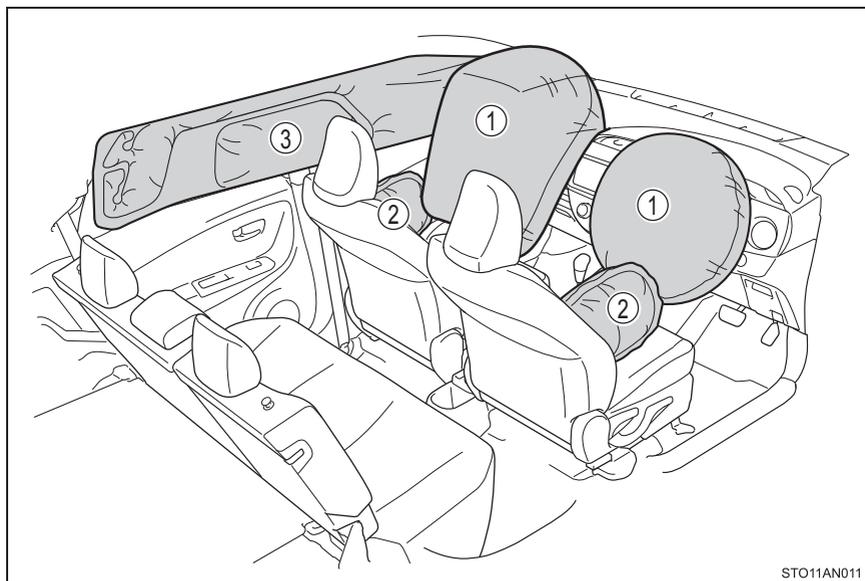
- リヤ中央席シートベルトを使用するときは、必ずプレート A とプレート B をそれぞれのバックルに結合してください。結合しない状態で使用すると、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 分割可倒シート装着車：右側のリヤシートを前に倒した状態で、リヤ中央席に座らないでください。倒したシートにリヤ中央席のシートベルトバックルが挟まれるため、正しく装着することができません。事故などの場合にシートベルトが十分な効果を発揮できず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- リヤ中央席シートベルトを格納するときは、プレートを確実に挿し込み、固定してください。正しく格納していないと、走行中にプレートが飛び出し、乗員にあたるなどしてけがをするおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

◆ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★

- ② SRS サイドエアバッグ
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- ③ SRS カーテンシールドエアバッグ
(フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

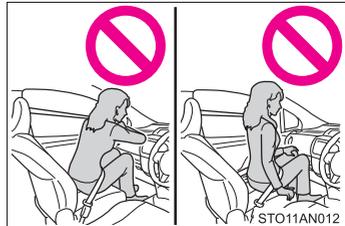
■ SRS エアバッグについて

次のことを必ずお守りください。

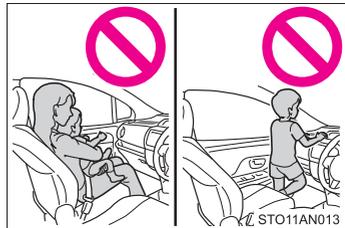
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→ P. 45)

- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



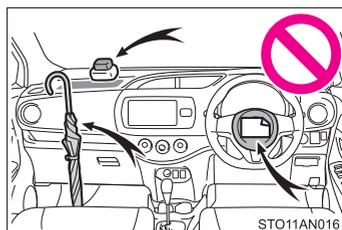
警告

■ SRS エアバッグについて

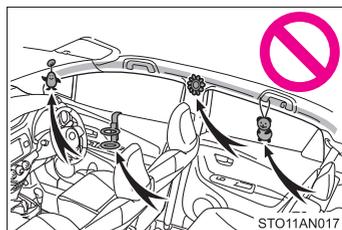
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：助手席では、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリアピラー、ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない
(速度制限ラベルを除く：→ P. 385)



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。
SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが展開する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って展開したりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■ SRS エアバッグについて**

- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたかなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車：SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

■ 改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール等周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウィンチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

 知識**■ SRS エアバッグが作動すると**

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車：フロント席などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：フロント席・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■ SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
 - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
 - ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）

- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

■ SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★）

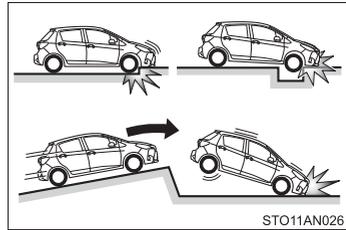
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が、約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
- 前面衝突時でも、とくに衝撃が大きい場合は左右の SRS カーテンシールドエアバッグが作動する場合があります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグと SRS カーテンシールドエアバッグが作動する場合があります。

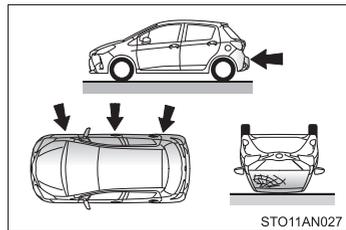
- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



■ SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

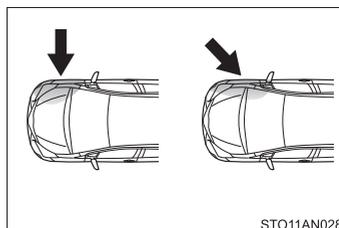
- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



■ SRSエアバッグが作動しないとき(SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ★)

斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

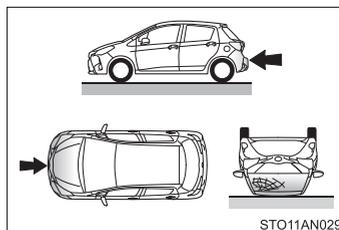
- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃



STO11AN028

SRS サイドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃では、通常は作動しません。

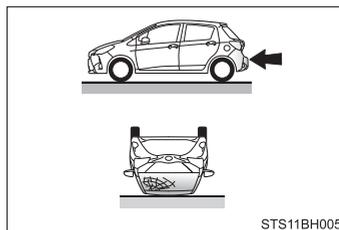
- 前方からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



STO11AN029

SRS カーテンシールドエアバッグは、後方からの衝撃・横転・または低速での前方や側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- 後方からの衝突
- 横転



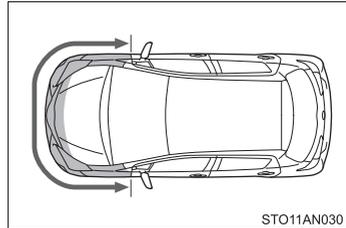
STS11BH005

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

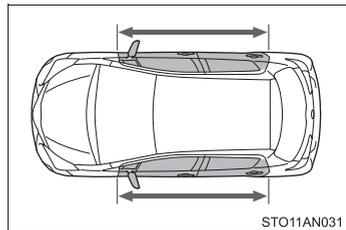
トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

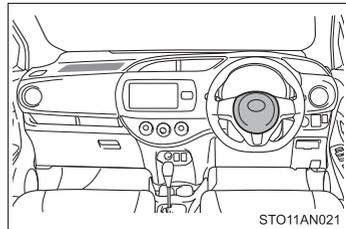
- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



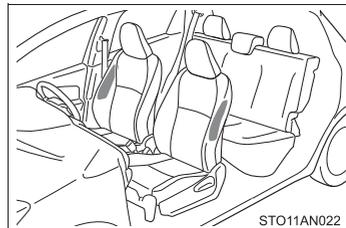
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS サイド&カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドアおよびその周辺部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



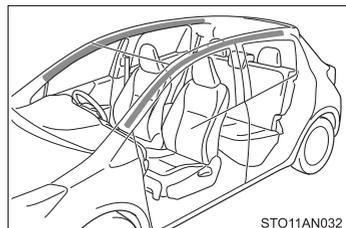
- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRSカーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 45)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 113)・ウィンドウロックスイッチ(→ P. 139)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 54)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44[※] の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

- グループ0: 10kg まで
- グループ0⁺: 13kg まで
- グループI: 9 ~ 18kg
- グループII: 15 ~ 25kg
- グループIII: 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それとともなう取り付け器具の記号になります。

子供専用シートの種類

▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、
0⁺に相当



▶ チャイルドシート

ECE R44 基準のグループ 0⁺、
Iに相当



▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループ II、III
に相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表 (シートベルトでの取り付け)

▶ FF 車 (前輪駆動)

質量グループ	着席位置 (または他の場所)		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席
0 (10kg まで)	×	L1	L1
0 ⁺ (13kg まで)	×	L1	L1
I (9 ~ 18kg)	前向き UF ^{*1,2}	L1 ^{*3}	L1 ^{*3}
	うしろ向き ×		
II (15 ~ 25kg)	UF ^{*1,2}	L2 ^{*2}	×
III (22 ~ 36kg)	UF ^{*1,2}	L2 ^{*2}	×

▶ 4WD 車 (4 輪駆動)

質量グループ	着席位置 (または他の場所)			
	フロントシート	リヤシート		
	助手席	右席	左席	中央席
0 (10kg まで)	×	×	L1	L1
0 ⁺ (13kg まで)	×	×	L1	L1
I (9 ~ 18kg)	前向き UF ^{*1,2}	L1 ^{*3}	L1 ^{*3}	L1 ^{*3}
	うしろ向き ×			
II (15 ~ 25kg)	UF ^{*1,2}	L2 ^{*2}	L2 ^{*2}	×
III (22 ~ 36kg)	UF ^{*1,2}	L2 ^{*2}	L2 ^{*2}	×

● 表に記入する文字の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの子供専用シートに適しています。

UF： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの前向き子供専用シートに適しています。

L1： この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child baby」に適しています。

L2： この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 ジュニアシート」に適しています。

×： 子供専用シートを取り付けることはできません。

※1： フロントシートの背もたれを直立状態にする。
フロントシートをいちばんうしろに下げる。

※2： 子供専用シートを取り付ける際は、車両のヘッドレストをはずす。

※3： 子供専用シートを取り付ける際は、車両のヘッドレストを最上段にする。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱い説明書もご確認ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
O (10kg まで)	E	ISO/R1	IL1
O+ (13kg まで)	E	ISO/R1	IL1
	D	ISO/R2	IL1
	C	ISO/R3	IL1
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF ^{※1} , IL1
	B1	ISO/F2X	IUF ^{※1} , IL1
	A	ISO/F3	IUF ^{※1} , IL1
II (15 ~ 25kg)		(1)	×
III (22 ~ 36kg)		(1)	×

● 上表に記入する文字の説明

(1) : サイズ等級表示 (A から G) のない子供専用シートの各シート位置での ISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL1 : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg」に適しています。

× : ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

※1 : 子供専用シートを取り付けるときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

ISOFIX 子供専用シートのリスト

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISOFIX 子供専用シート	カテゴリー
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
	D	ISO/R2		
	C	ISO/R3		
I (9 ~ 18kg)	B	ISO/F2	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
	B1	ISO/F2X		
	A	ISO/F3		

知識

■ ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■ 子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■ シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 47) を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→ P. 49) を確認して、適切なシートを選択してください。

① お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

- (例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「0+」になります。
 (例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

2 サイズ等級を選択する

手順①で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

(例 1) : 質量グループが「0+」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。また、「IL」と記載されている場合は、「ISOFIX 子供専用シートのリスト」(→ P. 50) で指定されている製品を使用してください。

3 子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用(ユニバーサル)子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。※

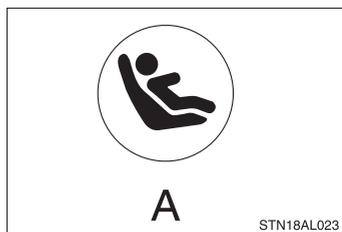
※ 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

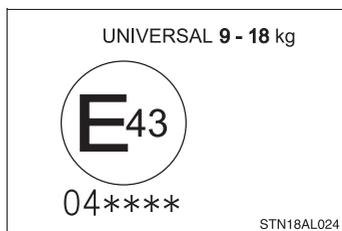
サイズ等級が示されています。(表示される文字は、製品により異なります)

手順②で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。

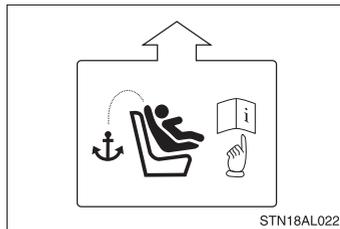


② 汎用(ユニバーサル)子供専用シートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



- ③ トップテザー (→ P. 54) を示すマーク
商品の取り付け装置の位置により、意匠
は異なります。



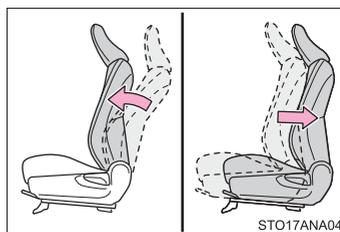
■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類 (サイズ等級別)

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート (キャリコット)
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート (キャリコット)

■ 助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- 背もたれを直立状態にする
- シートをいちばんうしろに下げる



■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。

警告

■子供専用シートを使用しない場合

- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けられた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

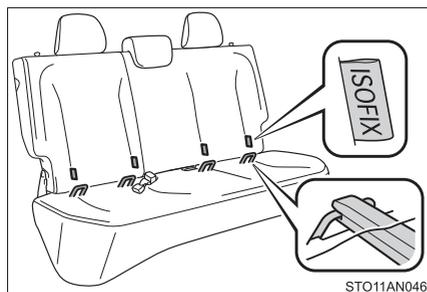
シートベルトによる取り付け
(→ P. 55)



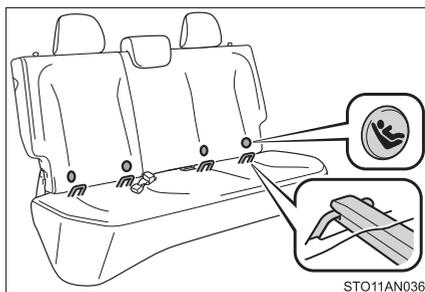
ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー (→ P. 56)

リヤ外側シートに装備されています。(固定専用バーが装備されていることを示すタグまたはボタンがシートに付いています)

▶ タグタイプ



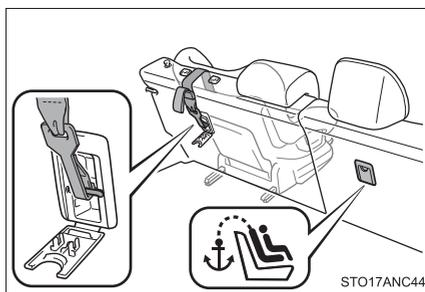
▶ ボタンタイプ



トップテザーアンカー (→ P. 56)

テザーベルトを固定するときに使います。

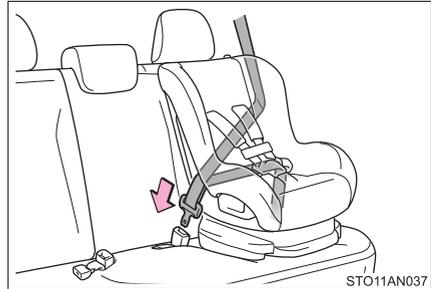
トップテザーアンカーはリヤシートの外側の座席に装備されています。



シートベルトで固定する

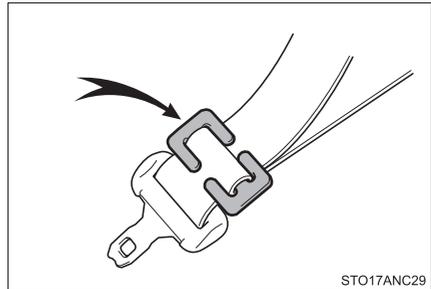
- 1 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートがバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



- 2 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロックングクリップ（別売）を使用して固定する

ロックングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロックングクリップ品番：73119-22010）

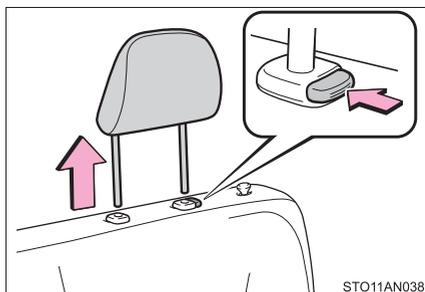


取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

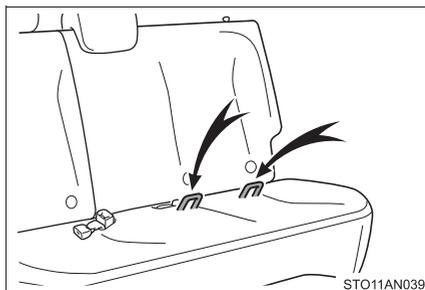
1 ヘッドレストをはずす

背もたれを倒してヘッドレストをはずしてください。(→ P. 130) その後、背もたれを固定してください。(→ P. 128)



2 ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認する

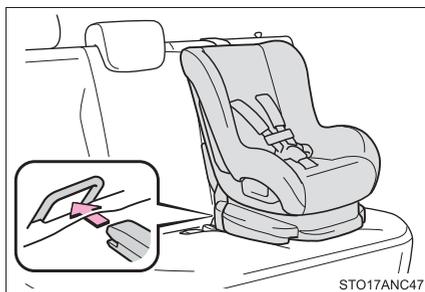
固定専用バーは、シートクッションの奥にあります。



3 チャイルドシートをシートに取り付ける

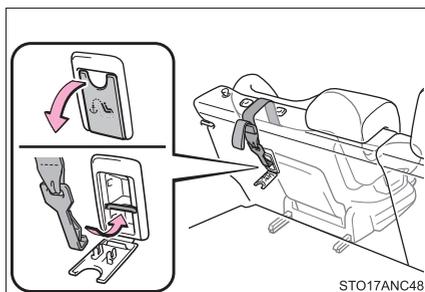
チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取り付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

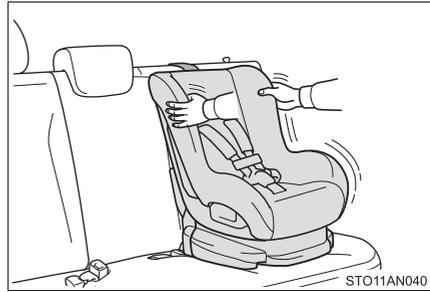


4 フタを開けてトップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。



- 5 取り付けたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



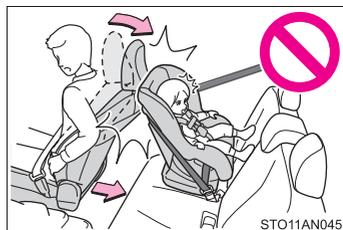
警告

■チャイルドシートについて

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告**■チャイルドシートを取り付けるとき**

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。



▲ 警告

■ チャイルドシートを取り付けるとき

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 助手席側のサンバイザー★または天井（一部車種）に、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。



- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。
助手席 SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告**■チャイルドシートを取り付けるとき**

- リヤ右側席にチャイルドシートを取り付けたときはリヤ中央席に座らないください。シートベルトとチャイルドシートが干渉しシートベルトが正しく着用できず、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■チャイルドシートを使用しないときは**

- 車両にチャイルドシートを搭載するときは、適切な方法で確実にシートに取り付けてください（→ P. 55, 56）。チャイルドシートを使用しない場合でも、シートにしっかり固定されていない状態で、客室内に置くことは避けてください。
- チャイルドシートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するか、ラゲージルーム内に収納し、しっかりと固定しておいてください。

注意**■トップテザーアンカーについて**

使用しないときはフタを確実に閉めてください。開けたままにしておくとフタが破損するおそれがあります。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。

バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■ 駐車するとき

- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■ 排気管について

排気管は定期的な点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジンモビライザーシステム

キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

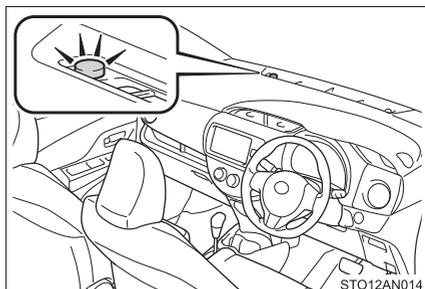
エンジンスイッチをOFFにすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

登録されたキーをエンジンスイッチに挿し込むとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

登録されたキーを携帯し、エンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



📖 知識

■ メンテナンスについて

エンジンモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■ システムが正常に作動しないとき

- キーが金属のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティ用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

⚠️ 注意

■ エンジンモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

メーターの見方

2

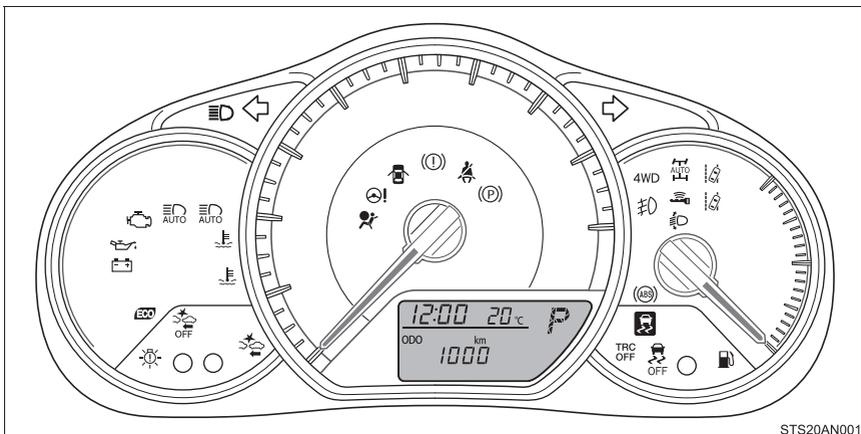
2. 計器の見方	
警告灯／表示灯.....	64
計器類.....	70
モノクロタイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ.....	75
カラータイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ.....	80

警告灯／表示灯

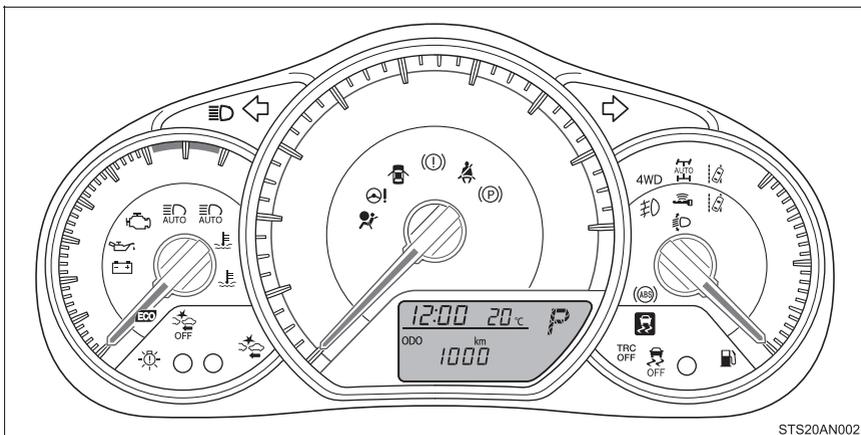
メーター内の警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。
次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。

◆ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ

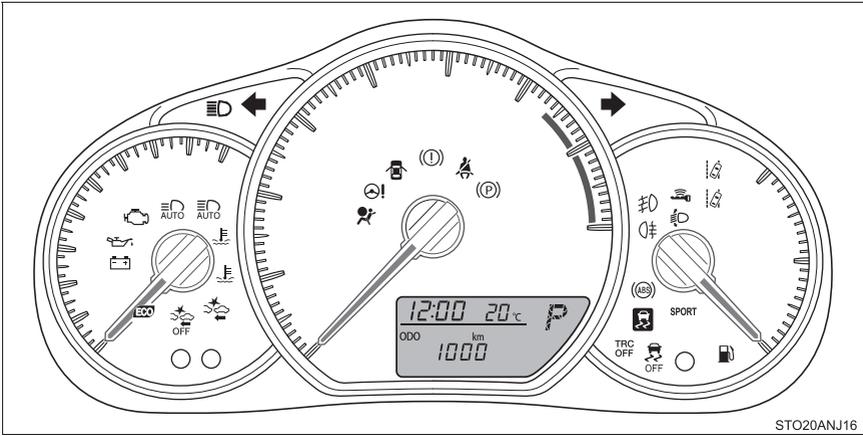
▶ タコメーター非装着車



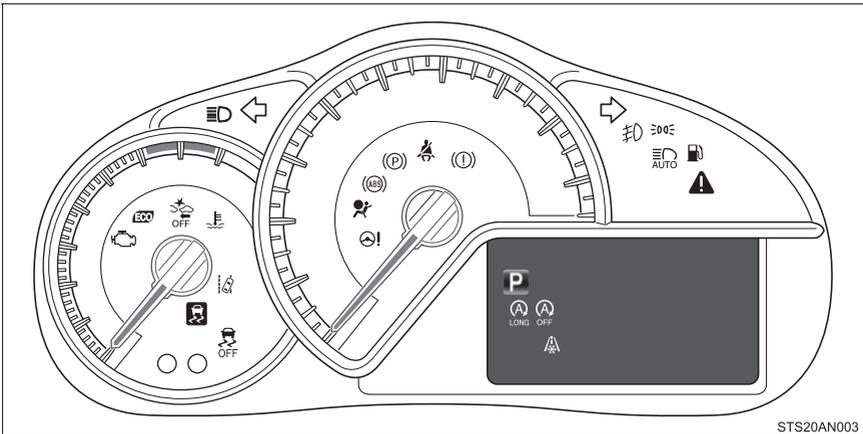
▶ タコメーター装着車（センタースピードメータータイプ）



▶ タコメーター装着車（センタータコメータータイプ）



◆ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ



警告灯

システム異常などを警告します。

※1 	ブレーキ警告灯 (→ P. 361)	※1, 5 	4WD警告灯★ (→ P. 363)
※1 	充電警告灯★ (→ P. 361)	※1 	ヘッドランプオートレベリング警告灯★ (→ P. 363)
※1 	油圧警告灯★ (→ P. 361)	 (黄色)	LDA (レーンディパーチャーアラート) 表示灯★ (→ P. 363)
※1, 2  (赤色)	高水温警告灯★ (→ P. 361)	※6  (黄色)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯★ (→ P. 363)
※1 	エンジン警告灯 (→ P. 361)		半ドア警告灯★ (→ P. 363)
※1 	SRSエアバッグ/ プリテンショナー警告灯 (→ P. 361)	※1 	LEDヘッドランプ警告灯★ (→ P. 363)
※1 	ABS & ブレーキアシスト 警告灯 (→ P. 362)		燃料残量警告灯 (→ P. 363)
※1, 3  OFF (点滅)	PCS (プリクラッシュセーフティシステム) 警告灯★ (→ P. 362)		運転席・助手席シートベルト非着用警告灯 (→ P. 363)
※1 	パワーステアリング警告灯 (→ P. 362)	※1 	パーキングブレーキ未解除 警告灯 (→ P. 364)
※1  (黄色)	オートマチックハイビーム 表示灯★ (→ P. 362)	※1 	マスターウォーニング★ (→ P. 364)
※1, 4 	スリップ表示灯 (→ P. 362)		

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※¹ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”にする（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをイグニッションONモードにする（スマートエントリー&スタートシステム装着車）と点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ※² 水温上昇にともない、点滅から点灯にかかります。
- ※³ 点灯した場合はシステムが一時的に使用不可であることを示します。
- ※⁴ 点滅した場合はシステムが作動していることを示し、点灯した場合はシステム異常のおそれがあります。
- ※⁵ 点滅した場合は駆動系の発熱を示し、点灯した場合はシステム異常のおそれがあります。
- ※⁶ 黄色に点滅した場合はシステム異常のおそれがあります。緑色に速く点滅した場合はステアリングロックが解除できていないことを示します。

表示灯

システムの作動状況を表示します。

	方向指示表示灯 (→ P. 181)		※ ¹ スリップ表示灯 (→ P. 249) (点滅)
	尾灯表示灯★ (→ P. 183)		※ ¹ VSC OFF 表示灯 (→ P. 250)
	ハイビーム表示灯 (→ P. 183)		※ ¹ TRC OFF 表示灯★ (→ P. 249)
	オートマチックハイビーム 表示灯★ (→ P. 228) (緑色)		※ ¹ PCS (プリクラッシュセー フティシステム) 作動表示 灯★ (→ P. 205, 209)
	フロントフォグランプ 表示灯★ (→ P. 188)		※ ^{1, 2} PCS (プリクラッシュセー フティシステム) 警告灯★ (→ P. 208)
	LDA (レーンディパー チャーアラート) 表示灯★ (→ P. 221) (緑色)		※ ¹ 4WD オートモード表示灯★ (→ P. 246)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



エコドライブインジケーターランプ★
(→P. 97, 147)



スマートエントリー&スタートシステム表示灯★
(→P. 161)



SPORT モード表示灯★
(→P. 175)



低温表示灯★



低水温表示灯



シフトポジション・シフトレンジ表示灯★
(→P. 174)



Stop & Start 表示灯
(NORMAL/LONG) ★
(→P. 238)



シフトポジション表示灯★
(→P. 170, 174)



Stop & Start キャンセル表示灯★ (→P. 239)



シフトポジション表示灯★
(→P. 170)



エンジンイモビライザーシステム表示灯 (→P. 62)

※1 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”にする(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)またはエンジンスイッチをイグニッションONモードにする(スマートエントリー&スタートシステム装着車)と点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

※2 システムがOFFのときに点灯します。

※3 エンジン冷却水温が低いとき点灯します。

※4 状況により、点灯または点滅する場合があります。

※5 マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

※6 ダッシュボードにある表示灯が点滅します。

※7 外気温が約3℃以下のとき、約10秒間点滅後に点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■安全装置の警告灯が点灯しないとき**

ABS や SRS エアバッグなどの安全装置の警告灯が、エンジンを始動しても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

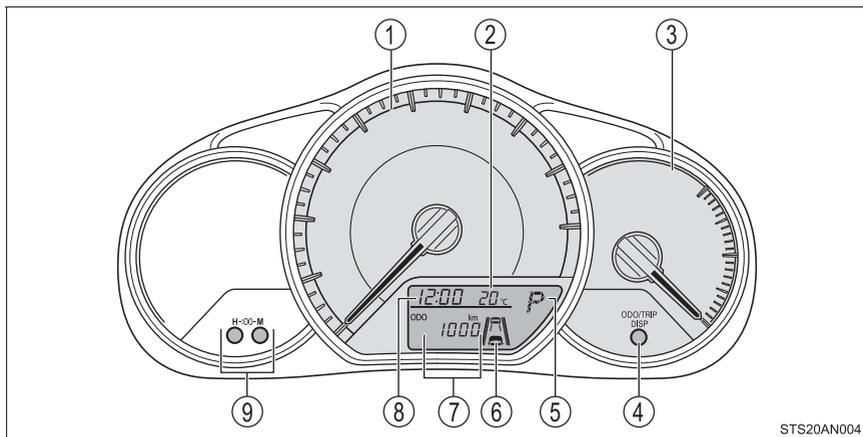
 **注意****■エンジンや構成部品への損傷を防ぐために**

- モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：
水温計のかわりに高水温警告灯（→ P. 361）が装備されています。高水温警告灯が赤色点滅または点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。（→ P. 413）
- カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：
水温計のかわりにマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージ（→ P. 367）が表示されます。「エンジン冷却水高温」と警告メッセージが表示されたときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。（→ P. 413）

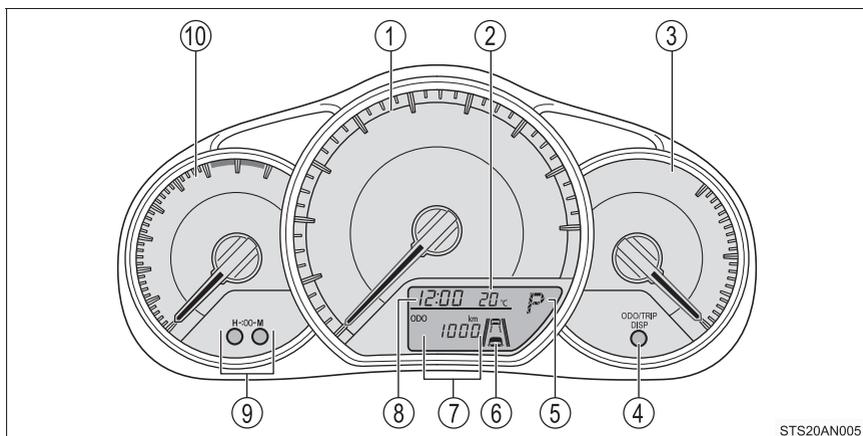
計器類

◆ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ

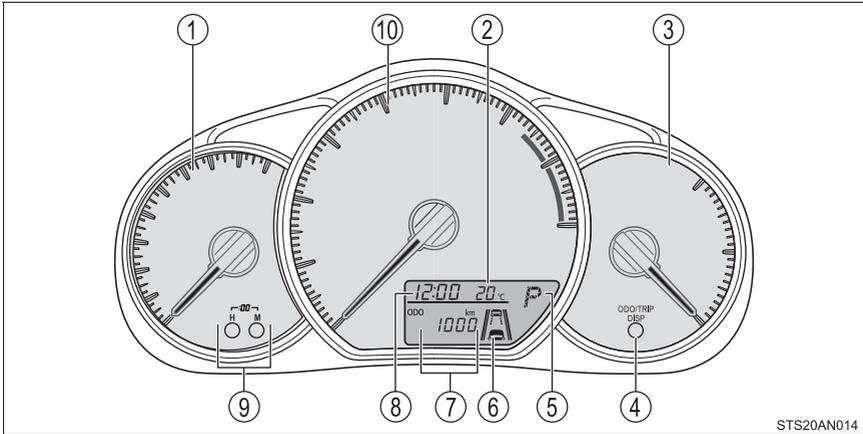
▶ タコメーター非装着車



▶ タコメーター装着車（センタースピードメータータイプ）

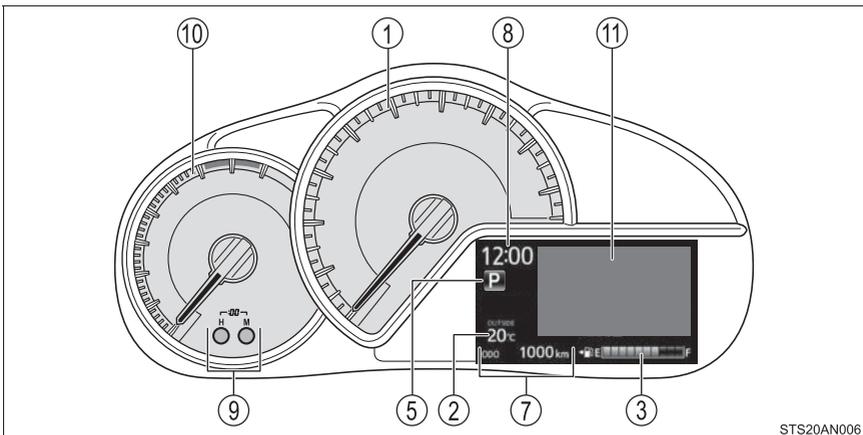


▶ タコメーター装着車（センタータコメータータイプ）



STS20AN014

◆ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ



STS20AN006

① スピードメーター

車両の走行速度を示します。

② 外気温表示*

外気温を -40°C ～ 50°C のあいだで表示します。（→ P. 77, 82）

カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車は、外気温が約 3°C 以下のときに低温表示灯（→ P. 68）が点灯します。

③ 燃料計 ※

燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。

- ・ 少量給油 (約 5L 未満) を行ったとき
- ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・ 坂道やカーブを走行したとき

④ 表示切りかえボタン

オドメーター／トリップメーター／燃費表示などの切りかえができます。
(→ P. 75, 80)

⑤ シフトポジション表示★

→ P. 170, 174

⑥ LDA (レーンディパーチャーアラート) ★／先行車発進告知表示★
(→ P. 220, 233)

⑦ トリップインフォメーション

オドメーター／トリップメーター／燃費表示などを表示します。
(→ P. 76, 82)

⑧ 時計表示 ※

時刻を表示します。(→ P. 73)

⑨ クロックセットボタン

→ P. 73

⑩ タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。

⑪ マルチインフォメーションディスプレイ

→ P. 75, 80

※ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：シンプル表示を選択しているときは表示が移動します。(→ P. 84)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

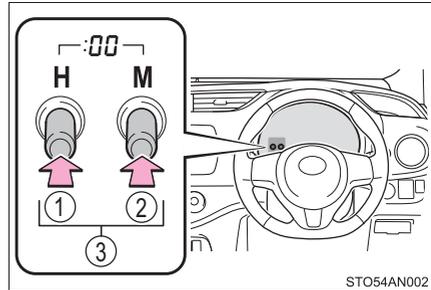
時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

- ① “時” を調整する (H)
- ② “分” を調整する (M)
- ③ “分” を 00 にする ※

クロックセットボタンを同時に 1 秒以上押します。

※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00
1:30 ~ 1:59 → 2:00



STO54AN002

知識

■メーター・ディスプレイの作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■燃料計と航続可能距離について (モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車)

燃料計と航続可能距離は連動しています。少量給油後に燃料計と航続可能距離の表示が更新されない場合、次の操作を行うことで表示を更新することができます。

- 1 車両を平坦な場所に停車させる
- 2 表示切りかえボタンを押してオドメーター/トリップメーターの表示をオドメーター表示に切りかえる
- 3 エンジンスイッチを“LOCK” (スマートエントリー&スタートシステム非装着車) またはエンジンスイッチを OFF (スマートエントリー&スタートシステム装着車) にする
- 4 表示切りかえボタンを押したまま、エンジンスイッチを“ON” (スマートエントリー&スタートシステム非装着車) またはエンジンスイッチを ON モード (スマートエントリー&スタートシステム装着車) にする
- 5 そのまま約 5 秒間表示切りかえボタンを押し続け、オドメーターが点滅を開始したら手をはなす

オドメーターが約 5 秒間点滅したあと、通常の表示にもどれば、更新は終了です。

■ バッテリー端子を脱着したとき

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

注意

■ エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

タコメーター装着車はタコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。

モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ★

表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

- トリップインフォメーション
(→ P. 76)

オドメーターやトリップメーター、燃費表示などを表示します。

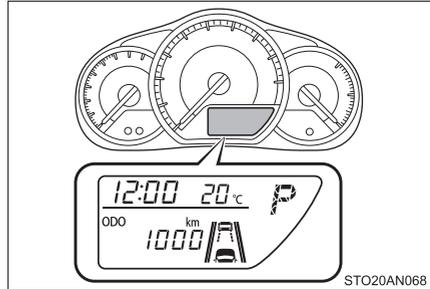
- シフトポジション表示★
(→ P. 170, 174)

- LDA (レーンディパーチャーアラート) ★ (→ P. 220)

- 先行車発進告知機能★ (→ P. 233)

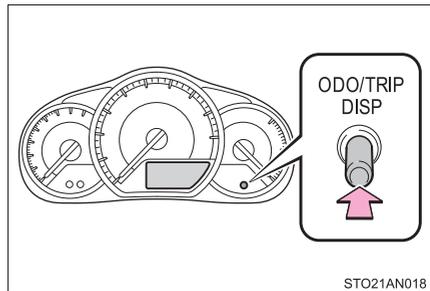
- PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★ (→ P. 205)

プリクラッシュセーフティシステムの警報タイミングを変更することができます。
(→ P. 209)



表示切りかえ

表示を切りかえるには、表示切りかえボタンを押します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

トリップインフォメーション

■ オドメーター



走行した総距離を表示します。

■ トリップメーター A※ / トリップメーター B※



リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター A またはトリップメーター B の表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押します。

※ : 区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

■ 瞬間燃費



現在の瞬間燃費を表示します。

■ 平均燃費



リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費表示中に表示切りかえボタンを押し続けます。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ 航続可能距離



現在の燃料残量で走行できる、およその距離を表示します。

- ・ 運転履歴から学習した燃費と現在の燃料残量から算出した走行可能な距離を表示します。使用環境（気象、渋滞など）や運転方法（急発進、エアコンの使用など）に応じて燃費が変わるため、実際に走行できる距離とは異なります。
- ・ 燃料給油量が少量（5L 未満）のとき、表示が更新されないことがあります。この場合、燃料計の表示と共に更新することができます。（→ P. 73）

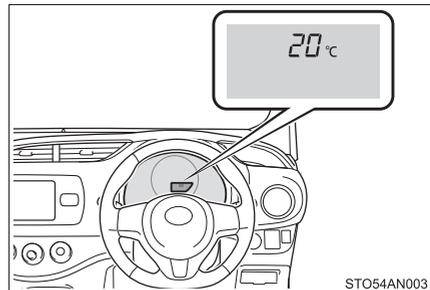
■ 平均車速



エンジンを始動してからの平均車速を表示します。

外気温表示

マルチインフォメーションディスプレイに -40℃から 50℃のあいだで表示されます。



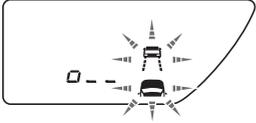
設定

◆ 設定変更のしかた

- 1 オドメーター表示中にメーターの表示切りかえボタンを5秒以上押し、画面をカスタマイズモードに切りかえる
- 2 表示切りかえボタンを押し、設定を変更したい項目を表示させるボタンを押すごとに項目が切りかわります。
- 3 表示切りかえボタンを長押しし、設定を変更するボタンを長押しすることにより設定が切りかわります。

カスタマイズモードを終了するには、画面に「End」が表示されるまで表示切りかえボタンを押した後、ボタンを2秒以上押ししてください。

◆ 設定変更できる項目

表示	設定内容	設定結果
	高い 00	LDA (レーンディパーチャーアラート)★警報感度を調整できます。
	普通 0_	
	ON	先行車発進★の告知設定のON / OFF 切りかえができます。
	OFF	
	遅い 0_ _	先行車発進★の告知タイミングを調整できます。
	普通 00_	
	早い 000	
	ON	エコドライブインジケーターランプ★のON / OFF 切りかえができます。
	OFF	

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うとき、次のデータはリセットされます。

- ・ 平均燃費
- ・ 航続可能距離
- ・ 平均車速

■ 外気温表示について

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫、トンネルの出入り口付近など）

■ 外気温が “-” または “E” が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

 警告

■ 低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばギヤ段表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにギヤ段の表示が切りかわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトすることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ★

表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

- トリップインフォメーション
(→ P. 82)

オドメーターやトリップメーターなどを表示します。

- ドライブインフォメーション
(→ P. 83)

走行に関するさまざまな情報を表示します。

- エコ (→ P. 84)

燃費の情報などを表示します。

- Stop & Start システム情報 (→ P. 87)

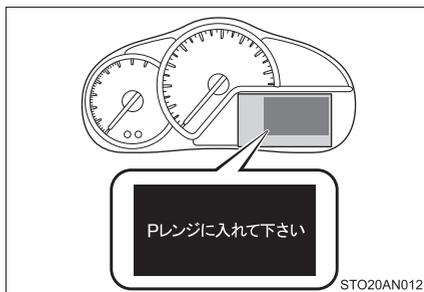
Stop & Start システムの作動状態を表示します。

- 設定 (→ P. 89)

日付の修正や、画面の設定・変更を行います。

- 警告メッセージ (→ P. 367)

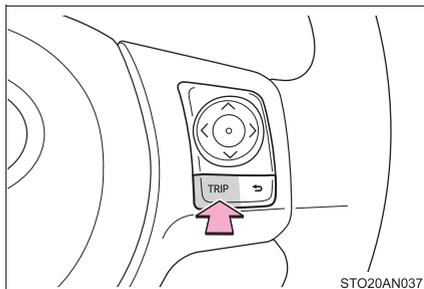
各システムに異常が発生すると、自動で表示されます。



表示切りかえ

- トリップインフォメーション表示の切りかえ

表示を切りかえるには、TRIP スイッチを押します。

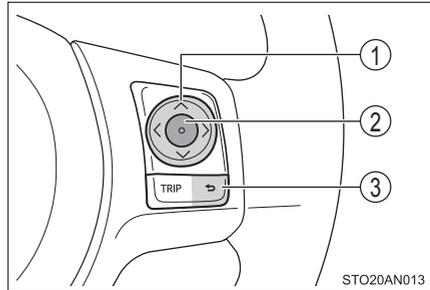


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ マルチインフォメーションディスプレイ表示の切りかえ

表示を切りかえるには、メーター操作スイッチを押します。

- ① 選択スイッチ
項目や画面を選択／移動します。
- ② 決定スイッチ
決定します。
- ③ もどるスイッチ
ひとつ前の画面にもどります。

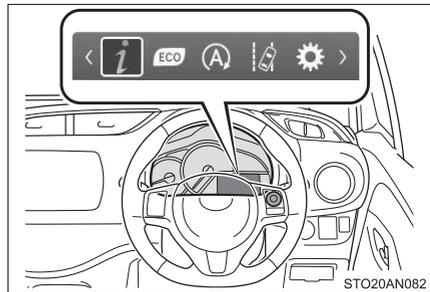


STO20AN013

メニュー画面

メーター操作スイッチの < または、 > を押すと、画面上に操作ガイドが表示され、それぞれの項目を切りかえることができます。

選択中の項目がタブで囲われます。



STO20AN082



ドライブインフォメーション (→ P. 83)



エコ (→ P. 84)



Stop & Start システム情報 (→ P. 87)



LDA (レーンディパーチャーアラート／車線逸脱警報) ★

(→ P. 220)



設定 (→ P. 89)

△ または、▽ を押すと、タブ内の項目を切りかえることができます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

トリップインフォメーション

TRIP スイッチを押すごとに次のように切りかわります。

① オドメーター

走行した総距離を表示します。

② トリップメーター A^{*}

リセットしてからの走行距離を表示します。

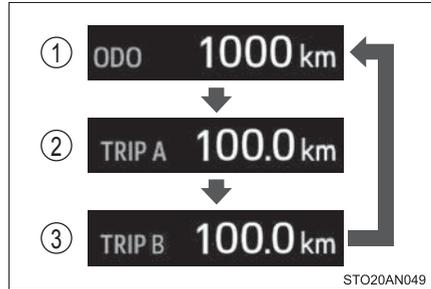
リセットするには、トリップメーター A の表示中に TRIP スイッチを 1 秒以上押します。

③ トリップメーター B^{*}

リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター B の表示中に TRIP スイッチを 1 秒以上押します。

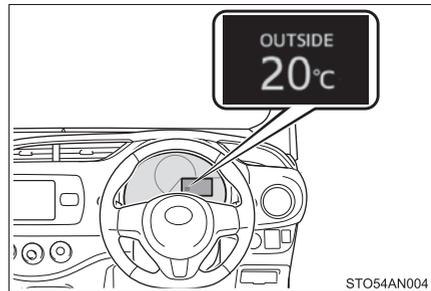
^{*} : 区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。



外気温表示

マルチインフォメーションディスプレイに -40 °C から 50 °C のあいだで表示されます。

シンプル表示を選択しているときは表示が移動します。(→ P. 84)



ドライブインフォメーション

■ ドライブインフォメーション

平均燃費、平均車速、走行時間はオドメーターとトリップメーターのどちらかを表示しているかによって、表示内容が異なります。

- オドメーター表示時：エンジンを始動してからの記録を表示します。



- トリップメーター表示時：トリップメーターをリセットしてからの記録を表示します。トリップメーター A・B それぞれの記録を表示します。

トリップメーターをリセットすると、記録もリセットされます。(→ P. 82)

① 平均燃費 ※

平均燃費を表示します。

② 走行時間 ※

走行時間を表示します。

③ アイドリングストップ時間

エンジン始動後のアイドリングストップ時間(Stop & Start システムによるエンジン停止時間)を通算で表示します。

④ 航続可能距離

- ・ 運転履歴から学習した燃費と現在の燃料残量から算出した走行可能な距離を表示します。使用環境(気象、渋滞など)や運転方法(急発進、エアコンの使用など)に応じて燃費が変わるため、実際に走行できる距離とは異なります。
- ・ 燃料給油量が少量(5L未満)のとき、表示が更新されないことがあります。

※：設定により平均車速を表示することもできます。(→ P. 92)

■ デジタルスピード

デジタルスピードメーターを表示します。

- ① 車速
- ② 航続可能距離

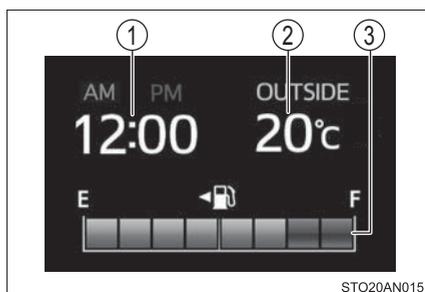


STO20AN014

■ シンプル表示

時計、外気温、燃料計を拡大した画面を表示します。

- ① 時計
- ② 外気温
- ③ 燃料計



STO20AN015

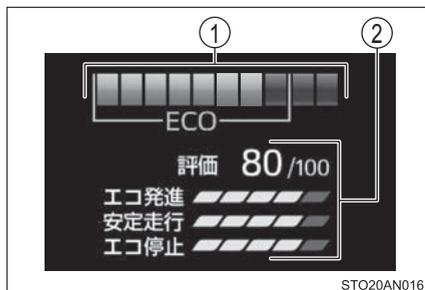
エコ

■ エコジャッジ

エコ運転の状況を判定し表示します。

- ① エコドライブインジケーターゾーン (→ P. 97)
- ② エコ運転状況の表示

運転の状況を、エコ発進・安定走行・エコ停止の3パターンに分け、5段階で表示します。また、車両が停止するたびに点数を表示します。(発進するごとにリセットされ、積算は行いません)



STO20AN016

■ エコウォレット

▶ 消費金額

ガソリン価格を入力すると、走行距離に応じて消費したガソリンの金額を表示します。

設定画面でガソリン価格を入力します。(→ P. 93)



▶ お得金額

比較燃費を入力すると、比較燃費を入力してから実際に走行した燃費との差が、お得金額として表示されます。

- ① お得金額
- ② 比較燃費

設定画面で比較したい任意の燃費数値を入力します。(→ P. 93)



オドメーターとトリップメーターのどちらかを表示しているかによって、表示が異なります。

- オドメーター表示時：エンジンを始動してからの金額を表示します。
- トリップメーター表示時：トリップメーターをリセットしてからの金額を表示します。トリップメーター A・B それぞれの金額を表示します。

トリップメーターをリセットすると、金額もリセットされます。(→ P. 82)

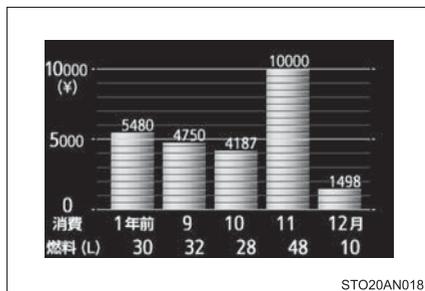
■ エコウォレット履歴

エコウォレットで比較燃費を入力しなければ消費金額の履歴を表示し、入力するとお得金額の履歴を表示します。

今月、過去 3 か月分と 1 年前の同月を表示し、比較することができます。

グラフに加え数字も表示します。

履歴をリセットすることができます。(→ P. 99)

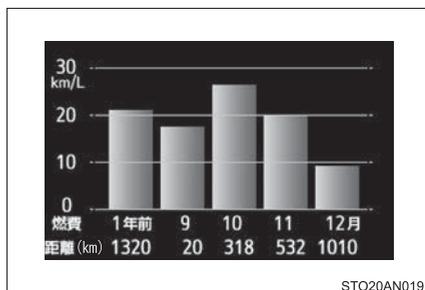


■ 燃費履歴 (月平均)

月ごとの平均燃費を表示します。

今月、過去 3 か月分と 1 年前の同月を表示し、比較することができます。

履歴をリセットすることができます。(→ P. 99)



■ 燃費ランキング

過去の燃費ベスト 3 と現在の順位を表示します。

オドメーターとトリップメーターのどちらかを表示しているかによって、表示が異なります。

● オドメーター表示時：エンジンを始動してからの記録を表示します。

● トリップメーター表示時：トリップメーターをリセットしてからの記録を表示します。トリップメーター A・B それぞれの記録を表示します。



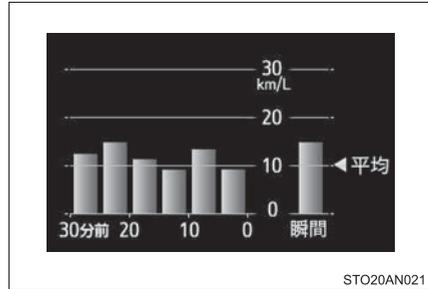
順位は 100 位までを表示し、以降はランク外として表示されます。

履歴をリセットすることができます。(→ P. 99)

■ 5分間燃費／瞬間燃費

エンジンを始動してからの燃費履歴を5分刻みで表示します。瞬間燃費を同時に表示し、過去の燃費と比較することができます。

燃費履歴の燃費時間を変更することができます。(→P. 100)



Stop & Start システム情報

■ アイドリングストップ時間

アイドリングストップ時間 (Stop & Start システムによるエンジン停止時間) を表示します。

- ① 現在
- ② エンジン始動後 (通算)
- ③ リセット後 (通算)



エアコンの  (マニュアルエアコン装着車) または  (オートエアコン装着車) が ON のときの Stop&Start システムによるエンジン停止時間を切りかえることができます。(→P. 90, 100, 244)

アイドリングストップ時間をリセットすることができます。(→P. 101)

■ アイドリングストップ時間／アイドリングストップ節約燃料

アイドリングストップ時間 (Stop & Start システムによるエンジン停止時間) とアイドリングストップ時間中の節約燃料 (参考) を表示します。

- ① 現在 (アイドリングストップ時間)
- ② エンジン始動後 (節約燃料)
- ③ リセット後 (節約燃料)

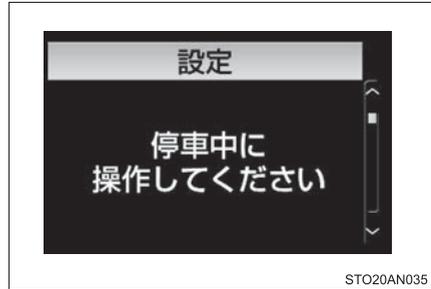


エアコンの  (マニュアルエアコン装着車) または  (オートエアコン装着車) が ON のときの Stop&Start システムによるエンジン停止時間を切りかえることができます。(→ P. 90, 100, 244)

アイドリングストップ時間節約燃料をリセットすることができます。(→ P. 101)

設定

車両走行中は操作できません。必ず安全な場所に停車して操作してください。



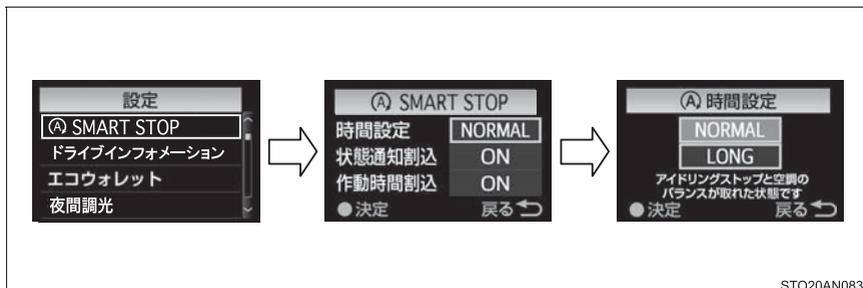
次の内容を設定できます。

- アイドリングストップ時間 (→ P. 90)
- 割り込み表示 (→ P. 91)
- LDA 設定★ (→ P. 91)
- 先行車発進告知機能設定★ (→ P. 91)
- ドライブインフォメーション (→ P. 92)
- エコウォレット設定 (→ P. 93)
- 夜間調光 (→ P. 93)
- エコドライブインジケータランプ (→ P. 94)
- 操作ガイド表示 (→ P. 94)
- 日付 (→ P. 95)
- 走行結果表示 (→ P. 95)
- 初期化 (→ P. 96)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ アイドリングストップ時間

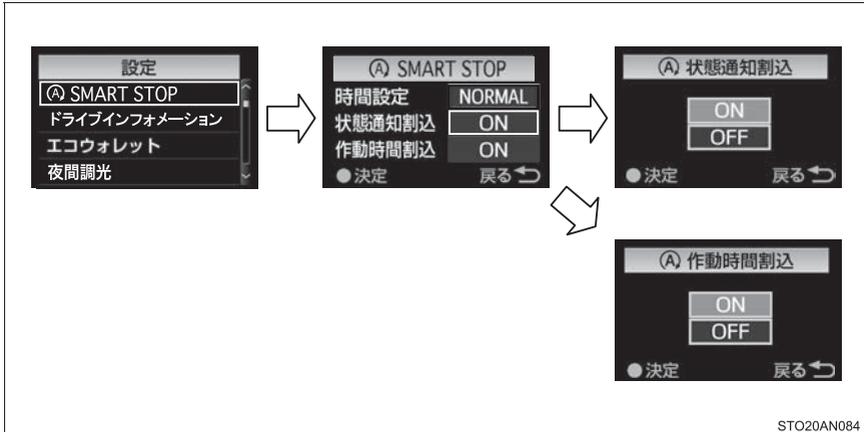
エアコンの  (マニュアルエアコン装着車) または  (オートエアコン装着車) が ON のときの Stop & Start システムによるエンジン停止時間を切りかえることができます。



- 1 メーター操作スイッチの  または、 で「 SMART STOP」を選択し、 (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの  または、 で「時間設定」を選択し、 (決定スイッチ) を押す。
- 3 メーター操作スイッチの  または、 で項目を選択し、 (決定スイッチ) を押す。

■ 割り込み表示

状況に応じてマルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示される項目の表示・非表示を選択することができます。



- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「**(A) SMART STOP**」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「状態通知割込」または、「作動時間割込」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 3 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で ON または、OFF を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ LDA 設定★

LDA 警報感度を 2 段階から選択することができます。(→ P. 225)

■ 先行車発進告知機能設定★

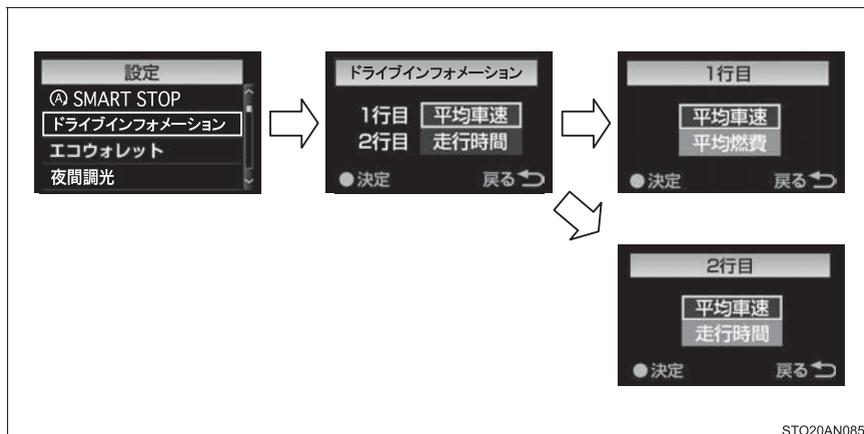
次の先行車発進告知機能の設定を変更することができます。
(→ P. 235, 236)

- 告知機能の ON / OFF を選択することができます。
- 告知タイミングを 3 段階から選択することができます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ドライブインフォメーション

ドライブインフォメーション画面の1行目と2行目の項目を「平均車速」・「平均燃費」・「走行時間」から選択できます。

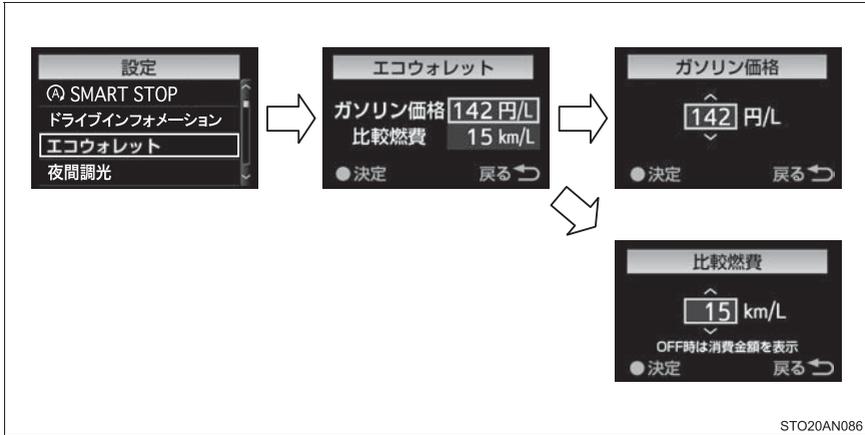


STO20AN085

- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「ドライブインフォメーション」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「1行目」または、「2行目」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 3 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で項目を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ エコウォレット設定

ガソリン価格の設定・比較燃費の設定ができます。

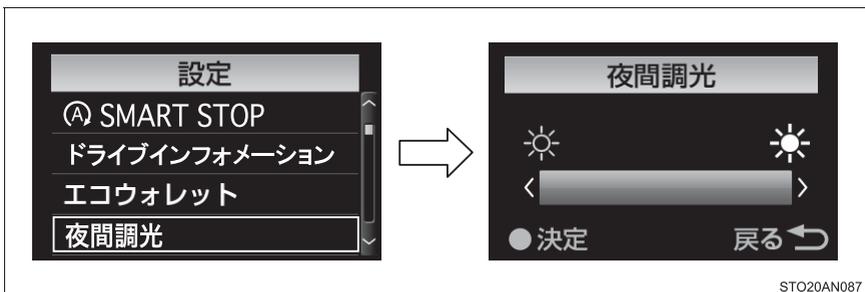


- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「エコウォレット」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「ガソリン価格」または、「比較燃費」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 3 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で数値を設定し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ 夜間調光

車幅灯点灯時のメーター照度を調整できます。

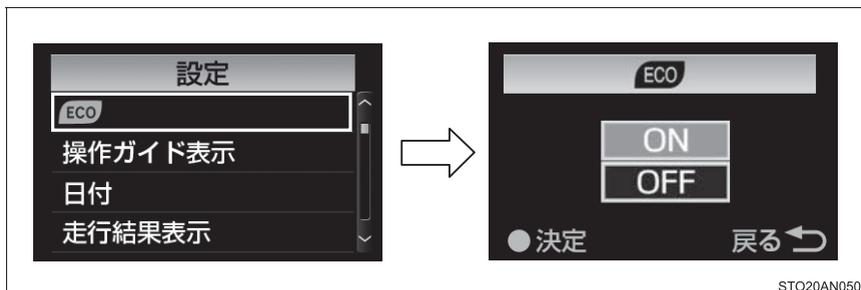
車幅灯が点灯しているときに調整できます。



- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「夜間調光」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \langle (暗) または、 \rangle (明) で照度を設定し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ エコドライブインジケータランプ

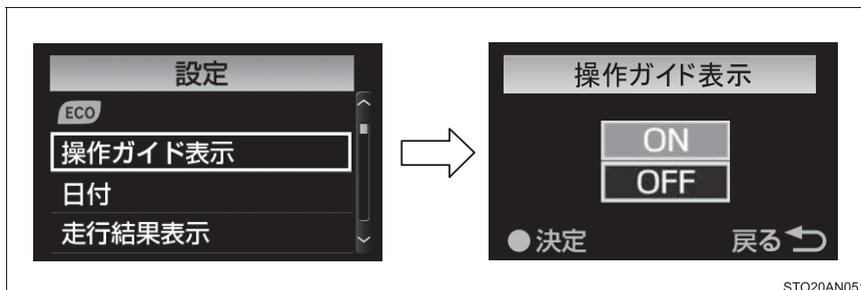
エコドライブインジケータランプの表示・非表示を選択することができます。



- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「ECO」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で ON または、OFF を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ 操作ガイド表示

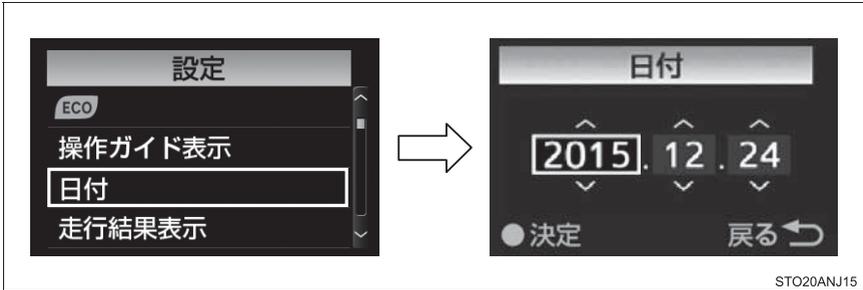
操作ガイドの表示・非表示を選択することができます。



- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「操作ガイド表示」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で ON または、OFF を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ 日付

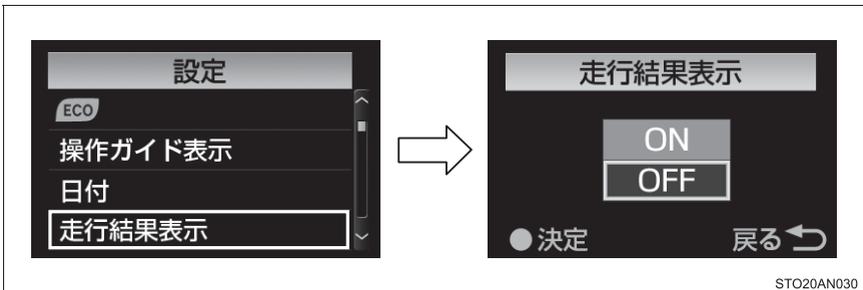
日付の変更ができます。



- 1] メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「日付」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2] メーター操作スイッチの \lt または、 \gt で年/月/日を選択し、 \wedge または、 \vee で数値を設定し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ 走行結果表示

走行結果表示の表示・非表示を選択することができます。

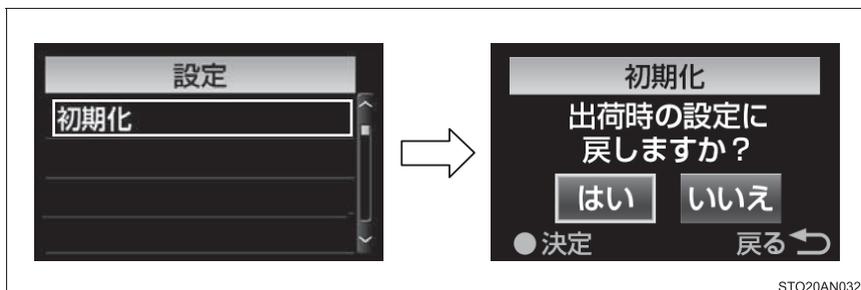


- 1] メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「走行結果表示」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2] メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で ON または、OFF を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

■ 初期化

設定画面から初期化を行うことで次の項目を初期（工場出荷時の設定）にもどすことができます。

- ・ ドライブインフォメーション
- ・ 割り込み表示
- ・ エコドライブインジケーター
- ・ 操作ガイド表示



STO20AN032

- 1 メーター操作スイッチの \wedge または、 \vee で「初期化」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。
- 2 メーター操作スイッチの \leftarrow または、 \rightarrow で「はい」または、「いいえ」を選択し、 \odot (決定スイッチ) を押す。

今回の走行結果表示

エンジンを停止すると、エンジンを始動したときからの走行データを一覧で表示します。

ドアをロックすると画面は消えます。

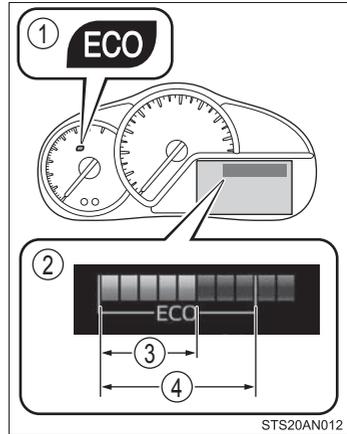
今回の走行	
走行距離	100.0 km
走行時間	2 h 30 m
燃費	15.0 km/L
消費	¥ 946

STO20AN033

 知識

■エコドライブインジケータ

- ① エコドライブインジケータランプ
環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケータランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。
- ② エコドライブインジケータゾーン表示
エコ運転の範囲と現状のアクセル開度を表示します。
- ③ 現状のアクセル開度
現状のアクセル開度がエコ運転の範囲をこえたとき、エコドライブインジケータゾーン表示の右側が点灯します。このとき、エコドライブインジケータランプは消灯します。



④ エコ運転の範囲

次の場合、エコドライブインジケータは作動しません。

- シフトレバーがD以外にあるとき
- 車速が約100km/h以上のとき

エコドライブインジケータランプの表示/非表示を設定できます。(→ P. 94)

■エコジャッジについて

走行条件や環境によって評価点は変化します。そのため、燃費とリンクしない場合があります。

■エコウォレットについて

- 消費金額・お得金額は目安として利用してください。
- 給油のしかた・走行条件・環境などによって、実際に給油したときの金額と画面に表示される金額に差が出る場合があります。
- 消費金額・お得金額は、エコジャッジの評価点とはリンクしない場合があります。

■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うとき、次のデータはリセットされます。

- 時計
- 燃費ランキング（4位以下）
- 平均車速
- 平均燃費
- 走行時間
- 航続可能距離

■外気温表示について

次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約20km/h以下）のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫、トンネルの出入り口付近など）

■外気温が“-” または“E”が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

履歴の消去について

エコウォレット履歴・燃費履歴（月平均）・燃費ランキングを消去することができます。

- 1 消去したい履歴画面を表示しているときに （決定スイッチ）を押し続けると、履歴リセット画面を表示します。

- ① エコウォレット履歴
- ② 燃費履歴（月平均）
- ③ 燃費ランキング

The diagram illustrates the steps to delete history for three different screens. Each screen is shown with an arrow pointing to a '履歴リセット' (History Reset) confirmation dialog.

① エコウォレット履歴 (Eco Wallet History): The screen shows a bar chart of fuel consumption in liters (L) for the last 12 months. The values are: 1年前 (30), 9 (32), 10 (28), 11 (48), 12月 (10). The total consumption is 1498 L. The confirmation dialog asks: 「履歴リセット エコウォレット履歴をリセットしますか？」 (Reset history. Do you want to reset Eco Wallet history?).

② 燃費履歴（月平均） (Monthly Average Fuel Consumption History): The screen shows a bar chart of fuel consumption in km/L for the last 12 months. The values are: 1年前 (20), 9 (15), 10 (25), 11 (20), 12月 (10). The total distance is 1010 km. The confirmation dialog asks: 「履歴リセット 燃費履歴をリセットしますか？」 (Reset history. Do you want to reset fuel consumption history?).

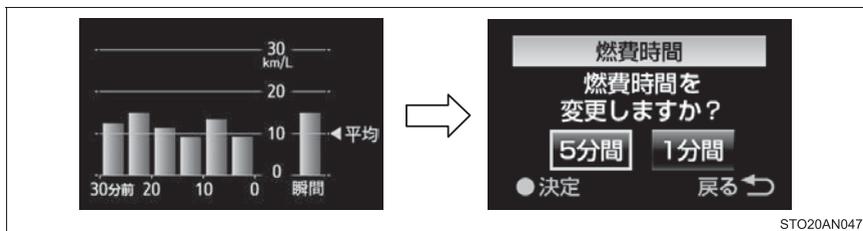
③ 燃費ランキング (Fuel Ranking): The screen shows fuel consumption and distance for the top 3 rankings. The 2nd ranking is 21.5 km/L (2014.11.12, 81.5km). The 1st ranking is 26.8 km/L (2014.10.19, 57.7km). The 3rd ranking is 20.0 km/L (2014. 9.19, 105.2km). The average fuel consumption is 10.0 km/L and the ranking is 外/100. The confirmation dialog asks: 「履歴リセット 燃費ランキングをリセットしますか？」 (Reset history. Do you want to reset fuel ranking history?).

STO20AN023

- 2 メーター操作スイッチの または、 を押して「はい」を選択し、（決定スイッチ）を押すと、履歴が消去されます。

■ 5分間燃費／瞬間燃費画面について

燃費時間を5分刻み、または1分刻みで表示することができます。

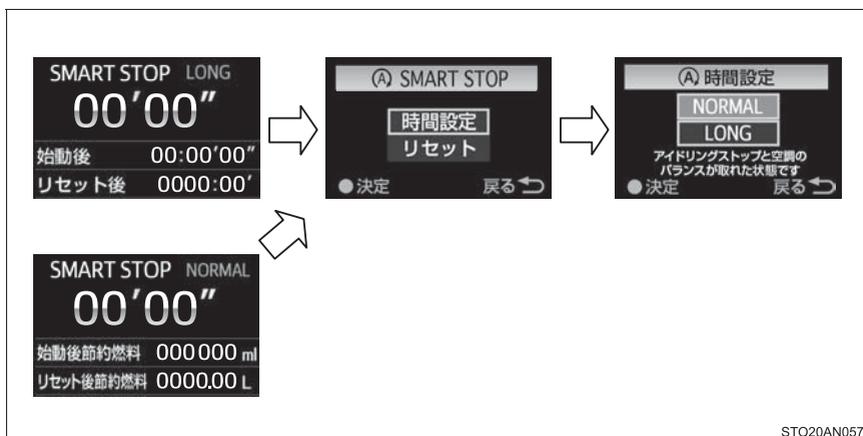


STO20AN047

- 1 5分間燃費／瞬間燃費画面を表示しているときに (決定スイッチ) を押し続けると、「燃費時間」画面を表示します。
- 2 メーター操作スイッチの または、 で項目を選択し、 (決定スイッチ) を押します。

■ アイドリングストップ時間の調整について

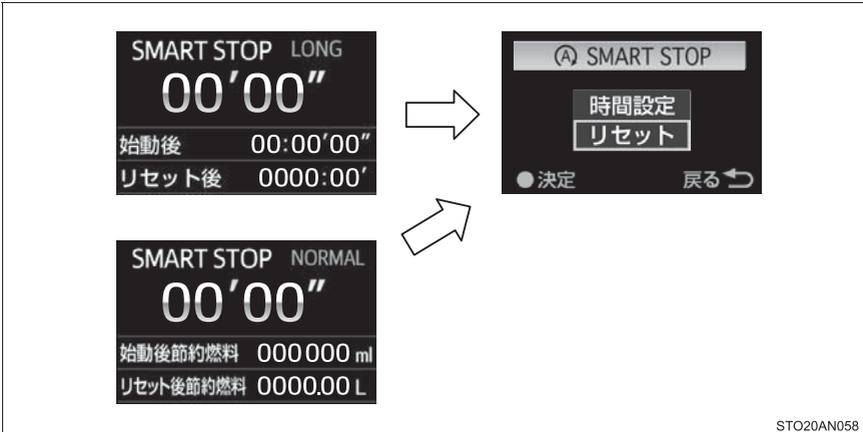
エアコンの (マニュアルエアコン装着車) または (オートエアコン装着車) が ON のときの Stop & Start システムによるエンジン停止時間を切りかえることができます。



STO20AN057

- 1 アイドリングストップ時間画面を表示しているときに (決定スイッチ) を押すと、「 SMART STOP」画面を表示します。
- 2 メーター操作スイッチの または、 で「時間設定」を選択し、 (決定スイッチ) を押します。
- 3 メーター操作スイッチの または、 で項目を選択し、 (決定スイッチ) を押します。

- **アイドリングストップ時間／アイドリングストップ節約燃料のリセットについて**
 アイドリングストップ時間／アイドリングストップ節約燃料をリセットすることができます。



- 1 アイドリングストップ時間を表示しているときに (決定スイッチ) を押すと、「 SMART STOP」画面を表示します。
- 2 メーター操作スイッチの または、 で「リセット」を選択し、 (決定スイッチ) を押します。

■ オープニング画面について

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム
 非装着車：エンジンスイッチを“ACC”または、“ON” にすると 5 秒間表示します。
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム
 装着車：エンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにすると 5 秒間表示します。



オープニング画面表示中に、シフトレバーを P 以外へ操作するとオープニング画面は解除されます。

■ 給油をしたときは

給油後にエンジンスイッチを“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にすると、自動でガソリン価格入力画面が表示されます。



▲ 警告

■ エコジャッジについて

エコジャッジは目安として利用してください。必ず交通状況に合わせ、周囲の安全に注意して運転してください。

■ ディスプレイの設定を変更するとき

エンジンがかかった状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばギヤ段表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにギヤ段の表示が切りかわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトすることによって急激に過度のエンジブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

▲ 注意

■ ディスプレイの設定を変更するとき

バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にエンジンがかかっている状態で実施してください。

各部の操作**3**

3-1. キー	
キー	104
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
ドア（フロントドア、 リヤドア）	109
バックドア	116
スマートエントリー& スタートシステム	120
3-3. シートの調整	
フロントシート	126
リヤシート	127
ヘッドレスト	130
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	133
インナーミラー	135
ドアミラー	136
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウインドウ	139

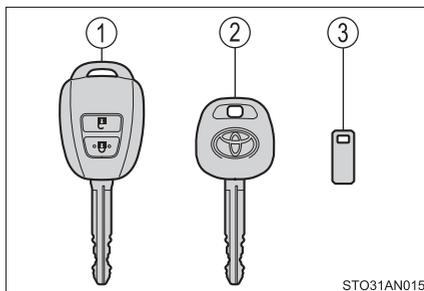
キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

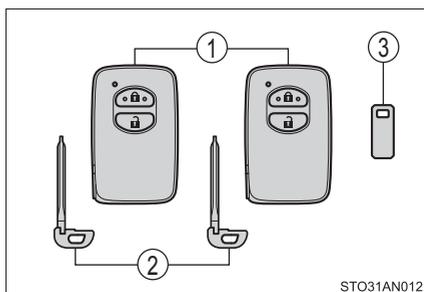
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① キー（ワイヤレス機能装着）
ワイヤレス機能の作動
- ② キー（ワイヤレス機能非装着）
- ③ キーナンバープレート



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

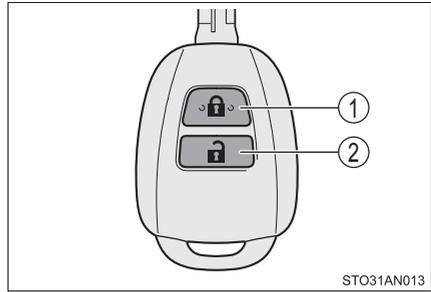
- ① 電子キー
 - ・スマートエントリー&スタートシステムの作動（→P. 120）
 - ・ワイヤレス機能の作動
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



ワイヤレスリモコン

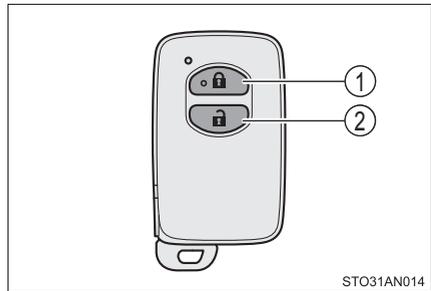
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① 全ドアを施錠する (→ P. 109)
- ② 全ドアを解錠する (→ P. 109)



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

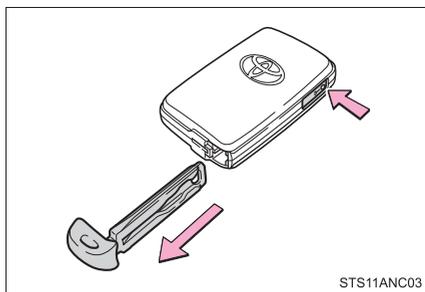
- ① 全ドアを施錠する (→ P. 109)
- ② 全ドアを解錠する (→ P. 109)



メカニカルキーを使うには（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出してください

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。（→ P. 406）



STS11ANC03

知識

■ キー（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはメカニカルキー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）を紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーまたはメカニカルキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

■ 航空機に乗るとき

航空機にキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

■ 電池の消耗について

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

● 電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。

● ワイヤレスリモコンを使用しなくても電池は消耗します。

次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。

- ・ ワイヤレスリモコンが作動しない
- ・ 作動範囲が狭くなった

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
- 電池の標準的な寿命は 1 ~ 2 年です。
- 電池残量が少なくなると、エンジンを停止した際に車内から警告ブザーが鳴ります。(→ P. 364, 373)
- 電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - ・ スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
 - ・ 作動範囲が狭くなった
 - ・ 電子キーの LED が点灯しない
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。
 - ・ TV
 - ・ パソコン
 - ・ 携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・ 電気スタンド
 - ・ 電磁調理器

■ 電池の交換方法

→ P. 316

■ キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

■ 不正キーの使用について (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

指定のメカニカルキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空回りして解錠できません。

 **注意****■ キーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 湿度の高いところに長時間放置しない
- むらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■ キー取り扱いの注意

ワイヤレスキー・電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

■ キーを携帯するとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電源を入れた状態の電化製品とは10cm以上離して携帯してください。10cm以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■ スマートエントリー&スタートシステム★の故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

■ 電子キーを紛失したとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りのキーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ドア（フロントドア、リヤドア）

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン・ドアロックスイッチ・ロックレバーを使って施錠・解錠できます。

車外からの施錠／解錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム★

電子キーを携帯して操作します。

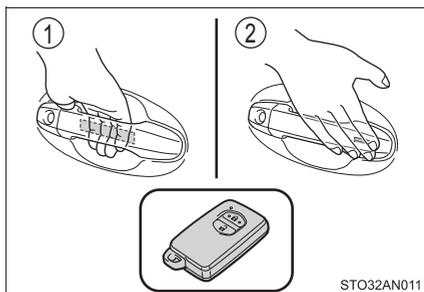
- ① フロント席のドアハンドルを握って解錠する

ハンドル裏面のセンサー部に確実に触れてください。

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。

- ② フロント席ドアハンドル表面のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する

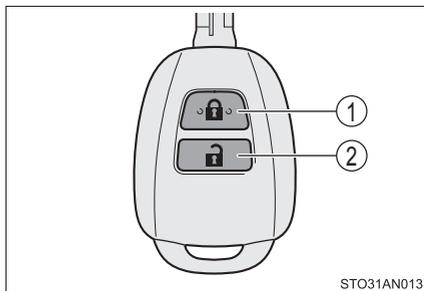
必ず施錠されたことを確認してください。



◆ ワイヤレスリモコン

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① 全ドアを施錠する
必ず施錠されたことを確認してください。
- ② 全ドアを解錠する



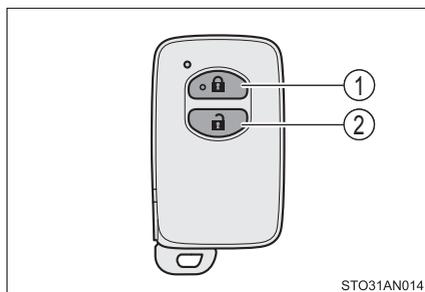
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

① 全ドアを施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。

② 全ドアを解錠する



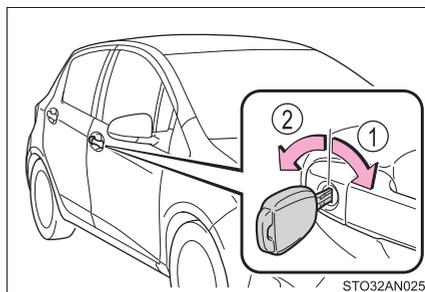
◆ キー

キーを操作すると、ドアが下記のように作動します。

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

① 全ドアを施錠する

② 全ドアを解錠する



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

メカニカルキーを使ってドアを施錠・解錠できます。(→ P. 406)

知識

■ 作動の合図

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

■ 解錠操作のセキュリティ機能

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

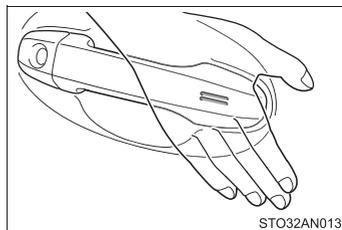
解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

セキュリティ機能で施錠されたとき、電子キーの位置によって室内の作動範囲内に電子キーがあると検知されると、再度解錠されることがあります。

■ ドアハンドル表面のロックセンサーで施錠できないとき (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

ドアハンドル表面のロックセンサー部に指でふれても施錠できないときは、手のひらでロックセンサーにふれてください。

手袋を着用しているときは、手袋をはずしてください。



■ 半ドア警告ブザー (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとする時、ブザーが鳴ります。

ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

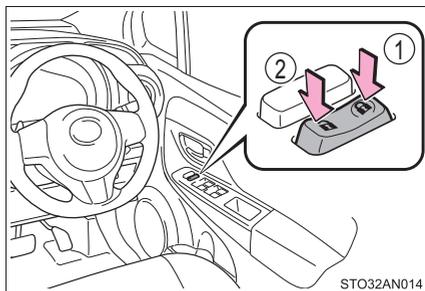
■ スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

キーやメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 110, 406)

電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 316)

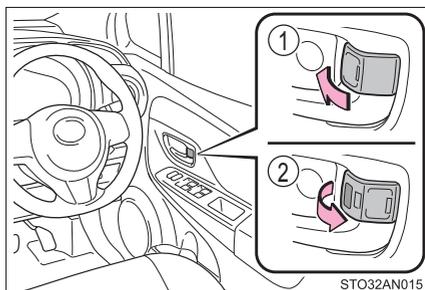
車内からの施錠／解錠**◆ ドアロックスイッチ**

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する

**◆ ロックレバー**

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。



キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

- 1 ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
キーがエンジンスイッチに挿し込まれているときは施錠されません。
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッション ON
モードのときや車内に電子キーが放置されているときは施錠されま
せん。
キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

チャイルドプロテクター

施錠側になると、リヤ席ドアが車内
から開かなくなります。

- ① 解錠
- ② 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開け
られないようにできます。両側のリヤ
席ドアを施錠側にしてください。



 知識**■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方**

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げ、手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

■半ドア走行時警告ブザー

→ P. 363, 370

■スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況**▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車**

次のような場合、ワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれがあります。

- ワイヤレスキーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 無線機や携帯電話・コードレス電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- ワイヤレスリモコンが金属製のものに接したり、覆われているとき
- 近くで電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

→ P. 122

■カスタマイズ機能

ワイヤレスリモコンを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 431)

 **警告****■ 事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

■ ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

バックドア

バックドアは次の方法で施錠・解錠および開けることができます。

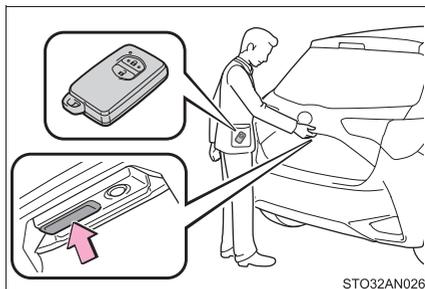
車外からの施錠／解錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム★

電子キーを携帯して操作します。

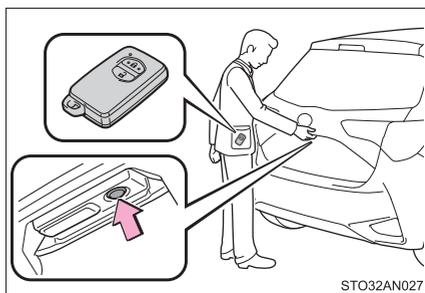
バックドアオープンスイッチを押して解錠する

施錠操作後約3秒間は解錠できません。



ロックスイッチを押して施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。



◆ ワイヤレスリモコン

→ P. 105

◆ キー

→ P. 110

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

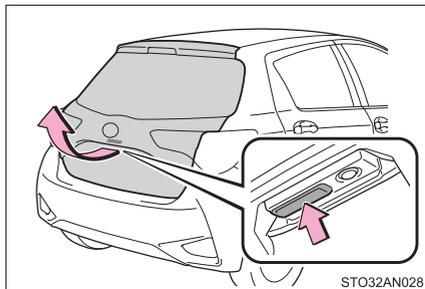
車内からの施錠／解錠**◆ ドアロックスイッチ**

→ P. 112

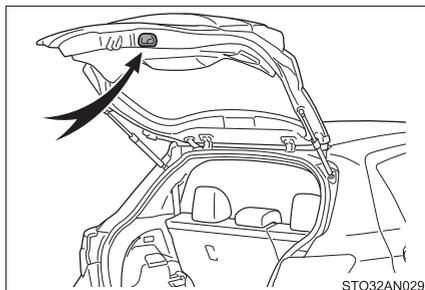
バックドアを開けるには

バックドアオープンスイッチを押したまま、バックドアを持ち上げる

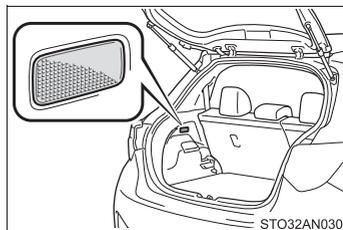
バックドアオープンスイッチを押したあと、約1秒はバックドアを閉めることができません。

**バックドアを閉めるとき**

バックドアハンドルを持ってバックドアを引き下げ、必ず外から押して閉めてください。

**知識****■ ラゲージルームランプ**

バックドアを開けたとき、ラゲージルームランプが点灯します。



警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行する前に

- 走行前にバックドアが閉まっていることを必ず確認してください。
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたりたり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームの中でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。
不意にバックドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

- 走行中はバックドアを閉めてください。
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたりたり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。
急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ バックドアの使用にあたって

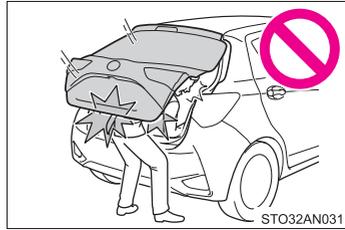
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

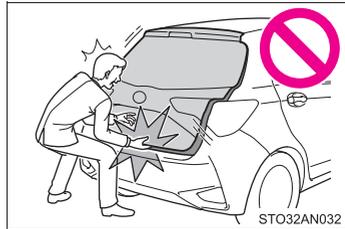
- バックドアを開ける前に、バックドアに張り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

警告

- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアハンドルを持ったままバックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。



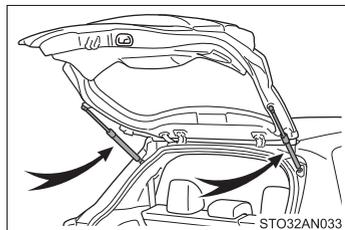
- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリ用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。

注意

■ ダンパーステーについて

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。

- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品をつけない
- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



スマートエントリー&スタートシステム★

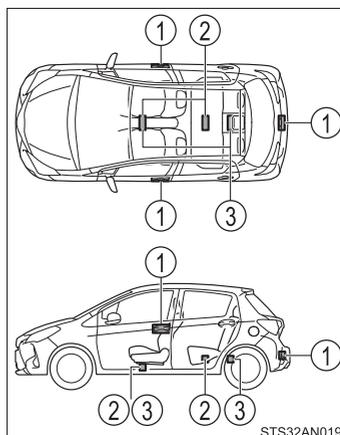
電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。必ず運転者が携帯してください。

- ドアを施錠・解錠する (→ P. 109)
- バックドアを施錠・解錠する (→ P. 116)
- エンジンを始動する (→ P. 161)

知識

■ アンテナの位置

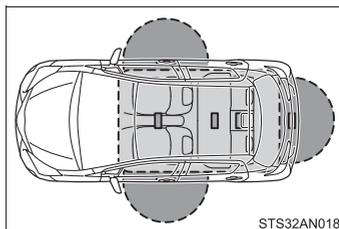
- ① 車外アンテナ
- ② 車室内アンテナ (FF 車)
- ③ 車室内アンテナ (4WD 車)



■ 作動範囲 (電子キーの検知エリア)

- : ドアの施錠・解錠時

フロント席ドアハンドル/バックドアオープン・ロックスイッチから周囲約70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。(電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します)



- : エンジン始動時またはモード切りかえ時
車内で電子キーを携帯している場合に作動します。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 作動の合図

ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

■ 警告音と警告灯について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、車内や車外で警告音が鳴ったり、警告灯が点灯することがあります。カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車の場合は、メッセージが表示されることがあります。警告灯が点灯したり、メッセージが表示された場合は、状況に応じて適切に対処してください。(→ P. 364, 373)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

警告音	状況	対処方法
車内から“ピー”と 1 回鳴る 車外から“ピー”と 5 秒間鳴る※	車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
車外から“ピー”と 5 秒間鳴る	車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした※	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムで施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
車内から“ピー”と鳴り続ける※1,2	シフトレバーが P 以外の状態で、エンジンスイッチを OFF にせずに運転席ドアが開いた	シフトレバーを P にする
車内から“ピー、ピー”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でエンジンスイッチをアクセサリモードにした(アクセサリモードのとき運転席ドアを開いた)	エンジンスイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉めてください。

※1 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

※2 オートマチック車

■節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両のバッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

- 次の状況では、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。
 - ・ 車の外、約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
 - ・ 5 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- 14 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→ P. 406)

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・ アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・ アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・ 金属製の財布やかばん
 - ・ 小銭
 - ・ カイロ
 - ・ CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
 - ・ 無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器
 - ・ 他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
 - ・ パソコンや携帯情報端末 (PDA など)
 - ・ デジタルオーディオプレーヤー
 - ・ ポータブルゲーム機器
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くに電子キーを置いた場合

■ご留意いただきたいこと

- 電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
 - ・ ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・ エンジン始動時またはモード切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・ドアポケットまたはグローブボックス内などに置かれていた場合
- インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があります、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- 電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では、解錠できません。
- 電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）
- 車両に近い位置に電子キーがあるときに解錠操作後のセキュリティ機能の作動（→P. 111）やワイヤレスリモコンなどで施錠を行うと、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。（ワイヤレスリモコンで解錠すると復帰します）
- 手袋を着けてロックセンサーにふれた場合、施錠が遅れたり、施錠されなかったりすることがあります。その場合、手袋をはずしてロックセンサーにふれてください。
- ロック操作は、連続で 2 回まで有効で、3 回目以降はロック動作しません。
- 電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠／解錠動作をくり返すことがあります。その場合は電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください。（電子キーの盗難に注意してください）
- モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：車内に電子キーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、車外のブザーが吹鳴することがあります。
- カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：車内に電子キーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、警報がマルチインフォメーションディスプレイに表示され、車外のブザーが吹鳴することがあります。その場合は全ドアを施錠すれば警報は表示されなくなります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着した場合、センサーが反応しない場合があります。反応しない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作してください。

- 急なドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ急に入ってドアハンドルを操作したときは、解錠されない場合があります。その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどし、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- 手袋を着用してドアハンドルを握った場合、解錠が遅れたり、解錠されないことがあります。その場合、手袋をはずしてハンドル裏面のセンサー部にふれてください。
- 作動範囲内に他の電子キーがあるときは、ドアハンドルを握ってから解錠するまでの時間が少し長くなる場合があります。

■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。：→ P. 121, 364, 373)

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- ドア・バックドアの施錠・解錠：→ P. 406
- エンジンの始動：→ P. 406

■カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。(カスタマイズ一覧：→ P. 431)

■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき

- ドアの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 109, 406)
- エンジンの始動・エンジンスイッチのモード切りかえ：→ P. 406
- エンジンの停止：→ P. 163

 **警告****■電波がおよぼす影響について（スマートエントリー&スタートシステムアンテナ）**

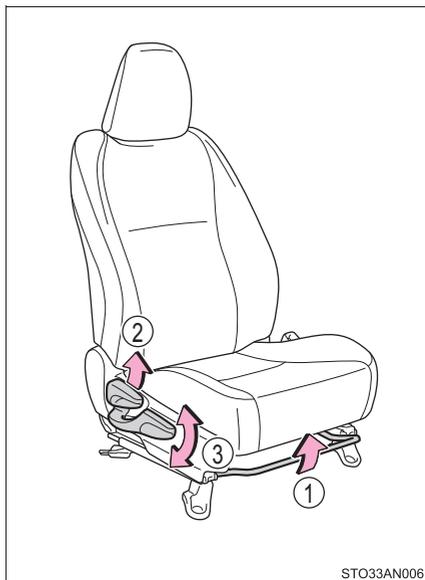
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、アンテナ（→P. 120）から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

フロントシート

調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ シート全体の上下調整（運転席のみ）



警告

■ シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

■ リクライニング調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害および、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートがきちんと固定されていることを確認してください。

リヤシート

リヤシートは折りたたむことができます。

背もたれを倒す前に

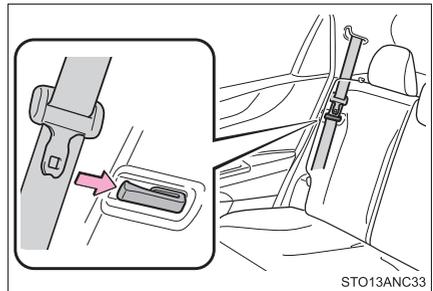
1 シートベルトを格納する

▶ リヤ中央席

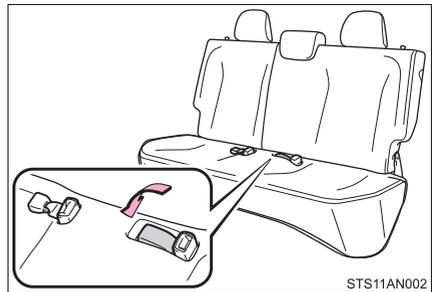
→ P. 31

▶ リヤ外側席

シートベルトをベルトハンガーにかける



2 リヤシートベルトのバックルを格納する



3 ヘッドレストをいちばん下まで下げる (→ P. 130)

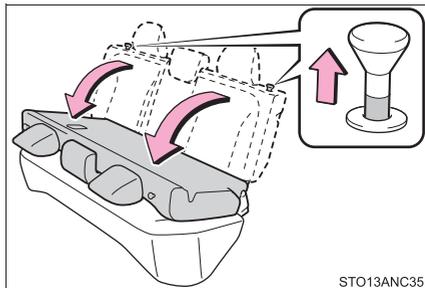
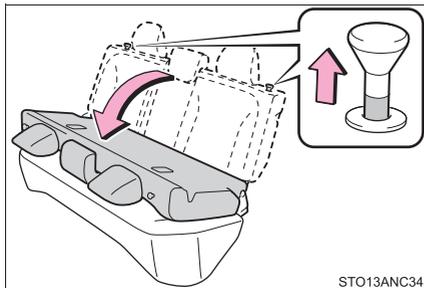
背もたれを倒す

ロック解除ノブを引き、背もたれを前方に倒す

ロックが解除されると、ロック解除ノブの赤ラベルが見えます。

▶ 一体可倒シート装着車

▶ 分割可倒シート装着車



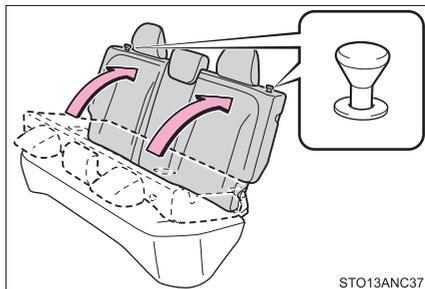
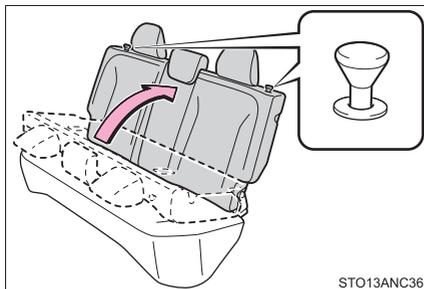
背もたれをもとにもどす

1 背もたれを起こして固定する

固定されると、ロック解除ノブの赤ラベルが見えなくなります。

▶ 一体可倒シート装着車

▶ 分割可倒シート装着車



2 リヤ外側席のシートベルトをベルトハンガーからはずす

3 リヤ中央席のシートベルトをもとにもどす (→ P. 30)

警告

次のことを必ずお守りください。

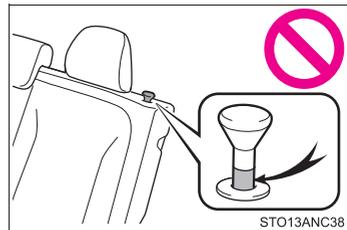
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ リヤシートを操作するときは

- 走行中にリヤシートを操作しない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、オートマチック車ではシフトレバーをP、マニュアル車ではシフトレバーをRにする
- 操作をするときに、可動部や結合部に手や足などを挟まないように注意する
- 倒した背もたれやラゲージルームに人を乗せて走行しない
- お子さまがラゲージルームに入らないよう注意する

■ 背もたれをもとにもどしたあとは

- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認する
- シートのあいだにシートベルトが挟み込まれていないか確認する
- ロック解除ノブの赤ラベルが見えていないことを確認する

**注意****■ 背もたれを前倒しするときは**

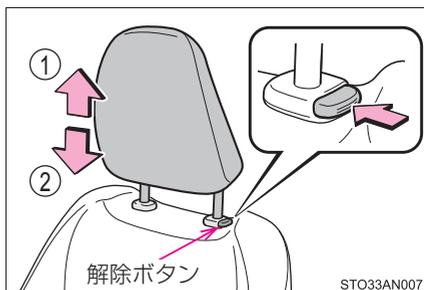
背もたれを倒す前に、必ずシートベルトを格納してください。

ヘッドレスト

調整のしかた（分割式ヘッドレスト装着車）

- ① 上げる
- ② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。

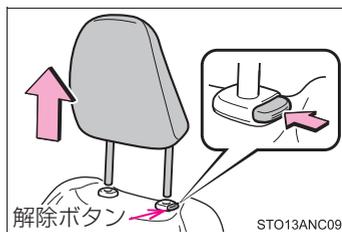


知識

■ヘッドレストを取りはずすとき

▶ フロント席（分割式ヘッドレスト装着車）とリア中央席

解除ボタンを押しながら取りはずします。



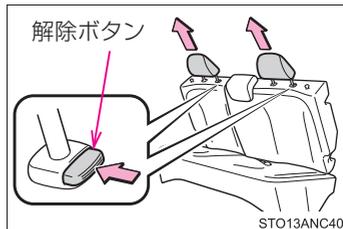
▶ リヤ外側席

- 1 ロック解除ノブをひき、背もたれを前に倒す

ヘッドレストをはずすことができる位置まで前に倒してください。



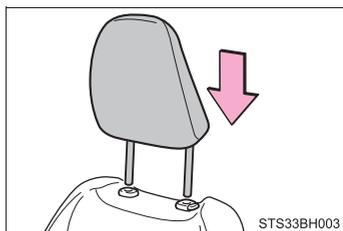
- 2 解除ボタンを押しながら、ヘッドレストをはずす



■ヘッドレストを取り付けるとき

- ▶ フロント席（分割式ヘッドレスト装着車）

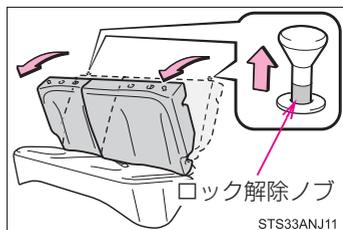
ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。



- ▶ リヤ席

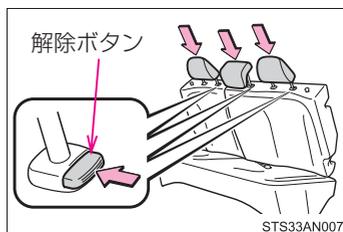
- 1 リヤ外側席：ロック解除ノブをひき、背もたれを前に倒す

ヘッドレストを取り付けることができる位置まで前に倒してください。



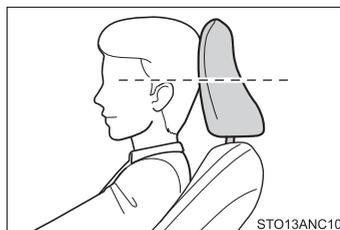
- 2 ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

ヘッドレストを挿入するときは、解除ボタンを押しながら挿入してください。



■フロント席のヘッドレストの高さについて（調整式ヘッドレスト装着車）

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。

**■リヤ席のヘッドレストの使用について**

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

▲ 警告**■ヘッドレストについて（調整式ヘッドレスト装着車）**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

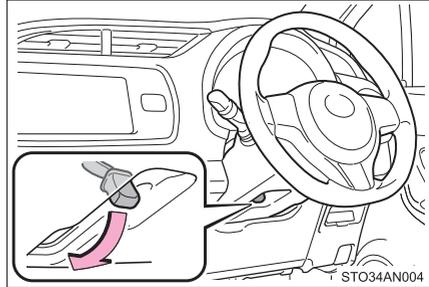
- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

調整のしかた

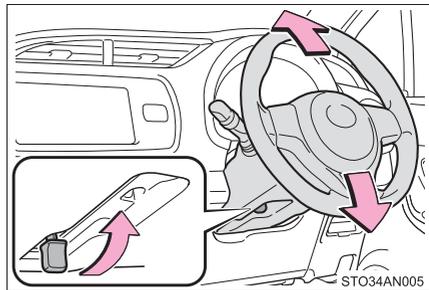
▶ チルトステアリング装着車

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



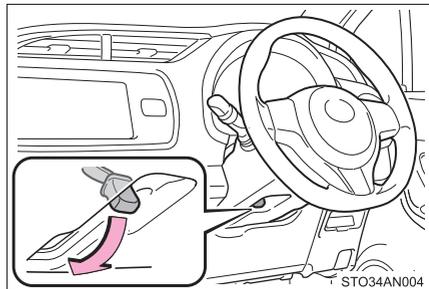
- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。

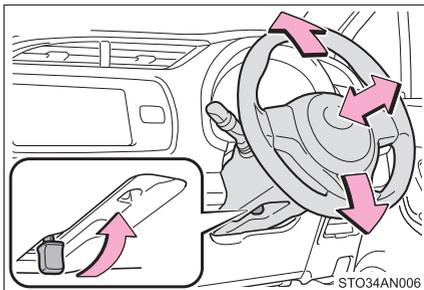


▶ チルト&テレスコピックステアリング装着車

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる

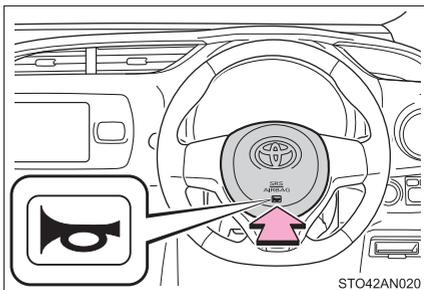


- 2 ハンドルを上下・前後に動かし、適切な位置にする
位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定する



ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。



知識

■ ハンドル位置を調整した後は

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。

警告

■ 走行中の警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だと、ハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

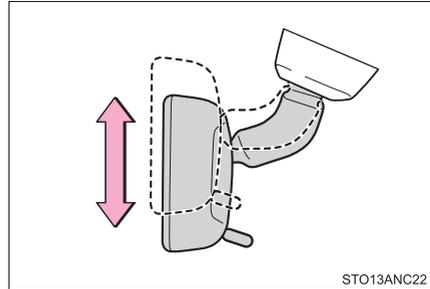
インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

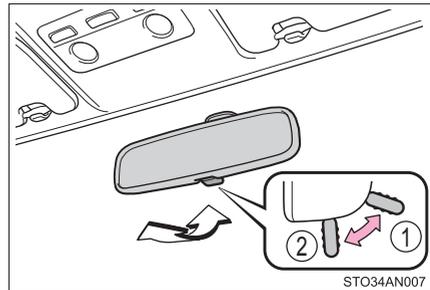
インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する



防眩機能

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



⚠ 警告

走行中はミラーの調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

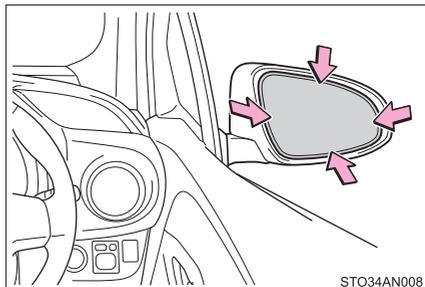
ドアミラー

調整のしかた

▶ 手動格納式ミラー装着車

ミラー鏡面を手で押して角度を調整する

調整したあとは、運転席に座りドアミラーで後方確認が十分できるか確認してください。

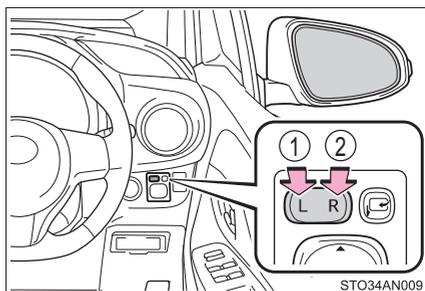


STO34AN008

▶ 電動格納式ミラー装着車

1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

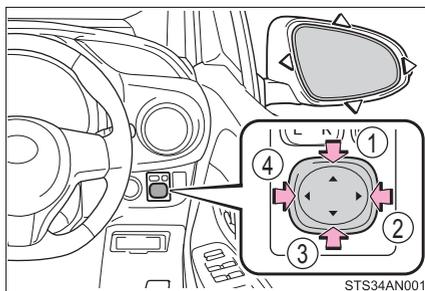
- ① 左
- ② 右



STO34AN009

2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを押す

- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



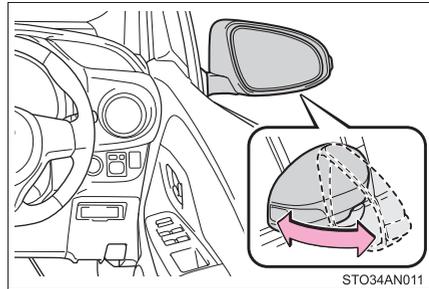
STS34AN001

ドアミラーを格納する

▶ 手動格納式ミラー装着車

ドアミラーを手で後方に押し、格納する

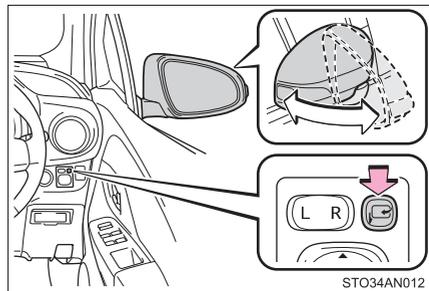
手で前方に押し、もとの位置にもどします。



▶ 電動格納式ミラー装着車

スイッチを押してドアミラーを格納する

もう一度押すと、もとの位置にもどります。



オート電動格納機能★

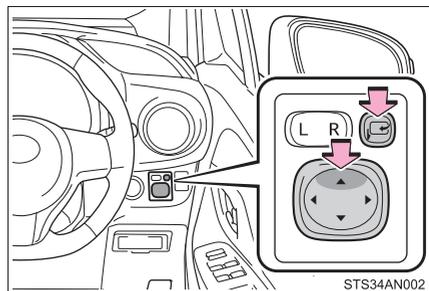
スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠に連動して、ドアミラーが自動的に格納・復帰します。

次の手順で、オート電動格納機能のON とOFF が交互に切りかわります。

- 1 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“LOCK”にする
スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをOFFにする

- 2 電動格納スイッチと鏡面調整スイッチの▲を同時に2秒以上押す

もう一度同じ操作をすると、オート作動が復帰します



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 鏡面調整の作動条件（電動格納式ミラー装着車）

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ACC” または “ON” のとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき

■ バッテリー端子の脱着をしたとき

オート電動格納機能の設定がリセットされ、ON の状態にもどります。機能をOFF にするときは、再度、オート電動格納機能の ON・OFF 切りかえを行ってください。

■ ミラーが曇ったときは（ミラーヒーター装着車）

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→ P. 261, 267）

■ 寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用していると、ドアミラーが凍結して、自動で格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

 警告

■ 走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● ミラーの調整をしない

● ドアミラーを格納したまま走行しない

● 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているとき（電動格納式ミラー装着車）

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ ミラーヒーターが作動しているときは（ミラーヒーター装着車）

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

パワーウィンドウ

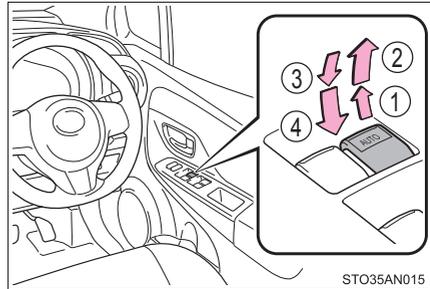
開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

- ① 閉める
- ② 自動全閉（運転席のみ）※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開（運転席のみ）※

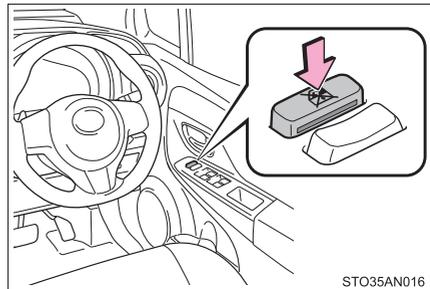
※途中で停止するとき、スイッチを反対側へ操作します。



ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すと、助手席とリヤ席★のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ON” のとき

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ エンジン停止後の作動（運転席のみ）

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチを“ACC” または“LOCK” にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチをアクセサリモード、または OFF にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■ 挟み込み防止機能（運転席のみ）

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ パワーウィンドウを閉めることができないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、運転席のパワーウィンドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- 車を停止し、エンジンスイッチを“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の状態、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉めることができます。
- 上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。

- 1 パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける
- 2 パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 2 秒間押し続ける
- 3 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 2 秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告

次のことを必ずお守りください。

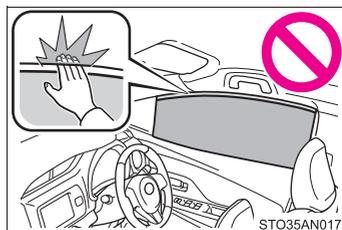
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ドアガラスを開閉するとき

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。(→ P. 139)

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



- 車から離れるときはエンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチを OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にし、キーを携帯してお子さまと一緒に連れて行ってください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 挟み込み防止機能（運転席のみ）

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態で作動しません。指などを挟まないように注意してください。

運転

4

- 4-1. 運転にあたって**
- 運転にあたって 144
 - 荷物を積むときの注意 156
- 4-2. 運転のしかた**
- エンジン（イグニッション）
スイッチ（スマート
エントリー&スタート
システム非装着車） 158
 - エンジン（イグニッション）
スイッチ（スマート
エントリー&スタート
システム装着車） 161
 - オートマチック
トランスミッション
（スポーツシーケンシャル
シフトマチックモード
非装着車） 170
 - オートマチック
トランスミッション
（スポーツシーケンシャル
シフトマチックモード
装着車） 174
 - マニュアル
トランスミッション 180
 - 方向指示レバー 181
 - パーキングブレーキ 182
- 4-3. ランプのつけ方・ワイパーの使い方**
- ランプスイッチ 183
 - フォグランプスイッチ 188
 - ワイパー&ウォッシャー
（フロント） 190
 - ワイパー&ウォッシャー
（リヤ） 193
- 4-4. 給油のしかた**
- 給油口の開け方 195
- 4-5. Toyota Safety Sense C**
- Toyota Safety
Sense C 200
 - PCS（プリクラッシュ
セーフティシステム） 205
 - LDA（レーンディパーチャー
アラート/
車線逸脱警報） 220
 - オートマチック
ハイビーム 228
 - 先駆車発進告知機能 233
- 4-6. 運転支援装置について**
- Toyota Stop & Start
System
（SMART STOP） 238
 - 4WD オートモード
スイッチ 246
 - LED
イルミネーションビーム 247
 - 運転を補助する装置 248
- 4-7. 運転のアドバイス**
- 寒冷時の運転 255

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

エンジンを始動する

→ P. 158, 161

発進する

▶ オートマチック車

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする
(→ P. 170, 174)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 182)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、シフトレバーを 1 速にする (→ P. 180)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 182)
- 3 クラッチペダルから徐々に足を離し、同時にアクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを P または N にします。(→ P. 170, 174)

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏み込んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを N にします。(→ P. 180)

駐車する

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかけて（→P. 182）、シフトレバーをPにする（→P. 170, 174）
- 3 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する
スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをOFFにしてエンジンを停止する
- 4 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め^{*}を使用してください。
^{*} 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 シフトレバーをNにする（→P. 180）
- 3 パーキングブレーキをかける（→P. 182）
- 4 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する
スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをOFFにしてエンジンを停止する
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じてシフトレバーを1速またはRにし、輪止め^{*}を使用してください。
^{*} 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

上り坂の発進のしかた

▶ オートマチック車

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、シフトレバーをDにする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

▶ マニュアル車

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、シフトレバーを1速にする
- 2 アクセルペダルを軽く踏み、同時にクラッチペダルから徐々に足を離す
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

■ 上り坂発進について

ヒルスタートコントロールが作動します。(→ P. 248)

■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったるので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■ 走行中のエンジン回転数について (オートマチック車)

以下の場合、走行中にエンジン回転数が高くなる場合があります。これは走行状況にあわせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離れたとき
- スポーツシーケンシャルシフトマチックモード装着車：スポーツモード選択時にブレーキペダルを踏んだとき

■ 運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミボデー部に取り付けることはできません。

■ 高摩擦ブレーキパッド装着車について（ホワイトブレーキキャリパー装着車）

車速、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度など）によってはブレーキノイズが発生することがあります。

■ 環境に配慮した運転（オートマチック車）

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケータランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

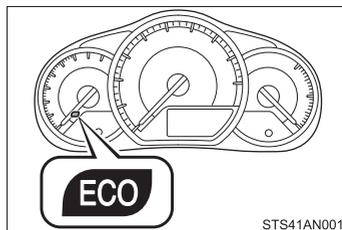
次の場合、エコドライブインジケータランプは作動しません。

- シフトレバーが D 以外するとき
- SPORT モードスイッチ装着車：走行モードが SPORT モードのとき（→ P. 175）
- パドルシフト装着車：パドルシフトスイッチを使用しているとき
- 車速が約 100km/h 以上のとき

エコドライブインジケータランプの表示／非表示を設定できます。（→ P. 78）

▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

→ P. 97



警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき（オートマチック車）

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリーブ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

● 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。

- ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
- ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

● 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。

排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。

● 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 350を参照してください。

● 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。（→ P. 171, 175, 180）

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 運転するとき

- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。
- 4WD 車：オフロード走行をしないでください。
本格的なオフロード走行を目的とした 4WD 車ではありません。やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。
- 4WD 車：渡河などの水中走行はしないでください。
電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。
- シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。
急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出して乗員にあたったり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 大きな段差がある場所や、輪止めなどがある場所では慎重に走行してください。バンパーを損傷するおそれがあります。

■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シフトレバーを操作するとき

- オートマチック車では、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- オートマチック車では、車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンプレーキが効かなくなります。
- オートマチック車では、アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 停車するとき

- 空ぶかしをしないでください。
シフトレバーが P（オートマチック車）または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- オートマチック車では、車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

■ 駐車するとき

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 駐車するとき

- ウィンドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウィンドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをP(オートマチック車)にしてエンジンを停止し、施錠してください。
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
オートマチック車：パーキングブレーキをかけずにシフトレバーをPにした状態では、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジン回転中またはエンジン停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。

■ 仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ブレーキをかけるとき

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。
ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。
ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまいます。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■ 万一脱輪したとき（4WD車）

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

脱出できないときは、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

 **注意****■ 運転しているとき（オートマチック車）**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■ 運転しているとき（マニュアル車）

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- クラッチペダルを確実に踏み込んでいない状態で、シフトレバーを操作しないでください。クラッチやトランスミッションが損傷するおそれがあります。
- クラッチの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ クラッチペダルに足を乗せたまま走行しない
 - ・ 1 速以外での発進は避ける
 - ・ 坂道発進時など、必要以上に半クラッチのままでも走行しない
- 車がまだ動いているときに R に入れないでください。クラッチ・トランスミッション・ギヤに損傷を受けるおそれがあります。

■ 駐車するとき（オートマチック車）

必ずパーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしてください。パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■ 部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにもわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■ 走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

 **注意****■ タイヤがパンクしたときは**

▶ タイヤパンク応急修理キット装着車

タイヤの損傷の程度を確認してください。

- ・ 修理可能な場合は、応急修理してください。(→ P. 378)
- ・ 修理不可能な場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。

▶ 応急用タイヤ装着車

応急用タイヤに交換してください。(→ P. 393)

■ 冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスミッション・トランスファー (4WD 車)・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト (4WD 車) 各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はラゲージルームに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
 - ・ 運転席足元
 - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
 - ・ インストルメントパネル
 - ・ ダッシュボード
 - ・ フタのない小物入れ／トレイ
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート背もたれより高いものをラゲージルームに積まないでください。急ブレーキや事故の際に、投げ出され、乗員を傷付けるおそれがあります。
- 後席のシート背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけ前席シート背もたれの真うしろには積まないでください。
- ラゲージルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■ 荷物の重量・荷重のかけ方について**

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

エンジンのかけ方

▶ オートマチック車

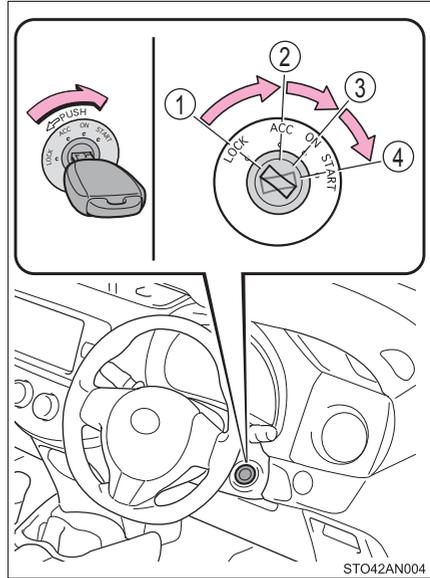
- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 4 エンジンスイッチを“START”の位置にまわす

▶ マニュアル車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがNの位置にあることを確認する
- 3 クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏む
- 4 エンジンスイッチを“START”の位置にまわす

エンジンスイッチの位置の切りかえ

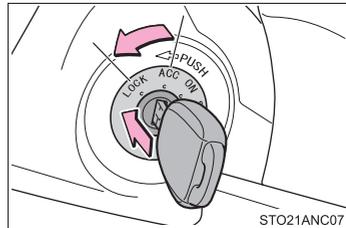
- ① “LOCK” (OFF)
 - ・ステアリングロックがかかります。
 - ・キーを抜き挿しすることができます。
(オートマチック車は、シフトレバーの位置がPのとき、キーを抜き挿しできます)
- ② “ACC”
 - アクセサリソケットなどの電装品が使用できます。
- ③ “ON”
 - すべての電装品が使用できます。
- ④ “START”
 - エンジンが始動できます。



知識

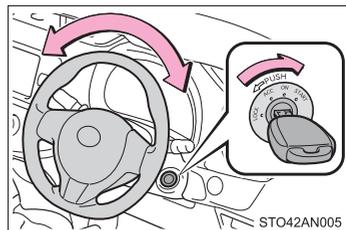
■キーを“ACC”から“LOCK”にまわすには

- ① シフトレバーがP（オートマチック車）またはN（マニュアル車）の位置にあることを確認する
- ② キーを押し込みながら“LOCK”までまわす



■ステアリングロックを解除するには

ステアリングを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。



■キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジンスイッチが“ACC” または “LOCK” のとき、運転席ドアを開けると警告ブザーが鳴ります。

警告

■エンジンを始動するときは

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

走行中はエンジンスイッチを“LOCK” にしないでください。緊急時は走行中にエンジンを停止し、“ACC” にしてください。走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチを“ACC” または “ON” にしたまま長時間放置しないでください。

■エンジンを始動するとき

- 一度に30秒以上スターターをまわさないでください。
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにエンジンの点検を受けてください。

エンジン（イグニッション）スイッチ（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

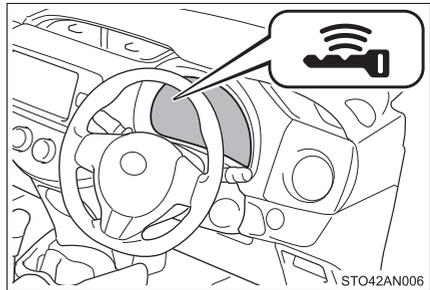
電子キーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動またはエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

エンジンのかけ方

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーが P（オートマチック車）または N（マニュアル車）の位置にあることを確認する
- 3 クラッチペダル（マニュアル車）とブレーキペダルをしっかりと踏む

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に点灯します。緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。

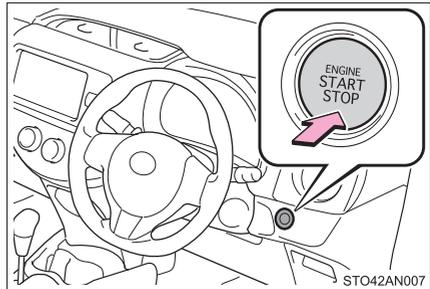


- 4 エンジンスイッチを短く確実に押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。

エンジンが始動するまで最大 30 秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



エンジンスイッチのどのモードからでもエンジンを始動できます。

▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む

マルチインフォメーションディスプレイに



が表示されます。

表示されないと、エンジンはかかりません。



STO42AN021

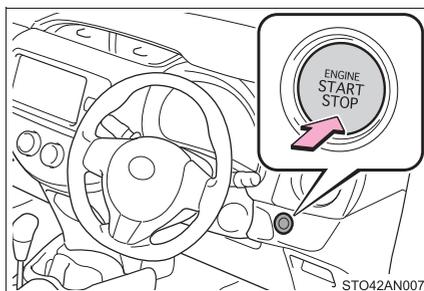
- 4 エンジンスイッチを短く確実に押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。

エンジンが始動するまで最大 30 秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

エンジンスイッチのどのモードからでもエンジンを始動できます。



STO42AN007

エンジンの停止のしかた

▶ オートマチック車

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 パーキングブレーキをかけて (→ P. 182)、シフトレバーを P の位置にする
- 3 エンジンスイッチを押す
- 4 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：ブレーキペダルからゆっくり足を離した状態にして、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する
カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：ブレーキペダルからゆっくり足を離した状態にして、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していることを確認する

▶ マニュアル車

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーを N にする (→ P. 180)
- 3 パーキングブレーキをかける (→ P. 182)
- 4 エンジンスイッチを押す
- 5 クラッチペダルとブレーキペダルからゆっくり足を離した状態にして、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する

エンジンスイッチのモード切りかえ

ブレーキペダル（オートマチック車）もしくはクラッチペダル（マニュアル車）を踏まずにエンジンスイッチを押すと、モードを切りかえることができます。（スイッチを押すごとにモードが切りかわります）

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車 OFF※

非常点滅灯が使用できます。

アクセサリーモード

アクセサリースocketなどの電装品が使用できます。

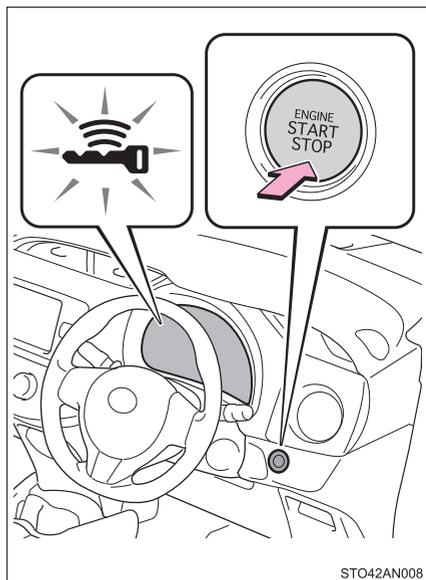
スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

※ シフトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりません。（オートマチック車）



▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車 OFF※

非常点滅灯が使用できます。

アクセサリモード

アクセサリソケットなどの電装品が使用できます。

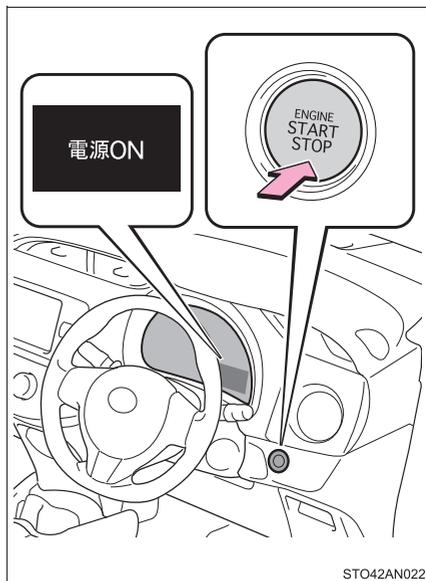
マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」が表示されます。

イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」が表示されます。

※ シフトレバーが P 以外ときはアクセサリモードになり、OFF になりません。



シフトレバーが P 以外でエンジンを停止したときは(オートマチック車)

シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンスイッチのモードはアクセサリモードになり OFF になりません。次の手順で OFF にしてください。

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーを P の位置にする
- 3 スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅していることを確認し、エンジンスイッチを 1 回押す
- 4 スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する

▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーを P の位置にする
- 3 マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」と表示されていることを確認し、エンジンスイッチを 1 回押す
- 4 マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していることを確認する

 知識

■ 自動電源 OFF 機能

▶ オートマチック車

シフトレバーが P にあるとき、20 分以上アクセサリモードか 1 時間以上イグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしたままにしておくと、エンジンスイッチが自動で OFF になります。

▶ マニュアル車

20 分以上アクセサリモードか 1 時間以上イグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしたままにしておくと、エンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリモード、またはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■ 電子キーの電池の消耗について

→ P. 106

■ スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 122

■ ご留意いただきたいこと

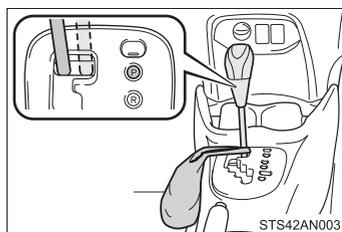
→ P. 123

■ エンジンが始動しないとき

● エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。
（→ P. 62）

● 次の状況では、ステアリングロックが解除されていない可能性があります。

- ・ シフトレバーに袋などをかけている
- ・ エンジンスイッチを押す前にシフトレバーを傾けた



■ ステアリングロックについて

エンジンスイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロックによりハンドルが固定されます。エンジンスイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

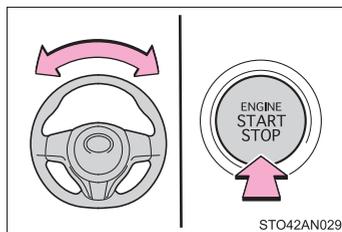
■ステアリングロックが解除できないときは

モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が15秒間緑色に速く点滅します。

カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：

マルチインフォメーションディスプレイに「ステアリングロック未解除」が表示されません。



シフトレバーがPの位置にあることを確認して（オートマチック車）、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。

■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にエンジンの始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10秒程度でもとの状態にもどります。

■スマートエントリー&スタートシステム表示灯が黄色に点滅したとき（モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■マルチインフォメーションディスプレイに“スマートエントリー&スタートシステムチェック”が表示されたとき（カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■電子キーの電池が切れたときは

→ P. 316

■エンジンスイッチの操作について

- スイッチを短く確実に押せていない場合は、モードの切りかえやエンジンの始動ができない場合があります。
- エンジンスイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、エンジンが始動しない場合があります。エンジンスイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは

→ P. 406

 **警告****■ エンジンを始動するとき**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の警告

エンジンの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ドアの施錠操作をしったりしないでください。ステアリングロックが作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながります。

■ 緊急時のエンジン停止方法

走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、エンジンスイッチを2秒以上押し続けるか、素早く3回以上連続で押してください。(→ P. 350)

ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 **注意****■ バッテリーあがりを防止するために**

- エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していない場合エンジンスイッチが OFF になっていません。エンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：エンジンがかかっていないときに、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していない場合、エンジンスイッチが OFF になっていません。エンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- オートマチック車はシフトレバーが P 以外でエンジンを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンスイッチがアクセサリモードとなるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因となります。

■ エンジンを始動するとき

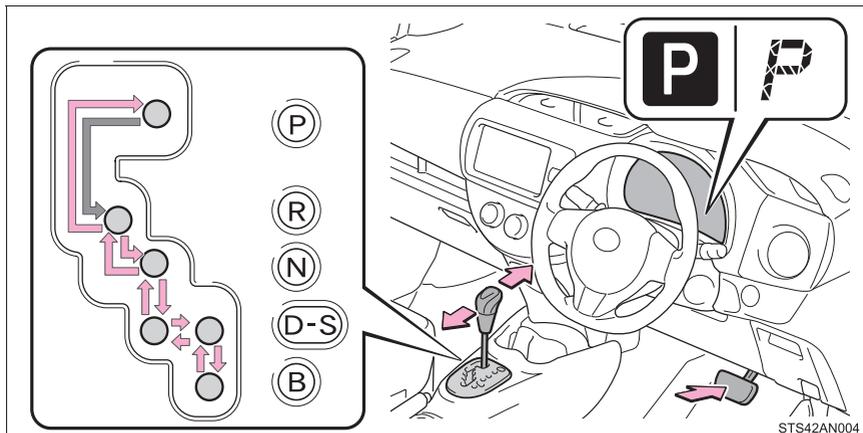
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ エンジンスイッチの操作について

エンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

オートマチックトランスミッション（スポーツシーケンシャルシフトマチックモード非装着車）★

シフトレバーの動かし方



← スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

エンジンスイッチが“ON”の状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

エンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

PとDのあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはエンジン始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行 [※]
S	坂道走行
B	急な下り坂走行

[※] 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

知識

■ シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のシフトレバーの誤操作を防ぐシステムです。エンジンスイッチが“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチが ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）でブレーキペダルを踏んだ状態でなければ、シフトレバーを P からシフトできません。

■ シフトレバーを P からシフトできないとき

ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

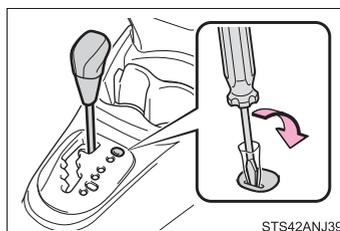
ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

シフトロックの解除のしかた：

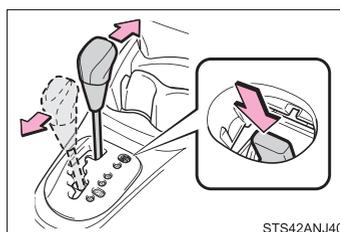
- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“LOCK”にする
スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをOFFにする

- 3 ブレーキペダルを踏む

- 4 カバーをはずす
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 5 シフトロック解除ボタンを押す
ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



■ リバース警告ブザー

シフトレバーを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

■ 走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなる場合があります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離れたとき

 **警告****■ すべりやすい路面では**

急なアクセル操作や、エンジブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

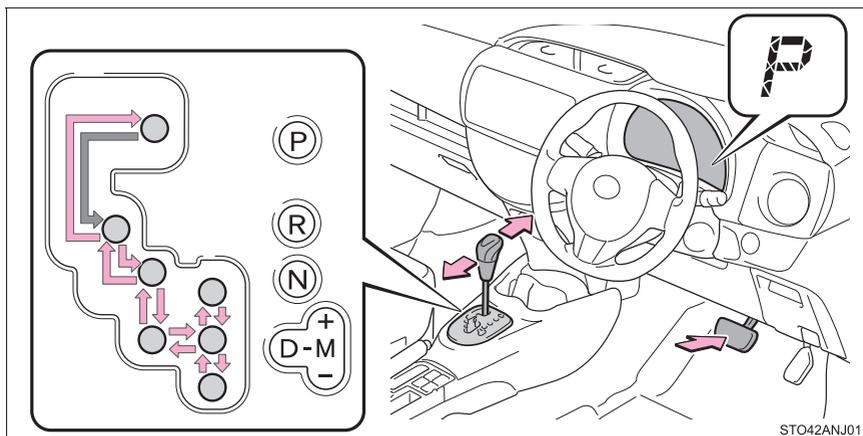
■ シフトロック解除時の事故を防ぐために

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してシフトレバーを操作したときに、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

オートマチックトランスミッション（スポーツシーケンシャルシフトマチックモード装着車）★

シフトレバーの動かし方



← スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

エンジンスイッチが“ON”の状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

エンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

PとDのあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはエンジン始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行*
M	スポーツシーケンシャルシフトマチックモード走行

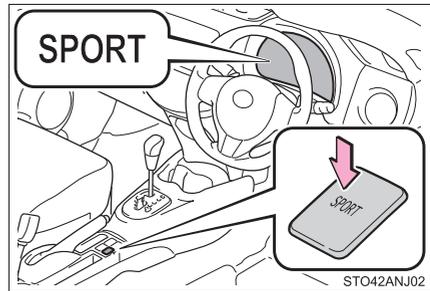
* 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

走行モードの選択

スイッチを押す

カーブの多い山道や高速で走行するときに適しています。スイッチを押すと、メーター内の SPORT モード表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと通常走行モードへもどります。



STO42ANJ02

一時的なスポーツシーケンシャルシフトマチックモードについて

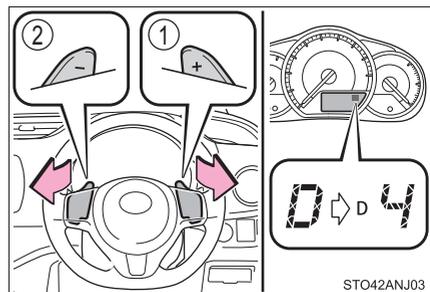
シフトレバーを D ポジションで走行中、パドルシフトスイッチを操作することにより任意の変速段を選択することができます。この場合、シフトポジション・シフトレンジ表示灯に D が点灯し、変速段が表示されます。

- ① シフトアップ
- ② シフトダウン

パドルシフトスイッチを操作することにより1段ずつ変速します。

センタータコメーター装着車以外: 1 ~ 7 のあいだで選択されている変速段がメーターに表示されます。

センタータコメーター装着車: 1 ~ 10 のあいだで選択されている変速段がメーターに表示されます。

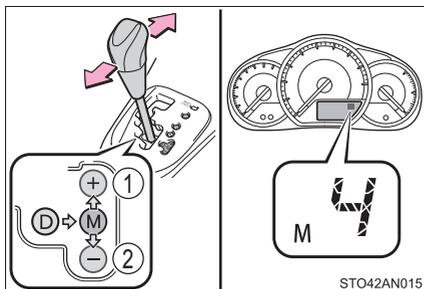


STO42ANJ03

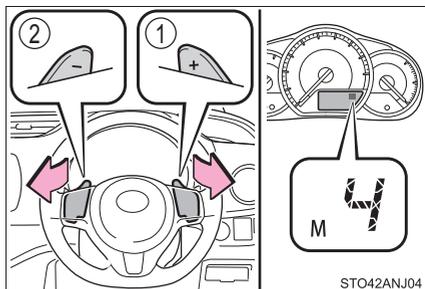
スポーツシーケンシャルシフトマチックモードでの変速段切りかえ

シフトレバーを M ポジションにすると、スポーツシーケンシャルシフトマチックモードに切りかわります。シフトレバーまたはパドルシフトスイッチの操作で思いどおりの変速段を選択し、運転することができます。シフトレバーまたはパドルシフトスイッチの“-”側または“+”側の操作で変速段を選択することができます。

▶ シフトレバー



▶ パドルシフトスイッチ



- ① シフトアップ
- ② シフトダウン

シフトレバーまたはパドルシフトスイッチを操作するごとに1段ずつ変速します。

センタータコメーター装着車以外 : 1 ~ 7 のあいだで選択されている変速段がメーターに表示されます。

センタータコメーター装着車 : 1 ~ 10 のあいだで選択されている変速段がメーターに表示されます。

 知識

■ 変速段機能

- センタータコメーター装着車以外：エンジンプレーキ力は、7 段階から選択が可能です。
- センタータコメーター装着車：エンジンプレーキ力は、10 段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字が小さい方がエンジンプレーキ力は大きくなり、エンジン回転数も高くなります。

■ スポーツシーケンシャルシフトマチックモード走行時の自動変速について

変速段を固定して走行しているときでも、エンジン回転数が上がりすぎそうなとき、または下がりすぎそうなときは、現在の変速段から自動的に1段シフトアップ、またはシフトダウンされます。

■ D ポジションでの一時的なスポーツシーケンシャルシフトマチックモードの解除

次のとき、自動的に D ポジションでの一時的なスポーツシーケンシャルシフトマチックモードが解除されます。

- 車両停止状態のとき
- 同一変速段で、アクセルペダルを一定時間以上踏み続けたとき
- パドルシフトスイッチの “+” 側を一定時間以上押し続けたとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだとき
- シフトレバーを D 以外にしたとき

■ M ポジションで走行中に停車したときは

- 停車すると自動的に M1 にシフトダウンされます。
- 停止後走行するときは M1 からの発進となります。
- 停止後は M1 に固定されます。

■ シフトレバーを M にしても、M 表示灯が点灯しないときまたは点滅したときは

システム異常のおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

この場合、シフトレバーを D にしているときと同じ制御になります。

■ シフトダウン制限警告ブザー

安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーやパドルシフトスイッチを操作してもシフトダウンできない場合があります。(このときブザーが2回鳴ります。)

■スポーツモードの自動解除

スポーツモードを選択して走行後、エンジンを停止すると、自動的に通常走行モードに切りかわります。

■シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のシフトレバーの誤操作を防ぐシステムです。エンジンスイッチが“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチがONモード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）でブレーキペダルを踏んだ状態でなければ、シフトレバーをPからシフトできません。

■シフトレバーをPからシフトできないとき

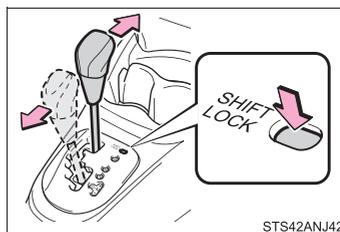
ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

シフトロックの解除のしかた：

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
エンジンスイッチを“LOCK”にする
スマートエントリー&スタートシステム装着車：
エンジンスイッチをOFFにする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 シフトロック解除ボタンを押す

ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



■ リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■ 走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなることがあります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離したとき

警告

■ すべりやすい路面では

急なアクセル操作や、エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

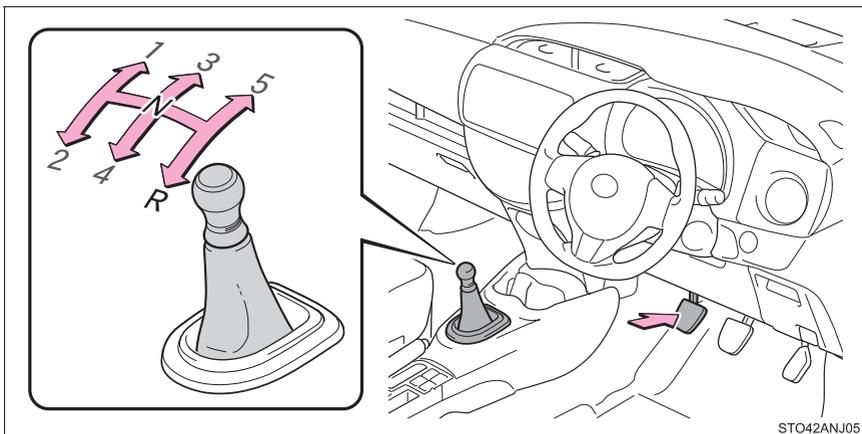
■ シフトロック解除時の事故を防ぐために

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してシフトレバーを操作したときに、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

マニュアルトランスミッション★

シフトレバーの動かし方



クラッチペダルをしっかりと踏みシフトレバーをゆっくり操作します。誤操作を防ぐため、5 から R へは直接入れることができません。いったん N に入れてから R に入れます。

各シフトの速度限界

エンジンを過回転させないために各シフト位置での速度が次に記載してある数値をこえないようにしてください。

(km/h)

シフト位置	最高速度
1	50
2	85
3	115
4	155

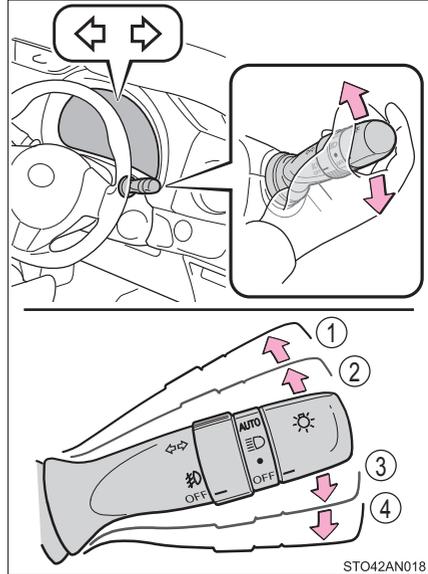
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

方向指示レバー

操作のしかた

レバー操作により、次のように運転者の意思を表示することができます。

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持)
レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。
- ③ 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持)
レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。
- ④ 右折



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

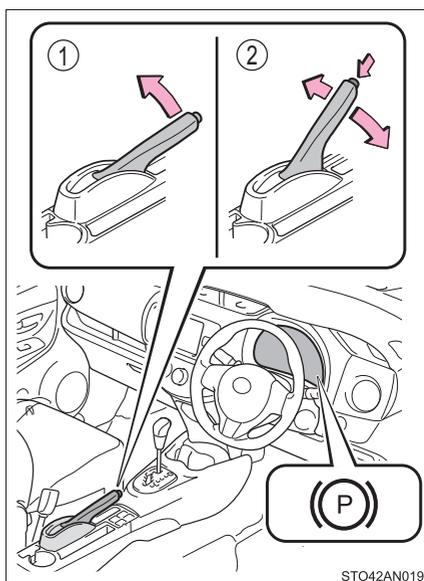
■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

- ① パーキングブレーキをかけるにはブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引く
- ② パーキングブレーキを解除するには、レバーを少し引き上げ、ボタンを押しながら完全に下までもどす



知識

- 駐車するとき
→ P. 145
- パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー
→ P. 364, 370
- 冬季のパーキングブレーキの使用について
→ P. 256

⚠ 注意

■ 走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

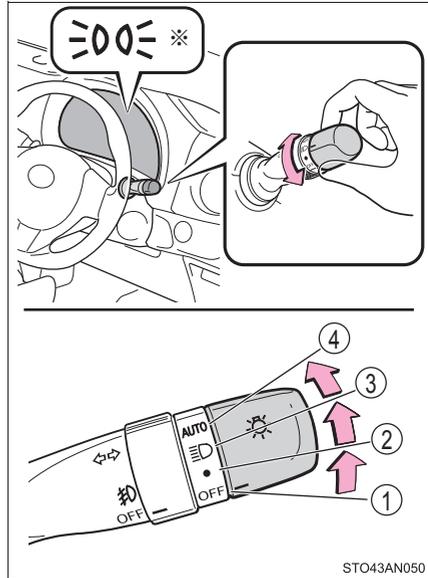
ランプスイッチ

自動または手でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

レバーの端をまわすと、次のようにランプが点灯します。

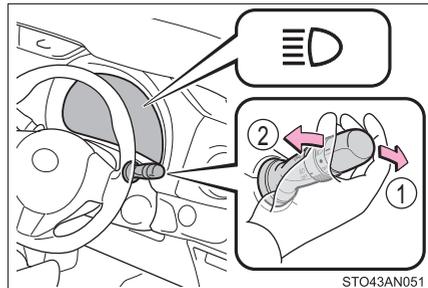
- ① **OFF** 消灯
- ② ● 車幅灯・尾灯・番号灯・メーター照明を点灯
- ③  上記ランプとヘッドランプを点灯
- ④ **AUTO** ヘッドランプ・車幅灯などを自動点灯・消灯★
エンジンスイッチが“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）または、エンジンスイッチがイグニッションONモード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）のとき



※ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

ハイビームにする

- ① ヘッドランプ点灯時ハイビームに切りかえ
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。

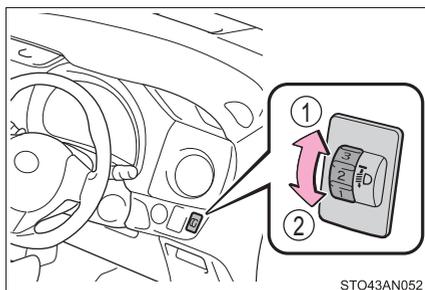


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

手動光軸調整ダイヤル（ハロゲンヘッドランプ装着車）

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

- ① 上向きに調整
- ② 下向きに調整



STO43AN052

■ 目盛り設定の目安

▶ FF車（前輪駆動）

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置	
乗員	荷物	GR Sport 以外	GR Sport
運転者	なし	0	0
運転者と 助手席乗員	なし	0	0
全乗員	なし	1.5	1
全乗員	ラゲージルーム 満載時	1.5	1
運転者	ラゲージルーム 満載時	2.5	1.5

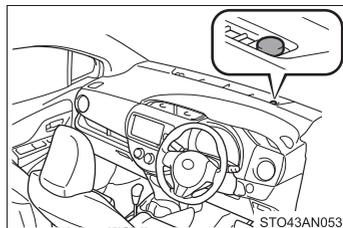
▶ 4WD車（4輪駆動）

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置
乗員	荷物	
運転者	なし	0
運転者と 助手席乗員	なし	0.5
全乗員	なし	1.5
全乗員	ラゲージルーム 満載時	2
運転者	ラゲージルーム 満載時	3

知識

■ ライトセンサー（ランプ自動点灯・消灯システム装着車）

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえざられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ ランプ消し忘れ防止機能（ランプ自動点灯・消灯システム装着車）

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ON”で、ランプスイッチがOFF以外の場合に働きます。ランプスイッチをOFFにしないまま、エンジンスイッチを“LOCK”にして運転席ドアを開けると、点灯していた車幅灯などが自動で消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを“ON”にするか、一度ランプスイッチをOFFにもどし、再度 ● または ≡○ の位置にします。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードで、ランプスイッチがOFF以外の場合に働きます。

ランプスイッチをOFFにしないまま、エンジンスイッチをOFFにして運転席ドアを開けると、点灯していた車幅灯などが自動で消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチをイグニッション ON モードにするか、一度ランプスイッチをOFFにもどし、再度 ● または ≡○ の位置にします。

■ オートレベリングシステム（LED ヘッドランプ装着車）

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドランプ・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車は、ブザーと共にマスターウォーニングが点滅し、警告メッセージが表示されます。（→ P. 370）

■ 節電機能（ランプ自動点灯・消灯システム装着車）

車両のバッテリーあがりを防止するため、エンジンスイッチが“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをOFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の状態ではヘッドランプまたは尾灯が点灯している場合、節電機能が働き約 20 分後にすべてのランプが自動消灯します。

次のいずれかをおこなった場合、節電機能は解除されます。

- ・ エンジンスイッチを“ON”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしたとき
- ・ ランプスイッチを操作したとき
- ・ ドアを開閉したとき

■ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイに「ヘッドランプシステム故障 販売店で点検してください」の警告メッセージが表示されたとき

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ カスタマイズ機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 431）

 **注意****■ バッテリーあがりを防止するために**

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

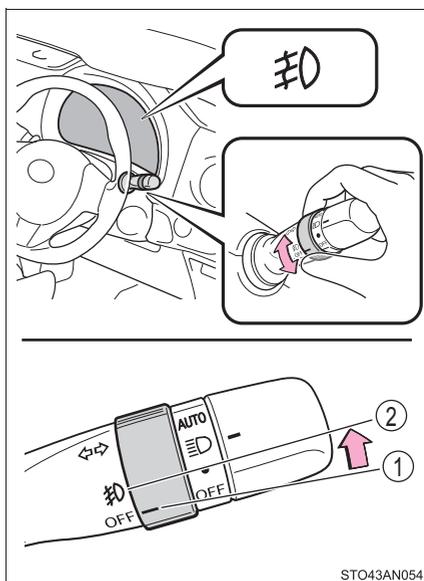
フォグランブスイッチ★

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

操作のしかた

▶ フロントフォグランブスイッチ

- ① OFF 消灯する
- ② 霧 点灯する



STO43AN054

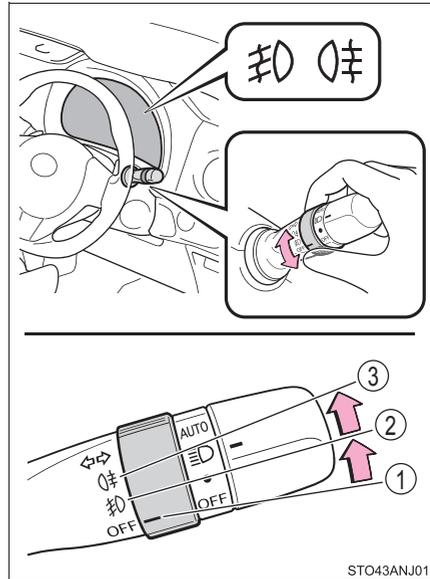
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ フロント&リヤフォグランプスイッチ

- ① OFF 消灯する
- ② ㊦ フロントフォグランプを点灯する
- ③ ㊧ フロント&リヤフォグランプを点灯する

手を離すと ㊦ の位置までもどります。

再度操作すると、リヤフォグランプのみ消灯します。



知識

■点灯条件

フロントフォグランプ：

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

リヤフォグランプ：

フロントフォグランプが点灯しているときのみ使用できます。

■リヤフォグランプについて

- リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 雨・霧・雪などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。
視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。
必要なとき以外は使用しないでください。

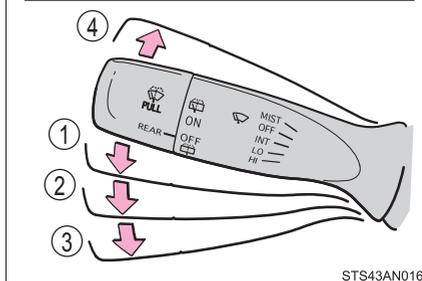
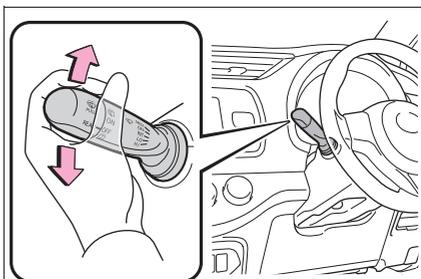
ワイパー & ウォッシャー（フロント）

操作のしかた

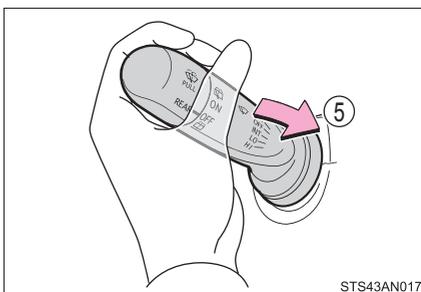
▶ 間欠ワイパー

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ① **INT** 間欠作動
- ② **LO** 低速作動
- ③ **HI** 高速作動
- ④ **MIST** 一時作動



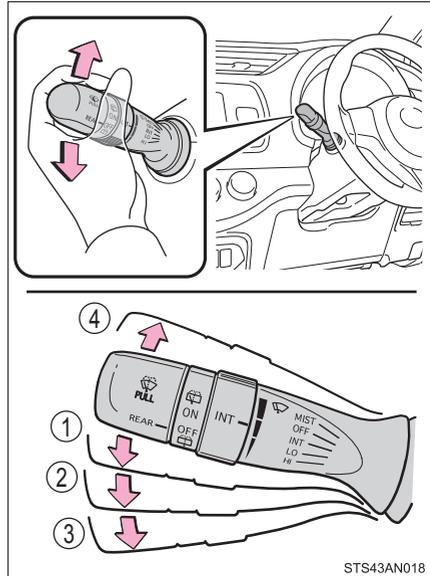
- ⑤ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



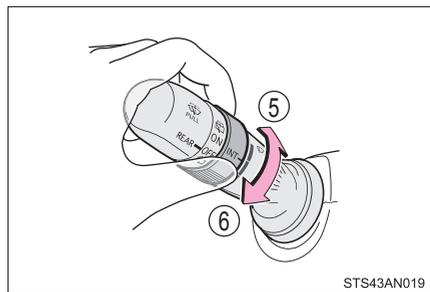
▶ 間欠時間調節式ワイパー

“INT” を選択しているとき、間欠作動の時間を調整することができます。次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。ワイパーの間欠時間も調整できます。

- ① INT 間欠作動
- ② LO 低速作動
- ③ HI 高速作動
- ④ MIST 一時作動



- ⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（減）
- ⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（増）



- ⑦ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



 知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 警告

■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ フロントウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防止するために

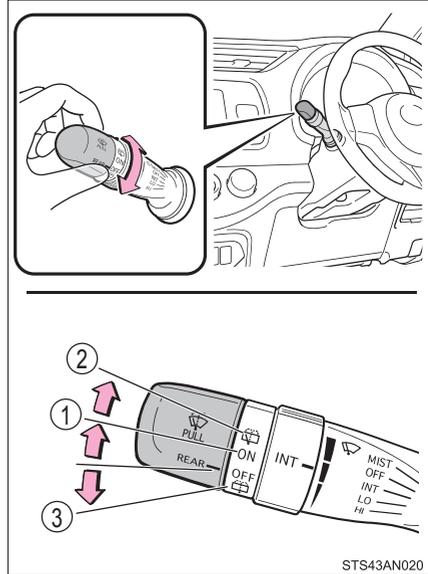
エンジンを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

ワイパー & ウォッシャー (リヤ) ★

操作のしかた

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ① **ON** 通常作動
- ②  ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。
- ③  ウォッシャー液を出す



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意****■ リヤウインドウガラスが乾いているとき**

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

給油口の開け方

次の手順で給油口を開けてください。

給油する前に

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
ドアとドアガラスを閉め、エンジン スイッチを “LOCK” にしてください。
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
ドアとドアガラスを閉め、エンジン スイッチを OFF にしてください。

知識

■ 燃料の種類

- 無鉛レギュラーガソリン
- バイオ混合ガソリン（レギュラー）

■ バイオ混合ガソリンについて

エタノールの混合率 10% 以下、または ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。

 **警告****■ 給油するときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

● キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー” という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

● 気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。

● 喫煙しないでください。

● 給油口にノズルを確実に挿入してください。

● 継ぎ足し給油をしないでください。

● 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

 **注意****■ 給油するとき**

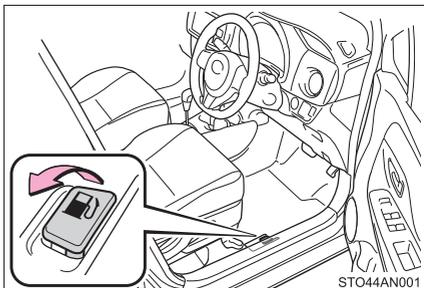
指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン※）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。
次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

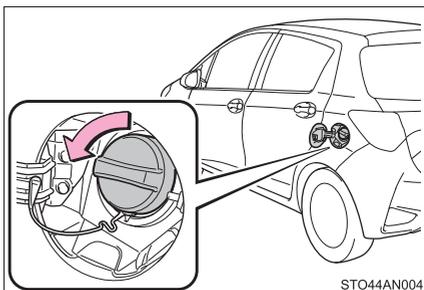
※ エタノール混合率 10% をこえるもの、または ETBE 混合率 22% をこえるもの

給油口の開け方

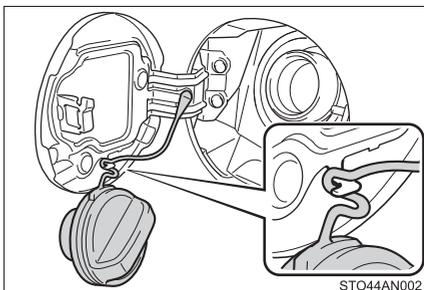
- 1 オープナーを上げて、給油扉を開ける



- 2 キャップをゆっくりまわして開ける



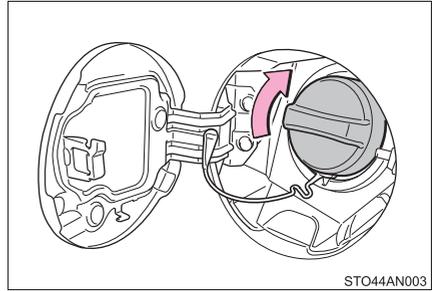
- 3 キャップをハンガーにかける



給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



警告

■ キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

Toyota Safety Sense C★

Toyota Safety Sense C は、次の運転支援装置によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。

◆ PCS（プリクラッシュセーフティシステム）

→ P. 205

◆ LDA（レーンディパーチャーアラート）

→ P. 220

◆ オートマチックハイビーム

→ P. 228

◆ その他の運転支援機能

先行車発進告知機能

→ P. 233

警告

■ Toyota Safety Sense C について

Toyota Safety Sense C は運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。本システムの認識性能・制御性能には限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両データの記録について

プリクラッシュセーフティシステムには、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ アクセルペダルの操作状況
- ・ ブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速
- ・ プリクラッシュセーフティシステムの各機能の作動状況
- ・ 先行車などの障害物との距離、相対速度などの情報

上記に加え、プリクラッシュブレーキが作動した場合、前方センサーの画像情報も記録します。なお、会話などの音声や車内の映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

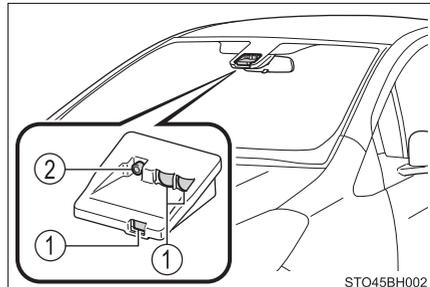
- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないよう加工したデータを研究機関などに提供する場合

- 記録した画像情報は特別な装置を使用して消去することが可能です。また、画像情報を記録する機能を停止することも可能です。ただし、機能を停止するとプリクラッシュセーフティシステム作動時のデータは残りません。

前方センサー

フロントウインドウガラス上部にある2種類のセンサーにより、各運転支援装置の作動に必要な情報を認識します。

- ① レーザーレーダー
- ② 単眼カメラ



STO45BH002

警告

■前方センサーについて

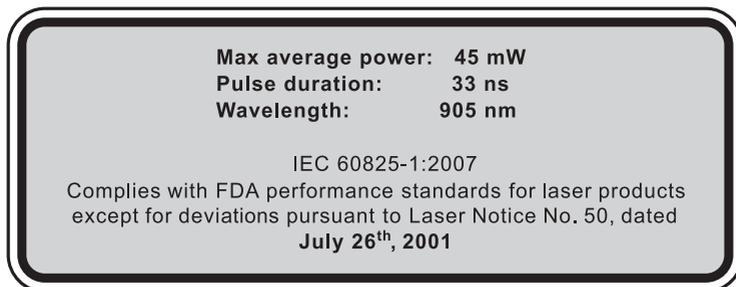
前方センサーは、前方車両の検出にレーザー光を使用しており、IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1M に相当します。通常の使用においてレーザー光が目に障害をおよぼす危険はありませんが、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと重大な視覚障害におよぶか、最悪の場合失明につながるおそれがあります。

- 有害なレーザー照射を避けるため、前方センサーは絶対に分解や取りはずしをしないでください。また、分解した前方センサーは IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 3B に相当し、目に有害です。
- 光学機器（拡大鏡・顕微鏡・虫眼鏡）などを使用して、100mm 以内の距離からセンサーをのぞき込まないでください。

レーザー等級ラベル



レーザー説明ラベル



レーザー放射仕様

最大出力 (平均): 45 mW

パルス持続時間: 33 ns

波長: 905 nm

発散角 (水平 × 垂直): 28° × 12°

警告

■前方センサーの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。

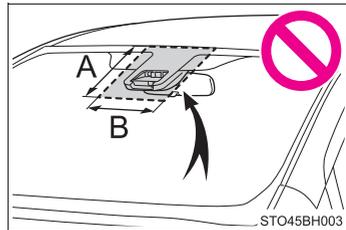
お守りいただかないと、前方センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- フロントウインドウガラスは常にきれいにしておく
フロントウインドウガラス外側に汚れ・油膜・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。
フロントウインドウガラス内側の前方センサー取り付け部が汚れた場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

- フロントウインドウガラス外側の前方センサー前部（図に示す範囲内）にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けない

A: フロントウインドウガラス上端から前方センサー下端より下約 10cm まで

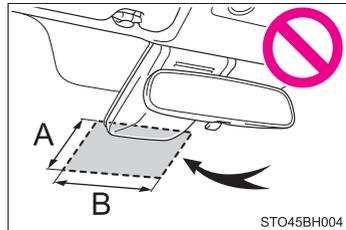
B: 約 20cm（前方センサー中心から左右約 10cm）



- フロントウインドウガラス内側の前方センサー下部（図に示す範囲内）に何も取り付けたり、貼り付けたりしない

A: 前方センサー下端から下約 10cm まで

B: 約 20cm（前方センサー中心から左右約 10cm）



- 冬季のように、車室内と外気の温度差が大きいときなどは、フロントウインドウガラスが曇りやすくなります。フロントウインドウガラスの前方センサー前部が曇ったり、結露したり、凍結したりすると、システムが一時的に作動しなくなることもあり、PCS 警告灯が点灯します。その場合は、エアコンの除湿機能が曇りなどを取り除いてください。（→ P. 261, 267）

- 前方センサー前部に水滴が付着したときはワイパーでふき取る
水滴のふき取りが不十分な場合、性能が低下することがあります。
- フロントウインドウガラスの前方センサー前部の水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパーブレードを交換する
ワイパーブレードの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない

 **警告**

- フロントウインドウガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せず
に交換する
フロントウインドウガラスの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 前方センサーの前にアンテナを取り付けない
- 前方センサーに液体をかけない
- 前方センサーに強い光を照射しない
- 前方センサーのレンズを汚したり、傷を付けたりしない
フロントウインドウガラス内側を掃除するときは、ガラスクリーナーがレンズ
に付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。
レンズに汚れ・傷がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 前方センサーに強い衝撃を加えない
- 前方センサーの取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない
- 前方センサーを分解しない
- 前方センサー付近に電子機器や、強い電波を発信する機器を取り付けない
- インナーミラー・サンバイザーなどの前方センサー周辺部品や天井を改造しない
- ボンネット・フロントグリル・フロントバンパーに、前方センサーの視界をさ
えぎる可能性のあるアクセサリーを取り付けない
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボードなど）を積むときは、前方センサー
の視界をさえぎらないようにする
- ヘッドランプなどのランプ類を改造しない
- ダッシュボードには何も取り付けたり、置いたりしない

PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★

進路上の車両を前方センサーで検出し、衝突の可能性が高いと判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

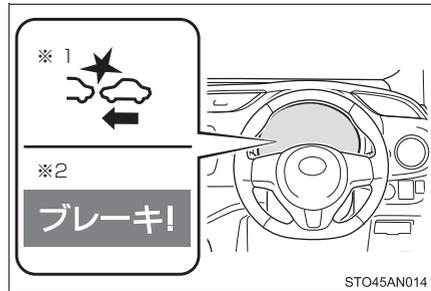
必要に応じて、プリクラッシュセーフティシステムの ON/OFF や、警報タイミングを切りかえることができます。(→ P. 208)

◆ 衝突警報

先行車と衝突の可能性が高いと判断したとき、“ピピピ・・・”とブザー音が鳴り、PCS 作動表示灯が点滅 ※¹、またはマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージを表示し ※²、回避操作をうながします。

※¹ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

※² カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車



STO45AN014

◆ プリクラッシュブレーキアシスト

先行車と衝突の可能性が高いと判断したとき、ブレーキペダルが踏まれる強さに応じてブレーキ力を増強します。

◆ プリクラッシュブレーキ

先行車と衝突の可能性が高いと判断したときに衝突警報を行い、さらに衝突の可能性が高まったと判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突回避を支援、あるいは衝突速度の低減に寄与します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■安全にお使いいただくために**

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
プリクラッシュセーフティシステムを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- プリクラッシュセーフティシステムは衝突の回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的として設計されていますが、その効果はさまざまな条件によりかわり、常に同じ性能を発揮できるものではありません。
次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。
 - ・ 衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき：→P. 211
 - ・ システムが正常に作動しないおそれがあるとき：→P. 215
- お客様ご自身でプリクラッシュセーフティシステムの作動テストを行わないでください。状況によってシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■プリクラッシュブレーキについて

- プリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを操作したりしていると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキが作動しない場合があります。
- プリクラッシュブレーキ作動中に、アクセルペダルを強く踏んだり、ハンドルを操作したりすると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。
- プリクラッシュブレーキ作動時は、強いブレーキがかかります。プリクラッシュブレーキは車両が停止してから約 2 秒後に解除されます。必要に応じて運転者自らブレーキをかけてください。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動開始タイミングを遅らせる場合があります。
- 走行中、システムは踏切の遮断機などの前方障害物を衝突対象物と認識し、プリクラッシュブレーキを作動させることがあります。万一踏切内に閉じ込められた場合などは、次の操作で車両を前進させ、状況に応じて安全を確保してください。
 - ・ 車両停止後に再度アクセルペダルを踏む
 - ・ 減速中にアクセルペダルを深く踏み込む（→P. 210）
 - ・ プリクラッシュセーフティシステムを OFF にする（→P. 208）

 **警告****■プリクラッシュセーフティシステムを OFF にするとき**

次のときは、システムを OFF にしてください。
システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- けん引してもらうとき
- けん引するとき
- トラック・船舶・列車などに積載するとき
- 車両をリフトで上げ、エンジンを始動しタイヤを空転させるとき
- 点検でシャシーダイナモやフリーローラーなどを使用するとき
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- タイヤの性能を発揮できないとき（→ P. 307, 311）
- メーカー指示のサイズ以外のタイヤを取り付けているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 応急用タイヤやタイヤパンク応急修理キットを使用しているとき

プリクラッシュセーフティシステムの設定変更

■ プリクラッシュセーフティシステムのON/OFFを変更する

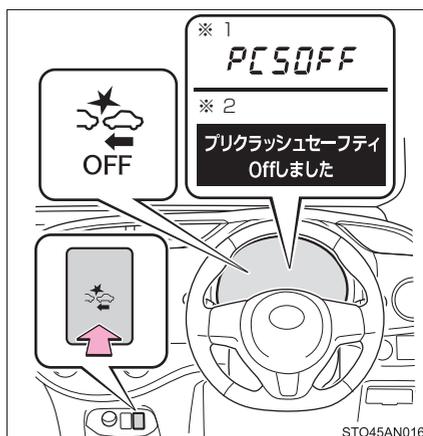
システムをOFFにするには、PCSスイッチを3秒以上押す

システムをOFFにすると、PCS警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

システムをONにするには、もう一度PCSスイッチを押します。

エンジンを始動するたび、プリクラッシュセーフティシステムはONになります。

- ※1 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車
- ※2 カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車



■ ブリクラッシュセーフティシステムの警報タイミングを変更する

PCS スイッチを押すと PCS 作動表示灯^{※1} が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに現在の警報タイミングが表示されます。表示された状態で PCS スイッチを押すごとに、次のように警報タイミングが切りかわります。

いったん警報タイミングを変更すると、次回エンジンを始動したときにも、そのままの状態が続きます。

① 遠い

「中間」より警報タイミングが早くなる

② 中間

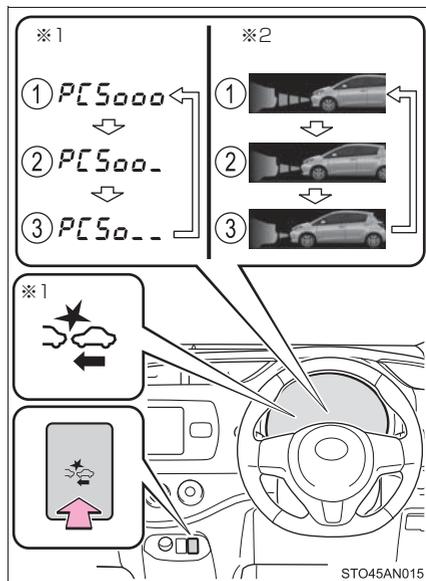
初期設定

③ 近い

「中間」より警報タイミングが遅くなる

※1 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

※2 カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車



 知識

■ システムの作動条件

プリクラッシュセーフティシステムが ON で、先行車と衝突の可能性が高いと判断したときに作動します。

各機能の作動速度は次のとおりです。

● 衝突警報

- ・ 自車速度約 15 ～ 140km/h
- ・ 自車から見た先行車との相対速度約 15km/h 以上

● プリクラッシュブレーキアシスト

- ・ 自車速度約 30 ～ 80km/h
- ・ 自車から見た先行車との相対速度約 30km/h 以上

● プリクラッシュブレーキ

- ・ 自車速度約 10 ～ 80km/h
 - ・ 自車から見た先行車との相対速度約 10km/h 以上
- ただし、次のときシステムは作動しません。

● バッテリー端子を脱着したあと、しばらく走行するまでのあいだ

● シフトレバーが R のとき

● VSC が OFF のとき（衝突警報のみ作動可能状態になります）

■ プリクラッシュブレーキの作動解除

● プリクラッシュブレーキ作動中に次の操作をすると、プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。

- ・ アクセルペダルを強く踏み込む ※
- ・ ハンドルを大きくきる、またはすばやく操作する

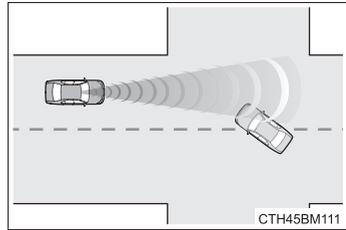
※ 車速が約 15 km/h 以下でアクセルペダルを強く踏み込んだ場合、誤発進操作とシステムが判断してプリクラッシュブレーキの作動が解除されないことがあります。

● プリクラッシュブレーキの作動により車両が停止したときは、車両が停止してから約 2 秒後にプリクラッシュブレーキの作動が解除されます。

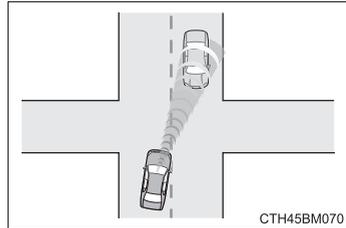
■衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、システムが衝突の可能性があると判断し、作動するおそれがあります。

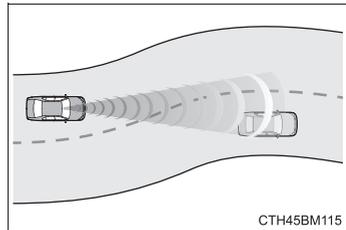
- ・ 右左折待ちの対向車とすれ違うとき



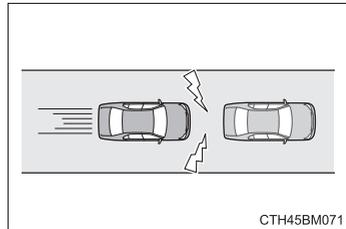
- ・ 右左折時に対向車とすれ違ったとき



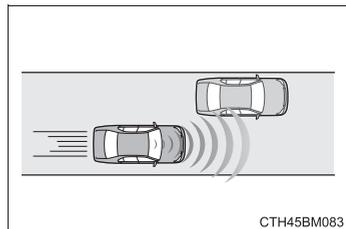
- ・ 隣の車線の前方車両との位置関係がずれる道 (曲がりくねった道など) を走行するとき



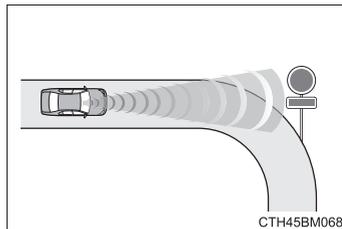
- ・ 先行車に急速に接近したとき



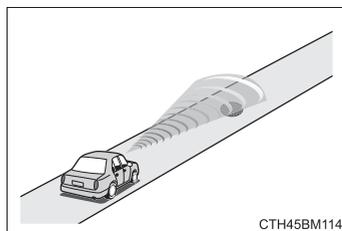
- ・ 路面にうねり・凹凸があるときなど、車両姿勢が変化しているとき
- ・ 車両や構造物のすぐそばを通過するとき



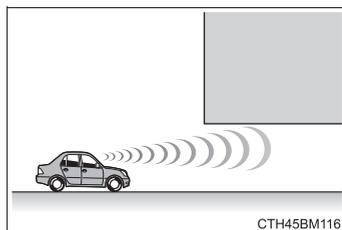
- ・カーブの入り口の道路脇に車両・構造物が存在するとき



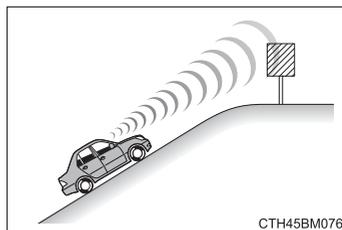
- ・道路脇が構造物に囲まれた狭い道（狭いトンネル・鉄橋など）を走行するとき
- ・路上または道路脇に反射物（マンホール・鉄板など）・段差・くぼみ・突起物があるとき



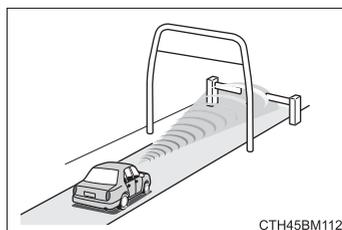
- ・道路上方に構造物（天井の低いトンネル・道路標識など）がある場所を走行するとき



- ・上り坂で進行方向の道路上方に構造物（立体交差・道路標識・看板・街灯など）があるとき

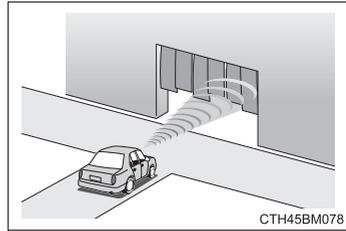


- ・ETC ゲートや駐車場のゲートなどの開閉バーに急速に接近したとき

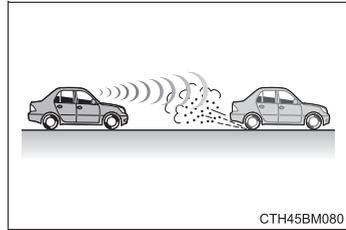


- ・洗車機を使用するとき

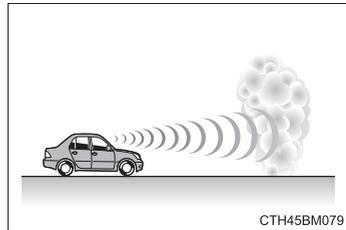
- ・ 車両に覆い被さるような障害物（垂れ幕・垂れ下がった枝・生い茂った草など）がある場所を走行するとき



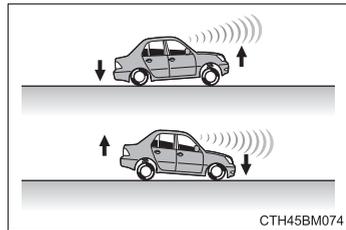
- ・ 前方車両から水・雪・土ぼこりなどの巻き上げがあるとき



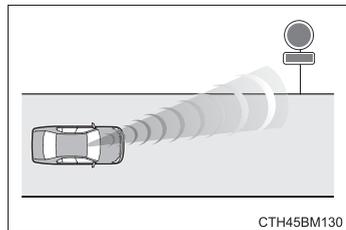
- ・ 車両前方に水蒸気や煙などがあるとき



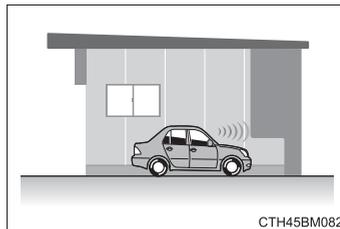
- ・ 路面または壁面に車両との区別が付きにくい模様・ペイントがあるとき
- ・ 車両姿勢が変化しているとき



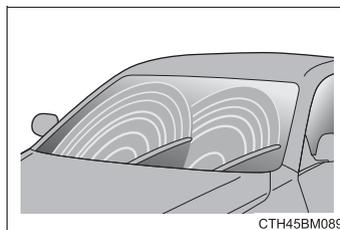
- ・ センサーへの強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき



- ・ 前方センサーの高さに突き出た障害物がある場所に駐停車するとき



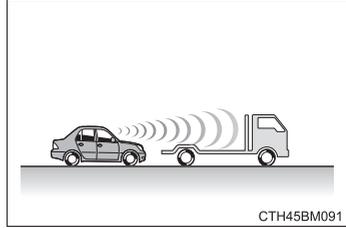
- ・ フロントウインドウガラスが雨滴などで覆われているとき



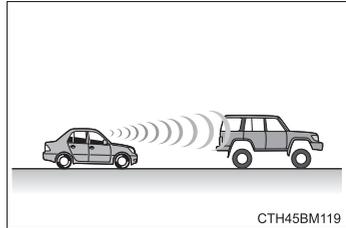
■システムが正常に作動しないおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、前方センサーが対象となる車両を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

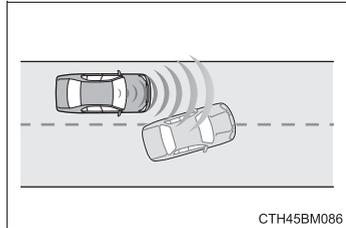
- ・ 前方から自車に向かって車両が近付いてくるとき
- ・ 前方車両が横向き、自車向きするとき
- ・ 先行車の後端面積が小さいとき（空荷のトラックなど）
- ・ 先行車の後端が低い位置にあるとき（低床トレーラーなど）



- ・ 前方車両の荷台から荷物がはみ出しているとき
- ・ 前方車両の最低地上高が極端に高いとき

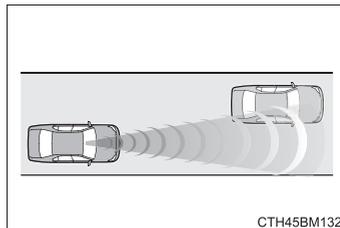


- ・ 前方車両が特殊な形状のとき（トラクター・サイドカーなど）
- ・ 前方車両が太陽光などを強く反射しているとき
- ・ 車両が横から割り込んできたり、飛び出してきたりしたとき



- ・ 前方車両が急な動きをしたとき（急ハンドル・急加速・急減速など）
- ・ 自車が車線変更を行い、変更した車線の先行車に急接近したとき

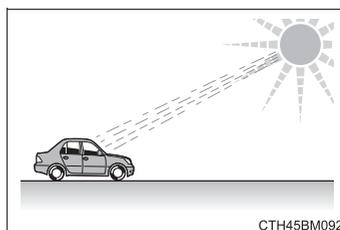
- ・ 前方車両と自車の中心がずれているとき



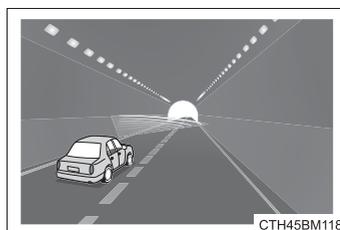
- ・ 悪天候（雨・霧・雪・砂嵐など）のとき



- ・ 前方車両から水・雪・土ぼこりなどの巻き上げがあるとき
- ・ 水蒸気や煙などで前方車両が見えないとき
- ・ 周囲の明るさが急激に変化する場所を走行するとき（トンネルの出入り口など）
- ・ 強い光（太陽光や対向車のヘッドランプ光など）が前方センサーに直接あたっているとき

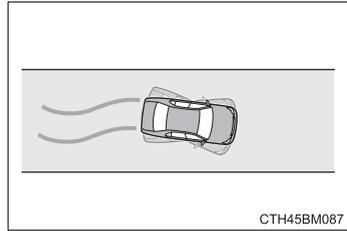


- ・ 薄暗いとき（朝方・夕方など）、および夜間やトンネル内

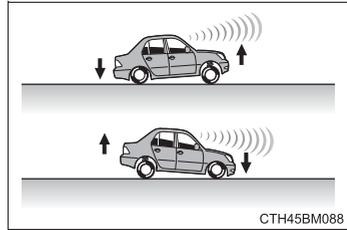


- ・ カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからしばらくの間

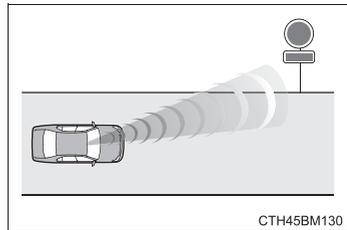
- ・ 自車が横すべりしているとき



- ・ 車両姿勢が変化しているとき



- ・ ホイールアライメントがずれているとき
- ・ ワイパーブレードが前方センサーの視界をさえぎっているとき
- ・ ふらつき運転をしているとき
- ・ 過度な高速走行をしているとき
- ・ きついカーブや起伏がある場所を走行するとき
- ・ 先行車がレーザー波を反射しにくい状態のとき
- ・ センサーへの強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき



- 例えば次のような状況では、制動力が十分に得られず、システムの性能を発揮できないおそれがあります。
 - ・ ブレーキ性能が十分に発揮できない場合（ブレーキ部品が極度に冷えている・加熱している・濡れているなど）
 - ・ 車両の整備状態（ブレーキ部品・タイヤの摩耗や空気圧など）が良好でないとき
 - ・ 砂利道や滑りやすい路面を走行しているとき

■ PCS 警告灯が点滅または点灯したとき (モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車)

システムが一時的に作動しない、またはシステムに異常があるおそれがあります。

● 次のときは、状況が改善されると PCS 警告灯が消灯し、作動可能状態になります。

- ・ 炎天下に駐車したあとなど、前方センサー周辺の温度が高いとき
- ・ フロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりしているとき (→ P. 261, 267)
- ・ 暗闇・逆光・雪・霧など、前方センサーが周囲の状況を認識できないとき
- ・ 極寒の環境などで、前方センサーや前方センサー周辺の温度が低いとき
- ・ ボンネットが開いているときや、フロントウインドウガラスの前方センサー付近にシールが貼り付けられているときなど、前方センサーの前方がさえぎられているとき

● PCS 警告灯が点滅または点灯したままのときは、システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ PCS 警告灯が点滅または点灯、およびマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき (カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車)

システムが一時的に作動しない、またはシステムに異常があるおそれがあります。

● 次のときは、状況が改善されると PCS 警告灯・警告メッセージが消え、作動可能状態になります。

- ・ 炎天下に駐車したあとなど、前方センサー周辺の温度が高いとき
- ・ フロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりしているとき (→ P. 261, 267)
- ・ 暗闇・逆光・雪・霧など、前方センサーが周囲の状況を認識できないとき
- ・ 極寒の環境などで、前方センサーや前方センサー周辺の温度が低いとき
- ・ ボンネットが開いているときや、フロントウインドウガラスの前方センサー付近にシールが貼り付けられているときなど、前方センサーの前方がさえぎられているとき

● PCS 警告灯が点滅または点灯したままのとき、および警告メッセージが表示されたままのときは、システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■VSC を停止したとき

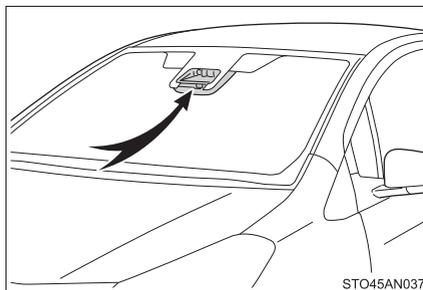
- TRC と VSC の作動を停止 (→ P. 250) したときは、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキの作動も停止します。ただし、衝突警報は作動します。
- モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：PCS 警告灯が点灯します。
- カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「VSC が OFF のためプリクラッシュブレーキも停止します」が表示されます。

LDA (レーンディパーチャーアラート／車線逸脱警報)★

機能概要

白（黄）線の整備された道路を走行中、車線からの逸脱の可能性を運転者に警告します。

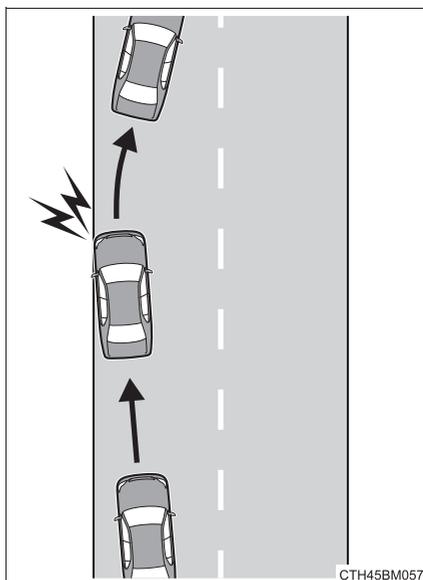
LDA は、フロントウィンドウガラス上部の前方センサーで、白（黄）線を認識します。



車線逸脱警報機能

車両が車線から逸脱する可能性がある場合に、マルチインフォメーションディスプレイの表示および、警報ブザーにより注意をうながします。

警報ブザーが鳴ったときは、周りの道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、白（黄）線内の中央付近にもどってください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

■ LDA をお使いになる前に

LDA を過信しないでください。LDA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないので、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 誤操作を防ぐために

LDA を使用しないときは、LDA スイッチでシステムを OFF してください。

■ LDA の故障や誤作動を防ぐために

- ヘッドランプを改造したり、ランプの表面にステッカーなどを貼ったりしないでください。
- サスペンションを改造しないでください。交換する場合はトヨタ販売店にご相談ください。
- ボンネットやグリルの上には、何も取り付けたり置いたりしないでください。また、グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）を取り付けないでください。
- フロントウインドウガラスの修理が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

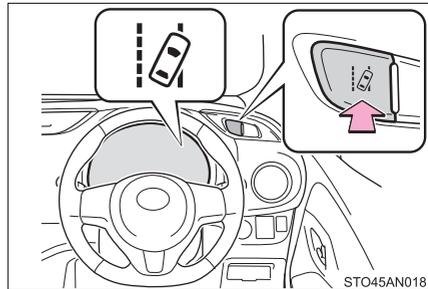
設定のしかた

LDA を使用するには LDA スイッチを押す

メーター内の LDA 表示灯が点灯します。

解除するには再度 LDA スイッチを押します。

LDA の ON/OFF 状態は、エンジンスイッチ OFF 後、再始動しても継続します。

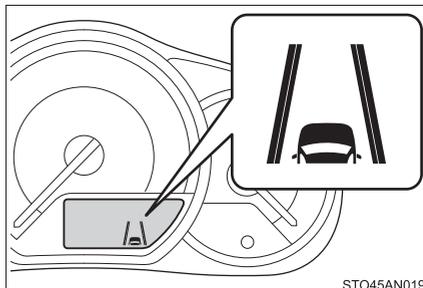


モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ表示★

両側の白線表示灯が太いとき：

左右の白（黄）線が認識されていることを示しています。

車両が車線から逸脱した場合、逸脱している側の白線表示が点滅します。

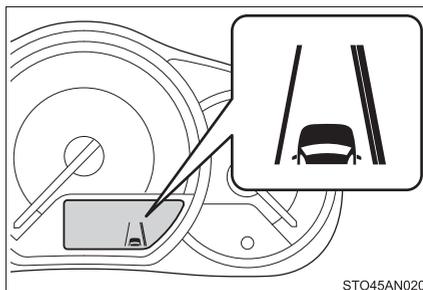


STO45AN019

片側の白線表示灯が太いとき：

左右いずれか一方の白（黄）線が認識されていることを示しています。

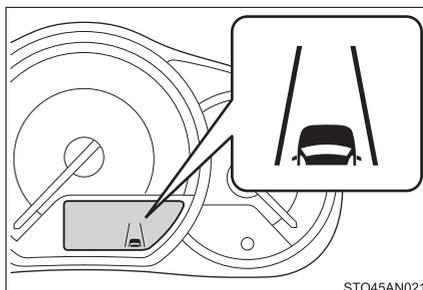
認識されている側の白（黄）線から車両が逸脱した場合、その白線表示が点滅します。



STO45AN020

両側の白線表示灯が細いとき：

白（黄）線が認識されていない、または LDA が一時的に解除されていることを示しています。



STO45AN021

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ表示★

両側の白線表示内側が白いとき：

左右の白（黄）線が認識されていることを示しています。

車両が車線から逸脱した場合、逸脱している側の白線表示が橙色で点滅します。（→ P. 370）



片側の白線表示内側が白いとき：

左右いずれか一方の白（黄）線が認識されていることを示しています。

認識されている側の白（黄）線から車両が逸脱した場合、その白線表示が橙色で点滅します。（→ P. 370）



両側の白線表示内側が黒いとき：

白（黄）線が認識されていない、または LDA が一時的に解除されていることを示しています。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 作動条件

- LDA を ON にしているとき
- 車速が約 50km/h 以上のとき
- システムが白（黄）線を認識しているとき
- 車線の幅が約 3m 以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 直線路またはゆるいカーブ（半径約 150m 以上）を走行しているとき
- システムの異常が検知されていないとき（→ P. 368）

■ 機能の一時解除

次のいずれかの場合、機能を一時的に解除します。解除されたときの状況が改善されると、作動を再開します。

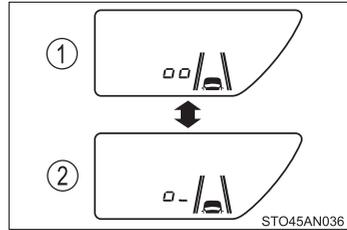
- 方向指示レバーを操作したとき
- 作動条件以外の車速になったとき
- 走行中の白（黄）線が認識できなくなったとき
- 車線逸脱警報吹鳴直後
車線逸脱警報が作動してから数秒間は、再度車線を逸脱しても警報は作動しません。

■ 車線逸脱警報の設定変更

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズモード (→ P. 78) により、警報感度を 2 段階から選択できます。

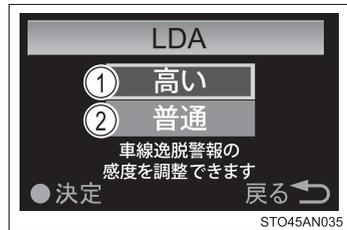
- 1 表示切りかえボタンを押し、カスタマイズモードから LDA 警報感度設定を表示する
- 2 表示切りかえボタンを長押しすると、警報感度が切りかわります。
 - ① 高い (初期設定)
 - ② 普通



▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

マルチインフォメーションディスプレイの設定画面 (→ P. 89) により LDA 警報感度を 2 段階から選択できます。

- 1 メーター操作スイッチ (→ P. 80) の \wedge または、 \vee を押し、設定画面から「LDA」を選択し決定ボタンを押す
- 2 警報感度を選択し、決定ボタンを押す
 - ① 高い (初期設定)
 - ② 普通



■ 車線逸脱警報について

オーディオ・エアコン使用時は、音楽やファンの音などにより、警報音が聞き取りづらくなる場合があります。

■ 炎天下に駐車したあとは

走行開始後、しばらくのあいだ LDA は作動せず、LDA 表示灯^{※1}が黄色点灯、またはマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージ^{※2}(→P. 371)が表示されることがあります。室内温度が低下し、前方センサー周辺(→P. 201)の温度が適温になると作動するので、いったん LDA スイッチを OFF にして、しばらくしてから ON にしてください。

※1 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

※2 カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

■ 白(黄)線が片側にしかないとき

白(黄)線が認識できていない方向への車線逸脱警報は作動しません。

■ 機能が正常に作動しないおそれのある状況

次の状況では、前方センサーが白(黄)線を正しく検知できず、車線逸脱警報機能が正しく作動しないことがあります。故障ではありません。

- 料金所や検札所の手前や交差点などを走行するとき
- 急カーブを走行するとき
- 車線の幅が極端に狭いときや広いとき
- 重い荷物の積載やタイヤ空気圧の調整不良などで、車両が著しく傾いているとき
- 先行車との車間距離が極端に短くなったとき
- 車線が黄色のとき(白線にくらべて認識率が低下することがあります)
- 白(黄)線がかすれていたり、道路鋸や置き石などのとき
- 白(黄)線が縁石等の上に引かれているとき
- 白(黄)線が砂ぼこりなどで見えない、または見えにくくなっているとき
- 白(黄)線と平行に近い影があったり、白(黄)線が影の中にあるとき
- コンクリート路のような明るい路面を走行するとき
- 照り返しなどにより明るくなった路面を走行するとき
- トンネルの出入口など明るさが急変する場所を走行するとき
- 対向車のヘッドランプ光・太陽光などが前方センサーに入射するとき
- 分岐・合流路などを走行するとき
- 雨天・雨上がり・水たまりなどぬれた路面を走行するとき
- 悪路や道路の継ぎ目などを走行時に、車両に大きな上下動が発生するとき

- 夜間にヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや、光軸がずれているとき
- 左右に傾いた道路やうねった道路を走行するとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき
- 坂道を走行しているとき
- 車線変更をした直後、または交差点を通過した直後

■タイヤを交換したとき

冬用タイヤなど、タイヤによっては十分な性能が確保できない場合があります。

■LDA 表示灯が黄色で点灯したとき（モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■LDA の警告メッセージ（カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

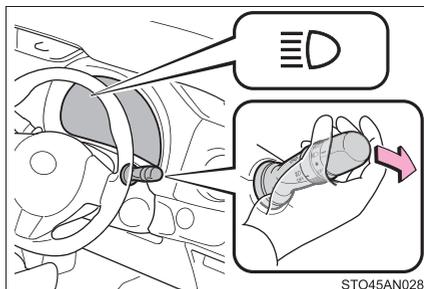
走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージで注意をうながします。（→P. 368）

オートマチックハイビーム★

オートマチックハイビームは、フロントウインドウガラス上部に設置された前方センサーにより対向車または先行車のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

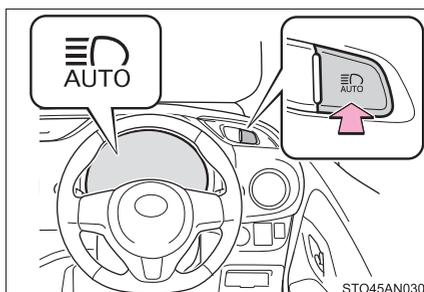
オートマチックハイビームの使い方

- 1 ランプスイッチを **AUTO** または  にし、レバーを前方へ押す



- 2 オートマチックハイビームスイッチを押す

オートマチックハイビームが作動すると、オートマチックハイビーム表示灯が緑色点灯します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- 車速が約 30km/h 以上
- 車両前方が暗い
- 対向車または先行車が存在しない、またはランプを点灯していない
- 前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- 車速が約 25km/h 以下
- 車両前方が明るい
- 対向車または先行車がランプを点灯している
- 前方の道路沿いの街路灯の光が多い

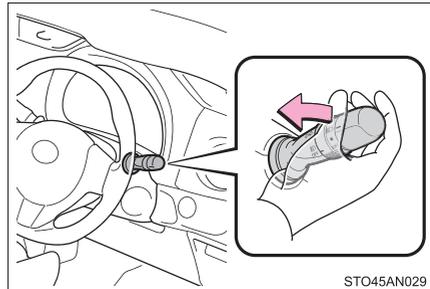
手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯します。

オートマチックハイビームにもどす
には、再度レバーを前方に押します。

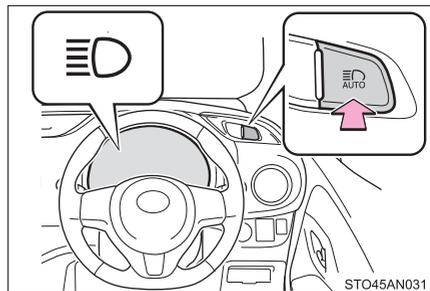


■ ハイビームへの切りかえ

オートマチックハイビームス
イッチを押す

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯し、ハイビーム表示灯が点灯し
ます。

オートマチックハイビームにもどす
には、再度スイッチを押します。



 知識

■ 作動条件

スマートエントリー&スマートスタート非装着車：エンジンスイッチ位置が ON のとき

スマートエントリー&スマートスタート装着車：エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ オートマチックハイビームについて

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - ・ 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・ 他車が前方を横切ったとき
 - ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき
- 対向車のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります
 - ・ 対向車または先行車のランプの明るさ
 - ・ 対向車または先行車の動きや向き
 - ・ 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
 - ・ 対向車または先行車が二輪車のとき
 - ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- オートマチックハイビームは車両前方にあるランプの明るさなどで周囲の状況を認識します。従って、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。

- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・ 悪天候時（霧・雪・砂嵐・大雨など）
 - ・ フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - ・ フロントウインドウガラスにひび割れや破損があるとき
 - ・ 前方センサーが変形しているときや、汚れているとき
 - ・ 前方センサーの温度が非常に高いとき
 - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・ 対向車または先行車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
 - ・ 急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・ 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - ・ カーブが多い道路を走行しているとき
 - ・ 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・ コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・ 自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
 - ・ パンクやけん引などにより車両が傾いているとき

■ オートマチックハイビーム表示灯が黄色で点灯したとき（モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ オートマチックハイビームの警告メッセージ（カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージで注意をうながします。（→ P. 369）

 **警告****■安全にお使いいただくために**

オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

 **注意****■オートマチックハイビームを正しく作動させるために**

オートマチックハイビームを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- 荷物を積み過ぎない
- 車両を改造しない

先行車発進告知機能★

先行車の発進後、自車が停止し続けた場合、警告ブザーとマルチインフォメーションディスプレイの表示でお知らせする機能です。

先行車発進告知機能

前の車に続いて停止しているときに先行車を認識し続け、先行車が発進してしばらく進んでも自車が停止し続けた場合にお知らせします。

- ※1 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車
- ※2 カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 作動条件

- シフトレバーが P・R 以外でブレーキペダルを踏んで停止している、またはシフトレバーが N で停止しているとき（オートマチック車）
- シフトレバーが R 以外でブレーキペダルを踏んで停止しているとき（マニュアル車）

■ 先行車が発進していても告知しない場合があるとき

例えば次のような状況では、前方センサーが対象を検出できず、システムが正常に作動しない場合があります。

- 自車と先行車の停止位置がずれており、先行車を正しく認識できないとき
- 坂道やカーブなどにより、先行車を正しく認識できないとき
- 先行車の背面形状（けん引をしている車両や荷物を積んでいないトレーラー、雪や泥などが大量に付着している車両など）やボデーカラーなどにより、先行車を正しく認識できないとき
- 先行車がオートバイ・自転車などのとき
- 先行車の右左折や車線変更などにより、先行車を認識できなくなったとき
- 悪天候（雨・霧・雪・砂嵐など）・煙・水蒸気などにより、先行車を認識できないとき
- 前方センサー周辺への強い衝撃などにより、前方センサーの向きがずれ、先行車を正しく認識できないとき
- プリクラッシュセーフティシステムが一時的に使用できないときや、故障などにより PCS 警告灯が点滅または点灯しているとき
- 右左折や車線変更などのために、ハンドルを大きくまわしたとき

■ 先行車が発進していなくても告知する場合があるとき

例えば次のような状況では、先行車が発進したと判断し、システムが作動する場合があります。

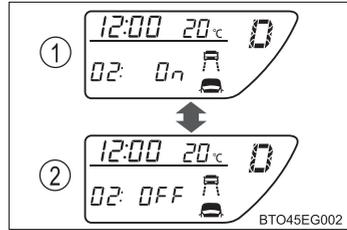
- 悪天候（雨・霧・雪・砂嵐など）により、先行車の発進を誤認識したとき
- 坂道やカーブなどにより、先行車ではないものを先行車と認識しているとき
- 前方センサー周辺への強い衝撃などにより、前方センサーの向きがずれ、先行車ではないものを先行車と認識しているとき
- 先行車がない状態での停止時に、交差点の先にいる車両や自転車の正面を横切る車両などを先行車として認識したとき
- 自車と先行車とのあいだに、ほかの車両が割り込んだり通過したりしたとき

■ 先行車発進告知機能を ON / OFF するには

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズモード (→ P. 78) により、先行車発進告知機能を ON / OFF にできます。

- 1 表示切りかえボタンを押し、カスタマイズモードから先行車発進告知設定「02」を表示する
- 2 表示切りかえボタンを長押しすると、ON / OFF が切りかわります。
 - ① ON (告知機能有)
 - ② OFF (告知機能なし)



▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

マルチインフォメーションディスプレイの設定画面 (→ P. 89) により、先行車発進告知機能を ON / OFF にできます。

- 1 メーター操作スイッチ (→ P. 80) の  または、 を押し、設定画面から「先行車発進」を選択し決定ボタンを押す
- 2 先行車発進画面の「告知設定」を選択し、決定ボタンを押す
- 3 ON / OFF を選択し、決定ボタンを押す
 - ① ON (告知機能有)
 - ② OFF (告知機能なし)



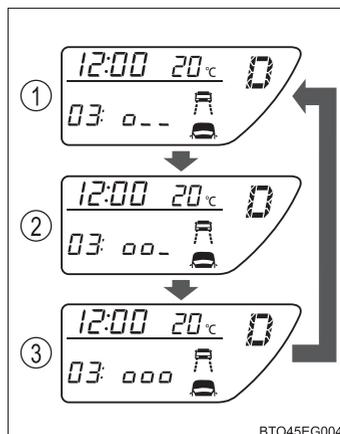
■ 先行車発進告知機能の告知タイミングを切りかえるには

▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズモード (→ P. 89) により、先行車発進告知機能の告知タイミングを変更することができます。

- 1 表示切りかえボタンを押し、カスタマイズモードから先行車発進告知タイミング設定「03」を表示する
- 2 表示切りかえボタンを長押しすると、告知タイミングが切りかわります。

- ① 遅い
- ② 普通
- ③ 早い



BTO45EG004

▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

マルチインフォメーションディスプレイの設定画面（→ P. 89）により、先行車発進告知機能の告知タイミングを変更することができます。

- 1 ① メーター操作スイッチ（→ P. 80）の  または、 を押し、設定画面から「先行車発進」を選択し決定ボタンを押す
- 2 ② 先行車発進画面の「告知タイミング」を選択し、決定ボタンを押す
- 3 ③ 告知タイミングを選択し、決定ボタンを押す

- ① 早い
- ② 普通
- ③ 遅い



Toyota Stop & Start System (SMART STOP) ★

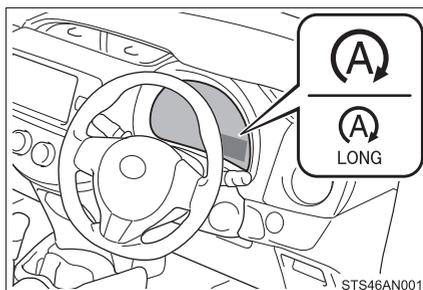
赤信号や交差点などの一時的な停車中、燃費向上やアイドリング騒音低下のため、エンジンスイッチを操作することなく、ブレーキペダルまたはシフトレバーの操作によってエンジンを停止・再始動させるシステムです。

D・S・Bレンジアイドリングストップ

■ エンジンが停止する

シフトレバーをD・S・Bで走行中、ブレーキペダルを踏み車両を完全に停止させると、エンジンが自動的に停止します。

エンジンが停止し、Stop & Start 表示灯が点灯します。



■ エンジンが再始動する

ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。

エンジンが再始動し、Stop & Start 表示灯が消灯します。

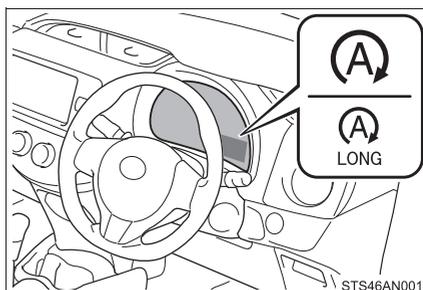
P・Nレンジアイドリングストップ

■ エンジンが停止する

- 1 ブレーキペダルを踏み、車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーをPまたはNにすると、エンジンが自動的に停止します。(→ P. 170)

エンジンが停止し Stop & Start 表示灯が点灯します

D・S・Bレンジアイドリングストップ状態で、シフトレバーをPまたはNにしても、エンジンの停止状態は継続されます。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ エンジンが再始動する

シフトレバーを D・S・B・R のいずれかにすると、エンジンが再始動します。(→ P. 170)

シフトレバーの操作はブレーキペダルを踏んで行ってください。

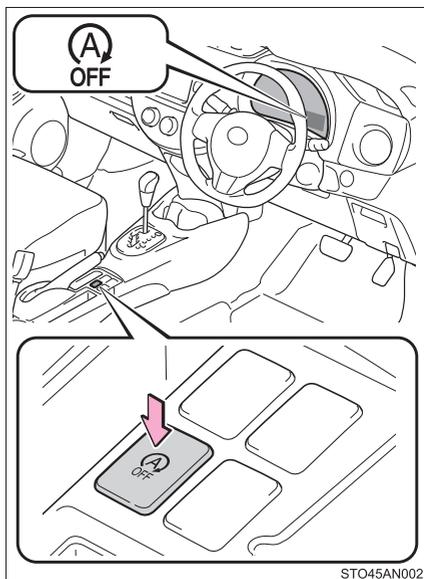
エンジンが再始動し、Stop & Start 表示灯が消灯します。

Stop & Start システムを非作動にするには

Stop & Start システムを非作動にするには Stop & Start キャンセルスイッチを押す

Stop & Start キャンセル表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、作動可能状態にもどり、Stop & Start キャンセル表示灯が消灯します。



STO45AN002

■ Stop & Start キャンセルスイッチを押したとき

- Stop & Start システムによるエンジン停止中、Stop & Start キャンセルスイッチを押すとエンジンが再始動します。
- Stop & Start システムが非作動のとき、もう一度 Stop & Start キャンセルスイッチを押すと、Stop & Start システムが作動可能状態にもどりますが、エンジンは停止しません。
次に車両が停止したときに (Stop & Start システムが作動可能状態にもどる)、Stop & Start システムによって、エンジンが停止します。

坂道発進補助機能

Stop & Start システムによるエンジン停止後、ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。

坂道で発進する際は、駆動力が発生するまでのあいだ、ブレーキ油圧（ブレーキの効き）を一時的に保持して、車両が後退するのを抑制します。

駆動力が発生すると、保持していたブレーキ油圧（ブレーキの効き）を自動的に解除します。

知識

■ 作動条件

- 次の条件がすべて満たされたとき、Stop & Start システムが作動可能状態になります。
 - ・ エンジンが十分暖まっているとき
 - ・ バッテリー状態（充電・温度など）が良好であるとき
 - ・ 運転席ドアが閉まっているとき
 - ・ 運転席シートベルトを着用しているとき
 - ・ ボンネットが閉まっているとき
 - ・ アクセルペダルを踏んでいないとき
 - ・ シフトレバーが R 以外するとき
 - ・ 外気温が -5°C 以上のとき
 - ・ ハンドル操作をしていないとき
 - ・ ブレーキペダルをしっかりと踏んでいるとき

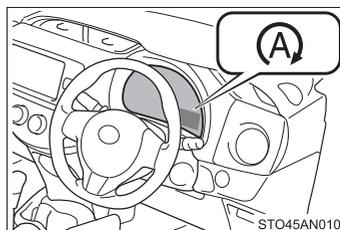
- 次の状況では、Stop & Start システムによるエンジン停止が行われない場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ エンジン冷却水温やトランスミッション油温が低いとき、または高すぎるとき
 - ・ 車内温度が高いときに、エアコンを使用しているとき
 - ・ バッテリーが十分に充電されていないとき、および定期的な充電中
 - ・ 渋滞などで、断続的に停車するとき
 - ・ ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - ・ 勾配が急な坂道で停車したとき
 - ・ ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - ・ 消費電力が大きいとき
 - ・ 標高が高いとき
 - ・ 外気温が低いとき
 - ・ ハンドル操作をしているとき
 - ・ 運転席シートベルト非装着時
 - ・ 運転席ドアが開いているとき
 - ・ ボンネットが開いているとき
 - ・ オートエアコン装備車：オートエアコン作動中に  を押してフロントウインドウガラス曇り取りを作動させているとき
 - ・ ブレーキペダルを強く踏み込み、急減速で停車したとき
- Stop & Start システムによるエンジン停止中、次のときはエンジンが自動的に再始動する場合があります。
 - ・ ポンピングブレーキをする、またはブレーキペダルをさらに強く踏み込んだとき
 - ・ エアコンを使用しているとき、またはオンにしたとき
 - ・ バッテリーが十分に充電されていないとき
 - ・ 傾斜などで車両が動き出したとき
 - ・ アクセルペダルを踏んだとき
 - ・ 消費電力が大きいとき
 - ・ 運転席ドアを開けたとき
 - ・ 運転席シートベルトをはずしたとき
 - ・ ハンドル操作をしたとき
 - ・ オートエアコン装備車：オートエアコン作動中に  を押してフロントウインドウガラス曇り取りを作動させているとき
 - ・ P・N レンジアイドルストップ中にシフトレバーをD・S・B・Rにしたとき
- 次の状況では、Stop & Start システムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
 - ・ バッテリーが放電しているとき
 - ・ バッテリー交換などにより、バッテリー端子をはずしたあと
 - ・ エンジン冷却水温が低いとき

■ Stop & Start システムの自動再開

Stop & Start システムを Stop & Start キャンセルスイッチによって非作動にしても、一度エンジンスイッチを“LOCK”にまわしてから“START”にまわす（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをOFFにしてからイグニッションONモードにする（スマートエントリー&スタートシステム装着車）ことによって、Stop & Start システムは自動的に作動可能状態にもどります。

■ Stop & Start 表示灯について

走行中に Stop & Start システムの作動条件が満たされると、Stop & Start 表示灯が点灯し、停止時に Stop & Start システムが作動可能状態であることをお知らせします。



■ Stop & Start システム保護機能

大音量でオーディオを使用しているとき、バッテリーの消費を抑えるために、オーディオを自動的にオフにする場合があります。

その場合は、エンジンスイッチを“LOCK”にまわして、3秒以上保持してから“ACC”または“ON”にまわす（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをOFFにして3秒以上経過してからアクセサリモードまたはイグニッションONモードにする（スマートエントリー&スタートシステム装着車）ことによってオーディオを再開させてください。

■ ボンネットを開けたときは（D・S・Bレンジアイドリングストップ）

シフトレバーがD・S・Bのとき、Stop & Start システムによるエンジン停止中にボンネットを開けた場合、エンジンは自動で再始動しません。通常のエンジン始動操作（→ P. 158, 161）でエンジンを始動させてください。

■ 坂道発進補助機能について

- 勾配が急な上り坂では、坂道発進補助機能が解除されたあと、車両が後退することがあります。このような場所では、パーキングブレーキをかけたり、ブレーキペダルを操作して発進してください。
- 坂道だけでなく、平坦な場所でも作動します。
- Stop & Start システムによるエンジン停止中に、ブレーキペダルの踏力がかわる場合がありますが、異常ではありません。

■ Stop & Start システムについて

Stop & Start システムは赤信号や交差点などの一時的な停車のときに使用し、長時間停車する場合などには、エンジンを停止してください。

■ 警告ブザーについて (D・S・B レンジアイドリングストップ)

Stop & Start システムによるエンジン停止中、運転席ドアを開けたときは警告ブザーが鳴ると同時に Stop & Start 表示灯が点滅します。

■ Stop & Start システムによるエンジン停止中のエアコンについて

Stop & Start システムによるエンジン停止中、エアコン (冷房・暖房・除湿機能) がオフになり、送風または無風になります。エアコンがオフにならないようにするには、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■ Stop & Start システムによるエンジン停止中、ウインドウガラスが曇ったとき

Stop & Start キャンセルスイッチを押し、エンジンを再始動してください。

そしてマニュアルエアコン装着車は  を押し、エアコンを作動させ、吹き

出し口を  に切りかえ、オートエアコン装着車は  を押し、曇りを取ってください。

断続的にウインドウガラスが曇るときは、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■ Stop & Start システムによるエンジン停止中に、エアコン吹き出し口から臭いが発生したときは

Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムの作動を停止してください。

■ アイドリングストップ時間など Stop & Start システムの作動表示

→ P. 87

■ バッテリーを交換するとき

装着されているバッテリーは、Stop & Start システム専用品です。同等の性能のものと交換してください。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

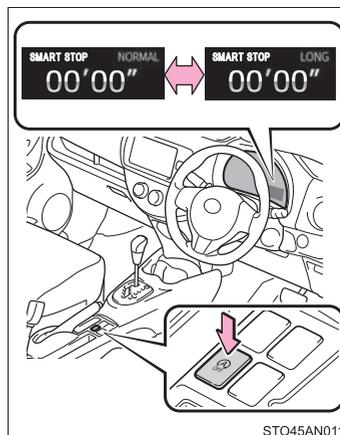
■アイドリングストップ時間の調整について

Stop & Start キャンセルスイッチの操作や、マルチインフォメーションディスプレイの「Stop & Start システム情報」または、「設定」のそれぞれの画面から、エアコンの  (マニュアルエアコン装着車) または  (オートエアコン装着車) が ON のときの Stop & Start システムによるエンジン停止時間を調整できます。

▶ Stop & Start キャンセルスイッチからの設定

Stop & Start キャンセルスイッチを 3 秒以上押し続ける

マルチインフォメーションディスプレイの「NORMAL」と「LONG」の表示が切りかわります。



▶ 「Stop & Start システム情報」画面からの設定

→ P. 100

▶ 「設定」画面からの設定

→ P. 88

 **警告**
■ Stop & Start システムが作動しているとき

- Stop & Start システムによるエンジン停止中 (Stop & Start 表示灯が点灯中) は、ブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
エンジンが自動的に始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- Stop & Start システムによるエンジン停止中 (Stop & Start 表示灯が点灯中) は、車から離れないでください。
エンジンが自動的に始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 換気が悪い場所では、Stop & Start システムを非作動にしてください。
エンジンが自動的に再始動するため、排気ガスが充満し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意**
■ Stop & Start システムを正常に作動させるために

次のようなときは Stop & Start システムが正常に作動しないおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 運転席シートベルトを着用しているときに、メーター内の運転席・助手席シートベルト非着用警告灯が点滅するとき
- 運転席シートベルトをはずしているときに、メーター内の運転席・助手席シートベルト非着用警告灯が点灯しないとき
- 運転席ドアを閉めているときに、マルチインフォメーションディスプレイにドア開警告表示 (→ P. 370) が表示される、またはインテリアランプスイッチがドアポジションのときにインテリアランプが点灯するとき
- 運転席ドアを開けているときに、マルチインフォメーションディスプレイにドア開警告表示 (→ P. 370) が表示されない、またはインテリアランプスイッチがドアポジションのときにインテリアランプが点灯しないとき

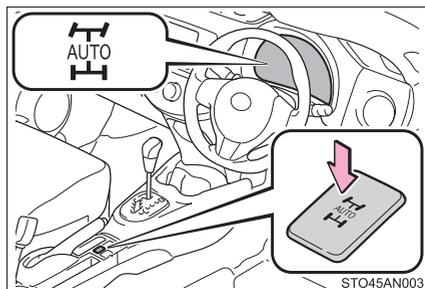
4WD オートモードスイッチ★

走行安定性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて FF（前輪駆動）走行と 4WD（4 輪駆動）走行を自動的に切りかえます。

4WD オートモードを ON にするにはスイッチを押す

4WD オートモード表示灯が数回点滅後、点灯します。

もう一度スイッチを押すと、解除されます。



知識

■ 4WD オートモード表示灯について

- 4WD オートモードで走行中、前後輪の回転速度の差が大きい状態が長時間続いた場合などには、4WD オートモード表示灯が消灯し、4WD 警告灯が点滅します。（→ P. 363）

警告灯の点滅中は駆動系部品の保護のため、後輪への駆動力配分を休止し、FFモードとなります。

この場合は、エンジンをかけたまま次の対応を行ってください。

- ・ 警告灯が消灯するまで車速を落とす。
- ・ 警告灯が消灯するまでエンジンをかけたまま停車する。

- 4WD システムに異常が発生したときには、4WD オートモード表示灯が消灯することがあります。この場合には、4WD オートモードスイッチの状態にかかわらず FF モードとなります。

■ 4WD オートモードを使用しないときは

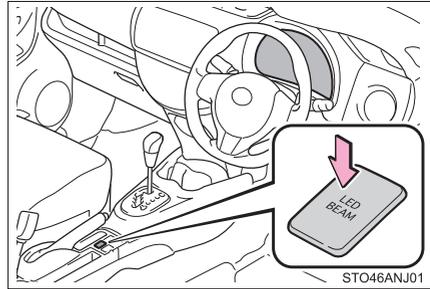
スイッチを押し、FF モードにしてください。FF モードにすることにより燃費性能を高めます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

LED イルミネーションビーム★

オン/オフ

オンにするとフロントバンパーのLEDイルミネーションビームが点灯します。



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

⚠ 注意

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でLEDイルミネーションビームを長時間点灯しないでください。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力確保に貢献します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂で発進するときに、車が後退するのを緩和します。

◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ LSD（リミテッドスリップデファレンシャル）★

旋回時やすべりやすい路面で、片輪が空転したときに、もう一方の車輪の駆動力を確保します。

◆ アクティブトルクコントロール 4WD ★

4WD オートモードを ON にすると、通常走行からコーナリング時、登坂時、発進時、加速時や雪や雨などですべりやすい路面など様々な走行状況に応じて、FF（前輪駆動）走行状態から 4WD（4輪駆動）走行状態まで自動的に制御し、安定した操縦性・走行安定性に寄与します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ 坂道発進補助機能★

坂道での発進性を補助するため、駆動力が発生するまでのあいだブレーキ油圧（ブレーキの効き）を一時的に保持して、車両が後退するのを抑制し、坂道発進を容易にします。（→ P. 240）

◆ PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★

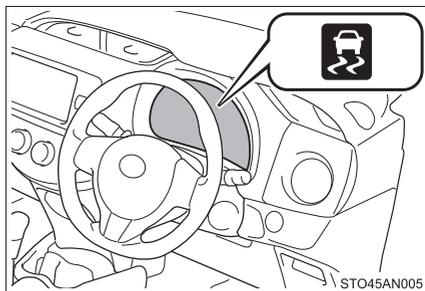
→ P. 205

◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

TRC・VSC が作動しているとき

TRC・VSC が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

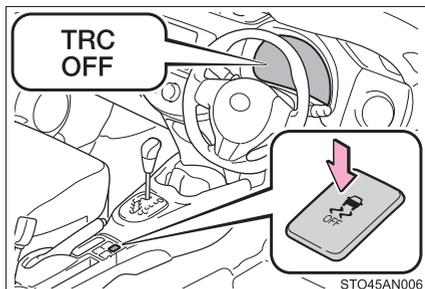
▶ モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

TRC を停止するには  を押す

TRC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度  を押すと、システム作

動可能状態にもどります。



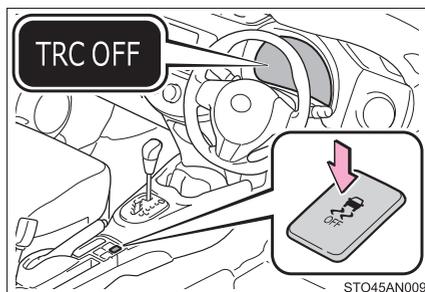
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車

TRC を停止するには  を押す

マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



知識

■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには停車時に  を押し 3 秒以上保持する

モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：TRC OFF 表示灯と VSC OFF 表示灯が点灯します。

カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。^{*}

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。

^{*} PCS (プリクラッシュセーフティシステム) 装着車は、PCS 警告灯が点灯し、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキの作動も停止します (→ P. 219)

■ VSC OFF スイッチを押さなくても TRC OFF 表示灯が点灯したとき (モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車)

TRC が作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

■ VSC OFF スイッチを押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに TRC OFF 表示がされたとき (カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車)

TRC が作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

■ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- シフトレバーの位置が P または N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルペダルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトレバーを P または N の位置にした
- アクセルペダルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

■ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときなどに、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・車体やハンドルに振動を感じる
 - ・車両停止後もモーター音が聞こえる
 - ・ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
 - ・ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態にもどります。

- エンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチを OFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしたとき
- （TRC のみを作動停止にしている場合）車速が高くなったとき
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

■ EPS の効果が下がる時

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

■ 緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速 55km/h 以上
- ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■ 緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- ブレーキペダルを離れた
- 車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

 **警告****■ ABS の効果を発揮できないとき**

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■ TRC や VSC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC や VSC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐車車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ スリップ表示灯が点滅しているときは

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■ TRC や VSC を OFF にするときは

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

 **警告****■ タイヤまたはホイールを交換するときは**

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 428）異なるタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC・アクティブトルクコントロール 4WD など、運転を補助するシステムが正常に作動しません。タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

■ アクティブトルクコントロール 4WD について

- ラリー走行などが目的ではなく、一般道での走行安定性への寄与を目的とした 4WD ですので、無理な運転はしないでください。
- 滑りやすい路面での走行は慎重に行ってください。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬を迎える前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）※を使用してください。

タイヤは4輪とも同一サイズ、同一銘柄で著しい摩耗差のないものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。（タイヤについて：→ P. 307）

※ 205/45R17 タイヤには、タイヤチェーンを取り付けしないでください。

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

- パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをオートマチック車は P、マニュアル車は下り坂では R、上り坂では 1 速に入れて駐車し、必ず輪止め^{※1}をしてください。
輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - オートマチック車では、パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、シフトレバーを P に入れた状態でシフトレバーが動かないこと^{※2}を確認してください。
- ※1 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。
- ※2 ブレーキペダルを踏まないで P からシフトするときにロックがかかります。シフトできる場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ タイヤチェーンについて (205/45R17 装着車を除く)

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 前 2 輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- 取り付け後約 0.5 ~ 1.0km 走行したら締め直しを行う

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

 **警告****■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用する
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて装着しない
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する

■ タイヤチェーン装着時の警告（205/45R17 装着車を除く）

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低いほうをこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

■ 駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをししないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ タイヤチェーンの使用について（205/45R17 装着車を除く）**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると、車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ ガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。

ガラス外側に傷がつかなくてもガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

室内装備・機能

5

5-1. エアコン・デフォグガーの
使い方

マニュアルエアコン.....	260
オートエアコン.....	265
シートヒーター (快適温熱シート).....	272

5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧.....	274
・インテリアランプ.....	275
・パーソナルランプ.....	275
・バニティランプ.....	276

5-3. 収納装備

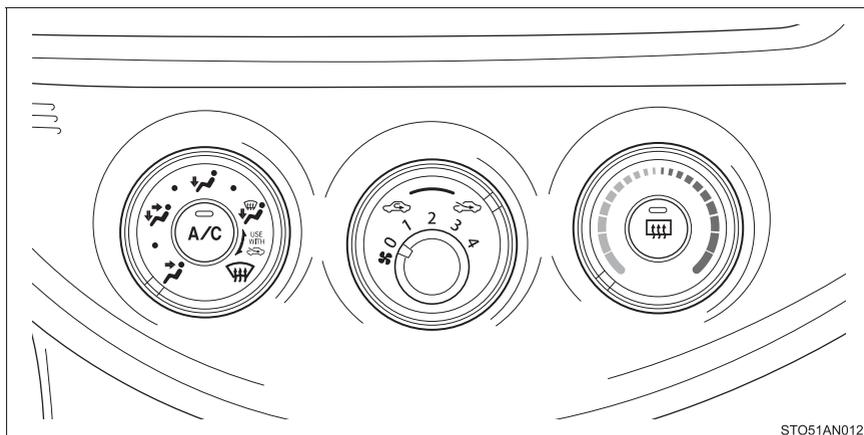
収納装備一覧.....	278
・助手席シート アンダートレイ.....	279
・ドアポケット.....	279
・ボトルホルダー.....	279
・アッパーボックス/ グローブボックス.....	280
・小物入れ.....	282
・カップホルダー.....	283
・コインポケット.....	284
・カードホルダー.....	285
・買い物アシスト.....	285
ラゲージルーム内装備.....	287

5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備.....	290
・サンバイザー.....	290
・バニティミラー.....	290
・アームレスト.....	291
・アシストグリップ.....	292
・アクセサリーソケット.....	293
・ステアリングスイッチ.....	294

マニュアルエアコン★

基本操作

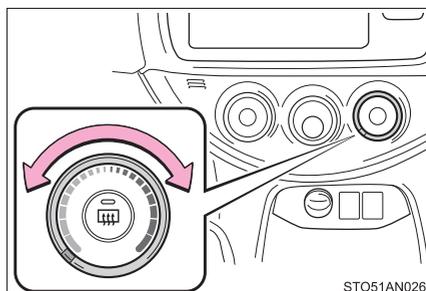


STO51AN012

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調節ダイヤルを右に、下げるときは左にまわす

 が押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。

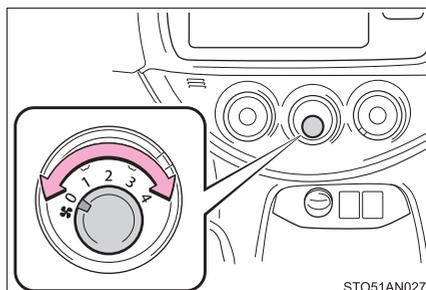


STO51AN026

■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは風量調節ダイヤルを右に、減らすときは左にまわす

送風を止めるときはダイヤルを0の位置に合わせる



STO51AN027

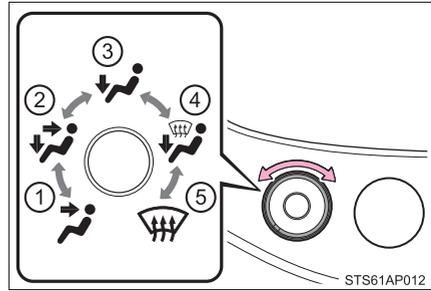
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口切りかえダイヤルをまわす

ダイヤルの位置を各吹き出し口のあいだにすると、吹き出し口を細かく選択できます。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・ガラスの曇りを取る
- ⑤ ガラスの曇りを取る



その他の機能

■ 外気導入・内気循環を切りかえるには

外気導入・内気循環切りかえダイヤルを の位置にまわすと外気導入、 の位置にまわすと内気循環に切りかわります。

■ フロントウィンドウガラスの曇りを取るには

フロントウィンドウガラス、運転席・助手席ドアガラスの曇りを取るときに使用してください。

吹き出し口切りかえダイヤルを にまわし、外気導入・内気循環切りかえダイヤルを にまわす

を押してエアコンをオンにすると曇りが早く取れます。

■ リヤウインドウデフォグラー & ミラーヒーター★

リヤウインドウの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

を押す

リヤウインドウデフォグラーは、しばらくすると自動的に OFF になります。

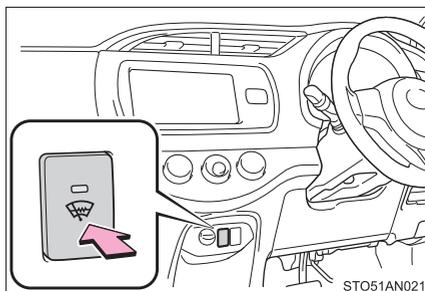
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ フロントワイパーデアイサー★

フロントウインドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。

フロントワイパーデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

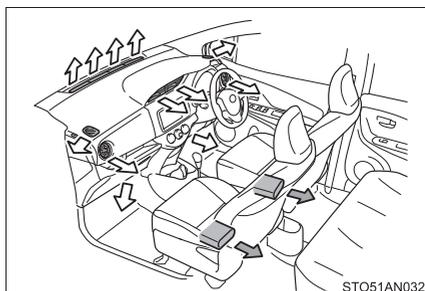
フロントワイパーデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。



吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

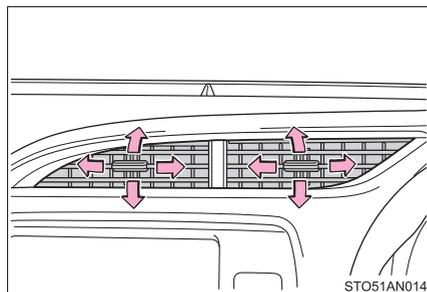
吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。



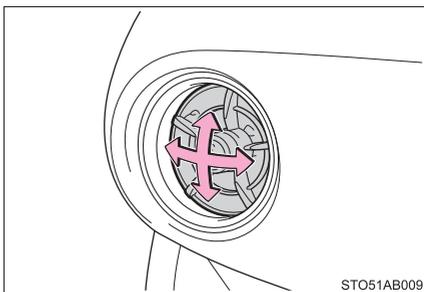
← : 寒冷地仕様車のみ

■ 風向き調整

▶ 中央吹き出し口



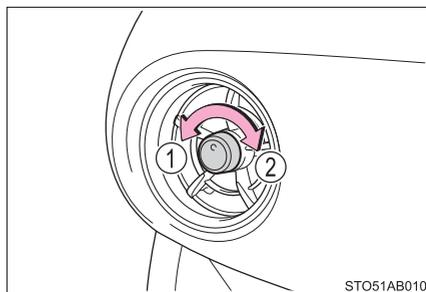
▶ 左右吹き出し口



★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる



□ 知識

■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、 を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
-  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 外気導入・内気循環について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

■ 吹き出し口を にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出しのため、温度調節ダイヤルの位置によっては、足元に送られる風が上半身に送られる風より暖められて送風されます。

■ 外気温度が0℃付近のとき

-  を押してもエアコンが作動しない場合があります。

■ 換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

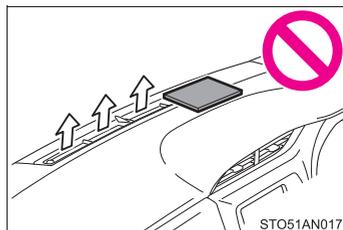
■エアコンフィルターについて

→ P. 313

警告

■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

- 湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、吹き出し口切りかえダイヤルを  の位置に合わせないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。
- フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなる場合があります。



■リアウインドウデフォグラー&ミラーヒーター★ / フロントワイパーデアイサー★作動中の警告

- ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。
- フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

注意

■バッテリーあがりを防ぐために

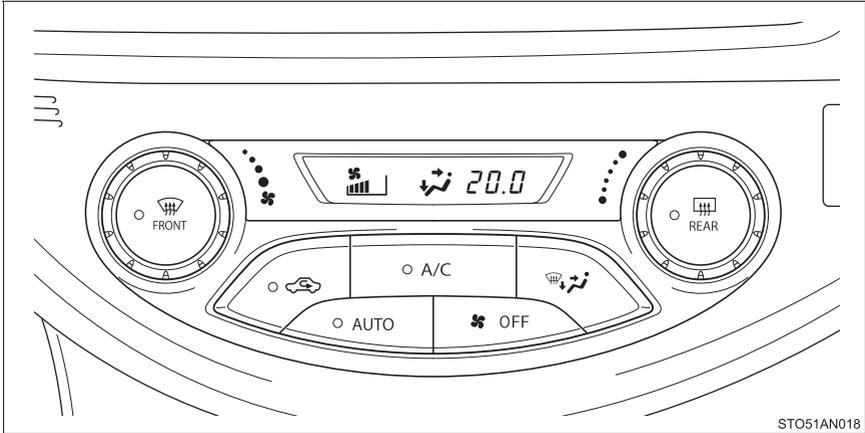
エンジン停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

オートエアコン★

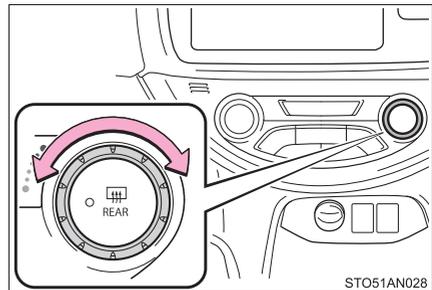
設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

基本操作



■ 温度を調整する

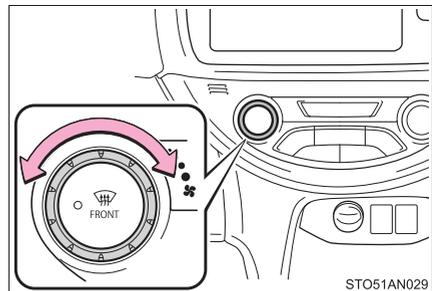
設定温度を上げるときは温度調節ダイヤルを右に、下げるときは左にまわす



■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは風量調節ダイヤルを右に、減らすときは左にまわす

 を押すと、送風がとまります。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

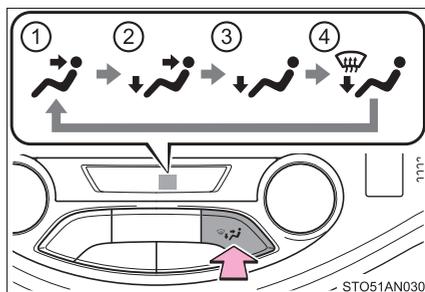
■ 吹き出し口を切りかえる



を押す

押すたびに吹き出し口が切りかわります。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・ガラスの曇りを取る



STO51AN030

オート設定を使うとき

- 1  を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

- 2 温度を設定する

- 3 送風をとめたいときは  を押す

■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スイッチの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

その他の機能

■ 外気導入・内気循環を切りかえるには



を押す

ボタンを押すたびに外気導入・内気循環が切りかわります。内気循環を選択し

ているときは、 の表示灯が点灯します。

■ フロントウインドウガラスの曇りを取るには

フロントウインドウガラス、運転席・助手席ドアガラスの曇りを取る
ときに使用してください。



エアコンが作動します。外気の温度によって自動的に外気導入に切りかわります。

曇りが取れたら再度  を押しと、前のモードにもどります。

■ リヤウインドウデフォグ＆ミラーヒーター★

リヤウインドウの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取る
ときに使用ください。



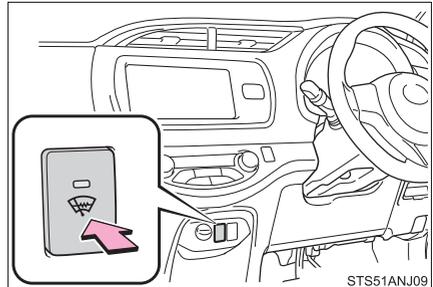
リヤウインドウデフォグは、しばらくすると自動的に OFF になります。

■ フロントワイパーデアイサー★

フロントウインドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。

フロントワイパーデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

フロントワイパーデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。

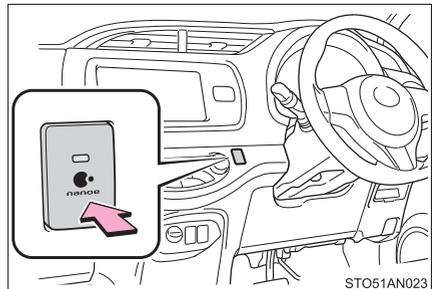


「ナノイー」を作動するには★

ON・OFF

風量が OFF になっているときは作動しません。

(「ナノイー」について：→ P. 270)

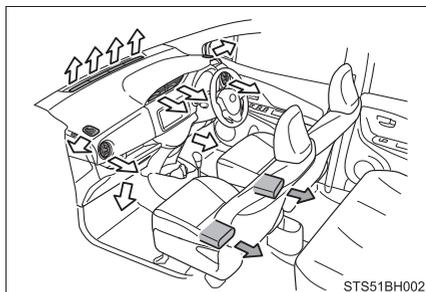


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

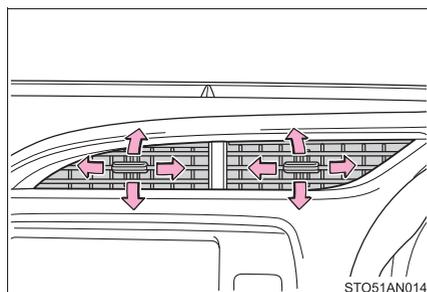
吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。



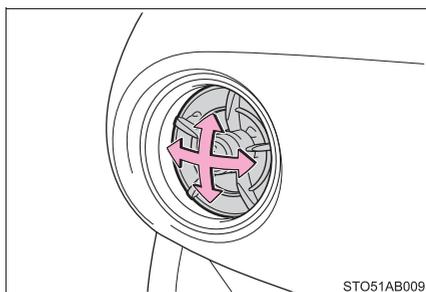
← : 寒冷地仕様車のみ

■ 風向き調整

▶ 中央吹き出し口

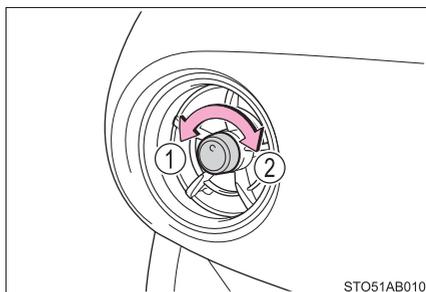


▶ 左右吹き出し口



■ 吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる



 知識

■ オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されます。次のような制御をする場合があります。

-  を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する
- 暖房時、冷風を上半身に向けて送る

■ 内外気切りかえについて

設定温度や室内温度などにより、自動的に内気循環または外気導入へ切りかわる場合があります。

■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、 を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
-  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 外気導入・内気循環について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

■ 吹き出し口を  にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出しのため、設定温度によっては、足元に送られる風が上半身に送られる風より暖められて送風されます。

■ 外気温度が0℃付近のとき

 を押してもエアコンが作動しない場合があります。

■「ナノイー」※¹について★

エアコンには「ナノイー」技術が搭載されています。この技術は運転席側の吹き出し口を通じて、水に包まれた肌や髪にやさしい弱酸性の「ナノイー」を放出し、室内を爽やかな空気環境へ導きます※²。

●「ナノイー」の作動中、次の条件で効果を発揮します。次の条件以外では、効果が十分に得られない場合があります。

- ・吹き出し口が 、 または  のとき
- ・運転席側の吹き出し口が開いているとき

●「ナノイー」作動時は、微量のオゾンが発生し、かすかに臭うことがありますが、森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。

●作動中、かすかに作動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

※¹ 「nanoe」、「ナノイー」および「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

※² 温湿度環境、風量・風向きによっては「ナノイー」の効果が十分に得られない場合があります。

■換気とエアコンの臭いについて

●車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。

●エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■エアコンフィルターについて

→ P. 313

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

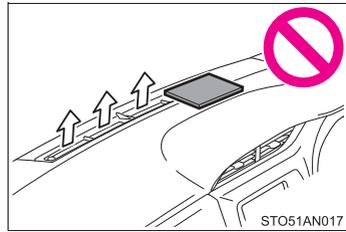
■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

- 湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、



を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

- フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなる場合があります。



■リアウインドウデフォグラー & ミラーヒーター★／フロントワイパーデアイサー★作動中の警告

- ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。
- フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

■「ナノイー」について★

このシステムは高電圧の部品を含むため、分解・修理はしないでください。修理が必要な場合は、トヨタ販売店に問い合わせください。

注意

■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

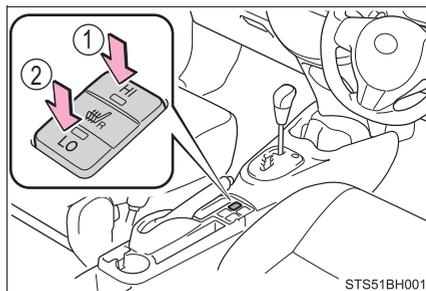
■「ナノイー」の損傷を防ぐために★

運転席の吹き出し口の近くでスプレーを使用したり、吹き出し口にものをはめ込んだり貼ったりしないでください。システムが正常に働かなくなるおそれがあります。

シートヒーター（快適温熱シート）★

フロントシートを暖めることができます。

- ① HI（強）
インジケーターが点灯します。
- ② LO（弱）
インジケーターが点灯します。



知識

■ 作動条件

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 使用しないときは

スイッチを中立の位置にしてください。インジケーターが消灯します。

警告

■ やけどについて

- 低温やけどを負うおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。
 - ・ 乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
 - ・ 皮膚の弱い方
 - ・ 疲労の激しい方
 - ・ 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方
- シートに毛布・クッションなどを使用しないでください。
シートヒーターの使用により保温性が高まり、異常過熱の原因になります。
- シートヒーターを必要以上に使用しないでください。
低温やけどを負ったり、シートヒーターの異常過熱の原因になるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

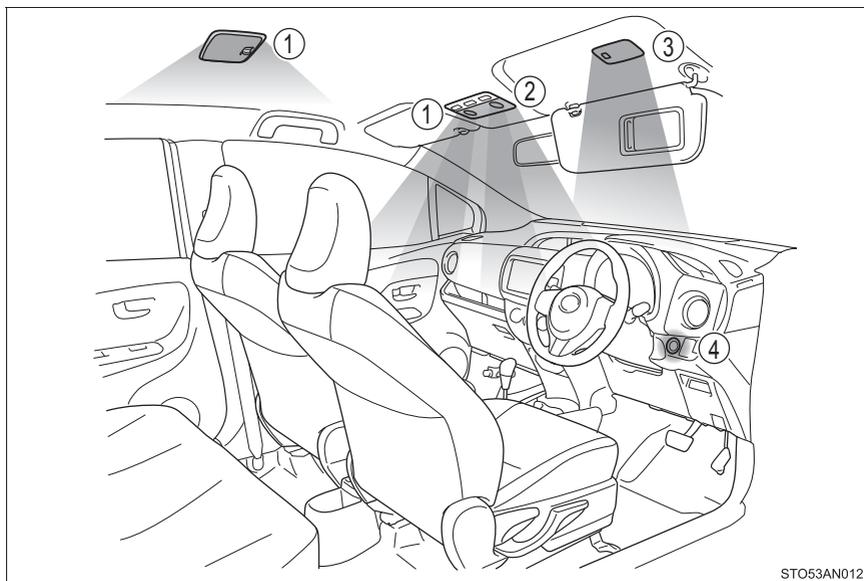
 **注意****■ シートヒーターの故障を防ぐために**

凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止しているときは、スイッチを中立の位置にもどし、作業表示灯が消灯したことを確認してください。

室内灯一覧



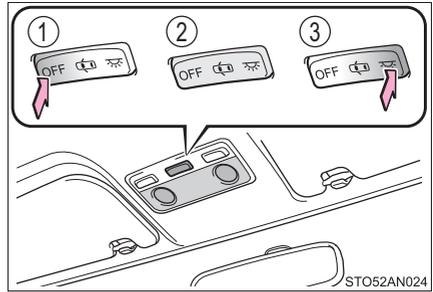
- ① インテリアランプ (→ P. 275) ③ バニティランプ★ (→ P. 276)
② パーソナルランプ (→ P. 275) ④ エンジンスイッチ照明★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

インテリアランプ

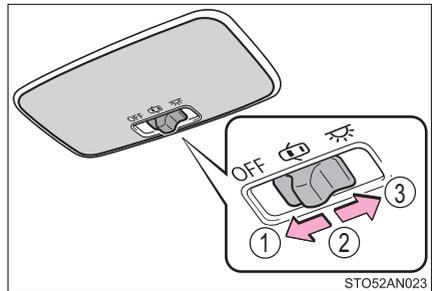
▶ フロント

- ① ランプを消灯する
- ② ドアの開閉作動に連動してランプの点灯・消灯を切りかえる
- ③ ランプを点灯する



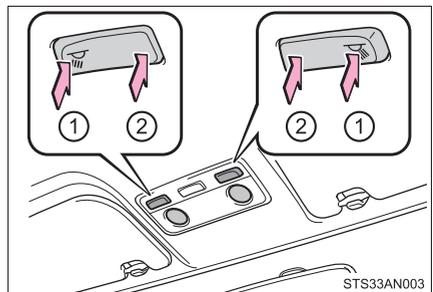
▶ リヤ

- ① ランプを消灯する
- ② ドアの開閉作動に連動してランプの点灯・消灯を切りかえる
- ③ ランプを点灯する



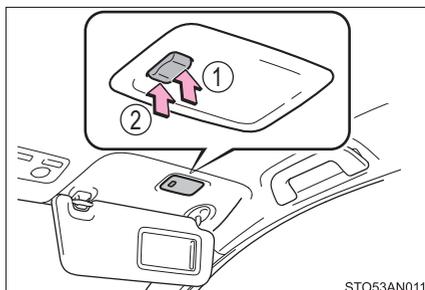
パーソナルランプ

- ① ランプを点灯する
- ② ランプを消灯する



バニティランプ★

- ① ランプを消灯する
- ② ランプを点灯する



STO53AN011

知識

■イルミネーテッドエントリーシステム

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチの位置により、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

電子キーの検知・ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチの状態により、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

■バニティランプの作動条件★

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき

- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき

■バッテリーあがりを防ぐために

半ドア状態でインテリアランプスイッチがドアポジションのときに、インテリアランプ／パーソナルランプ・エンジンスイッチ照明★が点灯したままの場合、約20分後に自動消灯します。

■カスタマイズ機能

イルミネーテッドエントリーシステムの消灯までの時間などの設定を変更できます。

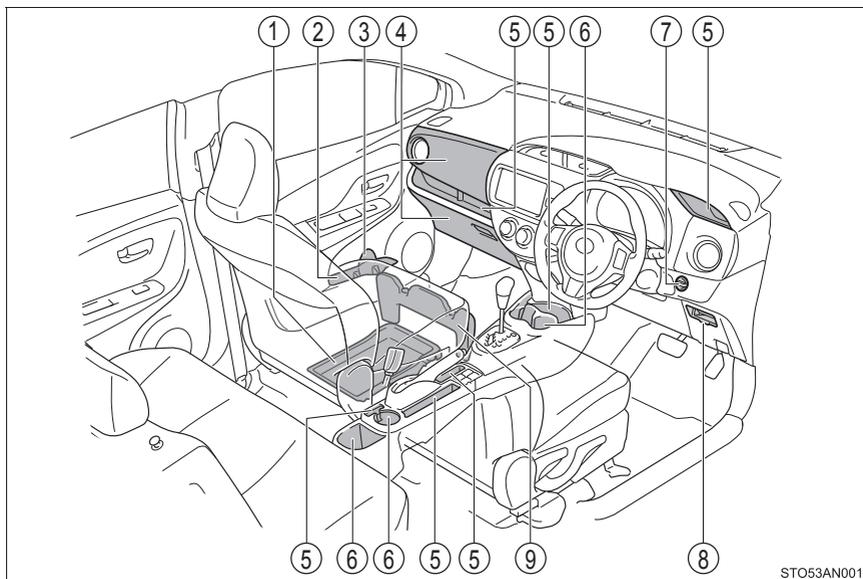
(カスタマイズ一覧：→P. 431)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意**

バッテリーあがりを防止するために、エンジンが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

収納装備一覧



- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| ① 助手席シートアンダートレイ★
(→ P. 279) | ⑤ 小物入れ (→ P. 282) |
| ② ドアポケット (→ P. 279) | ⑥ カップホルダー (→ P. 283) |
| ③ ボトルホルダー (→ P. 279) | ⑦ コインポケット★ (→ P. 284) |
| ④ アッパーボックス/
グローブボックス(→ P. 280) | ⑧ カードホルダー (→ P. 285) |
| | ⑨ 買い物アシスト★ (→ P. 285) |

⚠ 警告

- メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
 - ・ 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる
- 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ ボトルホルダーについて

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

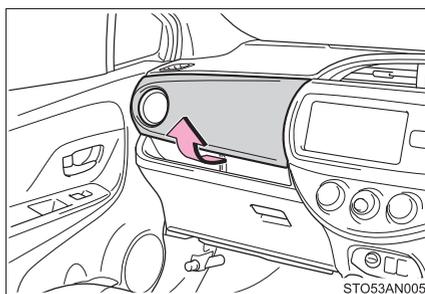
 注意

ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

■ アッパーボックス／グローブボックス

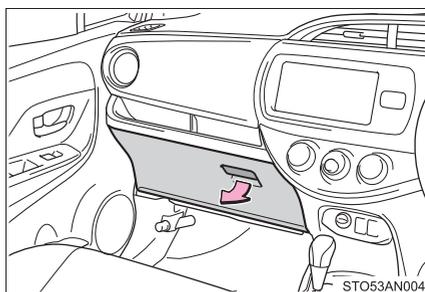
▶ アッパーボックス

フタを持ち上げる



▶ グローブボックス

グローブボックスを開けるには、レバーを引く

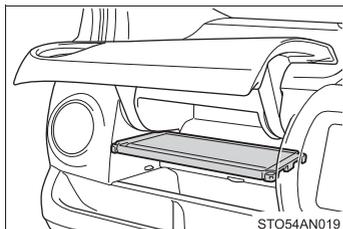


 知識

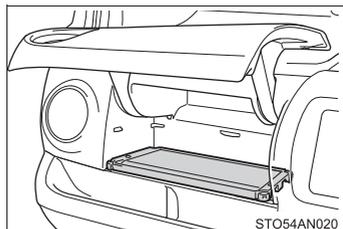
■ アッパーボックスについて

アッパーボックスの底に収納してあるトレイを移動して使用できます。

▶ 上段

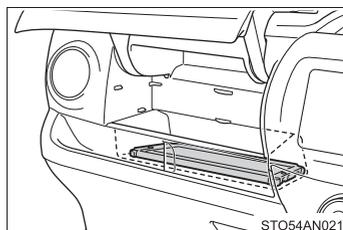


▶ 下段



■ アッパーボックスのトレイについて

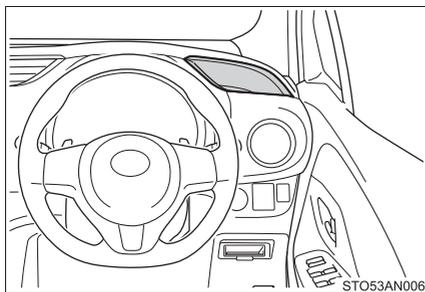
アッパーボックスの底に収納することができます。

 注意

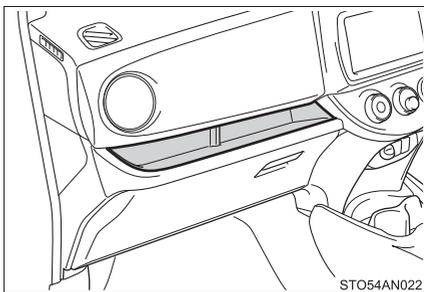
破損を防ぐために、アッパーボックス内のトレイに重いものを収納したり、過度の負荷をかけたりしないでください。変形や破損などのおそれがあります。

小物入れ

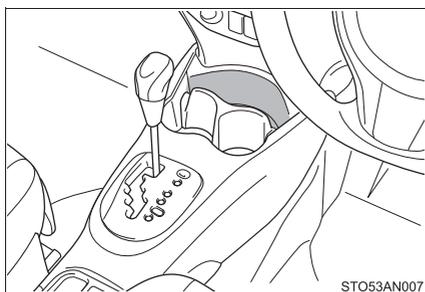
▶ 運転席右側トレイ★



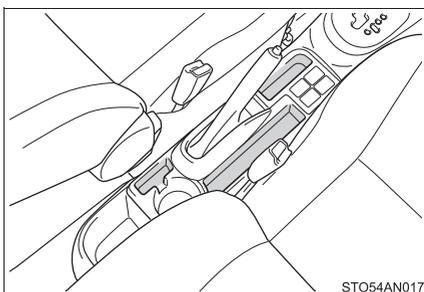
▶ 助手席オープントレイ



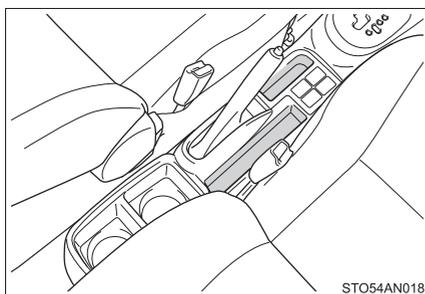
▶ フロントコンソールトレイ



▶ センターコンソールトレイ (FF車)



▶ センターコンソールトレイ (4WD車)



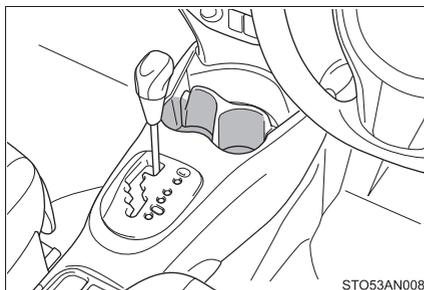
▲ 警告

トレイ内に転がりやすいものや凹面より高さがあるものを置かないでください。収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

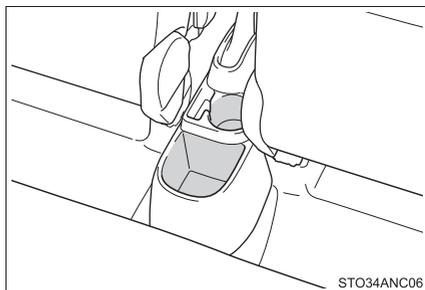
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

カップホルダー

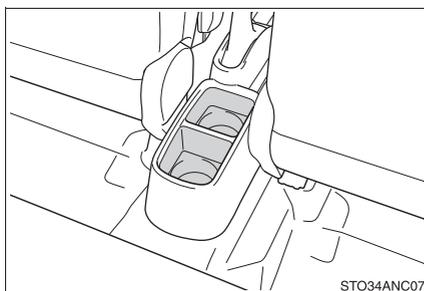
▶ フロント



▶ リヤ (FF 車)



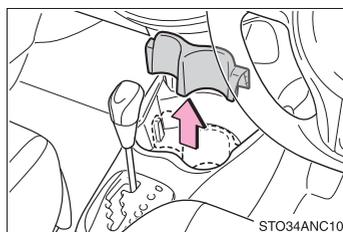
▶ リヤ (4WD 車)



知識

■ フロントカップホルダーの仕切りについて

仕切りをはずすことができます。

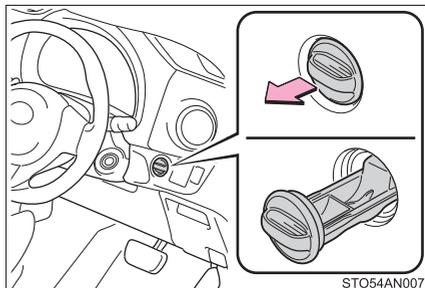


警告

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

コインポケット（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

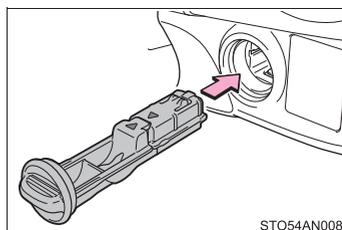
ツマミを引いて開ける



知識

■ コインポケットについて

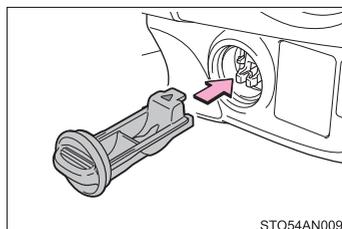
強く引くと取りはずすことができます。清掃などで取りはずし、もとにもどすときは、マークを上にして入れてください。



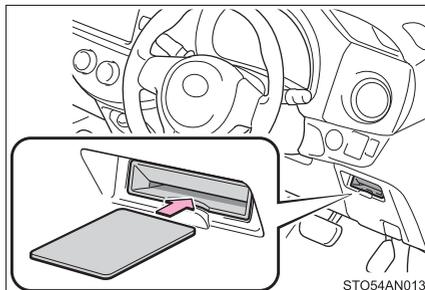
⚠ 注意

コインポケットを引き出した状態で、上下左右に強い力を加えないでください。強い力が加わると分離してはずれるようになっています。

はずれてしまったときは、マークを上にして“カチッ”と音がするまで強く押し込んでください。



カードホルダー

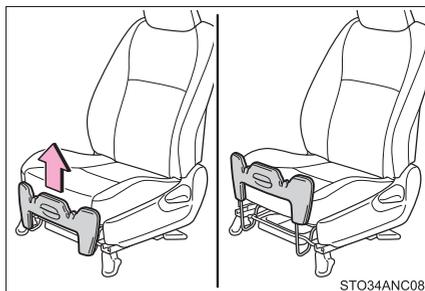


買い物アシスト★

助手席シートクッションの上に置いた小物（ハンドバッグなど）が急ブレーキをかけたときにシートの下に落下するのを防止します。

買い物アシストを上を持ち上げて使用します。

しっかりと固定されていることを確認してください。

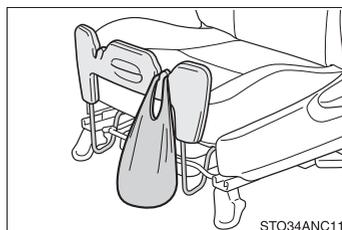


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ フックについて

袋などをかけることができます。

 警告

買い物アシストを上げた状態で、人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

 注意

■ 買い物アシストを使うときは

- 買い物アシストを上げた状態で、約 10kg 以上の荷物を置かないでください。シートが破損するおそれがあります。
- シートから落下したときに破損するおそれのあるものは置かないでください。
- 使用しないときや、シートの前後位置を調整するときは、買い物アシストを格納してください。

■ 買い物アシストの破損を防ぐために

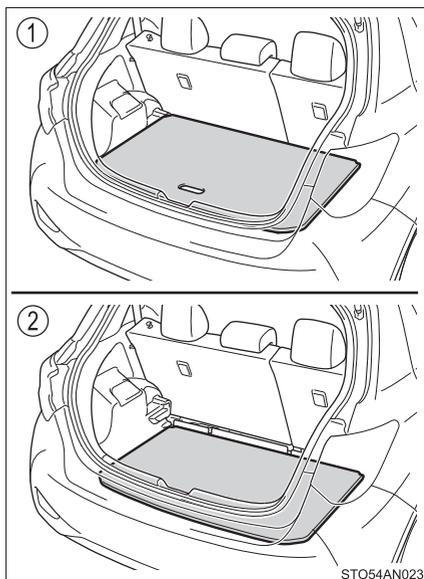
過度の負荷をかけないでください。

ラゲージルーム内装備

アジャスタブルデッキボード★

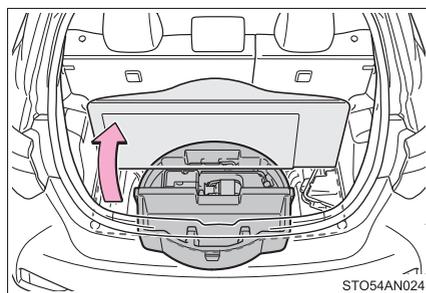
- ① 上段
- ② 下段 (FF 車のみ)

デッキボードをフロアボードの上に置くことで、下段の位置で使用できます。



ラゲージアンダートレイ★

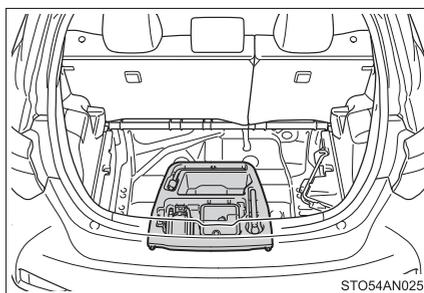
▶ FF 車 (前輪駆動)



三角表示板※などを収納することができます。

※ 三角表示板は、トヨタ販売店で購入することができます。

▶ 4WD 車 (4 輪駆動)

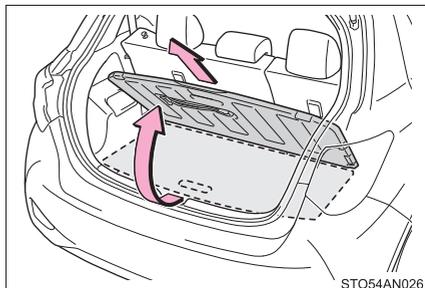


小物などを収納することができます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

デッキボードを取りはずすには★

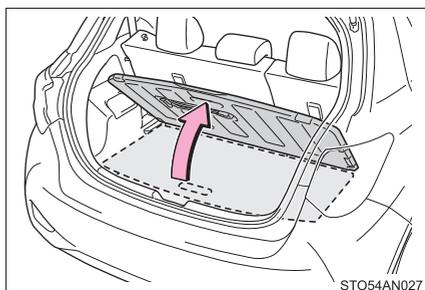
デッキボードを持ち上げ、手前に引いて取りはずす。



STO54AN026

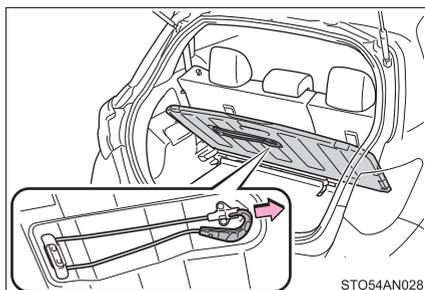
デッキボードの留め方について★

- 1 デッキボードを持ち上げる



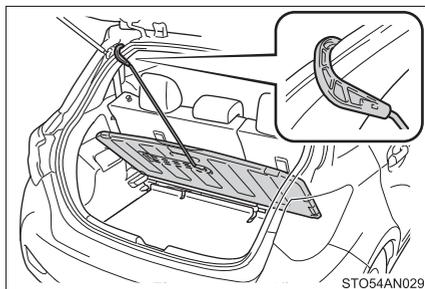
STO54AN027

- 2 デッキボード裏面のフックを取りはずす



STO54AN028

- 3 フックをバックドア開口部の左上端に引っかけて固定する



STO54AN029

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ デッキボードを操作するときは★**

荷物を載せた状態で操作しないでください。

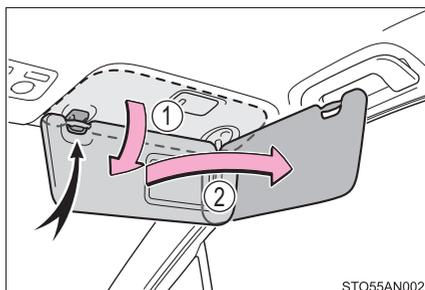
指をはさんだり、思わぬ事故につながるけがをするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

その他の室内装備

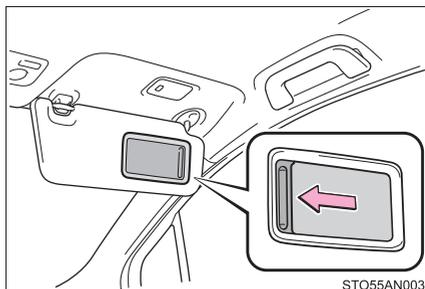
サンバイザー★

- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



バニティミラー★

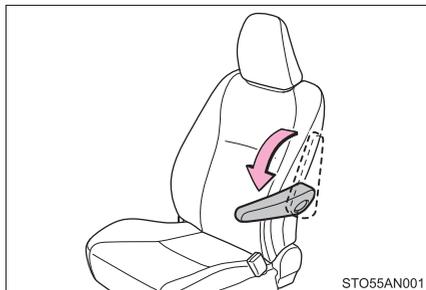
カバーをスライドして開ける



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アームレスト★

手前に倒して使用します。



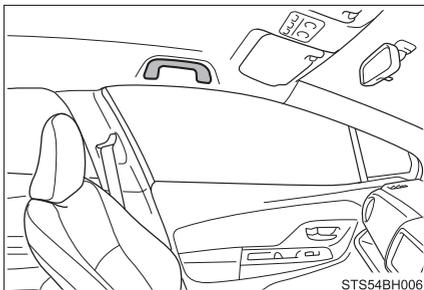
⚠ 注意

■ 破損を防ぐために

アームレストの破損を防ぐために、過度の負荷をかけないでください。

アシストグリップ★

天井に取り付けられているアシストグリップは、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



警告

アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がる時などに使用しないでください。

アシストグリップが破損し、転倒などしてけがをするおそれがあります。

注意

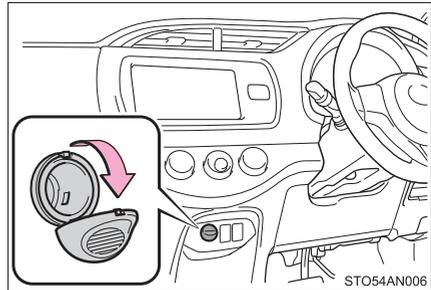
破損を防ぐために、アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけたりしないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アクセサリースOCKET

DC12V/10A(消費電力 120W) 未満の電気製品が使用するときの電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ACC” または “ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき

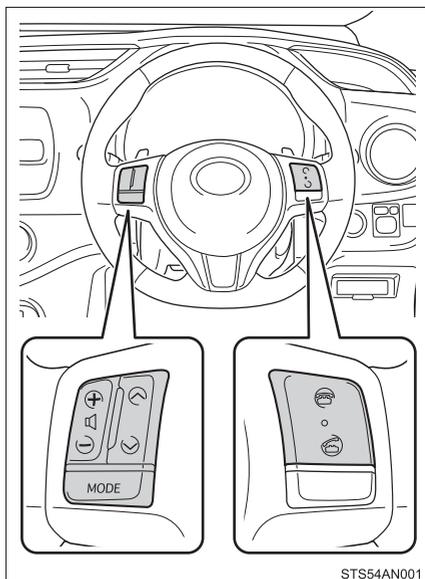
⚠ 注意

- ショートや故障を防ぐために、アクセサリースOCKETに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。
- バッテリーあがりを防止するために、エンジンが停止した状態で、アクセサリースOCKETを長時間使用しないでください。

ステアリングスイッチ★

ハンドルにあるスイッチで、オーディオや、ナビゲーションシステムを操作することができます。

装着されているオーディオ・ナビゲーションシステムによっては、操作が異なる場合があります。詳しくは製品に付属の各取扱書をご覧ください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

お手入れのしかた

6

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	296
内装の手入れ.....	300

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	303
ガレージジャッキ	305
ウォッシャー液の補充	306
タイヤについて	307
タイヤ空気圧について	311
エアコンフィルターの 交換	313
キーの電池交換	316
ヒューズの点検・交換	320
電球（バルブ）の交換	323

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。

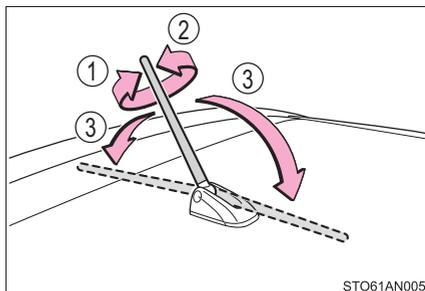
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

アンテナの取り扱いについて

洗車時には、アンテナを脱着、または格納することができます。

- ① 取りはずす
- ② 取り付ける
- ③ 格納する

ラジオ受信時は、節度感のあるところまで立てて使用してください。



STO61AN005

 知識

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納し、アンテナを取り外した状態にして、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずアンテナをもとどおりに取り付けて、ドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。
- 洗車機によっては、リヤスポイラー★が引っかかり洗車できない場合や、傷いたり、破損するおそれがあります。

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠、ハイマウントストップランプ付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。

■ 洗車などで車に水をかけたとき（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合はキーを車両から2m以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください（電子キーの盗難に注意してください）。

■ アルミホイール★

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。
- 洗剤を使用したあとは放置せずに水で十分洗い流してください。
- 塗装の損傷を防ぐため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ 酸性・アルカリ性および研磨剤の入った洗剤を使用しない
 - ・ 硬いブラシを使用しない
 - ・ 夏場の走行後や駐車後でホイールが熱いときは、洗剤を使用しない

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ブレーキ（ホワイトブレーキキャリパー装着車）

●ブレーキキャリパーの塗装について

- ・洗剤を使用する場合は中性洗剤を使用してください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- ・ブレーキキャリパーが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- ・洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

●ブレーキパッドやディスクローターが水に濡れた状態のまま駐車しておく、錆びて貼り付くことがあります。洗車後は低速で走行し、ブレーキを数回かけて乾燥させてから駐車してください。

■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

警告

■洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・ 海岸地帯を走行したあと
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

■ アンテナの損傷を防ぐために

次のようなときはアンテナを格納してください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき

■ アンテナの取りはずしについて

- 通常走行時には、必ずアンテナを取り付けてください。
- 自動洗車機などアンテナを取りはずしたときは、アンテナを紛失しないように注意してください。また、走行前には必ずもとどおりに取り付けてください。

■ 高圧洗浄機を使用するときは

- バックカメラ装着車：洗浄時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。高い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴム又は樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。
高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。
 - ・ 駆動系部品
 - ・ ステアリング部品
 - ・ サスペンション部品
 - ・ ブレーキ部品

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- 薄めた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る
ウール用の中性洗剤を水で約 5% に薄めて使用してください。
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除く
- 中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

 知識

■ 本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■ カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。

シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■ スーパー UV・IR カット機能付きフロントドアガラス★について

- ドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいて清掃してください。
- ドアガラスの汚れがひどいときは、ドアガラスの開閉をくり返さないでください。

 警告

■ 車両への水の浸入

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。
電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 36)
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。
インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■ 革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■ 床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■ スーパーUV・IR カット機能付きフロントドアガラス★を清掃するとき

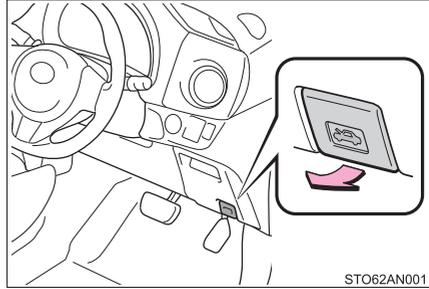
ドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品（ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど）を使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

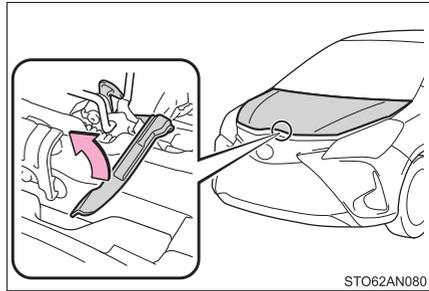
ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

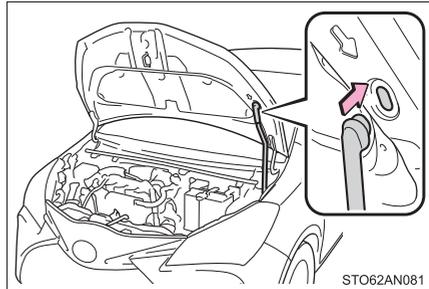
- 1 ボンネット解除レバーを引く
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



- 3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



知識

■ バッテリー端子をはずすときは

バッテリー端子をはずすと、コンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリー端子をはずすときは、トヨタ販売店にご相談ください。

警告**■ 走行前の確認**

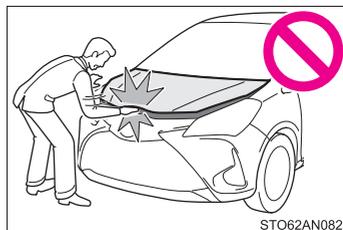
ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

**注意****■ ボンネットへの損傷を防ぐために**

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。
ボンネットがへこむおそれがあります。

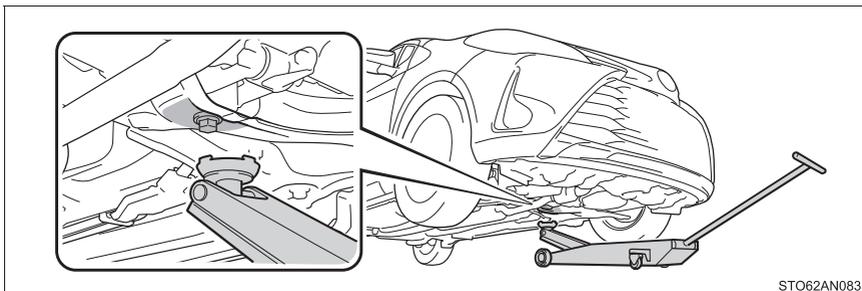
ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取扱説明書に従って、安全に作業してください。

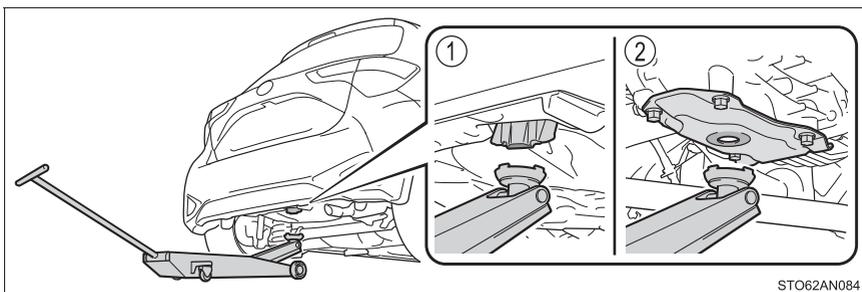
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

◆ フロント側



◆ リヤ側

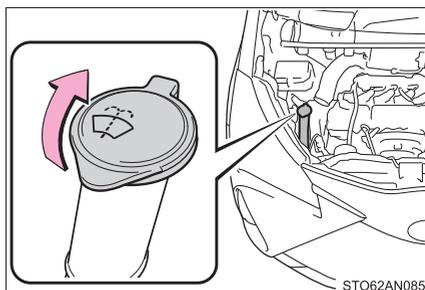


- ① FF 車（前輪駆動）
- ② 4WD 車（4 輪駆動）

ウォッシャー液の補充

補充のしかた

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補充する



⚠ 警告

■ ウォッシャー液を補充するとき

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を5,000kmごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの溝の深さ

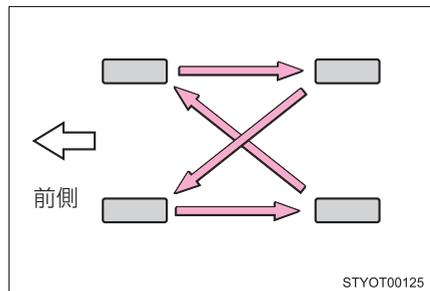
- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。

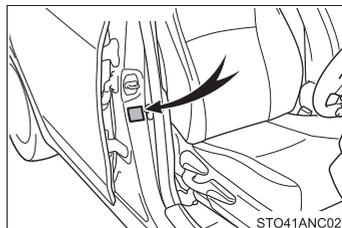
タイヤローテーションを行ったあとは、指定された空気圧に調整してください。



知識

■ タイヤ空気圧の数値

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。



▶ 標準タイヤ

タイヤサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
	前輪	後輪
165/70R14 81S	250 (2.5)	240 (2.4)
175/70R14 84S	250 (2.5)	240 (2.4)
175/65R15 84H	230 (2.3)	220 (2.2)
185/60R15 84H	230 (2.3)	230 (2.3)
195/50R16 84V	220 (2.2)	200 (2.0)
205/45R17 84W	220 (2.2)	220 (2.2)

▶ 応急用タイヤ

タイヤサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm ²)
T125/70D16 96M	420 (4.2)

■ タイヤ空気圧の点検

- 1ヶ月に1回程度は、空気圧ゲージによる点検をおすすめします。
- 空気圧が適正でない場合は、必ず指定空気圧に調整してください。
- 195/50R16、205/45R17 装着車：低扁平タイヤは、走行性能を優先したタイヤです。特に空気圧は定期的に点検してください。2週間に1回（最低でも1ヶ月に1回）、または、長距離ドライブの前には、必ず空気圧を点検してください。

■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ 低扁平タイヤについて（195/50R16、205/45/17 装着車）

装着されているタイヤは、一般道でのグリップ性能を重視してつくられています。雪道や凍結路では、普通のタイヤとくらべてグリップ性能がより低下します。必ず冬用タイヤかタイヤチェーン（195/50R16 装着車のみ）を使用し、道路状態に応じた速度で注意深く運転するようにしてください。

警告

■ 点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ（マッド&スノータイヤ）・冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を混在使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない。

■ 異常があるタイヤの使用禁止

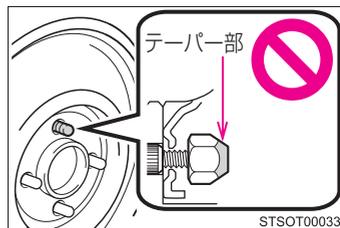
異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルを取られたり、異常な振動を感じる場合があります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

警告

■ タイヤ交換時の注意

- 必ずテーパ部を内側にして取り付けてください。テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したりディスクホイールが損傷するおそれがあります。
またナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部についている場合はふき取ってください。

■ 異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。
走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■ 低扁平タイヤについて（195/50R16、205/45/17 装着車）

低扁平タイヤのホイールは、路面から衝撃を受けたとき、ホイールに通常より大きなダメージを与えることがあります。そのため次のことにご注意ください。

- 適切なタイヤ空気圧で使用する
空気圧が低すぎると簡単に損傷することがあります。
- 段差や凹凸のある路面、路上にあいた穴、平らでない舗道・縁石や他の障害物を避ける
タイヤおよびホイールがひどく損傷することがあります。

■ 走行中に空気もれが起こったら

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■ 悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に1回以上実施してください。低扁平タイヤの場合、2週間に1回、または長距離ドライブの前には必ず空気圧を点検してください。(→ P. 428)

知識

■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

■ タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する
タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。

 **警告****■ タイヤの性能を発揮するために**

適正なタイヤ空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだからの空気漏れ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大
(路上障害物、道路のつなぎ目や段差など)

 **注意****■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは**

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

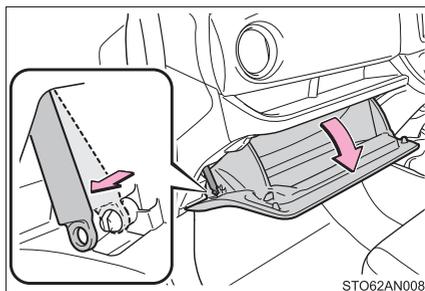
バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

エアコンフィルターの交換

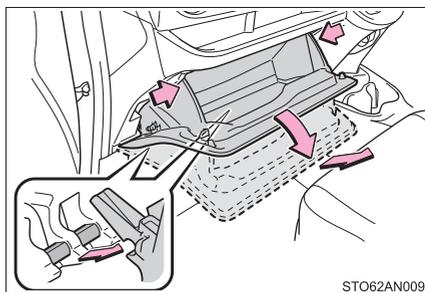
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

交換のしかた

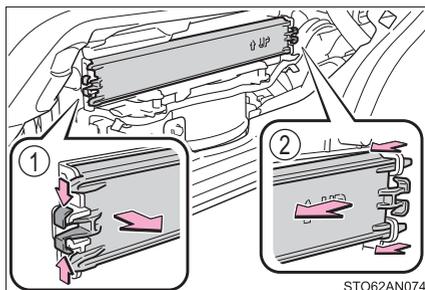
- 1 エンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをOFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にする
- 2 グローブボックスを開き、ダンパーステーのピンをはずす



- 3 グローブボックス側面を内側に押し、上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす

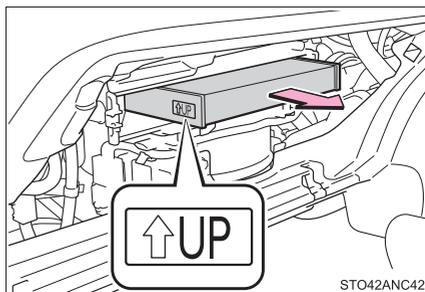


- 4 フィルターカバーを取りはずす
 - ① フィルターカバーの固定を解除する
 - ② フィルターカバーを矢印の方向にずらし、フィルターカバーを抜く



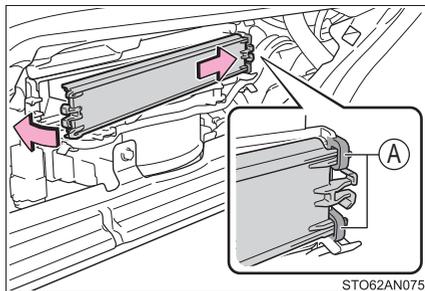
- 5 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



- 6 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

フィルターカバーはA部に入れてから、取り付けてください。



知識

■ エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは20,000km[10,000km[※]]ごとを目安に交換してください。

※ 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

⚠ 注意**■ エアコンを使用するときの注意**

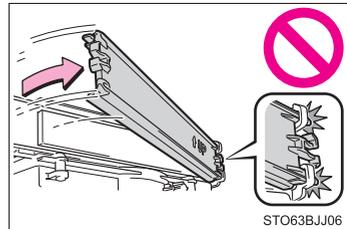
- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

■ グローブボックスを取りはずすとき

必ず指定の手順（→ P. 313）に従って取りはずしてください。正しい方法で取りはずさないと、グローブボックス下部の結合部が破損するおそれがあります。

■ フィルターカバーの破損を防ぐために

フィルターカバーの固定を解除するとき、フィルターカバーを矢印の方向に動かす際は、ツメに無理な力が加わらないよう注意してください。
ツメが破損するおそれがあります。



キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池
 - ・ CR2016(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)
 - ・ CR1632(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電池交換のしかた

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

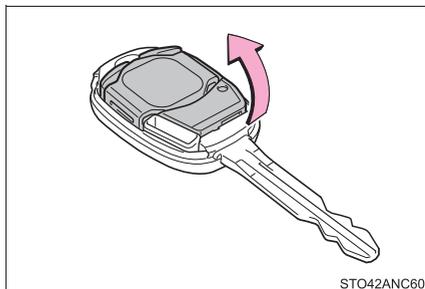
1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。

ボタン側を下向きにしてカバーをはずしてください。上向きにするとボタンがはずれるおそれがあります。

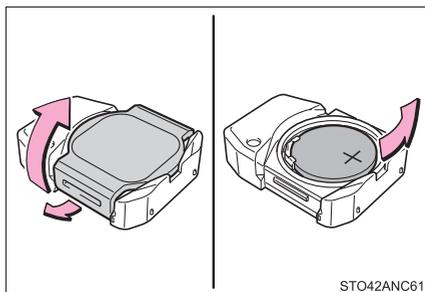


2 モジュールを取り出す



- 3 モジュールカバーをはずし消耗した電池を取り出す

新しい電池は+極を上にして取り付けます。

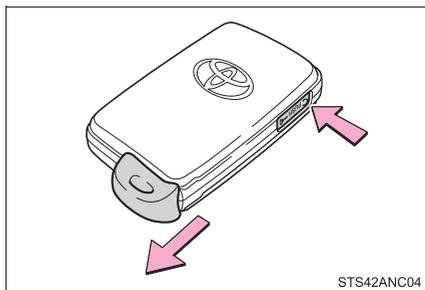


STO42ANC61

- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

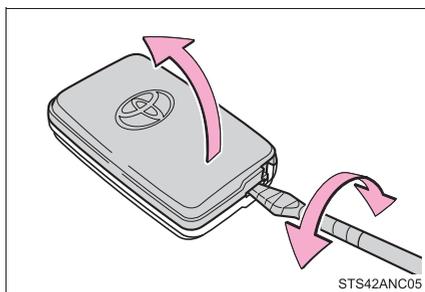
- 1 メカニカルキーを抜く



STS42ANC04

- 2 カバーをはずす

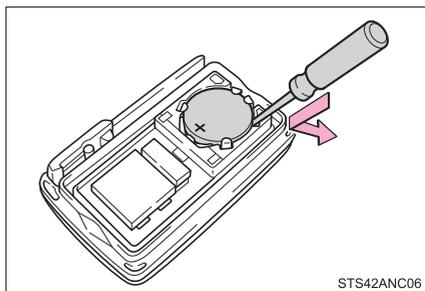
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



STS42ANC05

3 小さいマイナスドライバーを使い消耗した電池を取り出す

カバーをはずしたときに、上側のカバーに電子キーのモジュール(基板)が貼り付き、電池面が隠れている場合があります。この場合、電子キーのモジュール(基板)をひっくり返し、図のように電池が見える状態で作業してください。



新しい電池は+極を上にして取り付けます。

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける**知識****■ リチウム電池の入手**

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：CR2016
- スマートエントリー&スタートシステム装着車：CR1632

■ 電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

 **警告****■ 取りはずした電池と部品について**

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 交換後、正常に機能させるために**

次のことを必ずお守りください。

- ぬれた手で電池を交換しない
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

ヒューズの点検・交換

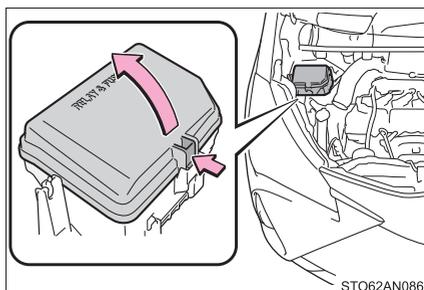
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

- 1 エンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはエンジンスイッチをOFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にする

- 2 ヒューズボックスを開ける

- ▶ エンジンルーム（ヒューズボックス A）

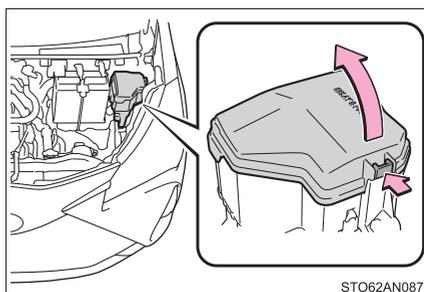
ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



STO62AN086

- ▶ エンジンルーム（ヒューズボックス B）

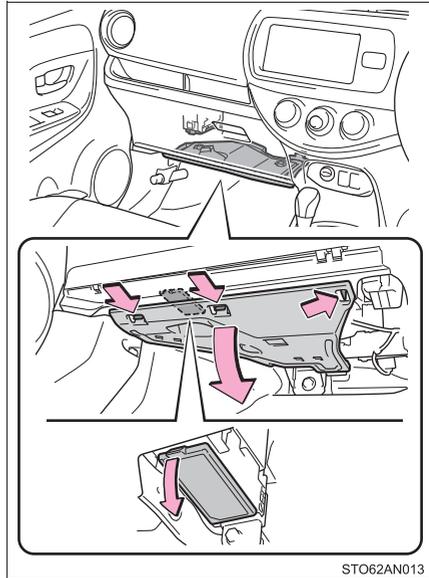
ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



STO62AN087

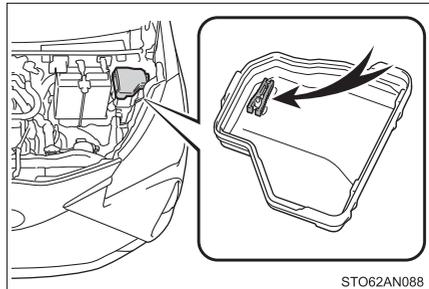
▶ 助手席足元

足元のカバー★を取りはずし、ヒューズボックスのカバーを取りはずす



3 ヒューズを引き抜く

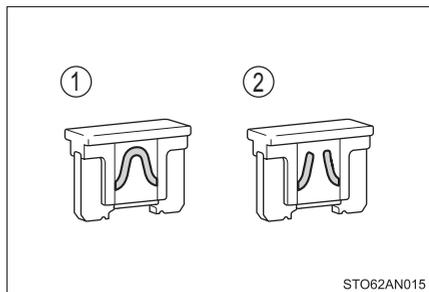
ヒューズはずしでヒューズを引き抜くことができます。



4 ヒューズが切れていないか点検する

- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→ P. 323)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■ 電球（バルブ）を交換するとき

この車両に指定されているトヨタ純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のトヨタ純正品以外は使用できない場合があります。

 警告

■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 注意

■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

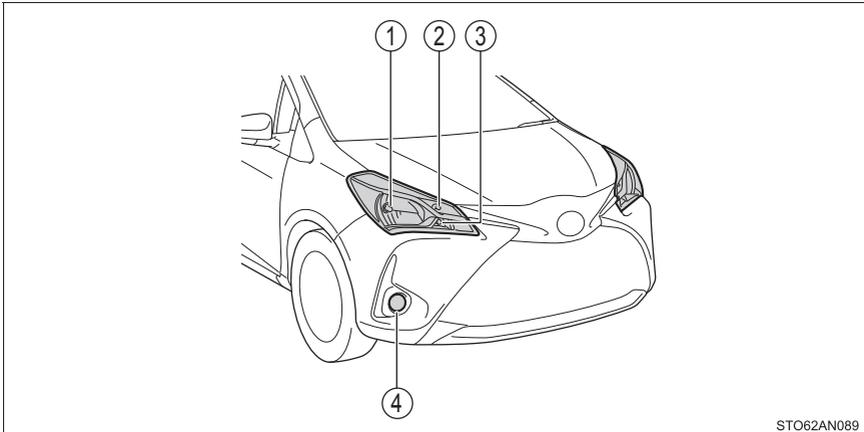
電球の用意

切れた電球のW（ワット）数を確認してください。（→ P. 429）

バルブ位置

■ フロント

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車



① ヘッドランプ

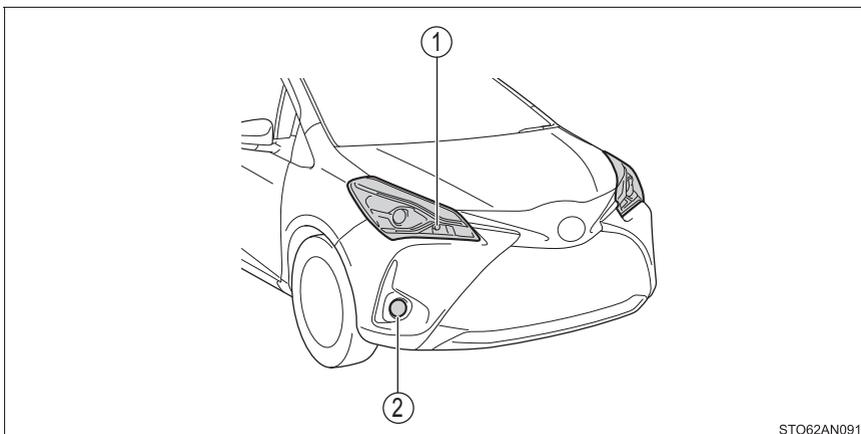
② 車幅灯

③ フロント方向指示灯／
非常点滅灯

④ フロントフォグランプ★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ LED ヘッドランプ装着車



STO62AN091

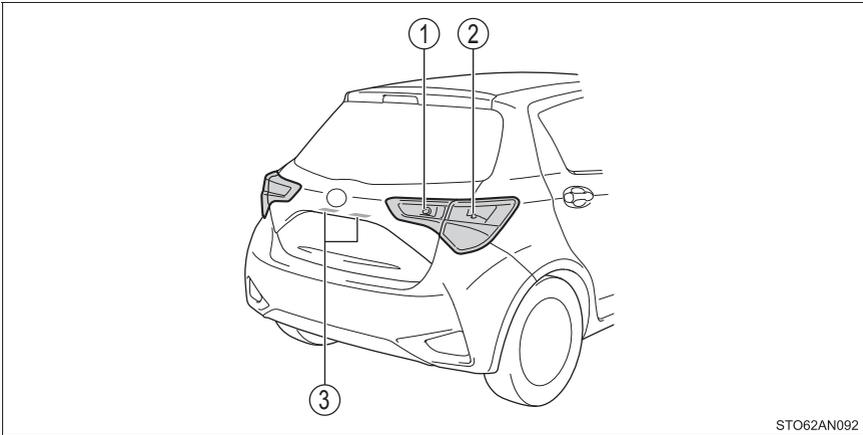
① フロント方向指示灯／
非常点滅灯

② フロントフォグランプ★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ リヤ

▶ GR SPORT、GR を除く



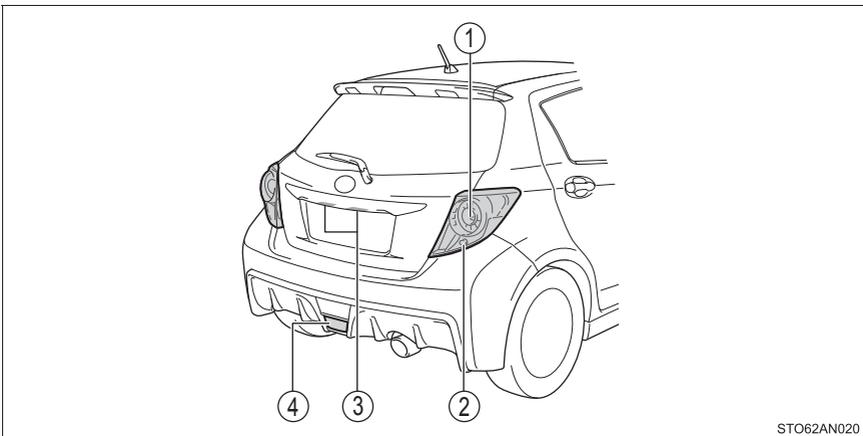
STO62AN092

① 後退灯

③ 番号灯

② リヤ方向指示灯／非常点滅灯

▶ GR SPORT、GR



STO62AN020

① 後退灯

③ 番号灯

② リヤ方向指示灯／非常点滅灯

④ リヤフォグランプ★

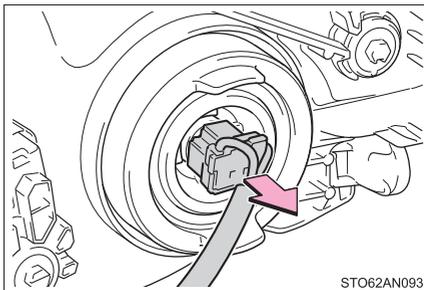
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

電球交換のしかた

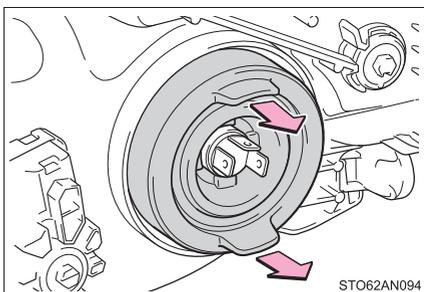
ヘッドランプ、車幅灯、フロント方向指示灯／非常点滅灯はボンネットを開けてから作業してください。

■ ヘッドランプ (ハロゲンヘッドランプ装着車)

- 1 コネクターを取りはずす

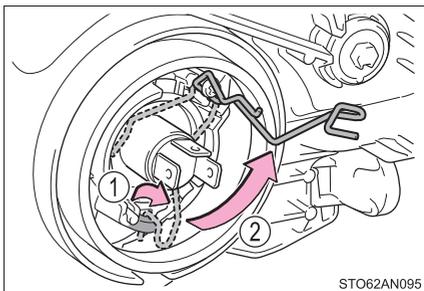


- 2 ゴムカバーを取りはずす

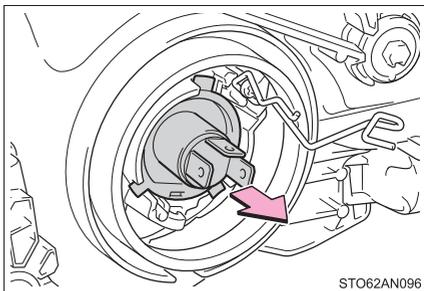


- 3 留め金をはずす

- ① 留め金を押し込んでフックからはずす
- ② 留め金を持ち上げる

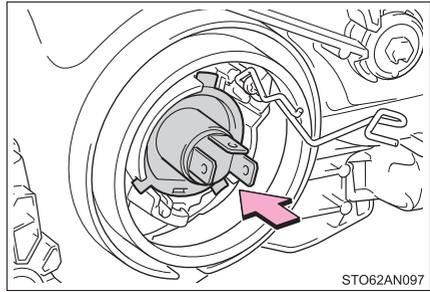


- 4 電球を取りはずす

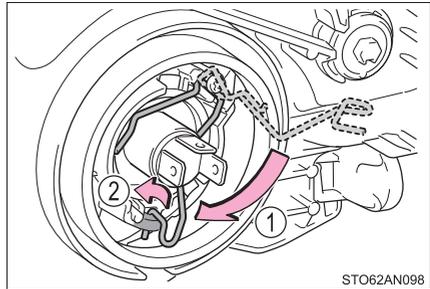


5 電球を交換し取り付ける

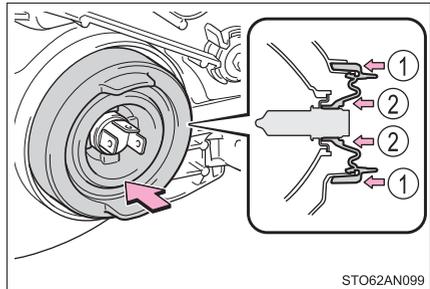
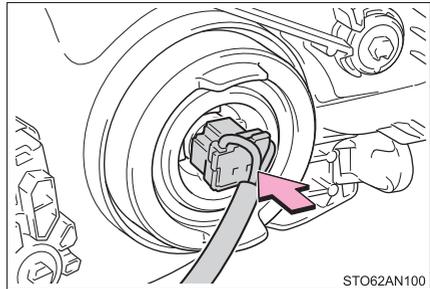
取り付け部を電球のツメ(3ヶ所)を合わせて挿し込み、固定します。

**6** 留め金を取り付ける

- ① 留め金を下げる
- ② 留め金を押しフックに引っかけて固定します。

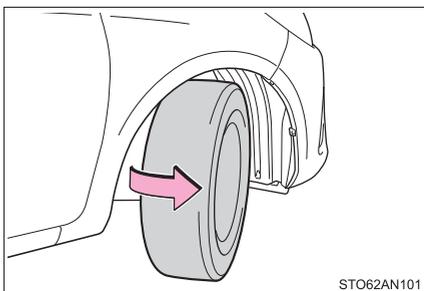
**7** ゴムカバーを取り付ける

- ① ゴムカバーの外周をしっかりとめ込む
- ② ゴムカバーの内周(電球まわり)を全周にわたり電球の金属部分が確認できるまで押しこむ

**8** コネクターを取り付ける

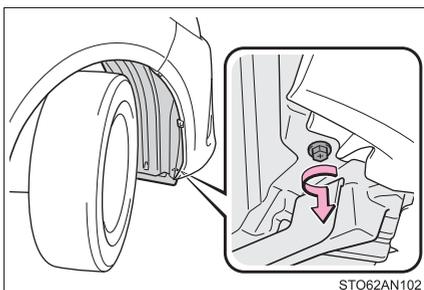
■ フロントフォグランプ★

- 1 交換するランプの反対側へハンドルをまわし、タイヤの向きをかえる



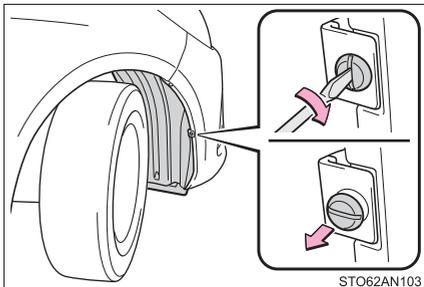
STO62AN101

- 2 バンパー外側のボルトをはずす



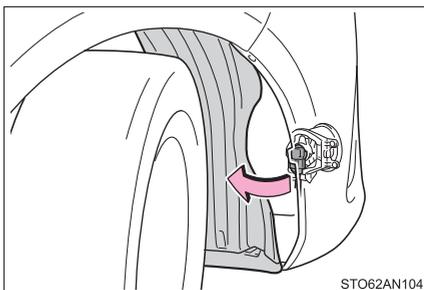
STO62AN102

- 3 フェンダーライナーリテーナーを取りはずす



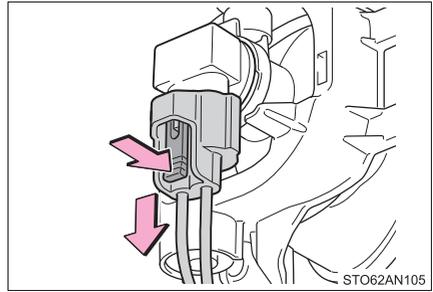
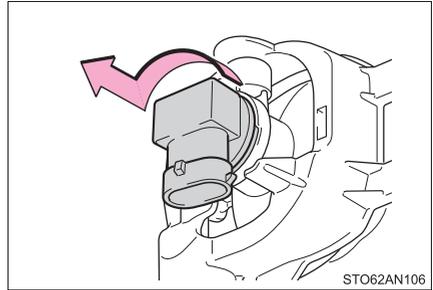
STO62AN103

- 4 フェンダーライナーをめくる

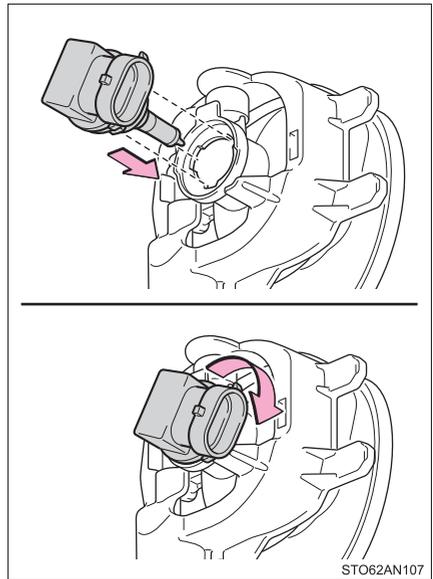


STO62AN104

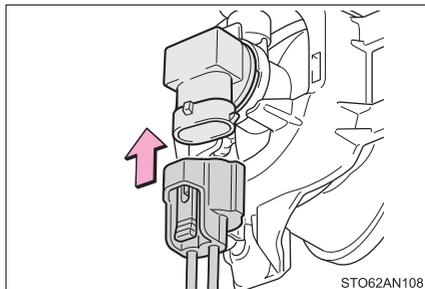
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

5 コネクターを取りはずす**6** ソケットを取りはずす**7** 電球を交換し取り付ける

取り付け部と電球のツメ (3ヶ所) を合わせて挿し込み、右にまわして固定する。

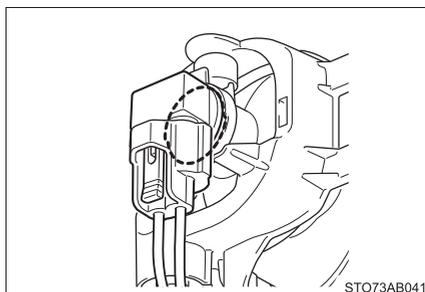


8 コネクターを取り付ける



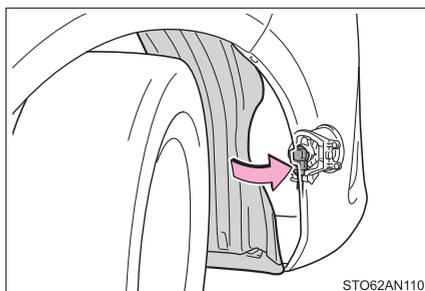
9 取り付け確認する

ソケットを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったんフロントフォグランプを点灯させ、バルブの取り付け部からランプの光がもれてないことを目視確認してください。

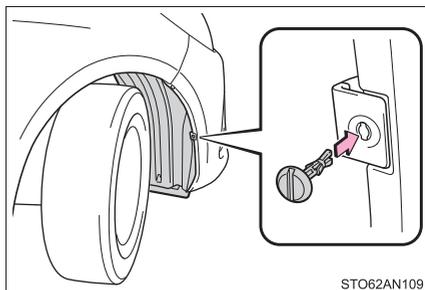


10 フェンダーライナーを取り付ける

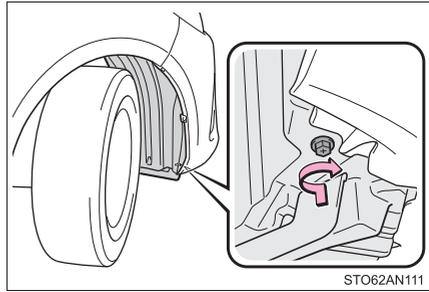
フェンダーライナーの端がフロントバンパーの内側になるように取り付けます。



11 フェンダーライナーリテーナーを取り付ける

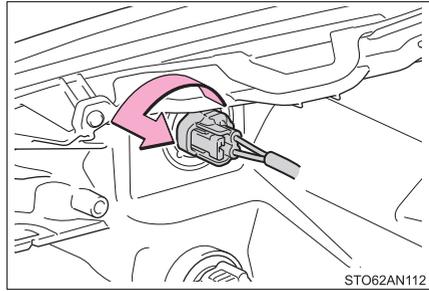


- 12 バンパー外側のボルトを取り付ける

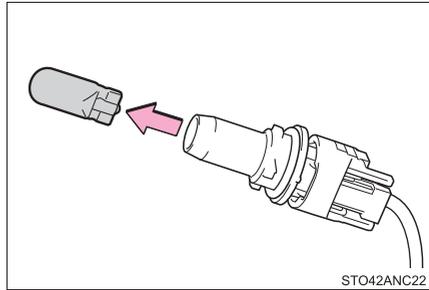


■ 車幅灯（ハロゲンヘッドランプ装着車）

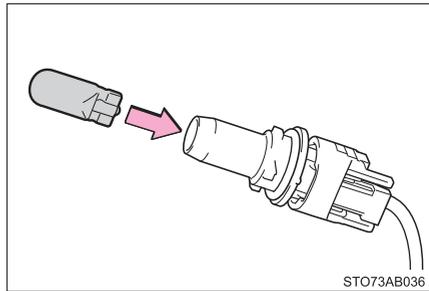
- 1 ソケットを取りはずす

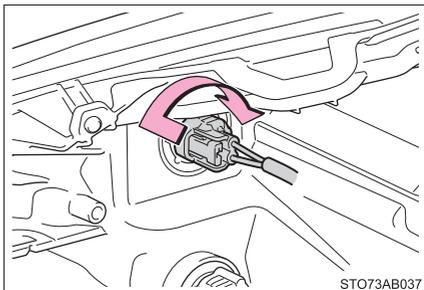
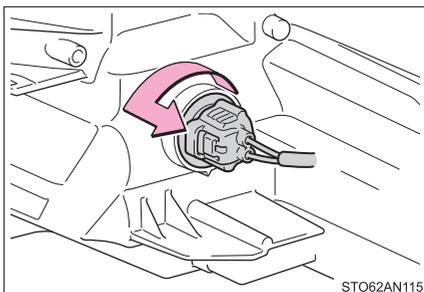
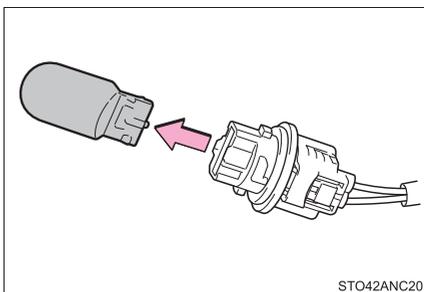
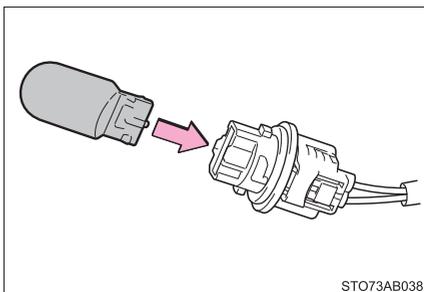


- 2 電球を取りはずす

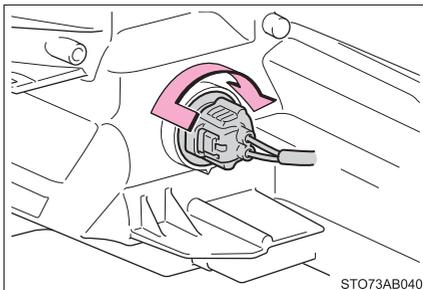


- 3 電球を交換し取り付ける



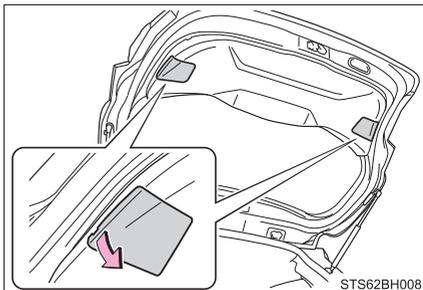
4 ソケットを取り付ける**■ フロント方向指示灯／非常点滅灯****1** ソケットを取りはずす**2** 電球を取りはずす**3** 電球を交換し取り付ける

4 ソケットを取り付ける



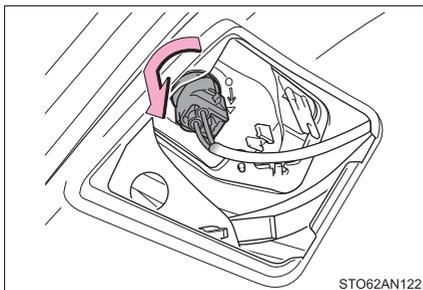
■ 後退灯 (GR SPORT、GR を除く)

- 1 バックドアを開け、カバーの側面を内側に押しながら取りはずす

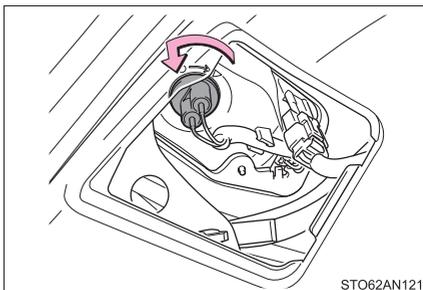


- 2 ソケットを取りはずす

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車

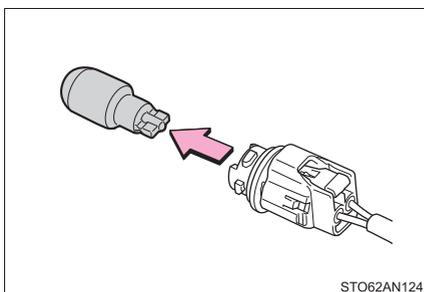


▶ LED ヘッドランプ装着車

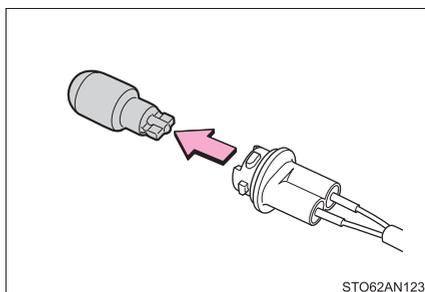


3 電球を取りはずす

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車

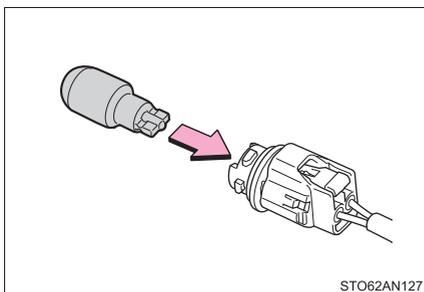


▶ LED ヘッドランプ装着車

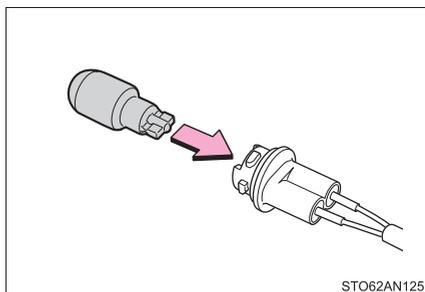


4 電球を交換し取り付ける

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車

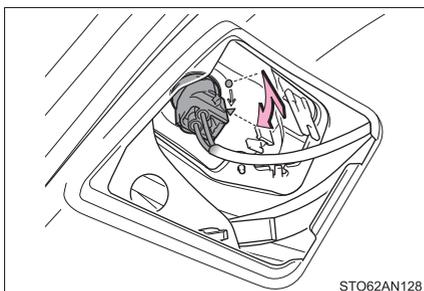


▶ LED ヘッドランプ装着車

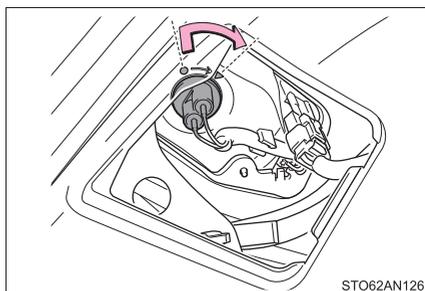


5 ソケットを取り付ける

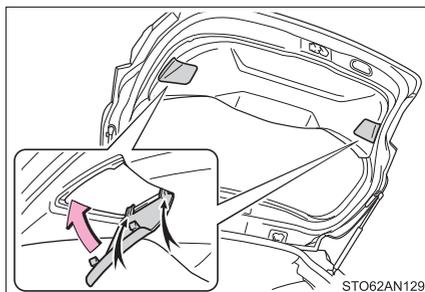
▶ ハロゲンヘッドランプ装着車



▶ LED ヘッドランプ装着車



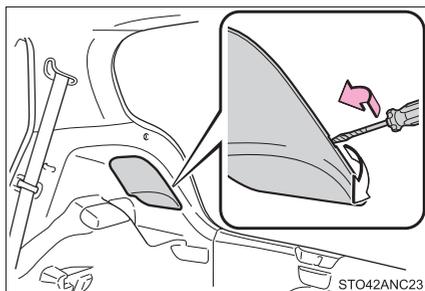
6 カバーを取り付ける



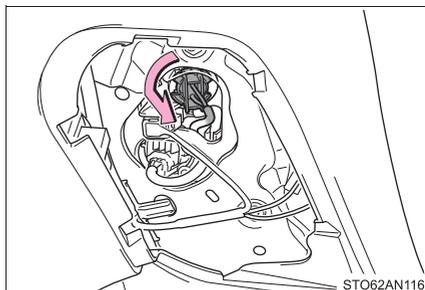
■ リヤ方向指示灯／非常点滅灯（GR SPORT、GRを除く）

1 バックドアを開け、カバーを取りはずす

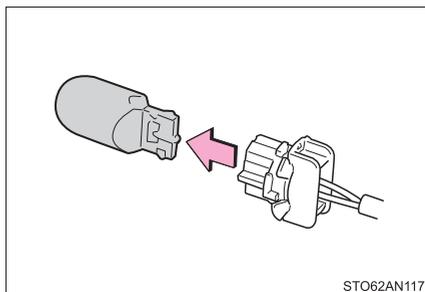
傷が付くのを防ぐため、ドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。

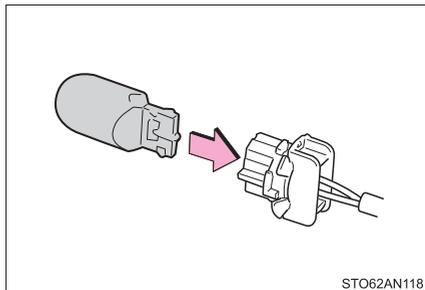
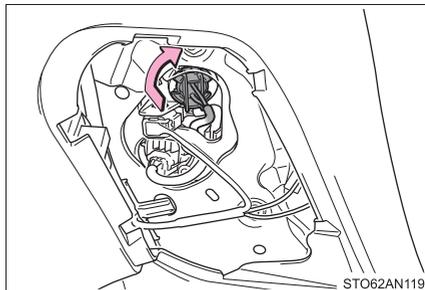


2 ソケットを取りはずす

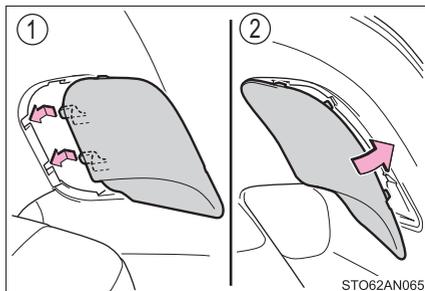


3 電球を取りはずす



4 電球を交換し取り付ける**5** ソケットを取り付ける**6** カバーを取り付ける

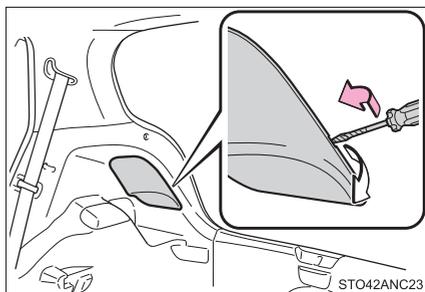
- ① カバーのツメと切り欠きを合わせる
- ② 固定されるまでカバーを押し



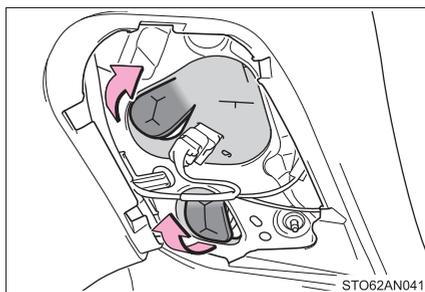
■ 後退灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯 (GR SPORT、GR)

- 1 バックドアを開け、カバーを取りはずす

傷が付くのを防ぐため、ドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。

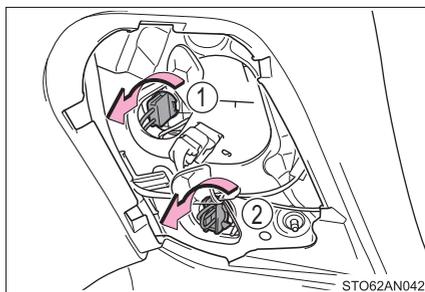


- 2 コネクターカバーをめくる



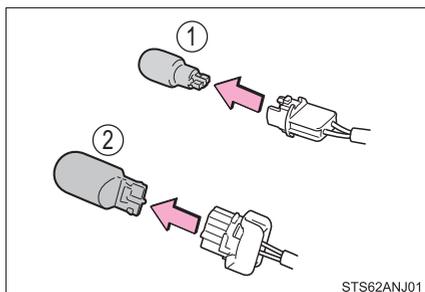
- 3 ソケットを取りはずす

- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



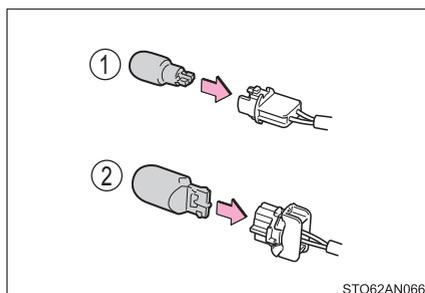
- 4 電球を取りはずす

- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



5 電球を交換し取り付ける

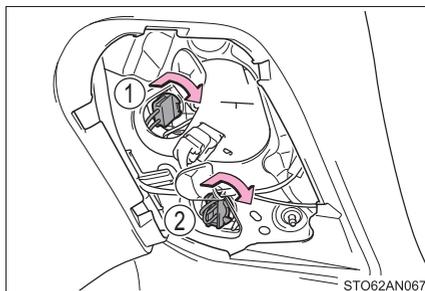
- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



STO62AN066

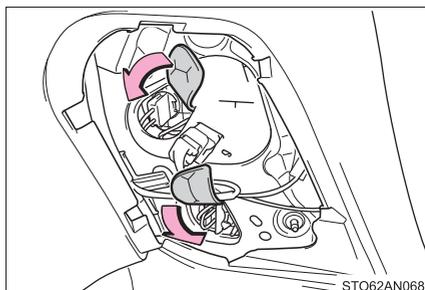
6 ソケットを取り付ける

- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



STO62AN067

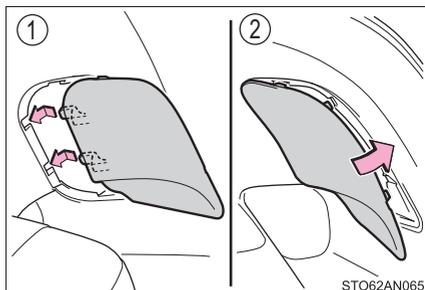
7 コネクターカバーをもとにもどす



STO62AN068

8 カバーを取り付ける

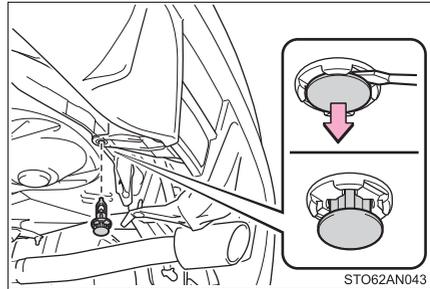
- ① カバーのツメと切り欠きを合わせる
- ② 固定されるまでカバーを押す



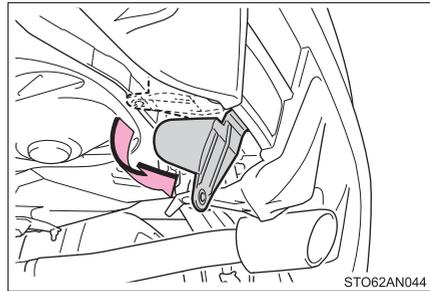
STO62AN065

■ リヤフォグランプ★

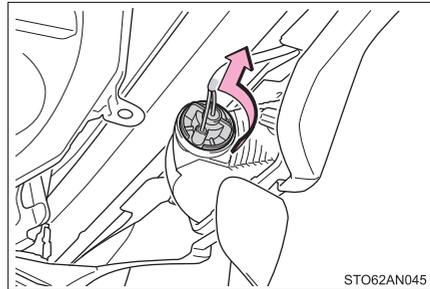
- 1 クリップを取りはずす
 クリップは中心部を引き出してロックをはずし引き抜きます。



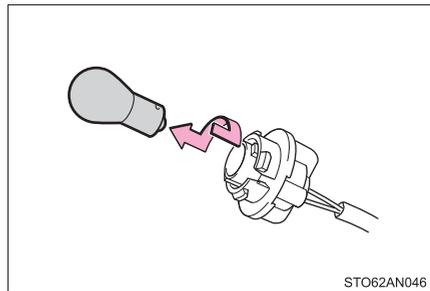
- 2 カバーをめくる



- 3 コネクターを回して取りはずす



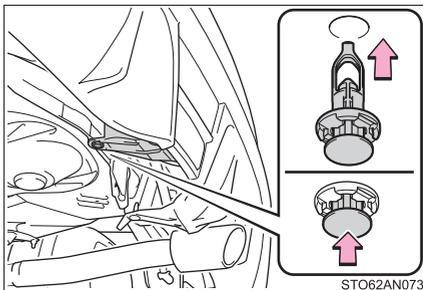
- 4 電球を取りはずす



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- 5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

クリップを取り付けるときはクリップを挿し込み、クリップ中央を押します。



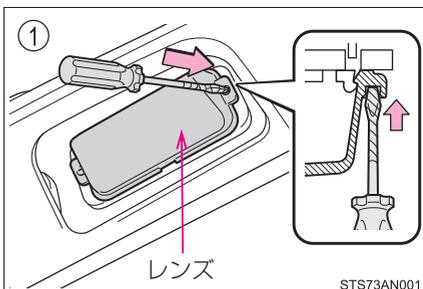
STO62AN073

■ 番号灯

- 1 番号灯が見えるまでバックドアを開ける (→ P. 117)

- 2 レンズを取りはずす

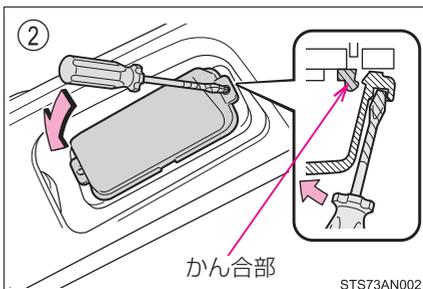
- ① 小さいマイナスドライバーなどを左右どちらかのレンズの穴に挿し込む



STS73AN001

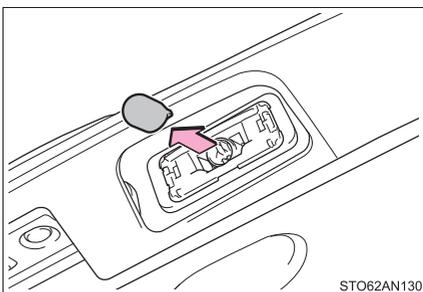
- ② 小さいマイナスドライバーなどを図の矢印の方向に傾け、レンズのかん合をはずしてレンズを取りはずす

傷が付くのを防ぐために、小さいマイナスドライバーなどの先端に、テープなどを巻いて保護してください。



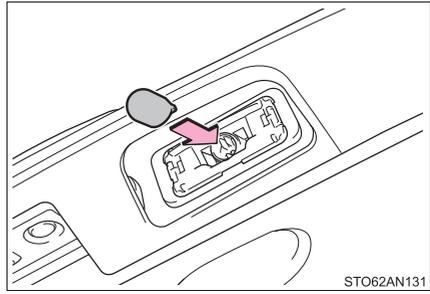
STS73AN002

- 3 電球を取りはずす



STO62AN130

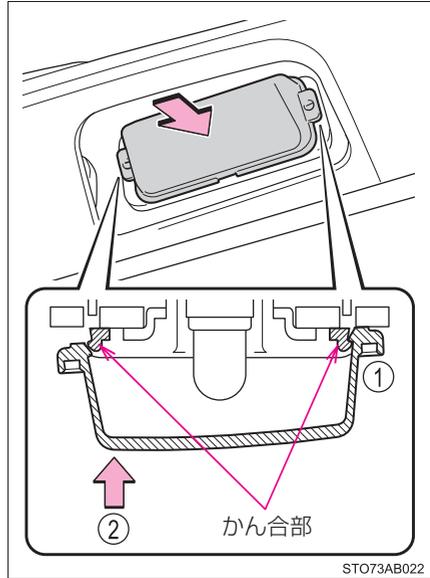
4 新しい電球を取り付ける



5 レンズを取り付ける

- ① レンズを左右どちらかのかん合部に引っかける
- ② レンズを押し込む

レンズを取り付けたあとは、レンズを軽く引っ張って、正しく取り付けられていることを確認してください。



■ その他の電球

次の電球が切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプ (LED ヘッドランプ装着車)
- 車幅灯 (LED ヘッドランプ装着車)
- サイド方向指示灯／非常点滅灯
- LED イルミネーションビーム★
- 制動灯／尾灯
- ハイマウントストップランプ

知識

■ LED ランプについて

ヘッドランプ (LED ヘッドランプ装着車)・車幅灯 (LED ヘッドランプ装着車)・制動灯／尾灯・ハイマウントストップランプ・LED イルミネーションビーム★は数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

■ 電球 (バルブ) を交換するとき

→ P. 322

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■電球を交換するときは**

- ランプは消灯してください。消灯直後は電球が高温になっているため、交換しないでください。
やけど・感電をするおそれがあり危険です。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路および構成部品を、修理または分解しないでください。
感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

- 電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認ください。
- 発熱による損傷を防ぐため、バルブを取り付ける前にバルブのワット数を確認してください。

万が一の場合には

7

7-1. まず初めに

故障したときは.....	346
非常点滅灯 （ハザードランプ）.....	347
発炎筒.....	348
車両を緊急停止するには.....	350

7-2. 緊急時の対処法

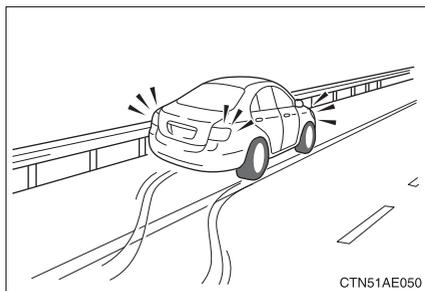
けん引について.....	352
フューエルポンプシャット オフシステム.....	360
警告灯がついたときは.....	361
警告メッセージが 表示されたときは （カラータイプマルチ インフォメーション ディスプレイ装着車）.....	367
パンクしたときは （タイヤパンク 応急修理キット装着車）.....	378
パンクしたときは （応急用タイヤ装着車）.....	393
エンジンが かからないときは.....	404
電子キーが正常に 働かないときは （スマートエントリー& スタートシステム装着車）...	406
バッテリーが あがったときは.....	408
オーバーヒートしたときは...	413
スタックしたときは.....	417

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

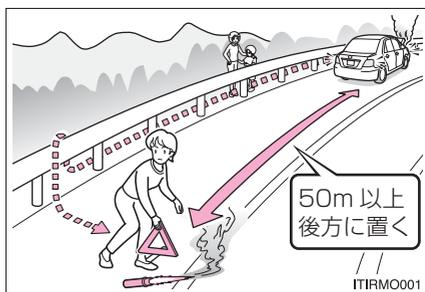
非常点滅灯（→ P. 347）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

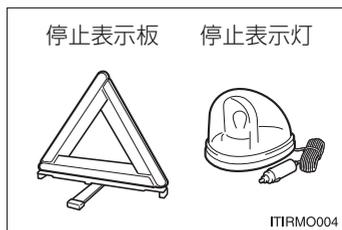
- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 348）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
 - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



知識

■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯は、トヨタ販売店で購入することができます。

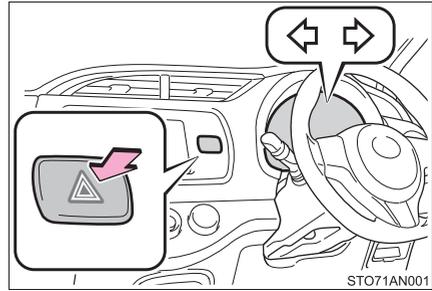


非常点滅灯（ハザードランプ）

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。もう一度押すと消灯します。



知識

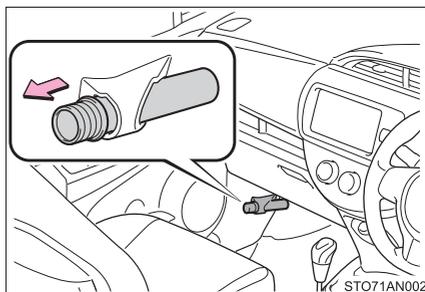
■非常点滅灯について

エンジン停止中に、非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

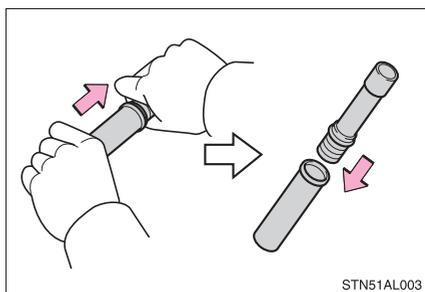
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)
 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

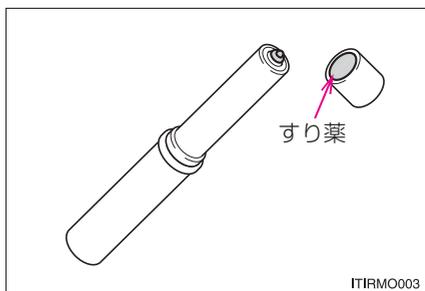
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる
 必ず車外で使用してください。
 着火させる際は、筒先を顔や体に向け
 ないでください。



 知識

■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

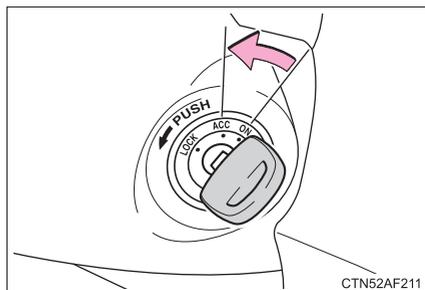
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

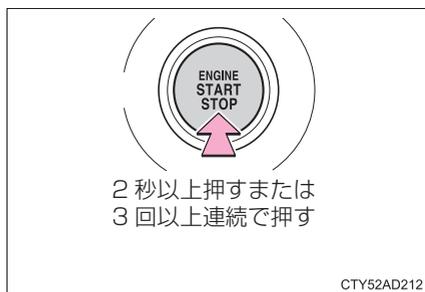
車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトレバーを N に入れる
▶ シフトレバーが N に入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 エンジンを停止する
▶ シフトレバーが N に入らない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“ACC”にして、エンジンを停止する。



スマートエントリー&スタートシステム装着車：エンジンスイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してエンジンを停止する。



- 5 車を安全な道路脇に停める

 **警告****■ 走行中にやむを得ずエンジンを停止するとき**

- ブレーキの効きが悪くなると共にハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

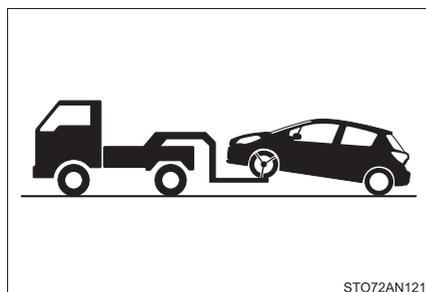
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンがかかるが車が動かない
- 異常な音がする

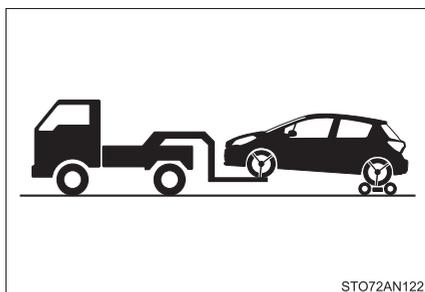
レッカー車でけん引するとき

- ▶ 前向きにけん引するときは (FF車)



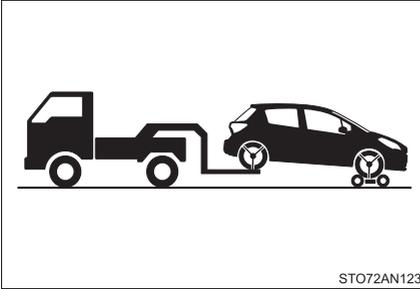
パーキングブレーキを解除する

- ▶ 前向きにけん引するときは (4WD車)



台車を使用して後輪を持ち上げる

▶ うしろ向きにけん引するときは

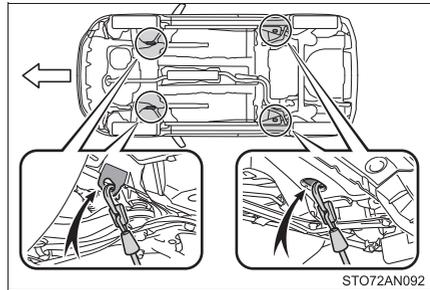


台車を使用して前輪を持ち上げる

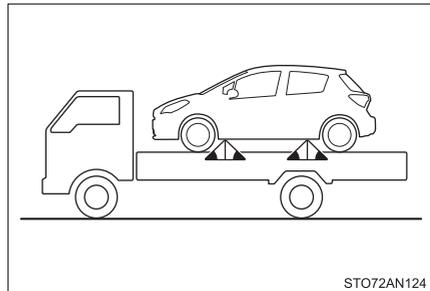
車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送するときは、図の場所で固縛する

輸送後は、リヤ側に取り付いているフタをもとにもどしてください。



鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する



他車にけん引してもらおうとき

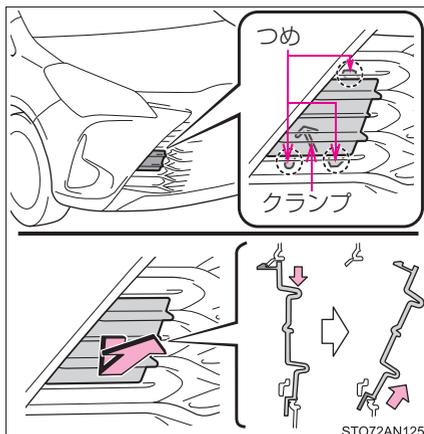
1 けん引フックを取り出す (→ P. 380, 394)

2 けん引フックを取り付ける

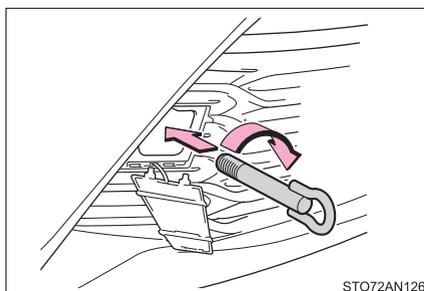
▶ GR SPORT、GR を除く

フタの上側を下に押しながら手前に引いてはまず

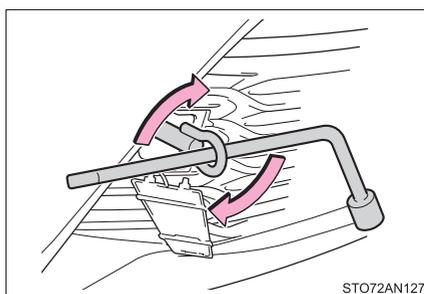
フタの下側とグリルはクランプでつながっているため、作業時にフタを強く引かないでください。



けん引フックを穴に挿し込み軽く締める



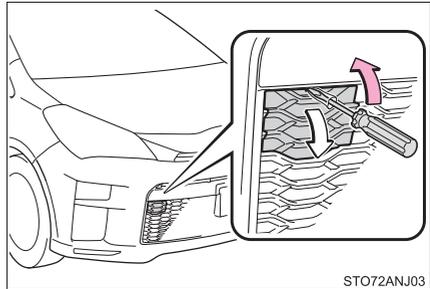
ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



▶ GR SPORT、GR

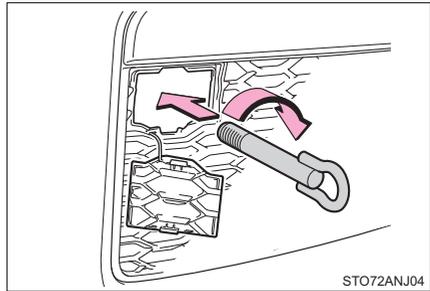
マイナスドライバーを使ってフタをはずす

傷が付くのを防ぐため、ドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



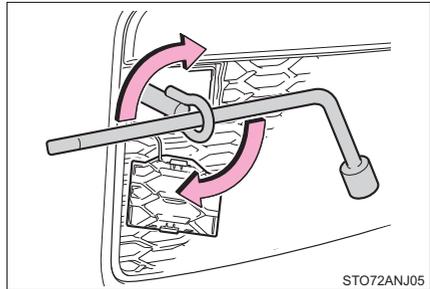
STO72ANJ03

けん引フックを穴に挿し込み軽く締める



STO72ANJ04

ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



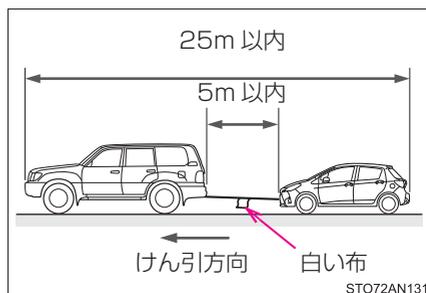
STO72ANJ05

- 3** 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける
車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

4 ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：

0.3m 平方 (30cm×30cm) 以上

**5** 運転者はけん引される車両に乗り、エンジンをかける

Stop & Start システム装着車：けん引される前に、いったんエンジンスイッチを OFF にしたあと、エンジンをかけてください。

エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“ON”（スマートエントリー & スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチをイグニッション ON モード（スマートエントリー & スタートシステム装着車）にしてください。

6 けん引される車両のシフトポジションを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

オートマチック車：シフトレバーがシフトできないときは
(→ P. 172, 178)

知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■他車にけん引してもらうときに

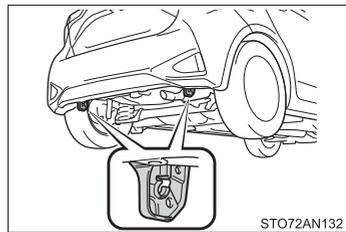
エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■ホイールナットレンチについて

ラゲージルーム内に搭載されています。(→ P. 380, 394)

■緊急用フックについて

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったとき、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうために使用することができます。他車をけん引することはできません。



警告

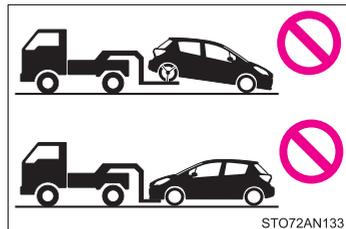
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■レッカー車でけん引するとき

▶ FF車

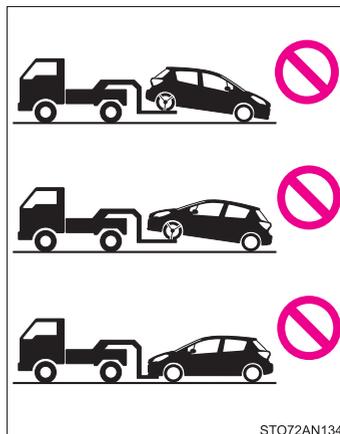
必ず前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損するおそれがあります。



警告

▶ 4WD 車

4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり車が台車から飛び出したりするおそれがあります。



■ 他車にけん引してもらうときの運転について

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- エンジンスイッチを“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはエンジンスイッチをOFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）にしないでください。ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

■ けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けていないと、けん引時にフックがはずれるおそれがあります。

⚠ 注意**■ レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。

**■ 車両運搬車に車を固縛するとき**

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

■ 車両の損傷を防ぐために

- 他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。
 - ・ ワイヤロープは使用しない
 - ・ 速度は 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
 - ・ 前進方向でけん引する
 - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

■ 長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で前輪を持ち上げるか（FF 車）、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

■ 緊急用フックについて

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

- やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- 緊急用フックで他車をけん引しないでください。

■ Stop & Start システム装着車をけん引するときは

4 輪すべてを接地した状態でけん引が必要な場合は、システム保護のため、けん引される前にいったんエンジンスイッチを OFF にしてから、エンジン始動またはエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしてください。

フューエルポンプシャットオフシステム

エンジン停止時および SRS エアバッグ作動時は、フューエルポンプシャットオフシステムが作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

システム作動後にエンジンを再始動するには

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

1 エンジンスイッチを“ACC”または“LOCK”にする

2 エンジンを再始動する

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

1 エンジンスイッチをアクセサリモードまたは OFF にする

2 エンジンを再始動する

注意

■ エンジンを始動する前に

車両下をよく確認してください。

地面に燃料もれを見つけた場合は、燃料システムに損傷があり、修理する必要があります。その場合はエンジンを再始動しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	ブレーキ警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブレーキ液の不足 ・ ブレーキ系統の異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。
	充電警告灯★ 充電系統の異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
	油圧警告灯★（警告ブザー） エンジンオイルの圧力異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
 （赤色点滅 または点灯）	高水温警告灯★（警告ブザー） エンジン冷却水温の異常 （水温の上昇にともない、点滅から点灯にかわります。→ P. 413） → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
	エンジン警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 電子制御スロットルの異常 ・ オートマチックトランスミッション電子制御システムの異常（オートマチック車） → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	<p>ABS & ブレーキアシスト警告灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ABS の異常 ・ ブレーキアシストの異常 <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p>PCS（プリクラッシュセーフティシステム）警告灯★</p> <p>警告灯が点滅した場合（ブザーあり）： プリクラッシュセーフティシステムの異常</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p> <p>警告灯が点灯した場合： 次の原因などによりプリクラッシュセーフティシステムが一時停止している可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前方センサー周辺のフロントウインドウガラスに汚れ（曇り、結露、凍結などを含む）や付着物がある <p>→ 汚れや付着物を取り除いてください。（→ P. 203）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前方センサー温度が作動範囲外 <p>→ センサーの周辺温度が下がるまでしばらくお待ちください。 VSC システムまたはプリクラッシュセーフティシステム、もしくは両方が OFF になっています。</p> <p>→ VSC システムとプリクラッシュセーフティシステムを ON にすると、プリクラッシュセーフティシステムが利用可能になります。（→ P. 208, 250）</p>
	<p>パワーステアリング警告灯（警告ブザー）</p> <p>EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
 <p>(黄色)</p>	<p>オートマチックハイビーム表示灯★</p> <p>オートマチックハイビームの異常</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p>スリップ表示灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VSC システムの異常 ・ TRC システムの異常 ・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常 <p>TRC・VSC システム作動時は点滅します。（→ P. 249）</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	4WD 警告灯★ 警告灯が点灯した場合： 4WD システムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。 警告灯が点滅した場合： 駆動系の発熱 → スピードを落として低速走行する。またはエンジンをかけたまま停車する。
	ヘッドランプオートレベリング警告灯★ 自動光軸調整システムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
 (黄色)	LDA (レーンディパーチャーアラート) 表示灯★ LDA システムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
 (15 秒間 黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯★ (警告ブザー) ・ スマートエントリー&スタートシステムの異常 ・ ステアリングロックシステムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	半ドア警告灯★ (警告ブザー※1) いずれかのドアまたはバックドアが確実に閉まっていない → 全ドアを閉める
	LED ヘッドランプ警告灯★ LED ヘッドランプの異常 異常時は LED ヘッドランプは点灯しませんが、故障の状況によっては、点灯できる場合があります。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください
	燃料残量警告灯 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車： 燃料の残量が 6.3L 以下になった カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車： 燃料の残量が 5.8L 以下になった → 燃料を補給する
	運転席・助手席シートベルト非着用警告灯 (警告ブザー※2) 運転席・助手席シートベルトの非着用 → シートベルトを着用する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	パーキングブレーキ未解除警告灯 (警告ブザー ※3) パーキングブレーキがかかっているとき → パーキングブレーキを解除する
	マスターウォーニング★ システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。 → P. 367

- ※1 半ドア走行時警告ブザー：
各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5 km/h をこえたときにブザーが鳴ります。
- ※2 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー：
運転席または助手席シートベルトが非着用のまま車速が約 20 km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。それから運転席または助手席シートベルトが非着用のまま 30 秒経過すると、警告ブザーが断続的に 30 秒間鳴ります。その後警告ブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。
- ※3 パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：
パーキングブレーキをかけたまま、車速が 5 km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。

ただちに処置してください (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

それぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認してください。

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
連続音	連続音	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 シフトレバーが P 以外の状態で、エンジンスイッチを OFF にせずに電子キーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された → シフトレバーを P にする → 電子キーを車内にもどす

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
1回	3回	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 シフトレバーがPの状態、エンジンスイッチをOFFにせずに、運転席ドアが開閉され電子キーを持ち出した → エンジンスイッチをOFFにしたあと、電子キーを車内から持ち出す
			スマートエントリー&スタートシステム表示灯 エンジンスイッチがOFF以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した → 電子キーを車内にもどす
1回	連続音 (5秒間)	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 エンジンスイッチをOFFにせずに、電子キーを持ち出してスマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした → エンジンスイッチをOFFにしたあと、再度施錠する
1回	—	 (15秒間 黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 電子キーを携帯していない状態でエンジンを始動しようとした → 電子キーを携帯してエンジンを始動する
9回	—	 (黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 電子キーが車室内にない状態で走行をはじめた → 車室内に電子キーがあるか確認する
1回	—	 (15秒間 黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 電子キーの電池残量が少ない → 新しい電池と交換する (→ P. 316)
1回	—	 (15秒間 緑色に速点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 ステアリングロックが解除できなかった → ステアリングロックを解除する (→ P. 167)

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
1回	—	 (30秒間 黄色点滅)	スマートエントリー&スタートシステム表示灯 ・メカニカルキーで解錠してエンジンスイッチを押したとき、車室内で電子キーを検知できなかった ・エンジンスイッチを押したとき、車室内で電子キーを検知できないことが2回連続で続いた → ブレーキペダルを踏みながら電子キーで、エンジンスイッチにふれる (→ P. 406)

知識

■ 助手席シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅し、警告ブザーが鳴ることがあります。
- 座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■ パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

警告

■ パワーステアリング警告灯が点灯したとき

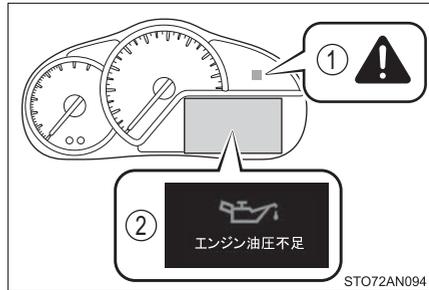
ハンドル操作が非常に重くなることがあります。

ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

警告メッセージが表示されたときは（カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。

- ① マスターウォーニング
マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。
- ② マルチインフォメーションディスプレイ



処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

警告メッセージ・警告ブザー一覧

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 エンジン油圧不足 	エンジンオイル圧力の異常 エンジンオイルの圧力が異常に低いと、警告ブザーと共に表示されます。 → ただちに停車し、トヨタ販売店に連絡してください。
 エンジン冷却水高温 	エンジン冷却水高温異常 警告ブザーが鳴ります。 → P. 413

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 <p>充電システム故障</p> 	<p>充電システムの異常</p> <p>警告ブザーが鳴ります。 → ただちに停車し、トヨタ販売店に連絡してください。</p>
<p>パワーステアリングシステムチェック ただちに販売店で点検を受けてください</p>  	<p>パワーステアリングシステムの異常</p> <p>警告ブザーが鳴ります。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p>LDA故障 販売店で点検してください</p> 	<p>レーンディパーチャーアラートシステム★の異常</p> <p>警告ブザーが鳴ります。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p>プリクラッシュセーフティ故障 販売店で点検してください</p>   <p>OFF (点滅)</p>	<p>PCS(プリクラッシュセーフティシステム)★の異常</p> <p>警告ブザーが鳴ります。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p>ヘッドライト レベリングシステムチェック</p> 	<p>ヘッドランプオートレベリングシステム★の異常</p> <p>警告ブザーが鳴ります。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 161 415 292">ヘッドライト システムチェック</p>  <p data-bbox="157 368 236 395">(点滅)</p>	<p data-bbox="437 220 729 247">LED ヘッドランプ★の異常</p> <p data-bbox="460 264 710 292">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 296 983 323">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 419 415 550">ヘッドランプシステム故障 販売店で 点検してください</p> 	<p data-bbox="437 467 913 494">オートマチックハイビームシステム★の異常</p> <p data-bbox="460 512 710 539">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 544 983 571">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 655 415 786">スマートエントリー& スタートシステムチェック</p>  <p data-bbox="157 863 236 890">(点滅)</p>	<p data-bbox="437 715 960 742">スマートエントリー&スタートシステム★の異常</p> <p data-bbox="460 759 710 786">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 791 983 818">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 914 415 1010">アイドリングストップ故障 販売店で点検してください</p> 	<p data-bbox="437 946 988 1005">Toyota Stop & Start System (SMART STOP) の故障</p> <p data-bbox="460 1023 710 1050">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 1054 983 1082">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
 <p data-bbox="247 1201 325 1228">ブレーキ!</p>	<p data-bbox="437 1142 988 1233">衝突の可能性が高い プリクラッシュブレーキ★が作動している（プリク ラッシュセーフティシステム）</p> <p data-bbox="460 1251 710 1278">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 1283 988 1337">→ 周囲の安全を確認して、必要に応じて回避行動をとってください。</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 	<p>レーンディパーチャーアラート★車線逸脱警報 警告ブザーが鳴ります</p> <p>逸脱している側の車線表示が橙色で点滅します → 周囲の安全を確認してから、ハンドルを操作して車両を車線内に戻す。</p>
<p>先行車発進</p> 	<p>先行車発進告知★ 警告ブザーが鳴ります → 周囲の安全を確認してから、車両を発進させる。</p>
  <p>バックドア オープン</p>	<p>各ドア、バックドアが確実に閉まっていない 開いているドア、バックドアが表示されます。各ドア、バックドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が5km/hをこえたときには  が点滅し、警告ブザーが鳴ります。 → 各ドア、バックドアを閉める</p>
<p>パーキングブレーキを解除して下さい</p> 	<p>パーキングブレーキが解除されていない パーキングブレーキをかけたまま、車速が5km/hをこえたときには  が点滅し、警告ブザーが鳴ります。 → パーキングブレーキを解除する</p>
<p>ライトが点灯しています</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車幅灯点灯時に、運転席ドアを開けた 警告ブザーが鳴ります。 → 車幅灯を消灯する</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 161 415 288">ガソリン残量が 少なくなりました</p> 	<p data-bbox="437 233 829 288">燃料の残量が約 5.8 L 以下になった → 燃料を補給する</p>
<p data-bbox="157 395 415 523">AHB起動のためには ハイビーム操作が 必要です</p>	<p data-bbox="437 400 992 520">ヘッドランプがロービームの状態です。オートマチックハイビームスイッチ★を押した → ヘッドランプをハイビームに切りかえてから、オートマチックハイビームスイッチを押す。</p>
<p data-bbox="157 555 415 683">VSCがOFFのため プリクラッシュブレーキも 停止します</p>  	<p data-bbox="437 592 992 719">プリクラッシュブレーキ★およびプリクラッシュブレーキアシスト★が現在機能していない（衝突警報は作動します） → VSC を ON にする（→ P. 219, 250）</p>
<p data-bbox="157 790 415 917">プリクラッシュセーフティ 現在使用できません</p> 	<p data-bbox="437 842 992 938">PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★が現在機能していない → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください</p>
<p data-bbox="157 1024 415 1152">前方カメラシステム 一時利用不可 少々お待ちください</p> 	<p data-bbox="437 1024 992 1366">前方センサーの作動条件（温度など）が満たされていない 次のシステムが一時的に使用できなくなります。 ・ PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★ ・ LDA（レーンディパーチャーアラート）★ ・ オートマチックハイビーム★ ・ 先行車発進告知機能★ → 前方センサーの作動条件（温度など）が満たされると、システムは使用可能になります。いったんシステムを OFF にして、しばらく待ってから、再度システムを ON にしてください。</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p>前方カメラシステム 利用不可 フロントガラス汚れを 取ってください</p> 	<p>前方センサーの前のフロントウインドウガラスに 汚れ・雨滴・曇り・冰雪などが付着している</p> <p>次のシステムが一時的に使用できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★ ・ LDA (レーンディパーチャーアラート) ★ ・ オートマチックハイビーム★ ・ 先行車発進告知機能★ <p>→ いったんシステムを OFF にして、汚れ・雨滴・ 曇り・冰雪などを取り除いてから、再度システム を ON にしてください。</p>
<p>LDA 約50km/h以下で 使用できません</p>	<p>レーンディパーチャーアラート★一時使用不可</p> <p>システムが作動車速範囲外の状態</p> <p>→ システムは約 50km/h 以上で使用できます。</p>
<p>LDA 現在の車速では 使用できません</p>	<p>レーンディパーチャーアラート★一時使用不可</p> <p>システムが作動車速範囲外の状態</p> <p>→ システムを使用するには車速を下げてください。</p>
<p> シートベルト非装着</p> <p> ハンドル操作</p> <p> ブレーキシステム</p> <p> ボンネット開</p> <p> エアコン優先</p> <p> バッテリー充電</p>	<p>アイドリングストップが中断されたとき</p> <p>→ P. 240</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 バッテリー充電	アイドリングストップが作動できないとき → P. 240
 ブレーキシステム	
 エアコン優先	
 ボンネット開	
 シートベルト非装着	

ただちに処置してください。(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

それぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
1回	なし	  (点滅)	電子キーを携帯していないか、電子キーが正常に作動しない状態でエンジンを始動しようとした → 電子キーを携帯してエンジンを始動する
1回	3回	  (点滅)	エンジンスイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した → 電子キーを車内にもどす シフトレバーがPの状態でエンジンスイッチを OFF にせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された → エンジンスイッチを OFF にする、または電子キーを車内にもどす

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
1回	連続音 (5秒間)	<div data-bbox="353 225 613 357" style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">キーが見つかりません</div> <div data-bbox="353 373 613 505" style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">電源をOFFして下さい</div> <p data-bbox="426 512 538 536">(交互に表示)</p> <div data-bbox="353 552 434 608" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">  </div> <p data-bbox="365 608 421 632">(点滅)</p>	<p>シフトレバーがPの状態 でエンジンスイッチをOFFにせず に、電子キーを外に持ち出して ドアを施錠しようとした</p> <p>→ エンジンスイッチをOFFに したあと、再度施錠する</p>
9回	なし	<div data-bbox="353 659 613 791" style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">キーが見つかりません</div> <div data-bbox="353 807 434 863" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">  </div> <p data-bbox="365 863 421 887">(点滅)</p>	<p>正規の電子キーが車室内に 無い状態で走行をはじめた</p> <p>→ 車室内に電子キーがあるか 確認する</p>
連続音	なし	<div data-bbox="353 911 613 1043" style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">Pレンジに入れて下さい</div> <div data-bbox="353 1059 434 1115" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">  </div> <p data-bbox="365 1115 421 1139">(点滅)</p>	<p>シフトレバーがP以外の状態 で、エンジンスイッチをOFFに せずに運転席ドアが開いた</p> <p>→ シフトレバーをPにする</p>

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
連続音	連続音	<p>Pレンジに入れて下さい</p> <p>キーが見つかりません</p> <p>(交互に表示)</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトレバーがP以外の状態でエンジンスイッチをOFFにせず、キーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された</p> <p>→ シフトレバーをPにする</p> <p>→ 電子キーを車内に入れる</p>
1回	連続音 (5秒間)	<p>車室内に キーがあります</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした</p> <p>→ 車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する</p>
1回	連続音 (5秒間)	<p>車室内に キーがあります</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした</p> <p>→ 車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する</p>
1回	なし	<p>ブレーキを踏みながら キーで エンジンスイッチに 触れてください</p>  <p>(点滅)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メカニカルキーで解錠してエンジンスイッチを押した際、車室内でキーを検出できなかった ・エンジンスイッチを押したとき車室内でキーを検出できないことが2回連続で続いた <p>→ ブレーキを踏みながら電子キーでエンジンスイッチにふれる</p>

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
なし	なし		自動電源 OFF 機能が作動した → 次回エンジン始動時にエンジン回転数を少し高めにし、約 5 分間その回転数を保持しバッテリーを充電する
1 回	なし	 	電子キーの電池残量が少ない → 新しい電池と交換する (→ P. 316)
1 回	なし	  (点滅)	電子キーが正常に働かないときのエンジンの始動の方法 (→ P. 406) でエンジンスイッチに電子キーをふれた → ブレーキペダルを踏んでエンジンスイッチを押す
1 回	なし	  (点滅)	エンジンスイッチを押してから約3秒以内にステアリングロックが解除できなかった → ブレーキを踏んでハンドルを左右にまわしながらエンジンスイッチを押す
1 回	なし	  (点滅)	シフトレバーが P または N 以外の状態でエンジンスイッチを OFF にした → シフトレバーを P にする

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
1回	なし	  (点滅)	シフトレバーがP以外でエンジン スイッチを OFF にしたあとシフ トレバーをPにした → エンジンスイッチを押して OFF にする

知識

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

パンクしたときは (タイヤパンク応急修理キット装着車)

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。(パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です) パンクしたタイヤの損傷状況により、応急修理キットでは応急修理できない場合があります。(→ P. 379)

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。タイヤパンク応急修理キットによる応急修理は、一時的な処置です。できるだけ早くタイヤを修理・交換してください。

警告

■ パンクしたままの走行について

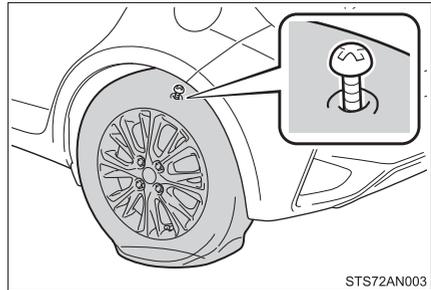
タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。パンクした状態で走行を続けると、タイヤ側面に円周状の溝ができる場合があります。この状態で応急修理キットを使用すると、タイヤが破裂する危険があります。

応急修理する前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- オートマチック車はシフトレバーをPに入れる
- マニュアル車はシフトレバーをNに入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる
- タイヤの損傷程度を確認する

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

- ・ タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。



- ・ パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。

知識

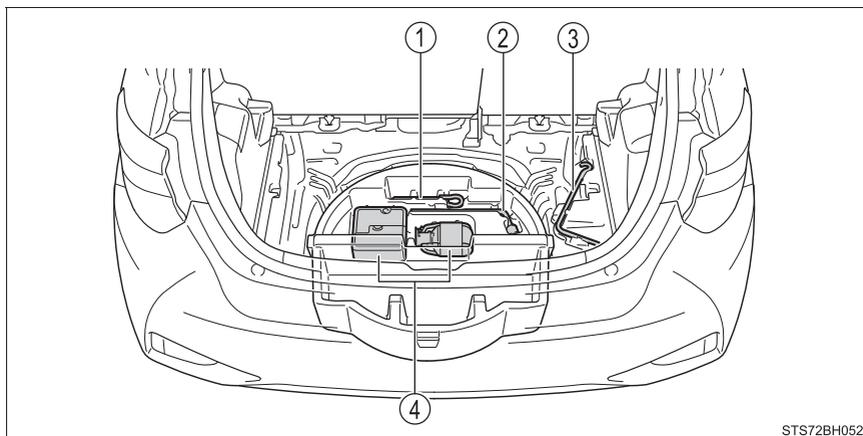
■ 応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

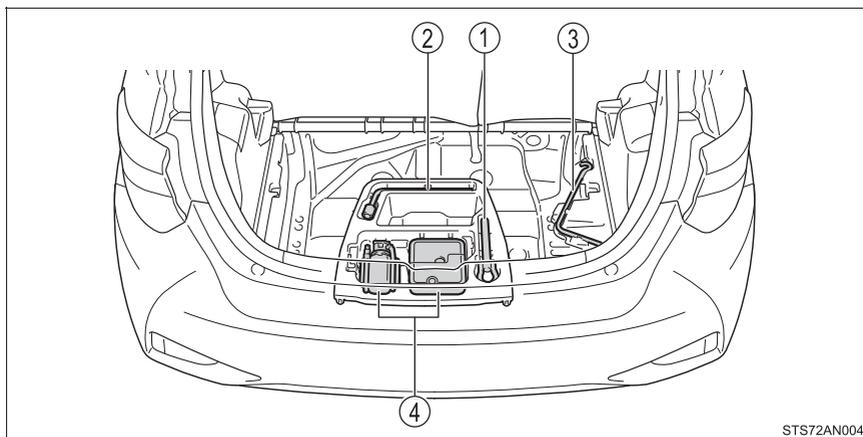
- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1本のタイヤに2箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置

▶ FF車（前輪駆動）



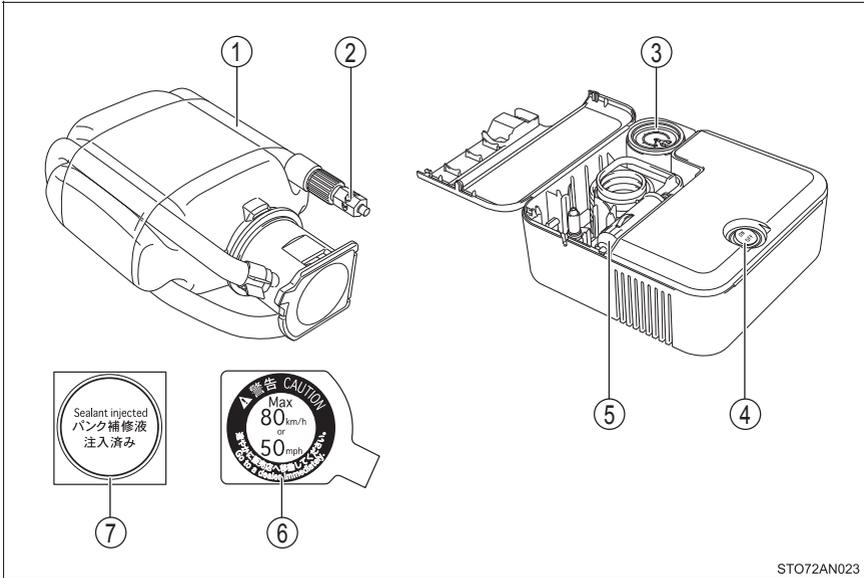
▶ 4WD車（4輪駆動）



- | | |
|--------------|-----------------|
| ① けん引フック | ③ ジャッキハンドル※ |
| ② ホイールナットレンチ | ④ タイヤパンク応急修理キット |

※ ジャッキの使い方（→ P. 398）

タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称

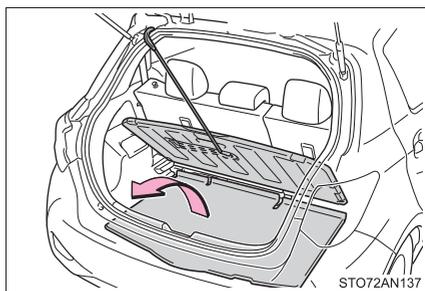


- ① ホース
- ② 空気逃がしキャップ
- ③ 空気圧計
- ④ 電源スイッチ
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ 速度制限ラベル
- ⑦ パンク補修液注入済ラベル

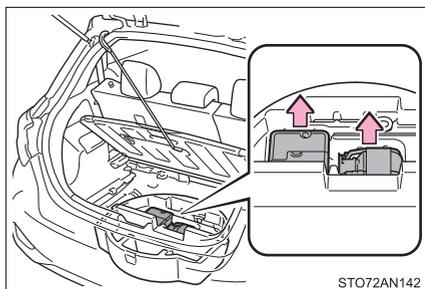
応急修理キットの取り出し方

▶ FF車（前輪駆動）

- 1 アジャスタブルデッキボード★を持ち上げ、留める（→ P. 288）
- 2 フロアボードを取りはずす

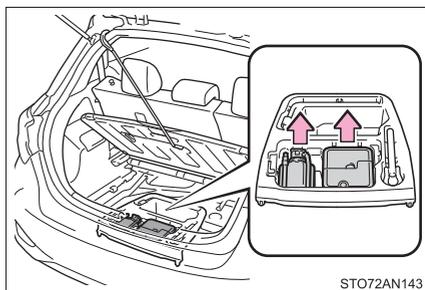


- 3 タイヤパンク応急修理キットを取り出す



▶ 4WD車（4輪駆動）

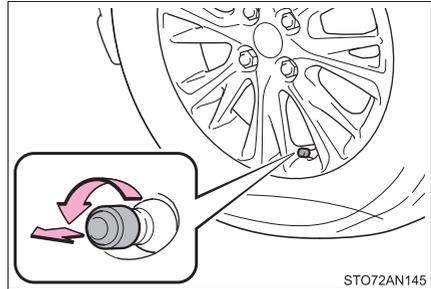
- 1 デッキボードを持ち上げ、留める（→ P. 288）
- 2 タイヤパンク応急修理キットを取り出す



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

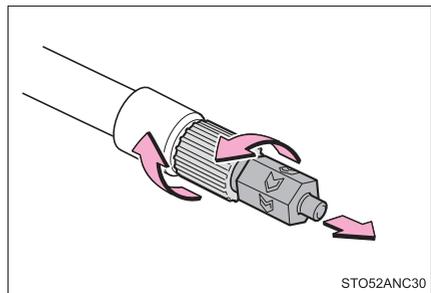
応急修理するとき

- 1 応急修理キットを取り出す
- 2パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを取りはずす

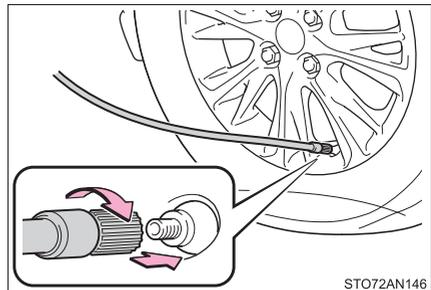


- 3 ボトルの保護フィルムをはがし
ホースをのばす
ボトルのホースから空気逃がし
キャップを取りはずす

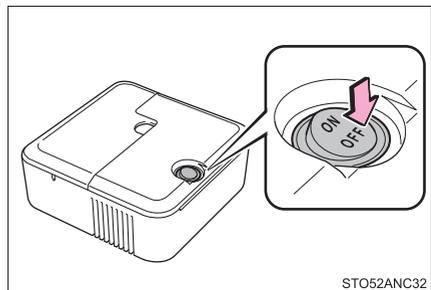
ボトルに同封されているパンク補修液
注入済ラベルは指定の位置へ貼り付け
ます。(9へ) 空気逃がしキャップは
再度使用するため、なくさないように
保管してください。



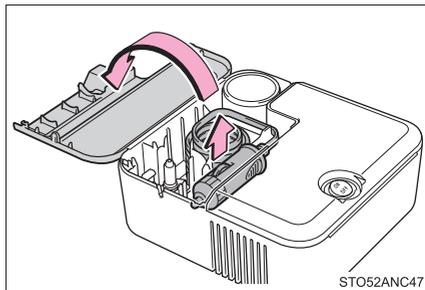
- 4 ボトルのホースをパンクしたタ
イヤのバルブに接続する
ホース先端を時計まわりにまわして
しっかりと最後までねじ込む。



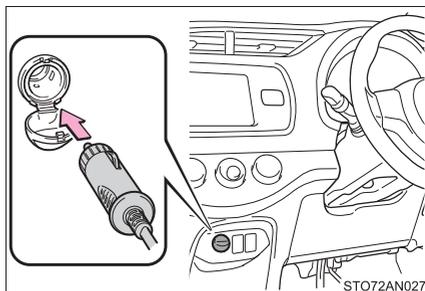
- 5 コンプレッサーのスイッチが
“OFF” であることを確認する



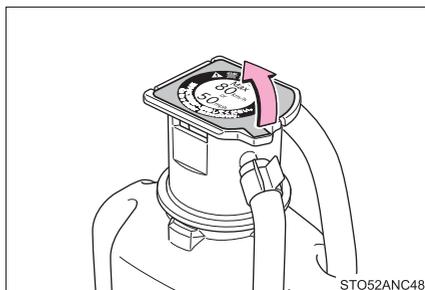
- 6 フタを開けてコンプレッサーの電源プラグをはずす



- 7 コンプレッサーの電源プラグをアクセサリソケットに挿し込む (→ P. 293)

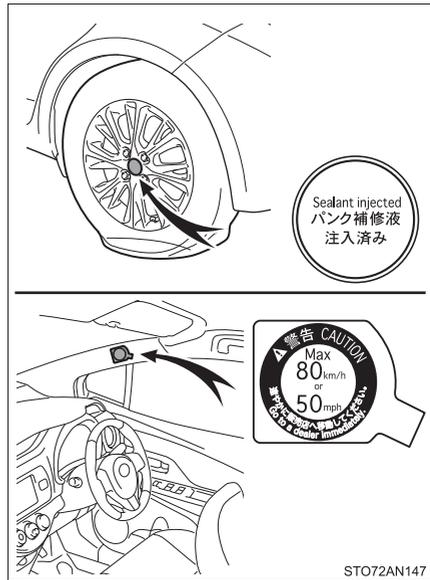


- 8 速度制限ラベルをはがす



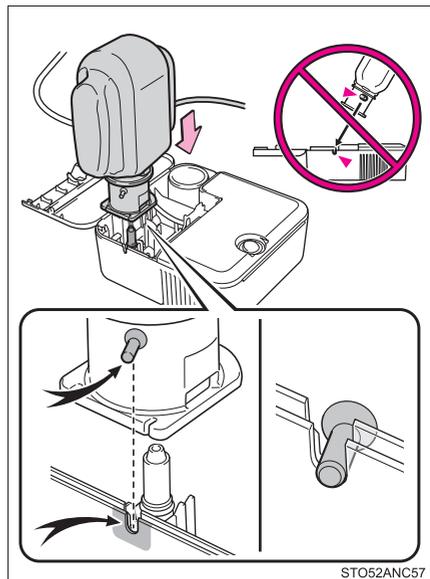
9 付属のラベル2枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

ホイールの汚れや水分を十分に拭き取ってからラベルを貼り付けてください。ラベルを貼り付けることができない場合は、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換するときにパンク補修液注入済であることを必ずお伝えください。

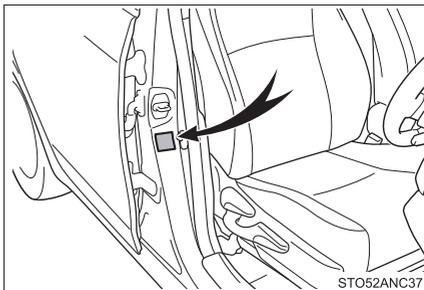


10 ボトルをコンプレッサーに接続する

右の図のように、ボトルをまっすぐコンプレッサーに挿入・接続し、ボトルの突起がケースの溝にしっかり合っているか確認してください。

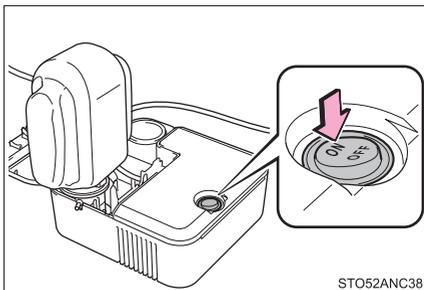


- 11 タイヤの指定空気圧を確認する
運転席側の空気圧ラベルで確認することができます。(→ P. 308)



- 12 エンジンを始動する

- 13 コンプレッサーのスイッチを“ON”にし、パンク補修液と空気を充填する



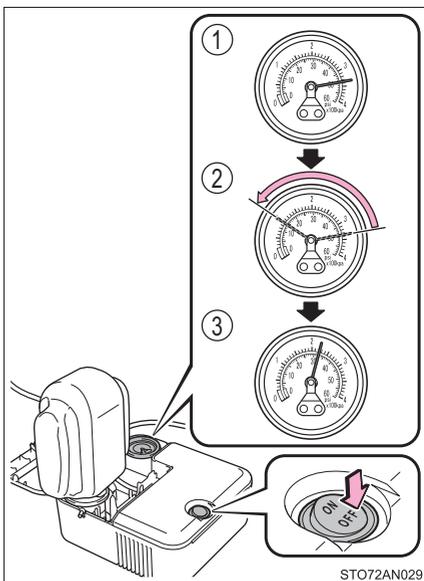
- 14 空気圧が指定空気圧になるまで空気を充填する

- ① スイッチ“ON”直後は、パンク補修液を注入するため、一時的に空気圧計が上昇する
- ② 1分程度（低温の場合は5分程度）で実際の空気圧表示になる
- ③ 指定空気圧になるまで充填する

空気圧は、コンプレッサーのスイッチを“OFF”にして確認してください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。

35分以上充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。(→ P. 390, 428)



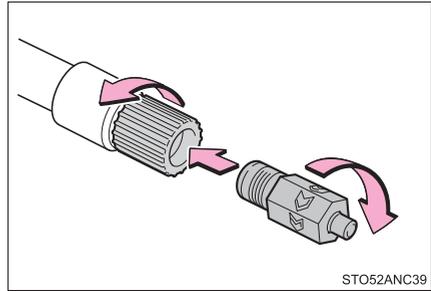
- 15 コンプレッサーのスイッチが“OFF”であることを確認した上で、アクセサリースOCKETから電源プラグを抜く
バルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液が漏れる可能性があります。

- 16 バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

- 17 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

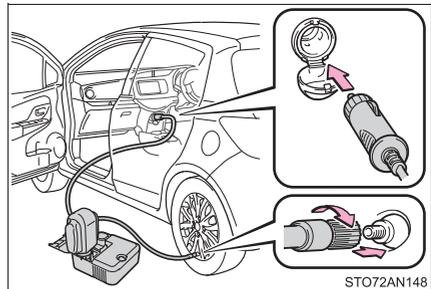
空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



- 18 いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルームに収納する

- 19 タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、ただちに約5 km、安全に走行する（速度 80 km/h 以下）

- 20 走行後、ボトルのホースから空気逃がしキャップを取りはずし、再度応急修理キットを接続する

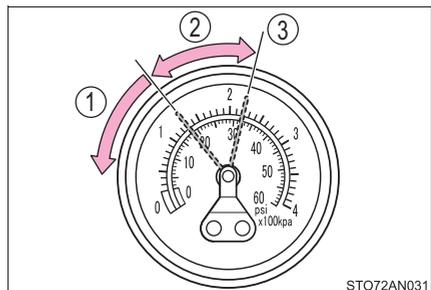


- 21 コンプレッサーのスイッチを約5秒間“ON”にし、“OFF”にしてから空気圧を確認する

- ① 空気圧が 130 kpa
(1.3 kg/cm²) 未満の場合：
応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- ② 空気圧が 130 kpa
(1.3 kg/cm²) 以上、指定空気
圧未満の場合：22 へ

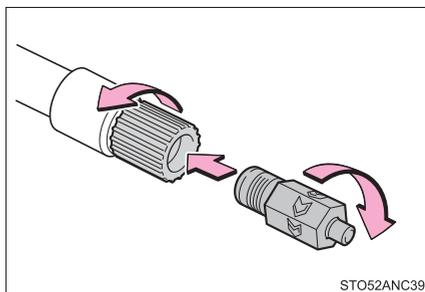
- ③ 空気圧が指定空気圧（→ P. 428）の場合：23 へ



22 コンプレッサーのスイッチを“ON”にして指定空気圧まで空気を充填し、再度約5 km 走行後にあらためて **20** から実施する

23 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



24 ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルームに収納します

25 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け、慎重に 80 km/h 以下で運転してトヨタ販売店へ行きます

タイヤの修理・交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

 知識**■ 応急修理後のタイヤのバルブについて**

応急修理キットを使用したときは、タイヤのバルブを新品に交換してください。

■ 応急修理キットの点検について

パンク補修液の有効期限の確認は定期的に行ってください。

有効期限はボトルに表示されています。

有効期限が切れたパンク補修液は使用しないでください。応急修理キットによる修理が正常にできない場合があります。

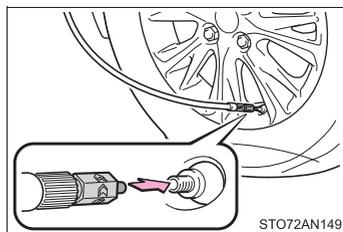
有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは自動車タイヤの空気充填用です。
- 応急修理キットのパンク補修液は、1本のタイヤを一度だけ応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 外気温度が -30°C ～ 60°C のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- 応急修理キット作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。
- タイヤ空気圧の点検や調整には使用しないでください。

■ 空気を入れすぎてしまったとき

- 1 タイヤからホースを取りはずす
- 2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあてて空気を抜く



- 3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- 4 応急修理キットのスイッチを“ON”にして数秒間経過後、スイッチを“OFF”にして空気圧計を確認する
指定空気圧より低いときは、再度、応急修理キットのスイッチを“ON”にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

▲ 警告

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは指定の位置に収納してください。
急ブレーキ時などに応急修理キットが飛び出したりして破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 応急修理キットはお客様の車専用です。他の車には使わないでください。他の車に使うと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 指定タイヤサイズ以外のタイヤや他の用途には使用しないでください。パンク修理が完全に行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ パンク補修液について

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■ パンクしたタイヤを応急修理するとき

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- 走行直後、ホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。
走行直後のホイールやブレーキまわりは高温になっている可能性があるため手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしっかりと接続してください。

警告

- 接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- 充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。
- 充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- 作業手順に従って応急修理を行ってください。
手順どおりに行わないとパンク補修液が噴出する場合があります。
- 破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにキットのスイッチを“OFF”にし、修理を中止してください。
- 応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。40分以上連続で作動させないでください。
- 応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。ボトルとコンプレッサー接続箇所の金属部分は特に熱くなるのでふれないでください。
- 速度制限シールは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などのSRSエアバッグ展開部に速度制限シールを貼ると、SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

補修液を均等に広げるための運転について

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。
 - ・ タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
 - ・ 空気圧を確認してください。130 kPa (1.3 kg/cm²) 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

 **注意****■ 応急修理をするとき**

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットは砂埃や水を避けて収納してください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。
（タイヤについての詳しい説明は P. 307 を参照してください）

警告

■ タイヤがパンクしたときは

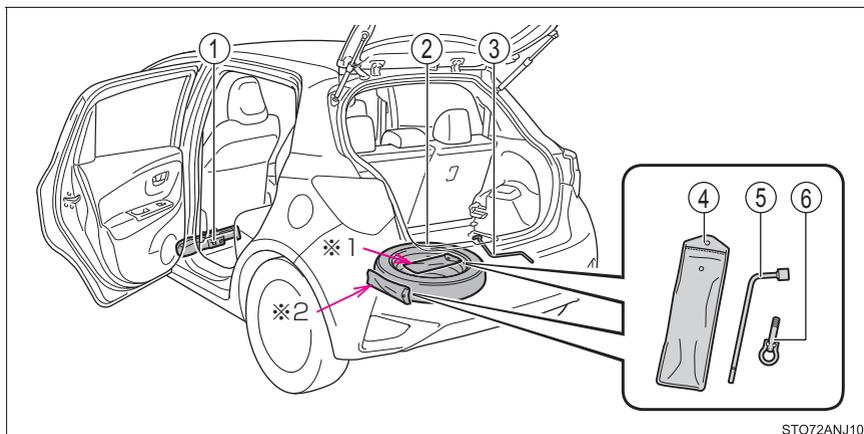
パンクしたまま走行しないでください。

短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- オートマチック車はシフトレバーを P に入れる
- マニュアル車はシフトレバーを N に入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの位置



① ジャッキ

② 応急用タイヤ

③ ジャッキハンドル

※¹ 4WD 車 (4 輪駆動)※² FF 車 (前輪駆動)

④ 工具袋

⑤ ホイールナットレンチ

⑥ けん引フック

 **警告****■ ジャッキの使用について**

次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

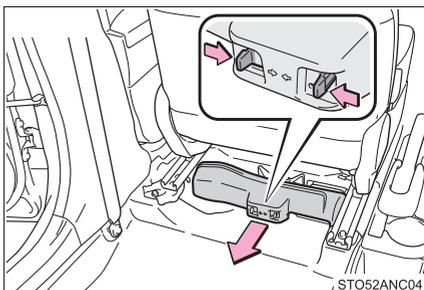
- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

ジャッキの取り出し方

- 1 助手席シートをいちばん前に移動する

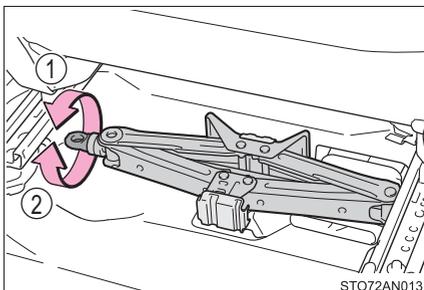


- 2 ノブを内側につまみ、手前に引いて、カバーを取りはずす



- 3 ジャッキをゆるめて取りはずす

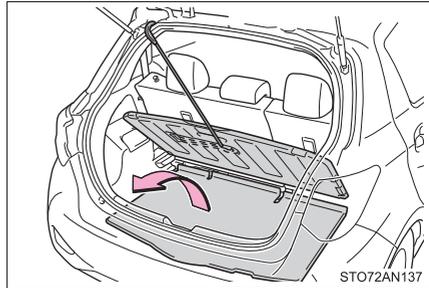
- ① 締まる
- ② ゆるむ



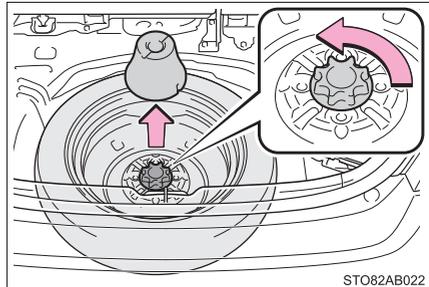
応急用タイヤの取り出し方

▶ FF車（前輪駆動）

- 1 アジャスタブルデッキボード★を持ち上げ、留める（→ P. 288）
- 2 フロアボードを取りはずす

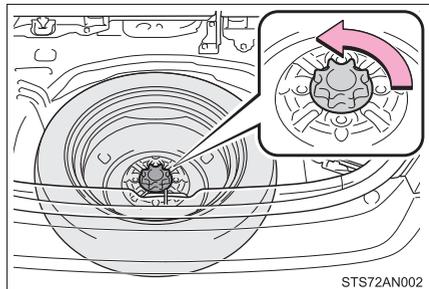


- 3 クッションを取りはずし、留め具を取りはずす



▶ 4WD車（4輪駆動）

- 1 デッキボードを持ち上げ、留める（→ P. 288）
- 2 留め具を取りはずす



警告

■ 応急用タイヤを収納するとき

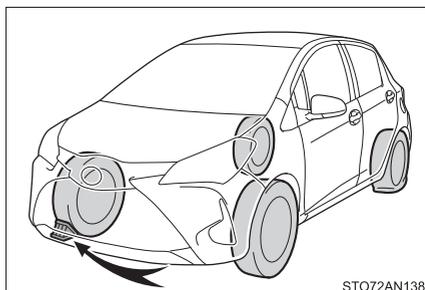
ポデーと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パンクしたタイヤの交換

1 輪止め※をする

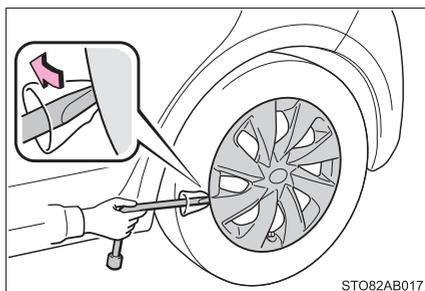
※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。



STO72AN138

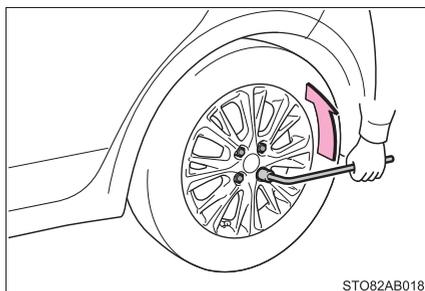
パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

- 2 ホイールキャップをはずす（ホイールキャップ装着車）
傷が付くのを防ぐため、ホイールナットレンチの先端に布などを巻いて保護してください。



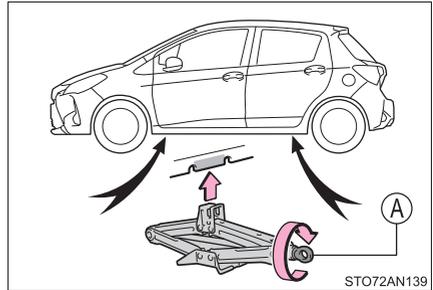
STO82AB017

- 3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる

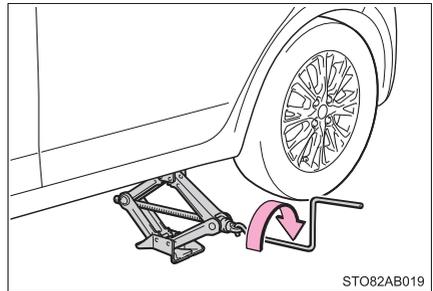


STO82AB018

- 4 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける

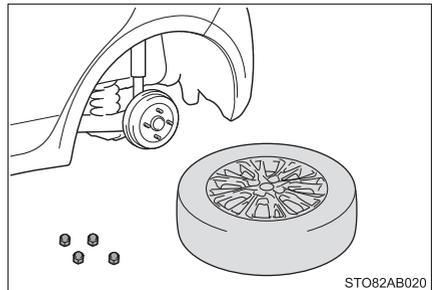


- 5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体をあげる



- 6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にします。



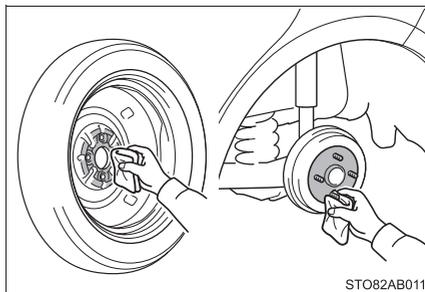
警告**■ タイヤ交換について**

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ ホイールの交換後は、すぐに $103\text{N} \cdot \text{m}$ ($1050\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の力でナットを締める
 - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
 - ・ ナットを取り付けるときは、必ずテーパ部分を内側にして取り付ける (→ P. 310)

応急用タイヤの取り付け

- 1 ホイール接触面の汚れや異物をふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



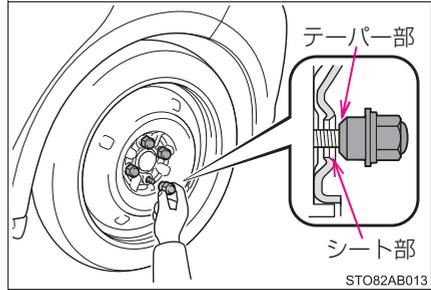
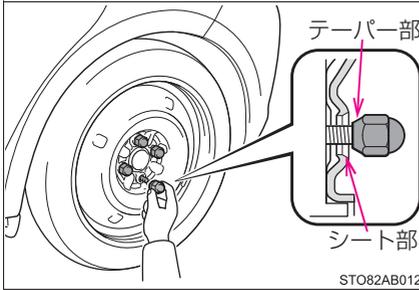
STO82AB011

- 2 応急用タイヤを取り付けタイヤが、がたつかない程度まで手でナットを仮締めする

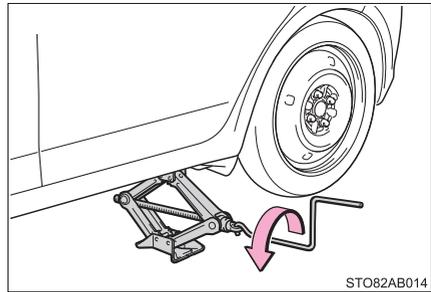
ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす

▶ スチールホイール装着車

▶ アルミホイール装着車



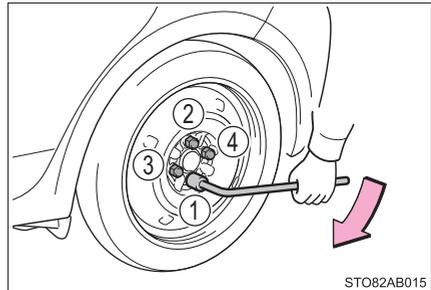
- 3 車体を下げる



- 4 図の番号順でナットを 2、3 度しっかり締め付ける

締め付けトルク：

103N・m (1050kgf・cm)



- 5 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

 知識

■ 応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。(→ P. 428)

■ 応急用タイヤを装着しているとき

標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。

■ 雪道・凍結路で前輪がパンクしたとき

- 1 後輪を応急用タイヤに交換する
- 2 パンクした前輪をはずした後輪に交換する
- 3 タイヤチェーンを前輪に装着する

 警告

■ 応急用タイヤを使用するとき

- お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- 同時に2つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンプレーキの使用は避けてください。

 **警告****■ 応急用タイヤを装着しているとき**

正確な車両速度が検出できない場合があります、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ・ ABS
- ・ ブレーキアシスト
- ・ PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★
- ・ LDA (レーンディパーチャーアラート) ★
- ・ オートマチックハイビーム★
- ・ VSC
- ・ TRC
- ・ EPS

また、下記のシステムは、性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響を与えるおそれがあります。

- ・ 4WD システム★

■ 応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、80km/h 以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ジャッキや工具を使用したあとは

走行前に正しい位置に格納されているか確認してください。正しく格納されていないと、事故や急ブレーキの際、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 応急用タイヤ装着中は段差に注意**

応急用タイヤ装着中は、標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。段差を乗り越えるときは注意してください。

■ 応急用タイヤ使用時のタイヤチェーン装着

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体にあたり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方（→ P. 158, 161）に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。
再度、正しい手順（→ P. 158, 161）に従って、エンジンをかけてください。
- エンジンイモビライザーシステムに異常がある可能性があります。
（→ P. 62）

スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 408）
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

スターターがまわらない（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- 電装品の断線やヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性がります。
異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。（→ P. 405）
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。

スターターがまわらない／室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。(→ P. 408)

処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

通常のエンジン始動操作でエンジンが始動しないときは、次の手順でエンジンが始動する場合があります。緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

▶ オートマチック車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 3 エンジンスイッチをアクセサリモードにする
- 4 ブレーキペダルをしっかりと踏んでエンジンスイッチを約15秒以上押し続ける

▶ マニュアル車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがNであることを確認する
- 3 エンジンスイッチをアクセサリモードにする
- 4 クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏みながら、約15秒間エンジンスイッチを押し続ける

この方法でエンジンが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

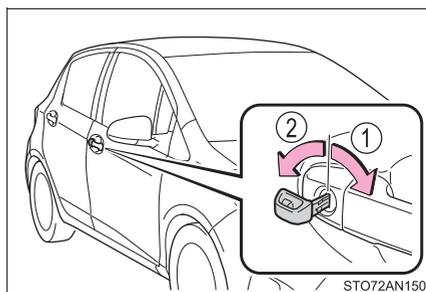
電子キーが正常に働かないときは (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり(→P. 122)、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

メカニカルキー(→P. 106)を使って次の操作ができます。

- ① 全ドア施錠
- ② 全ドア解錠



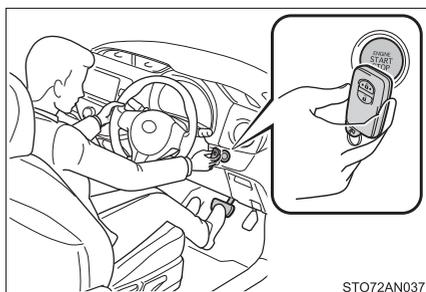
エンジン始動の方法

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーがPの状態ブレーキペダルを踏む
- 2 電子キーのトヨタエンブレム面で、エンジンスイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、イグニッション ON モードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっているときは、アクセサリモードへ切りかわります。



- 3 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に点灯していることを確認する
カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイに  が表示されていることを確認する

4 エンジンスイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

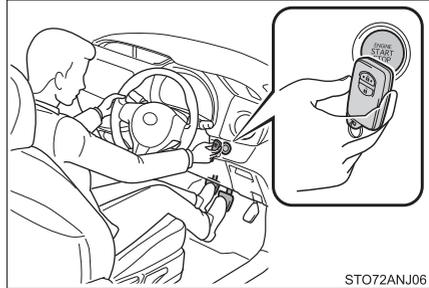
▶ マニュアル車

1 シフトレバーがNの状態クラッチペダルとブレーキペダルを踏む

2 電子キーのトヨタエンブレム面でエンジンスイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、イグニッション ON モードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっているときは、アクセサリモードへ切りかわります。



3 クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色に点灯していることを確認する

4 エンジンスイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

知識

■ エンジンの停止方法

通常のエンジン停止のしかたと同様、シフトレバーをP（オートマチック車）またはN（マニュアル車）にしてエンジンスイッチを押します。

■ 電池交換について

ここで説明しているエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。（→P. 316）

■ エンジンスイッチのモードの切りかえ

エンジン始動方法の手順③でブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。（→P. 164）

■ 電子キーが正常に働かない場合について

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。（→P. 431）

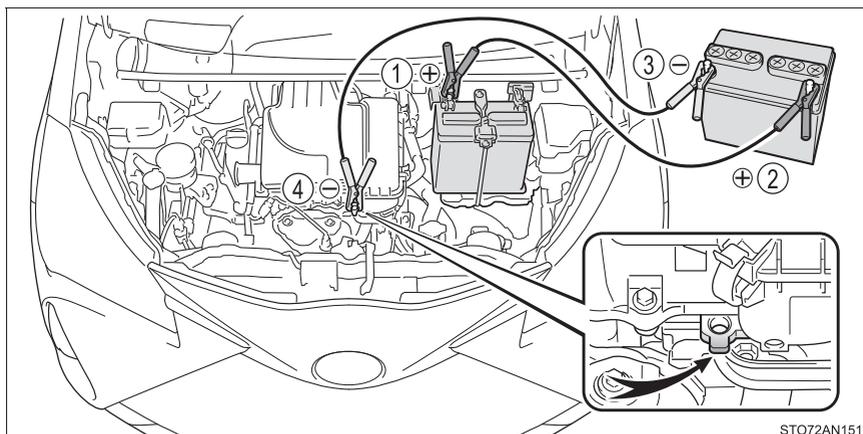
バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

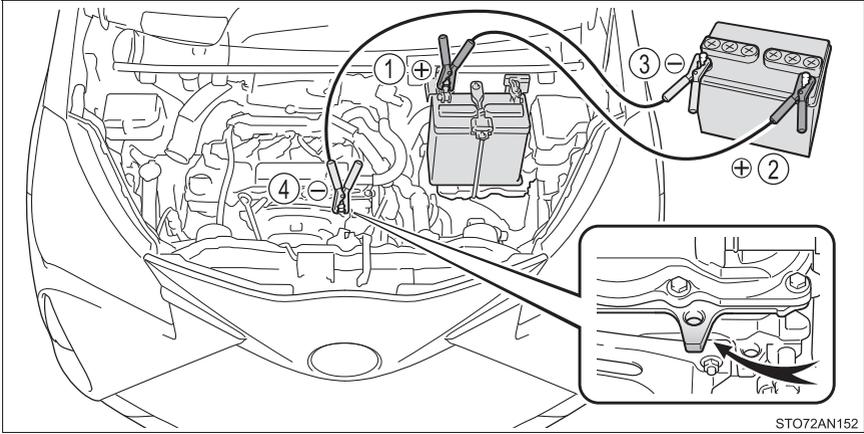
- 1 ボンネットを開ける (→ P. 303)
 - 2 バッテリーの + 端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ
 - ① 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの + 端子につなぐ
 - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの + 端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの - 端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部 (図に示すような固定された部分) につなぐ
- 1NZ-FE エンジン搭載車 (オートマチック車) : ボルトの座金部に確実につかないでください。

▶ 1KR-FE エンジン搭載車

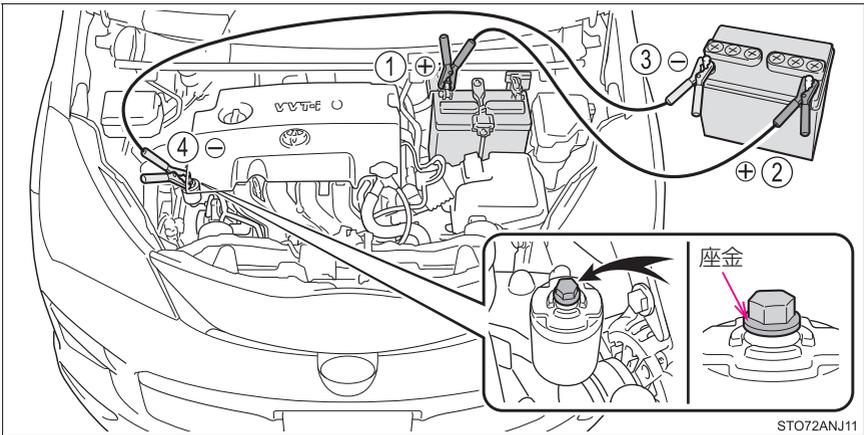


STO72AN151

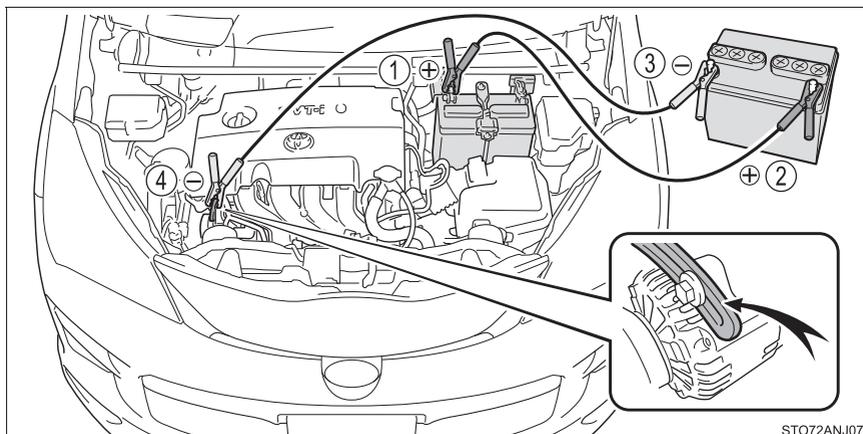
▶ 1NR-FE/1NR-FKE エンジン搭載車



▶ 1NZ-FE エンジン搭載車 (オートマチック車)



▶ 1NZ-FE エンジン搭載車（マニュアル車）



ST072ANJ07

- 3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する
- 4 スマートエントリー&スタートシステム装着車は、エンジンスイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する
- 5 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：
救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったん“ON”にしてから自車のエンジンをかける
スマートエントリー&スタートシステム装着車：
救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったんイグニッション ON モードにしてから、自車のエンジンをかける
- 6 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

エンジンがかかっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識**■ バッテリーあがり時の始動について（オートマチック車）**

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンがかかっていないときは、ランプやエアコンの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ バッテリーがあがったときは

コンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリーがあがったときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。（バッテリーは走行中に自動で充電されます）

■ バッテリーあがり時や取りはずし時など（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- バッテリーがあがった直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- バッテリーがあがったあとの、最初のエンジン始動は失敗することがあります。2回目以降のエンジン始動は正常に動作しますので、問題ではありません。
- 車両は常にエンジンスイッチの状態を記憶しています。バッテリーあがり時、バッテリー脱着後は、バッテリーをはずす前の状態に復帰します。バッテリーを脱着する際は、エンジンスイッチを OFF にしてから行ってください。バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、バッテリー接続時は特に注意してください。

 **警告****■ バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

救援車のバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に誤って接触させない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったたりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

■ 車の損傷を防ぐために

車両を押ししたり、引いたりして始動させないでください。
触媒コンバーターが過熱し、火災の原因になるおそれがあります。

 **注意****■ ブースターケーブルの取り扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

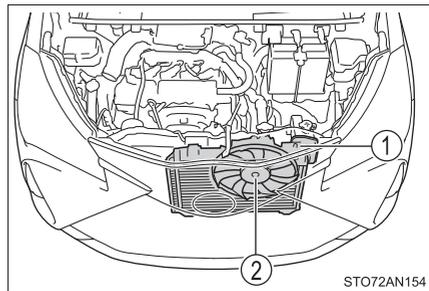
- モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：高水温警告灯（→ P. 361）が赤色点滅または点灯したり、エンジンの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車：「エンジン冷却水高温」が表示されたり、エンジンの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- エンジンルームから蒸気が出る

対処方法

- 1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、エンジンを停止する
- 2 蒸気が出ている場合：
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける
蒸気が出ていない場合：
注意してボンネットを開ける
- 3 エンジンが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

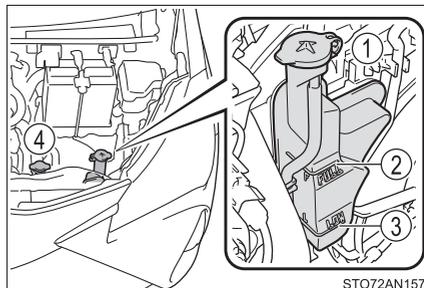
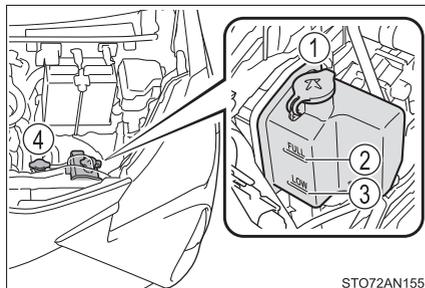


- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

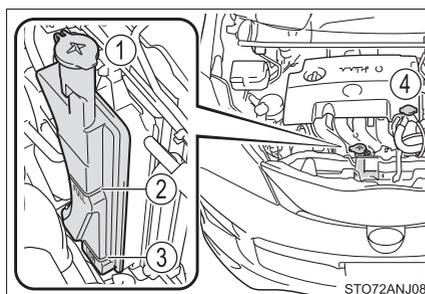
- ① リザーバータンク ③ “LOW”（下限）
 ② “FULL”（上限） ④ ラジエーターキャップ

▶ 1KR-FE/1NR-FE エンジン搭載車

▶ 1NR-FKE エンジン搭載車



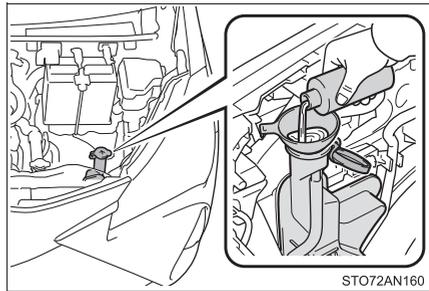
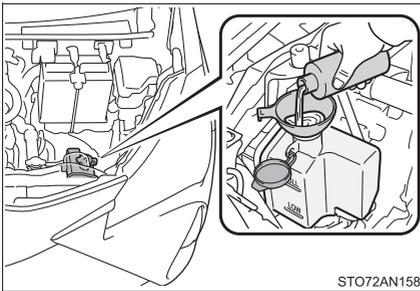
▶ 1NZ-FE エンジン搭載車



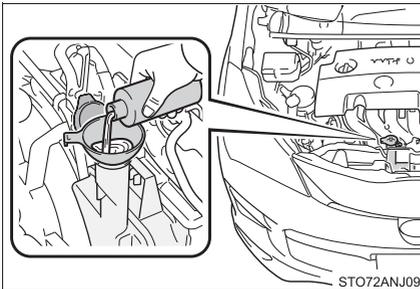
5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。

- ▶ 1KR-FE/1NR-FE エンジン搭載車 ▶ 1NR-FKE エンジン搭載車



- ▶ 1NZ-FE エンジン搭載車



6 エンジンを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

エンジンが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。

(ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります)

7 ファンが作動していない場合：
すぐにエンジンを停止し、トヨタ販売店に連絡する

ファンが作動している場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

 **警告****■ エンジンルーム点検中の事故やけがを防ぐために**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- 手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- エンジンおよびラジエーターが熱い場合はラジエーターキャップおよび冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあります。

 **注意****■ 冷却水を入れるとき**

エンジンが十分に冷えてから入れてください。

冷却水はゆっくり入れてください。

エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水用添加剤を使用しない

スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

▶ FF 車（前輪駆動）

- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをオートマチック車は P、マニュアル車は N にして、エンジンを停止する
- 2 タイヤ前後の土や雪を取り除く
- 3 タイヤの下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動する
- 5 シフトレバーをオートマチック車は D または R、マニュアル車は 1 速または R に確実に入れ、注意しながらアクセルを踏む

▶ 4WD 車（4 輪駆動）

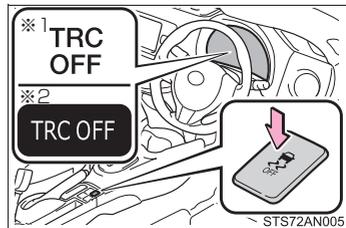
- 1 パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしてエンジンを停止する
- 2 タイヤ前後の土や雪を取り除く
- 3 タイヤの下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動し、4WD オートモードになっていることを確認する（→ P. 246）
- 5 シフトレバーを D または R に確実に入れ、注意しながらアクセルを踏む

知識

■ 脱出しにくいとき

 を押して TRC を OFF にしてください。

- ※1 モノクロタイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車
- ※2 カラータイプマルチインフォメーションディスプレイ装着車



 **警告****■ 脱出するとき**

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■ シフトレバーを操作するとき（オートマチック車）

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報**8****8-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ
(指定燃料・
オイル量など)420

8-2. カスタマイズ機能

カスタマイズ機能一覧431

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
・ 無鉛レギュラーガソリン ・ バイオ混合ガソリン（レギュラー）※	42

※ エタノールの混合率 10% 以下または、ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。

エンジンオイル

▶ 1KR-FE/1NR-FE/1NZ-FE エンジン搭載車

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値※ ¹)	
		オイルのみ 交換	オイルと オイル フィルター 交換
トヨタ純正キャッスルモーターオイル SN 0W-20※ ² —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタ純正キャッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30	1KR-FE	2.6	2.8
	1NR-FE	3.2	3.4
	1NZ-FE	3.4	3.7

※¹ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※² 0W-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れたオイルです。

▶ 1NR-FKE エンジン搭載車

指定銘柄	容量 [L] (参考値※ ¹)	
	オイルのみ 交換	オイルと オイル フィルター 交換
トヨタ純正キャッスルモーターオイルSN 0W-16※ ² —API SN/RC, SAE 0W-16 トヨタ純正キャッスルモーターオイル SN 0W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタ純正キャッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30	3.6	3.8

※¹ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

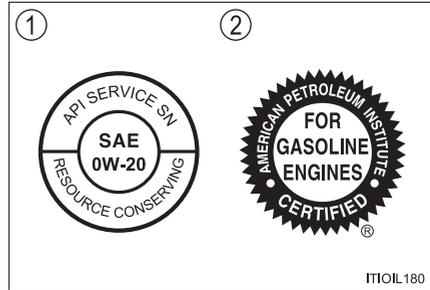
※² 0W-16 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

▶ 1KR-FE/1NR-FE/1NZ-FE エンジン搭載車

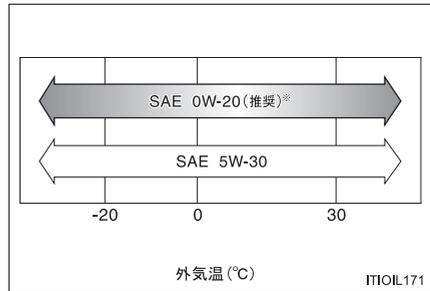
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサクサーティフィケーション) マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

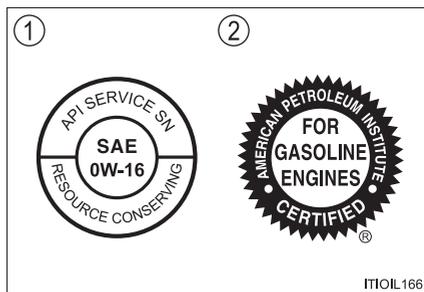
オイル粘度について (例として 0W-20 で説明します) :

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い (数値が大きい) オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

▶ 1NR-FKE エンジン搭載車

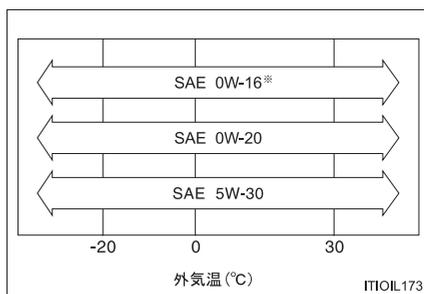
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサクサーティフィケーション) マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-16 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について (例として 0W-16 で説明します) :

- ・ 0W-16 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-16 の 16 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い (数値が大きい) オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C	1KR-FE	4.8
	1NR-FE	4.7
	1NR-FKE	4.9
	1NZ-FE (オートマチック車)	5.0
	1NZ-FE (マニュアル車)	4.8

オートマチックトランスミッション

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値※)
トヨタ純正 CVT フルード FE	1KR-FE	6.23
	1NR-FE	7.88
	1NR-FKE	6.42
	1NZ-FE	7.47

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

 注意

■ CVT フルードについて

上記で指定のトヨタ純正フルード以外をご使用の場合、変速不良、振動などの不具合発生や破損に至るおそれがあります。

マニュアルトランスミッション

指定銘柄	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正 MG ギヤオイルスペシャル II (API GL-3 SAE 75W-90)	1.9

トランスファー（4WD車）

指定銘柄（推奨粘度）	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正ディファレンシャルギヤオイル LT (API GL-5 SAE 75W-85)	0.45

リヤディファレンシャル（4WD車）

指定銘柄（推奨粘度）	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正ディファレンシャルギヤオイル LT (API GL-5 SAE 75W-85)	0.5

クラッチ

■ クラッチフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ クラッチペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	5 ~ 15
切れたときの床板とのすき間 ※	25 以上

※ クラッチが切れた位置からクラッチペダルを床いっぱいまで踏み込んだ位置までの動き量

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間 [※]	
▶ リヤドラムブレーキ装着車	86 以上
▶ リヤディスクブレーキ装着車	94 以上

※ エンジン回転時に 300 N (30 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 (回数)
引きしろ 操作力 200 N (20 kgf) のときのノッチ [※] 数	
▶ リヤドラムブレーキ装着車	8 ~ 11
▶ リヤディスクブレーキ装着車	6 ~ 9

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度 (“カチッ” という音) のことです。

ウォッシャー

容量 [L] (参考値)	
寒冷地仕様車を除く	1.8
寒冷地仕様車	2.3

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイール サイズ	タイヤが冷えている ときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
			前輪	後輪
標準タイヤ	165/70R14 81S	14 × 5J	250 (2.5)	240 (2.4)
	175/70R14 84S	14 × 5J	250 (2.5)	240 (2.4)
	175/65R15 84H	15 × 5 1/2J	230 (2.3)	220 (2.2)
	185/60R15 84H	15 × 5 1/2J	230 (2.3)	230 (2.3)
	195/50R16 84V	16 × 6J	220 (2.2)	200 (2.0)
	205/45R17 84W	17 × 7J	220 (2.2)	220 (2.2)
応急用タイヤ★	T125/70D16 96M	16 × 4T	420 (4.2)	

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

電球 (バルブ)

電球		W (ワット) 数
車外	ヘッドランプ (ハロゲンヘッドランプ装着車) (バルブタイプ: H4)	60/55
	車幅灯 (ハロゲンヘッドランプ装着車)	5
	フロントフォグランプ★ (バルブタイプ: H16)	19
	フロント方向指示兼非常点滅灯	21
	サイド方向指示兼非常点滅灯	5
	リヤ方向指示兼非常点滅灯	21
	後退灯	16
	番号灯	5
	リヤフォグランプ★	21
車内	インテリアランプ/パーソナルランプ	5
	バニティランプ★	5
	ラゲージルームランプ	5

※ 表に記載のないランプはLEDを採用しています。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
KSP130	1KR-FE (1.0L ガソリン)	FF (前輪駆動)
NSP130	1NR-FKE (1.3L ガソリン)	FF (前輪駆動)
NSP135	1NR-FE (1.3L ガソリン)	4WD (4 輪駆動)
NCP131	1NZ-FE (1.5L ガソリン)	FF (前輪駆動)

カスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてトヨタ販売店で作動内容を変更することができます。

機能によっては、他の機能と連動して設定が変わるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

カスタマイズ設定一覧

■ スマートエントリー&スタートシステム★ (→ P. 120)

機能の内容	初期設定	変更後
スマートエントリー&スタートシステムの作動	あり	なし
作動の合図 (ブザー)	あり	なし
作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし
解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間	30 秒	60 秒
		120 秒
半ドア警告ブザー	あり	なし
連続してできる施錠操作の回数	2 回	無制限

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ワイヤレスドアロック (→ P. 109)

機能の内容	初期設定	変更後
ワイヤレス機能	あり	なし
作動の合図 (ブザー) ※ ¹	あり	なし
作動の合図 (ブザー音量調整) ※ ¹	7※ ²	レベル 0 ~ 7
	5※ ³	
作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし
解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間	30 秒	60 秒
		120 秒
半ドア警告ブザー ※ ¹	あり	なし

※¹ スマートエントリー&スタートシステム装着車

※² LED ヘッドランプ非装着車

※³ LED ヘッドランプ装着車

■ ランプ自動点灯・消灯システム★ (→ P. 183)

機能の内容	初期設定	変更後
ライトセンサーの感度調整	レベル 3	レベル 1 ~ 5
暗さを検知してからランプを点灯するまでの時間	標準	長め

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ イルミネーテッドエントリーシステム (→ P. 274)

機能の内容	初期設定	変更後
消灯までの時間	15 秒	7.5 秒
		30 秒
解錠時の作動	あり	なし
エンジンスイッチ “LOCK” 後の作動 (スマートエントリー&スタートシステム非装着車のみ)	あり	なし
エンジンスイッチ OFF 後の作動 (スマートエントリー&スタートシステム装着車のみ)	あり	なし
検知エリア接近時の作動 (スマートエントリー&スタートシステム装着車のみ)	あり	なし

■ オートエアコン★ (→ P. 265)

機能の内容	初期設定	変更後
AUTO スイッチが ON のとき、外気導入と内気循環を自動的に切りかえる	する	しない

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

さくいん

こんなときは （症状別さくいん）.....	436
車から音が鳴ったときは （音さくいん）.....	440
アルファベット順さくいん.....	442
五十音順さくいん.....	443

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- キーまたはメカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。（→P. 106）
- キーまたは電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→P. 108）



施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→P. 316）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチがイグニッション ON モードになっていませんか？
施錠するときはエンジンスイッチをOFFにしてください。（→P. 164）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
電子キーを車内に置き忘れていませんか？
施錠するときは電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。（→P. 122）



リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？
チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。
いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。（→P. 113）

故障かな？と思ったら**エンジンがかからない
（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）**

- マニュアル車
クラッチペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチをまわしていますか？（→ P. 158）
- オートマチック車
シフトレバーはPになっていますか？（→ P. 171, 175）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 159）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 408）

**エンジンがかからない
（スマートエントリー&スタートシステム装着車）**

- オートマチック車
ブレーキペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか？（→ P. 161）
- マニュアル車
クラッチペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか？（→ P. 161）
- オートマチック車
シフトレバーはPになっていますか？（→ P. 171, 175）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→ P. 120）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 167）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
このときは、一時的な方法でエンジンをかけることができます。
（→ P. 406）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 408）



ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーが P から動かない (オートマチック車)

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチの位置が“ON”になっていますか？
エンジンスイッチの位置が“ON”でブレーキを踏んでも解除できないときは（→P. 172, 178）を参照してください。
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
エンジンスイッチはイグニッション ON モードになっていますか？
エンジンスイッチがイグニッション ON モードでブレーキを踏んでも解除できないときは（→P. 172, 178）を参照してください。



エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます（→P. 159）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
盗難防止のため、自動的にロックされます（→P. 166）



パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→P. 139）



エンジンスイッチが自動的に OFF になった (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

- 一定時間アクセサリモードまたはONモード(エンジンがかかっていない状態)にしておくと、自動電源OFF機能が作動します。（→P. 166）



警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 440）をご確認ください。



警告灯や警告メッセージ★が表示されたとき

- 警告灯や警告メッセージ★が表示されたときは、P. 361、367 をご確認ください。

トラブルが発生した



タイヤがパンクした

- タイヤパンク応急修理キット装着車
車を安全な場所に止め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→ P. 378）
- 応急用タイヤ装着車
車を安全な場所に止め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。（→ P. 393）



立ち往生した

- むかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 417）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 375
	シフトポジションがP以外になっている★	P. 375
	エンジンスイッチにキーが挿してある★	P. 160
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 186
エンジンを停止したとき	電子キー★の電池残量が少なくなっている	P. 376
施錠しようとしたとき (施錠できないとき)	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 121
	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 121, 375

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドア・バックドアが確実に閉まっていない	P. 363, 370
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 364, 370
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない※	P. 363
シフトダウンしたとき	シフトダウン制限をこえて操作した★	P. 177
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 150
前方の障害物と衝突しそうになったとき	PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★が作動した	P. 205
車線から逸脱したとき	LDA（レーンディパーチャーアラート）★を使用している	P. 220
前の車が発進しても停車し続けたとき	先行車発進告知機能★が作動した	P. 233

※ 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アルファベット順さくいん

4WD

(4 ホイールドライブ)P. 246

A/C

(エアコン)P. 260, 265

ABS

(アンチロックブレーキシステム)P. 248

ACC

(アクセサリー)P. 159, 164

ECO

(エコノミー／エコロジー)P. 97, 147

EDR

(イベントデータレコーダー)P. 9

EPS

(電動リックパワーステアリング)P. 248

ILSAC CERTIFICATION

(イルサックサーティフィケーション)P. 423

INT

(インターミットtent)P. 190

ISOFIX

(アイソフィックス／イソフィックス)P. 45, 54

LDA

(レーンディパーチャーアラート)P. 220

LSD

(リミテッドスリップデファレンシャル)P. 248

PCS

(プリクラッシュセーフティシステム)P. 205

SRS

(サブリメンタルレストレイントシステム)P. 36

TRC

(トラクションコントロール)P. 248

VSC

(ビークルスタビリティコントロール)P. 248

五十音順さくいん

あ

アームレスト	291
アイドリングストップ	238
アイドリングストップ時間	87
SMART STOP	238
Stop & Start キャンセル 表示灯	239
Stop & Start システム	238
Stop & Start 表示灯	238
Toyota Stop & Start System	238
アウターミラー（ドアミラー） ...	136
オート作動	137
調整	136
アクセサリソケット	293
アクティブトルク コントロール 4WD	248
アシストグリップ	292
アジャスタブルデッキボード	287
アッパーボックス	280
アンチロックブレーキシステム （ABS）	248
アンテナ	120

い

イグニッション スイッチ	158, 161
位置交換 （タイヤローテーション）	307
一体可倒シート	128
イベントデータレコーダー （EDR）	9
イモビライザーシステム	62

イルミネーテッドエントリー

システム	276
カスタマイズ機能	431
作動について	276
点灯する部位	274
インジケーター	67
インテリアランプ	275
スイッチ	275
ワット数	429
インナーミラー	135

う

ウインカー（方向指示灯）	181
電球（バルブ）の交換	323
方向指示レバー	181
ワット数	429
ウインドウ	139
ウォッシュャー	190, 193
パワーウインドウ	139
リヤウインドウ デフォッガー	261, 267
ウインドウロックスイッチ	139
ウォーニングランプ（警告灯） ...	361
ウォッシュャー	190, 193
液の補給	306
スイッチ	190, 193
タンク容量	427
冬の前の準備・点検	255
動けなくなったときは （スタック）	417
運転	144
環境に配慮した運転	97, 147
寒冷時の運転	255
正しい運転姿勢	28
手順	144
運転席・助手席シートベルト 非着用警告灯	363

え

エアコン	
オートエアコン	265
フィルターの交換	313
マニュアルエアコン	260
エアバッグ	36
SRS エアバッグ警告灯	361
作動条件	40
配置	36
エコウォレット履歴	86
エコドライブ	
インジケーター	97, 147
LDA (レーンディパーチャーアラート)	220
エンジン	
イグニッション	
スイッチ	158, 161
エンジン回転計	
(タコメーター)	70
エンジンがかからない	404
エンジン警告灯	361
エンジンスイッチ	158, 161
オーバーヒート	413
かけ方	158, 161
ボンネット	303
エンジンイモビライザー	
システム	62
エンジンオイル	421
冬の前の準備・点検	255
メンテナンスデータ	421
油圧警告表示	361
エンジンスイッチ	
操作方法	158, 161

お

オイル	
油脂類の容量と銘柄	421
応急修理キット	378
応急用タイヤ	393
空気圧	428
収納場所	394
スペアタイヤ	394
取り出し方	397
オートエアコン	265
オートマチック	
トランスミッション (A/T)	
オートマチックトランス	
ミッション	170, 174
シフトレバーが	
シフトできない	172, 178
オートマチックハイビーム	228
オートレベリングシステム	
警告灯	363
作動について	186
オーバーヒート	413
オープナー	
給油口	198
バックドア	116
ボンネット	303

お子さまを乗せるとき	44
ウインドロックスイッチ	139
エアバッグに関する警告	37
お子さまのシートベルト着用 ...	32
お子さまを乗せるときの警告 ...	33
キーの電池に関する警告	319
子供専用シート	45
シートベルトに関する警告	33
チャイルドシート	54
チャイルドシートの取り付け ...	54
チャイルドプロテクター	113
発炎筒の取り扱いに 関する警告	349
バックドアに関する警告	118
バッテリーに関する警告	412
パワーウィンドウに 関する警告	141
オドメーター	76, 82
機能	76, 82
表示の切りかえボタン	75, 80

か

カーテンシールドエアバッグ	36
カードホルダー	285
カーペット	301
洗浄	301
フロアマットの取り付け方	26
外気温度表示	77, 82
外装の電球（バルブ）	323
交換要領	323
ワット数	429
快適温熱シート	272
買い物アシスト	285
カスタマイズ機能	431
ガソリンスタンドでの情報	460
型式	430
カップホルダー	283
ガラスの曇り取り （リヤウインドウ デフォグガー）	261, 267
ガレージジャッキ	305
冠水路走行	155
寒冷時の運転	255

き

キー	104
イグニッション	
スイッチ	158, 161
エンジンが始動できない	406
エンジンスイッチ	158, 161
キー	104
キーナンバープレート	104
キーの構成	104
キーの電池が切れた	316, 406
キーレスエントリー	105, 120
キーをなくした	106, 108
正常に働かない	406
施錠・解錠ができない	406
電子キー	104
電子キーの作動範囲	120
電池交換	316
メカニカルキー	106, 406
ワイヤレスリモコン	105, 109
キーレスエントリー	
スマートエントリー&	
スタートシステム	120
ワイヤレス	
ドアロック	105, 109
給油	195
給油のしかた	198
メンテナンスデータ	420
緊急時シートベルト固定機構	32
緊急始動機能	405

緊急時の対処

イベントデータレコーダー	9
エンジンがかからない	404
オーバーヒートした	413
キーの電池が切れた	316, 406
キーをなくした	106, 108
緊急用フック	357
警告灯がついた	361
警告メッセージが	
表示された	367
けん引	352
故障したときは	346
車両を緊急停止する	350
スタックした	417
電子キーが正常に働かない	406
電子キーの	
電池が切れた	316, 406
発炎筒	348
バッテリーがあがった	408
パンクした	378, 393
非常点滅灯	347
緊急ブレーキシグナル	249

く

空気圧 (タイヤ).....	428
メンテナンスデータ	428
空調 (エアコン)	
オートエアコン	265
フィルターの交換	313
マニュアルエアコン	260
区間距離計	
(トリップメーター)	76, 82
機能	76, 82
切りかえボタン	75, 80
曇り取り	
フロントウインドウ	
ガラス.....	261, 267
ミラーヒーター	261, 267
リヤウインドウ	
デフォグガー	261, 267
クラクション (ホーン)	134
クリアランスランプ (車幅灯) ...	183
スイッチ	183
電球の交換	331, 342
ワット数.....	429
クリップ	
フロアマット	26
グローブボックス.....	280

け

警告器 (ホーン).....	134
計器類 (メーター).....	70
カラータイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	80
メーター	70
モノクロタイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	75

警告灯.....	66, 361
アンチロックブレーキ	
システム (ABS)	362
ABS & ブレーキアシスト	362
SRS エアバッグ	361
LED ヘッドランプ	363
LDA (レーンディパーチャー	
アラート).....	363
エンジン	361
エンジンオイル圧力.....	361
オートマチック	
ハイビーム.....	362
高温温	361
シートベルト非着用	363
充電.....	361
水温.....	361
スリップ表示灯.....	362
トラクションコントロール ...	362
燃料残量	363
パーキングブレーキ表示灯 ...	364
パワーステアリング	362
半ドア	363
ビークルスタビリティ	
コントロール.....	362
PCS (ブリクラッシュ	
セーフティシステム)	362
プリテンショナー	361
ブレーキ	361
ブレーキアシスト.....	362
ヘッドランプ	
オートレベリング	363
マスターウォーニング	364
4WD.....	363

警告ブザー

シートベルト非着用	363
先行車発進告知機能 ...	233, 370
パーキングブレーキ	
未解除走行時	364, 370
パワーステアリング ...	362, 368
半ドア	111, 121
半ドア走行時	363, 370
PCS (プリクラッシュ セーフティ システム)	205, 362, 368
ブレーキ	364, 370
ランプ消し忘れ	186, 370
リバース	172
警告メッセージ	367
化粧ミラー (バニティミラー) ...	290
けん引	352
けん引されるとき	352
フック	354

こ

コインホルダー	284
コインポケット	284
交換	
エアコンフィルターの交換 ...	313
キーの電池	316
タイヤ	393
電球 (バルブ)	323
ヒューズ	320
工具 (ツール)	380, 394
光軸調整ダイヤル	184
航続可能距離	77, 84
後退灯 (バックアップランプ)	
電球 (バルブ) の交換	333, 337
ワット数	429

子供専用シート	45
選択方法	45
取り付け方	54
小物入れ	282
コンライト (自動点灯・消灯装置)	183

さ

サイドエアバッグ	36
サイドターンシグナルランプ	
電球の交換	342
レバー	181
ワット数	429
サイド方向指示灯	181
電球 (バルブ) の交換	342
方向指示レバー	181
ワット数	429
サイドミラー (ドアミラー)	136
操作	136
坂道発進補助機能	240
三角表示板収納スペース	287
サンバイザー	290

し

シート	126, 127
子供専用シート	45
シートの調整に関する警告	126
正しい運転姿勢	28
チャイルドシートの固定	54
調整	126
手入れ	300
ヘッドレスト	130
シートアンダートレイ	279
シートヒーター	
(快適温熱シート)	272
シートベルト	30
お子さまの着用	32
緊急時シートベルト固定機構	32
シートベルト非着用警告灯	363
正しく着用するには	30
チャイルドシートの固定	54
着け方・はずし方	30
手入れ	301
妊娠中の方の着用	33
シートベルト非着用警告灯	363
シートベルトプリテンショナー	32
機能	32
プリテンショナー警告灯	361
室内灯 (インテリアランプ)	274
インテリアランプ	275
スイッチ	275, 276
パーソナルランプ	275
バニティランプ	276
ワット数	429
始動のしかた	158, 161

シフトパドル	175
シフトポジション	170, 174
シフトレバー	170, 174
オートマチックトランス	
ミッション	170, 174
シフトロックシステム	
(解除ボタン)	172, 178
マニュアル	
トランスミッション	180
リバース警告ブザー	172, 179
シフトレバーが	
シフトできないときは	172, 178
シフトロックシステム	171, 178
車速	
スピードメーター	70
平均車速	77, 83
ジャッキ	
ガレージジャッキ	305
車載ジャッキ	394
タイヤ交換	393
ジャッキハンドル	380, 394
車幅灯	183
電球の交換	331, 342
ランプスイッチ	183
ワット数	429
車両カスタマイズ機能一覧	431
車両型式	430
車両仕様 (スペック)	420
車両データの記録	8
車両を緊急停止するには	350
収納装備	278, 287
手動光軸調整ダイヤル	184
ジュニアシート	46
瞬間燃費	76, 100
仕様 (車両仕様)	420
初期設定	96, 140, 431
助手席シートアンダートレイ	279

す

スイッチ

イグニッション	158, 161
インテリアランプ	275
ウインドウロック	139
ウォッシャー	190, 193
LDA (レーンディパーチャーアラート)	221
エンジンスイッチ	158, 161
オートマチックハイビーム	228
SPORT MODE	175
ドアミラー	136
ドアロック	112
「ナノイー」	267
パーソナルランプ	275
パドルスイッチ	175
パワーウインドウ	139
PCS (ブリクラッシュセーフティシステム)	208
非常点滅灯 (ハザードランプ)	347
VSC OFF	249
フォグランプ	188
フロントワイパー デアイサー	262, 267
4WD OFF	246
ランプ	183
リヤウインドウ デフォグガー	261, 267
ワイパー	190, 193
スターター エンジンの始動	158, 161
スターターがまわらない	404
スタック	417

ステアリングスイッチ	294
ステアリングホイール (ハンドル)	133
位置調整	133
パワーステアリング警告灯	362
ステアリングロック	159, 167
ストップランプ (制動灯) 電球の交換	342
ワット数	429
スノータイヤ (冬用タイヤ)	255
スピードメーター	70
スペアタイヤ (応急用タイヤ)	393
空気圧	428
交換方法	393
収納場所	394
スペック (車両仕様)	420
スポーツシーケンシャルシフト マチックモード	175
スマートエントリー& スタートシステム	120
アンテナの位置	120
エンジンスイッチ	161
エンジンの始動	161
カスタマイズ設定	431
警告ブザー	121, 373
作動範囲	120
正常に働かないとき	406
節電機能	122
電波がおよぼす 影響について	125
ドアの施錠・解錠	109
バックドアの解錠	116
スモールランプ (車幅灯)	183
電球の交換	331, 342
ランプスイッチ	183
ワット数	429

せ

清掃	296, 300
アルミホイール	297
外装	296
シートベルト	301
内装	300
制動灯	
電球の交換	342
ワット数	429
積算距離計	
(オドメーター)	76, 82
機能	76, 82
表示の切りかえ・	
リセットボタン	75, 80
セキュリティ	
インジケーター	62
節電機能	122
センサー	
オートマチックハイビーム	201
先行車発進告知機能	201
プリクラッシュセーフティ	
システム (PCS)	201
ライトセンサー	186
レーンディパーチャー	
アラート (LDA)	201
洗車	296

前照灯 (ヘッドランプ)	183
LED ヘッドランプ警告灯	363
オートマチックハイビーム	228
手動光軸調整ダイヤル	184
電球の交換	323, 342
ヘッドランプ	
オートレベリング警告灯	363
ライトセンサー	186
ランプ消し忘れ警告ブザー	186
ランプ消し忘れ防止機能	186
ランプスイッチ	183
ワット数	429

そ

速度計 (スピードメーター)	70
----------------------	----

た

ターンシグナルランプ	
(方向指示灯)	181
電球 (バルブ)	
の交換	332, 335, 337, 342
方向指示レバー	181
ワット数	429

タイヤ	307
応急用タイヤ	393
空気圧	311, 428
交換	393
締め付けトルク	401
スペアタイヤ	393
低扁平タイヤ	309
点検	307
パンク応急修理キット	378
パンクしたときは	378, 393
冬用タイヤ	255
ホイールサイズ	428
ローテーション (位置交換)	307
タイヤが空まわりする (スタックした)	417
タイヤチェーン	255
タコメーター	70

ち

チェーン (タイヤチェーン)	255
チェンジレバー (シフトレバー)	
オートマチックトランス ミッション	170, 174
シフトレバーが シフトできない	172, 178
リバース警告ブザー	172, 179
チャイルドシート	45
ISOFIX バーでの取り付け	56
シートベルトでの固定	55
選択方法	45
チャイルドプロテクター	113

駐車ブレーキ

(パーキングブレーキ)	182
操作	182
未解除走行時 警告ブザー	364, 370
メンテナンスデータ	427

つ

ツール (工具)	380, 394
----------	----------

て

ディスプレイ	
トリップ インフォメーション	76, 82
低扁平タイヤ	309
手入れ	296, 300
アルミホイール	297
外装	296
シートベルト	301
内装	300
テールランプ (尾灯)	183
電球の交換	342
ランプスイッチ	183
ワット数	429
デッキボード	287
デフォッガー	
フロントガラス	261, 267
リアウインドウ デフォッガー	261, 267
電球 (バルブ)	
交換要領 (外装バルブ)	323
ワット数	429
点検基準値 (メンテナンスデータ)	420

電子キー	104
作動範囲	120
正常に働かないとき	406
節電機能	122
電池が切れた	406
電池交換	316
電池交換 (キー)	316

と

ドア	109
スマートエントリー& スタートシステム	120
チャイルドプロテクター	113
ドアガラス	139
ドアポケット	279
ドアロックスイッチ	112
半ドア警告灯	363
半ドア走行時 警告ブザー	363, 370
ロックレバー	112
ワイヤレスリモコン	109
ドアガラス	139
ドアポケット	279
ドアミラー	136
オート作動	137
操作	136
盗難防止装置 エンジンイモビライザー システム	62
時計	73
トッテザーアンカー	54
Toyota Safety Sense C	200

トラクションコントロール (TRC)	248
トランスミッション	170, 174
操作	170, 174
メンテナンスデータ	425
トリップ インフォメーション	76, 82
トリップメーター	76, 82
機能	76, 82
切りかえボタン	75, 80

な

内装 収納装備	278, 287
手入れ	300

に

荷物 積むときの注意	156
ラゲージルーム	287

ぬ

ぬかるみにはまった (スタック)	417
---------------------------	-----

ね

燃費 瞬間燃費	76, 100
平均燃費	76, 83
燃料	420
ガソリンスタンドでの情報	460
給油	195
種類	420
燃料残量警告灯	363
容量	420
燃料計	70

は

パーキングブレーキ.....	182
操作.....	182
未解除走行時	
警告ブザー.....	364, 370
メンテナンスデータ.....	427
パーソナルランプ.....	275
スイッチ.....	275
ワット数.....	429
排気ガス.....	61
ハイビーム (ヘッドランプ).....	183
電球 (バルブ)	
の交換.....	326, 342
ランプスイッチ.....	183
ワット数.....	429
ハイマウントストップランプ	
電球の交換.....	342
ワット数.....	429
ハザードランプ (非常点滅灯) ...	347
スイッチ.....	347
電球 (バルブ)	
の交換... 332, 335, 337, 342	
ワット数.....	429
挟み込み防止機能	
運転席ドアガラス.....	140
発炎筒.....	348
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ)	
の交換.....	333, 337
ワット数.....	429
バックドア.....	116
バッテリー	
バッテリーあがり	
防ぐために.....	411
バッテリーがあがった.....	408
冬の前の準備点検.....	255

バニティ (化粧用) ミラー.....	290
バニティランプ.....	276
装備について.....	276
ワット数.....	429
バルブ (電球)	
交換要領 (外装のバルブ).....	323
ワット数.....	429
パワーウィンドウ.....	139
ウィンドウロックスイッチ ...	139
閉めることが	
できないときは.....	140
操作.....	139
挟み込み防止機能.....	140
パワーステアリング.....	248
パワーステアリング警告灯 ...	362
パンクした	
応急用タイヤ装着車.....	393
タイヤパンク応急修理キット	
装着車.....	378
番号灯	
(ライセンスプレートランプ) ...	183
電球 (バルブ) の交換.....	340
ランプスイッチ.....	183
ワット数.....	429
ハンドル	
(ステアリングホイール).....	133
位置調整.....	133
パワーステアリング警告灯 ...	362

ひ

ビークルスタビリティ	
コントロール (VSC)	248
PCS (プリクラッシュ	
セーフティシステム)	205
機能	205
警告灯	362
PCS スイッチ	208
ヒーター	
オートエアコン	265
マニュアルエアコン	260
非常点滅灯 (ハザードランプ) ...	347
スイッチ	347
電球 (バルブ)	
の交換 ... 332, 335, 337, 342	
ワット数	429
尾灯 (テールランプ)	183
電球の交換	342
ランプスイッチ	183
ワット数	429
ヒューズ	320
表示灯	67
日よけ (サンバイザー)	290
ヒルスタートアシスト	
コントロール	248

ふ

ブースターケーブルの	
つなぎ方	408
フォグランプ	188
スイッチ	188
電球 (バルブ)	
の交換	328, 339
ワット数	429

ブザー

LDA (レーンディパーチャー	
アラート)	220
シートベルト非着用警告	363
先行車発進告知機能	233
パーキングブレーキ未解除	
走行時警告	364, 370
半ドア走行時警告	363, 370
PCS (プリクラッシュ	
セーフティシステム)	205
リバース警告	172, 179

フック

買い物アシスト	285
けん引フック	354
フロアマット固定フック	26

フューエルメーター (燃料計)

フューエルメーター (燃料計)	70
フューエルリッド (給油口)	195
給油のしかた	195

冬の前の準備 (寒冷時の運転) ... 255

冬用タイヤ

冬用タイヤ	255
プリクラッシュセーフティ	
システム (PCS)	205
機能	205
PCS スイッチ	208
警告灯	362

ブレーキ

パーキングブレーキ	182
ブレーキ警告灯	361
メンテナンスデータ	427

ブレーキアシスト.....	248
ABS & ブレーキアシスト	
警告灯.....	362
機能.....	248
ブレーキ付近からキーキー音が 聞こえる.....	150
ブレーキフルード.....	427
フロアマット.....	26
フロントシート.....	126
シートヒーター.....	272
正しい運転姿勢.....	28
調整.....	126
手入れ.....	300
フロントシートの調整に 関する警告.....	126
ヘッドレスト.....	130
フロントターンシグナルランプ	
電球の交換.....	332
レバー.....	181
ワット数.....	429
フロントフォグランプ.....	188
スイッチ.....	188
電球（バルブ）の交換.....	328
ワット数.....	429
フロント方向指示灯.....	181
電球（バルブ）の交換.....	332
方向指示レバー.....	181
ワット数.....	429
フロントワイパー	
デアイサー.....	262, 267
分割可倒シート.....	127

へ

平均車速.....	77, 83
平均燃費.....	76, 83
ヘッドランプ.....	183
LED ヘッドランプ警告灯.....	363
オートマチックハイビーム.....	228
手動光軸調整ダイヤル.....	184
電球の交換.....	326, 342
ヘッドランプ	
オートレベリング.....	363
ライトセンサー.....	186
ランプ消し忘れ警告ブザー.....	186
ランプ消し忘れ防止機能.....	186
ランプスイッチ.....	183
ワット数.....	429
ヘッドレスト.....	130
ベビーシート.....	46

ほ

ホイール	
交換（タイヤ）.....	307, 393
メンテナンスデータ.....	428
ホイールナットレンチ.....	380, 394
方向指示灯.....	181
電球（バルブ）	
の交換.....	332, 335, 337, 342
方向指示レバー.....	181
ワット数.....	429
ホーン（警音器）.....	134
補給口（燃料）.....	195
保証.....	11
ボトルホルダー.....	279
ボンネット.....	303
開け方.....	303

ま

マスターウォーニング	364
マニュアルエアコン	260
マニュアル	
トランスミッション	180
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	75, 80
カラータイプ	80
警告メッセージ	367
ドライブインフォメーション	83
トリップインフォメーション	82
モノクロタイプ	75

み

ミラー	
インナーミラー	135
ドアミラー	136
パニティミラー	290

め

メーター (計器類)	70
カラータイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	80
警告灯	361
表示切りかえボタン	75, 80
表示灯	67
メーター	70
モノクロタイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	75
メカニカルキー	106
メンテナンスデータ	420

も

モノクロタイプ	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	75
トリップ	
インフォメーション	82

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能	431
雪道ですべて動けない	
(スタックした)	417
油脂類	420

よ

4WD オートモードスイッチ	246
----------------------	-----

ら

ライセンスプレートランプ	
(番号灯)	183
電球 (バルブ) の交換	340
ランプスイッチ	183
ワット数	429
ライトセンサー	186
ラゲージルーム	
デッキボード	287
ラゲージルームランプ	117
ラゲージルームランプ	
作動について	117
ワット数	429
ラジエーター	
オーバーヒート	413
メンテナンスデータ	425

ランプ

インテリアランプ	275
室内灯	274
電球 (バルブ) の交換	323
パーソナルランプ	275
パニティランプ	276
非常点滅灯 (ハザードランプ)	347
フロントフォグランプ	188
ヘッドランプ (前照灯)	183
方向指示灯 (ターンシグナル ランプ/ウインカー)	181
ライトセンサー	186
ラゲージルームランプ	117
ランプ消し忘れ防止機能	186
ワット数	429
ランプ消し忘れ防止機能	186

り

リヤウインドウ デフォグスイッチ ...	261, 267
リヤシート	127
前倒し	127
リヤ方向指示灯	181
電球 (バルブ) の交換	335, 337
方向指示レバー	181
ワット数	429
リヤワイパー	193

る

ルームミラー (インナーミラー)	135
ルームランプ (室内灯)	274
スイッチ	275
ワット数	429

れ

冷却水	425
冬の前の準備	255
メンテナンスデータ	425
冷却装置 (ラジエーター)	425
オーバーヒート	413
メンテナンスデータ	425
レーンディパーチャー アラート (LDA)	220
レバー シフト	170
方向指示	181
ボンネット解除	303
ロック (ドア)	112

ろ

ロック ウインドウロック	139
シフト ロックシステム	171, 178
スマートエントリー& スタートシステム	120
チャイルドプロテクター	113
ドア	109
ワイヤレスリモコン	105, 109

わ

ワイパー &	
ウォッシャー	190, 193
ワイパーデアイサー	262, 267
ワイパーブレード (寒冷地用) ...	256
ワイヤレスリモコン	105, 109
作動の合図	111
操作	105, 109
電池の交換	316
半ドア警告ブザー	111, 121
ワックス	296
ワット数	429

ガソリンスタンドでの情報

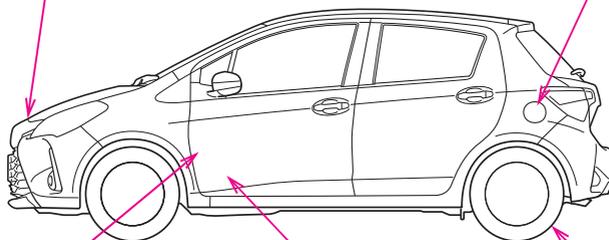
給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。

ボンネットフック

P. 303

給油口

P. 198



STOPIAN047

ボンネットオープナー

P. 303

給油口オープナー

P. 198

タイヤ空気圧

P. 428

燃料の容量 (参考値)	42 L
燃料の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無鉛レギュラーガソリン P. 195, 420 ・ バイオ混合ガソリン (レギュラー) * <p>* エタノールの混合率 10% 以下または、ETBEの混合率 22% 以下のガソリン (酸素含有率 3.7% 以下) を使用することができます。</p>
タイヤが冷えているときの空気圧	P. 428
エンジンオイル容量 (参考値)	<p>オイルのみ交換時</p> <ul style="list-style-type: none"> 1KR-FE エンジン車 : 2.6 L 1NR-FE エンジン車 : 3.2 L 1NZ-FE エンジン車 : 3.4 L 1NR-FKE エンジン車 : 3.6 L <p>オイルとフィルター交換時</p> <ul style="list-style-type: none"> 1KR-FE エンジン車 : 2.8 L 1NR-FE エンジン車 : 3.4 L 1NZ-FE エンジン車 : 3.7 L 1NR-FKE エンジン車 : 3.8 L
エンジンオイルの種類	P. 421

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して
おります。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

